

Panasonic[®]

取扱説明書
操作編

デジタルサイネージソリューション NMstage
管理サーバーソフト V3.2

品番 **AF-NMSV32**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

はじめに

デジタルサイネージソリューション NMstage(以下、本システム)は、コンテンツやスケジュールをネットワーク経由でプレーヤー端末に配信し、プラズマディスプレイ(以下、PDP)等の表示装置にて放映するシステムです。管理サーバー、操作端末、プレーヤー端末等の専用ソフトウェアをパソコンにインストールし、ネットワーク接続することによりシステムを構築します。

■特徴

●ユーザフレンドリーな操作画面

ドラッグ&ドロップやアイコンによる直感的な操作が可能です。より見やすく、使いやすい操作画面を実現しています。

●便利な配信機能

コンテンツおよび運用管理情報の配信は「自動配信」と「手動配信」が選択できます。

自動配信では、コンテンツや運用管理情報が登録、変更された際に自動で配信されますので、効率的な運用が可能です。手動配信では、即時の配信に加え、時刻を予約しての配信も可能です。さらに、手動配信では登録済みの運用に必要な情報のみを抽出(紐付抽出)、配信していない情報を抽出(未配信抽出)など多彩な機能を搭載しています。

●確実な運用をサポート

すべてのプレーヤー端末の稼働状況をリアルタイムに確認でき、確実な運用をサポートします。

また、情報分析機能により、放映するためのコンテンツや運用管理情報が配信されているかをシステムが解析し、配信漏れや登録漏れ等のオペレーションミスによる放映障害を防ぎます。

●多彩で自由な映像表現

画面解像度に応じて、最大 6 種類のフレームパターンがプリセットされています(解像度によりパターン数は異なります)。滑らかな美しいテロップが最大2本、静止画や動画は最大4分割での表示が可能です。

■商標

- Microsoft、Windows、Windows Media、Power Point、Power Point Viewer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe、Adobe Reader、Flash は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本製品に含まれているソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- NMstage は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■著作権

本製品には、ログ検索など一部の機能でデータを圧縮・解凍するため、UNLHA32.DLL for Win32 Ver 1.86c を使用しており、著作権は Micco が保有しています。それ以外のソフトウェアは、パナソニック株式会社が著作権を保有しております。

もくじ

| | | |
|-------|------------------|----|
| 1 | 本システムの概要 | 5 |
| 1.1 | 本システムの概要 | 6 |
| 1.1.1 | システムの構成 | 6 |
| 1.1.2 | 各機器の働き | 6 |
| 1.2 | 用語の説明 | 7 |
| 1.2.1 | 本システムで使用する用語について | 7 |
| 1.2.2 | 表記について | 8 |
| 2 | ご使用の前に | 9 |
| 2.1 | 作業の流れ | 10 |
| 2.1.1 | 作業フローについて | 10 |
| 2.1.2 | 各作業について | 10 |
| 2.2 | 事前の準備 | 11 |
| 2.2.1 | 放映の構成について | 11 |
| 2.2.2 | コンテンツを制作する | 13 |
| 2.2.3 | コンテンツ登録からカレンダー登録 | 15 |
| 2.3 | 起動と終了 | 16 |
| 2.3.1 | 管理サーバー | 16 |
| 2.3.2 | 操作端末 | 17 |
| 3 | 操作端末の操作方法 | 19 |
| 3.1 | 画面の構成 | 20 |
| 3.1.1 | 画面の説明 | 20 |
| 3.2 | 端末を登録する | 22 |
| 3.3 | コンテンツを登録する | 24 |
| 3.3.1 | 静止画コンテンツについて | 24 |
| 3.3.2 | テロップコンテンツについて | 27 |
| 3.4 | プレイリストを登録する | 30 |
| 3.5 | スケジュールを登録する | 32 |
| 3.6 | カレンダーを登録する | 35 |
| 3.7 | 配信する | 37 |
| 3.8 | 表示を確認する | 41 |
| 3.8.1 | スケジュールを更新する | 41 |
| 3.8.2 | 表示を確認する | 43 |
| 4 | 機能説明 | 45 |
| 4.1 | マルチユーザ | 46 |
| 4.1.1 | ユーザの概要 | 46 |
| 4.1.2 | 切り替え方法について | 46 |
| 4.1.3 | 機能画面の表示 | 46 |
| 4.2 | 端末を管理する | 47 |
| 4.2.1 | グループの概要 | 47 |
| 4.3 | 登録情報を管理する | 48 |
| 4.3.1 | 共通、個別、グループの概要 | 48 |
| 4.4 | 画面の構成 | 50 |
| 4.4.1 | ランチャー | 51 |
| 4.4.2 | 機能画面 | 55 |
| 4.5 | コンテンツ | 56 |
| 4.5.1 | 概要 | 56 |
| 4.5.2 | 画面の説明 | 57 |
| 4.5.3 | 登録する | 59 |
| 4.5.4 | 通常コンテンツを連続して登録する | 65 |

| | | |
|--------|-----------------|-----|
| 4.5.5 | 編集する | 66 |
| 4.5.6 | 表示する | 69 |
| 4.5.7 | エクスポートする | 71 |
| 4.5.8 | 削除コンテンツを完全に削除する | 72 |
| 4.6 | プレイリスト | 73 |
| 4.6.1 | 概要 | 73 |
| 4.6.2 | 画面の説明 | 74 |
| 4.6.3 | 登録、編集する | 78 |
| 4.6.4 | 登録、編集を中断する | 80 |
| 4.6.5 | 表示時間について | 81 |
| 4.6.6 | コマンドについて | 82 |
| 4.6.7 | 登録済みプレイリストを編集する | 82 |
| 4.6.8 | プレビューする | 83 |
| 4.7 | スケジュール | 85 |
| 4.7.1 | 概要 | 85 |
| 4.7.2 | 画面の説明 | 85 |
| 4.7.3 | 登録、編集する | 89 |
| 4.7.4 | 開始、終了時刻を変更する | 91 |
| 4.7.5 | コマンドについて | 92 |
| 4.7.6 | 登録済みスケジュールを編集する | 93 |
| 4.8 | カレンダー | 94 |
| 4.8.1 | 概要 | 94 |
| 4.8.2 | 画面の説明 | 94 |
| 4.8.3 | 登録、編集する | 96 |
| 4.8.4 | 登録、編集を中断する | 98 |
| 4.8.5 | 詳細表示について | 98 |
| 4.8.6 | エクスポートする | 99 |
| 4.9 | 配信する | 100 |
| 4.9.1 | 概要 | 100 |
| 4.9.2 | 画面の説明 | 100 |
| 4.9.3 | 配信情報について | 102 |
| 4.9.4 | リクエストを登録する | 103 |
| 4.9.5 | リクエスト登録を変更する | 107 |
| 4.9.6 | 削除した情報の配信について | 108 |
| 4.9.7 | 配信状況を確認する | 109 |
| 4.9.8 | 配信の詳細仕様について | 110 |
| 4.10 | 端末を監視、制御する | 111 |
| 4.10.1 | 概要 | 111 |
| 4.10.2 | 画面の説明 | 111 |
| 4.10.3 | 端末稼働の詳細情報を確認する | 115 |
| 4.10.4 | 端末監視 | 117 |
| 4.10.5 | コンテンツ割り込み表示を行う | 118 |
| 4.10.6 | プレイリスト割り込み表示を行う | 122 |
| 4.10.7 | 端末稼働ログ集計を確認する | 125 |
| 4.11 | チャンネル | 126 |
| 4.11.1 | 概要 | 126 |
| 4.11.2 | 画面の説明 | 126 |
| 4.11.3 | 登録、編集する | 128 |
| 4.12 | インタラクティブ | 130 |
| 4.12.1 | 概要 | 130 |
| 4.12.2 | 登録する | 130 |

| | | |
|----------|---------------------|-----|
| 4.13 | ログ参照 | 132 |
| 4 .13 .1 | 概要 | 132 |
| 4 .13 .2 | ログのフォーマットについて | 132 |
| 4 .13 .3 | 画面の説明 | 133 |
| 4 .13 .4 | サーバーログを参照する | 135 |
| 4 .13 .5 | サーバーログを検索する | 137 |
| 4 .13 .6 | 端末ログを検索する | 139 |
| 4.14 | 端末登録 | 140 |
| 4 .14 .1 | 概要 | 140 |
| 4 .14 .2 | 画面の説明 | 140 |
| 4 .14 .3 | 登録、編集する | 142 |
| 4 .14 .4 | インポートする | 146 |
| 4 .14 .5 | 自動コンフィグレーションについて | 147 |
| 4 .14 .6 | 正規IDの初期化 | 150 |
| 4 .14 .7 | 記録を記入する | 151 |
| 4.15 | 情報分析 | 152 |
| 4 .15 .1 | 概要 | 152 |
| 4 .15 .2 | 画面の説明 | 153 |
| 4 .15 .3 | 情報分析を実行する | 156 |
| 4 .15 .4 | 配信を登録する | 157 |
| 4.16 | ポップアップエラーメッセージの見方 | 159 |
| 4.17 | PDP 監視設定について | 160 |
| 4 .17 .1 | 標準設定を行う | 160 |
| 4 .17 .2 | 非監視日を設定する | 163 |
| 4 .17 .3 | 特別日を設定する | 164 |
| 4 .17 .4 | 設定の適用状況を確認する | 165 |
| 4.18 | NM-OPEの設定を変更する | 166 |
| 4 .18 .1 | NM-OPE 設定変更ツールを起動する | 166 |
| 5 | 管理サーバーの操作方法 | 168 |
| 5.1 | NM-SVR の設定を変更する | 169 |
| 5 .1 .1 | NM-SVR 設定変更ツールを起動する | 169 |
| 6 | 仕様について | 172 |
| 6.1 | 放映ログ | 173 |
| 6 .1 .1 | 概要 | 173 |
| 6 .1 .2 | ログのフォーマットについて | 173 |
| 6.2 | 仕様について | 175 |
| 7 | トラブルシューティング | 176 |

1 本システムの概要

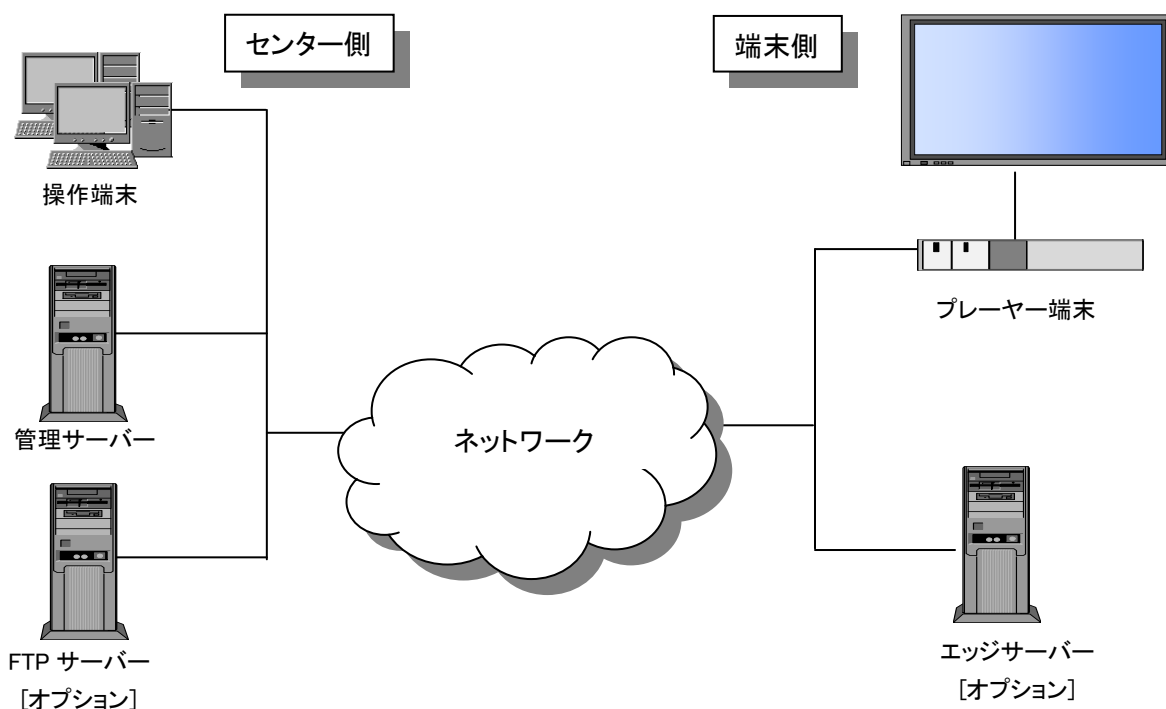
1.1 本システムの概要

1.1.1 システムの構成

本システムは、情報の登録や管理を行うセンター側と、情報を放映する端末側のシステムで構成されます。システム構成例を以下に示します。



- 管理サーバーならびに操作端末は、管理された場所に設置してください。



1.1.2 各機器の働き

- 管理サーバー
本システムのセンター側に配置されている中核のサーバー装置です。すべての端末の管理・制御を行います。
- 操作端末
管理サーバーに対して、コンテンツや運用管理情報の登録・配信などの指示を行ったり、運用状況をモニターしたりするための操作用端末です。1台の管理サーバーに最大4台接続が可能です。
- FTPサーバー [オプション]
コンテンツや運用管理情報など、各種ファイルのプレーヤー端末への配信をサポートします。通常構成では管理サーバーで機能を兼用します。大規模システムを構築する場合、オプションとして、FTPサーバーを最大3台まで別途設置することも可能です。
- プレーヤー端末
FTPサーバーから入手したスケジュールやコンテンツを受信し、放映スケジュールに従って、PDPなどのディスプレイに放映する再生用端末です。(標準品としてNMコントローラまた、HD(High Definition)対応のNMコントローラEXがあります。)
- エッジサーバー [オプション]
プレーヤー端末への配信をサポートします。大規模システムを構築する場合のオプション機能として、管理サーバーの配信時の負荷を軽減するために設置します。

1.2 用語の説明



1.2.1 本システムで使用する用語について

本資料で使用する用語の意味を以下に説明します。

| 分類 | 用語 | 意味 |
|---------|------------------------------------|---|
| 全般 | NM-SVR | 管理サーバーのソフトウェアです。 |
| | NM-OPE | 操作端末のソフトウェアです。 |
| | NM-FTP | FTP サーバーのソフトウェアです。 |
| | NM-PLR | プレーヤー端末のソフトウェアです。 |
| | NM-ES | エッジサーバーのソフトウェアです。 |
| | 管理サーバー | NM-SVR がインストールされている装置です。 |
| | 操作端末 | NM-OPE がインストールされている装置です。 |
| | FTP サーバー | NM-FTP がインストールされている装置です。 |
| | プレーヤー端末 | NM-PLR がインストールされている装置です。 |
| | エッジサーバー | NM-ES がインストールされている装置です。 |
| | 端末 | 管理サーバーの管理対象となる装置すべてです。 |
| | ユーザ | 複数のユーザを登録し、コンテンツや運用管理情報などのすべての情報をユーザごとに別管理することが可能です。ASP サービス等の特別な使い方をする場合以外は複数登録する必要はありません。 |
| | アカウント | 操作端末でログインする時のログイン名です。 |
| | 端末グループ | 本システムにおいて、複数端末への一括操作を実行するために設定する単位です。端末登録時に所属するグループを設定します。 |
| ディスプレイ | 表示装置を指し、本システムでは基本的に当社製 PDP を想定します。 | |
| コンテンツ | コンテンツ | ディスプレイに表示させる動画や静止画、テキスト等です。 |
| | ID | コンテンツの管理番号です。 |
| | 通常コンテンツ | 動画や静止画のコンテンツです。 |
| | テロップコンテンツ | ディスプレイの右から左へ流れるテキスト文字のコンテンツです。 |
| | サムネイル | コンテンツのイメージを小さく表示したものです。 |
| | カテゴリ | コンテンツを管理上、分類したものです。 |
| | 共通コンテンツ | すべてのプレーヤー端末で利用可能なコンテンツです。 |
| 個別コンテンツ | 特定のプレーヤー端末でのみ利用可能なコンテンツです。 | |
| フレーム | フレーム | 分割された画面領域です。 |
| | H1～H4 | 通常コンテンツを割り当てる表示領域です。 |
| | S1、S2 | テロップコンテンツを割り当てる表示領域です。 |
| プレイリスト | プレイリスト | フレームパターンと其中で表示するコンテンツの組み合わせです。 |
| | 共通プレイリスト | すべてのプレーヤー端末で利用可能なプレイリストです。共通コンテンツのみ登録可能です。 |
| | 個別プレイリスト | 特定のプレーヤー端末でのみ利用可能なプレイリストです。該当プレーヤー端末の個別コンテンツ、共通コンテンツが登録可能です。 |
| スケジュール | スケジュール | プレイリストを1日の時系列に関連付けた情報です。 |
| | 共通スケジュール | すべてのプレーヤー端末で利用可能なスケジュールです。共通プレイリストのみ登録可能です。 |
| | グループスケジュール | 端末グループに設定されているプレーヤー端末で利用可能なスケジュールです。共通プレイリストのみ登録可能です。 |
| | 個別スケジュール | 特定のプレーヤー端末でのみ利用可能なスケジュールです。該当プレーヤー端末の個別プレイリスト、共通プレイリストが登録可能です。 |
| カレンダー | カレンダー | スケジュールに任意の登録期間に関連付けた情報です。 |
| 配信管理 | 配信管理 | プレーヤー端末への配信状況を確認します。 |
| 端末監視 | 端末監視 | 登録されている端末の稼働状態を監視します。 |
| ログ参照 | ログ参照 | ログを確認し、端末の状況を確認します。 |
| 端末登録 | 端末登録 | 監視が必要な端末を登録します。 |
| 配信 | 配信 | コンテンツや運用管理情報を端末にダウンロードする操作です。 |
| チャンネル | チャンネル | 通常放映と切り替えて放映する複数コンテンツの組み合わせです。 |
| 情報分析 | 情報分析 | 各端末の運用情報の登録状況や配信状況を確認します。 |

1.2.2 表記について

本資料の表記方法を以下に説明します。

| 分類 | 用語 | 意味 |
|-------|---|---|
| マウス | クリック | 操作の対象上で、マウスの左ボタンを1回押します。 |
| | 右クリック | 操作の対象上で、マウスの右ボタンを1回押します。 |
| | ダブルクリック | 操作の対象上で、マウスの左ボタンを2回押します。 |
| | ドラッグ | 操作の対象上で、マウスの左ボタンを押したまま、移動します。 |
| | ドラッグ&ドロップ | 目的のところまでドラッグし、マウスの左ボタンを離します。 |
| 全体 |  | 誤った取り扱いをしないための注意事項です。 |
| |  | 操作のポイントや概念、製品を取り扱う上で、知っておくと便利な機能です。 |
| | 参照先 | 他ドキュメントや、他ページを参照する場合の参照先を【 】で記載します。 |
| | ボタン、タブ | 『 』で記載します。 |
| | 操作画面の表示項目 | 「 」で記載します。 |
| キーボード | キー | 囲みで記載します。 Ex.コントロールキー Ctrl |
| | 2つ以上のキーを同時に押す | +でつないで記載します。 Ex. Ctrlを押しながら Alt を押す Ctrl + Alt |

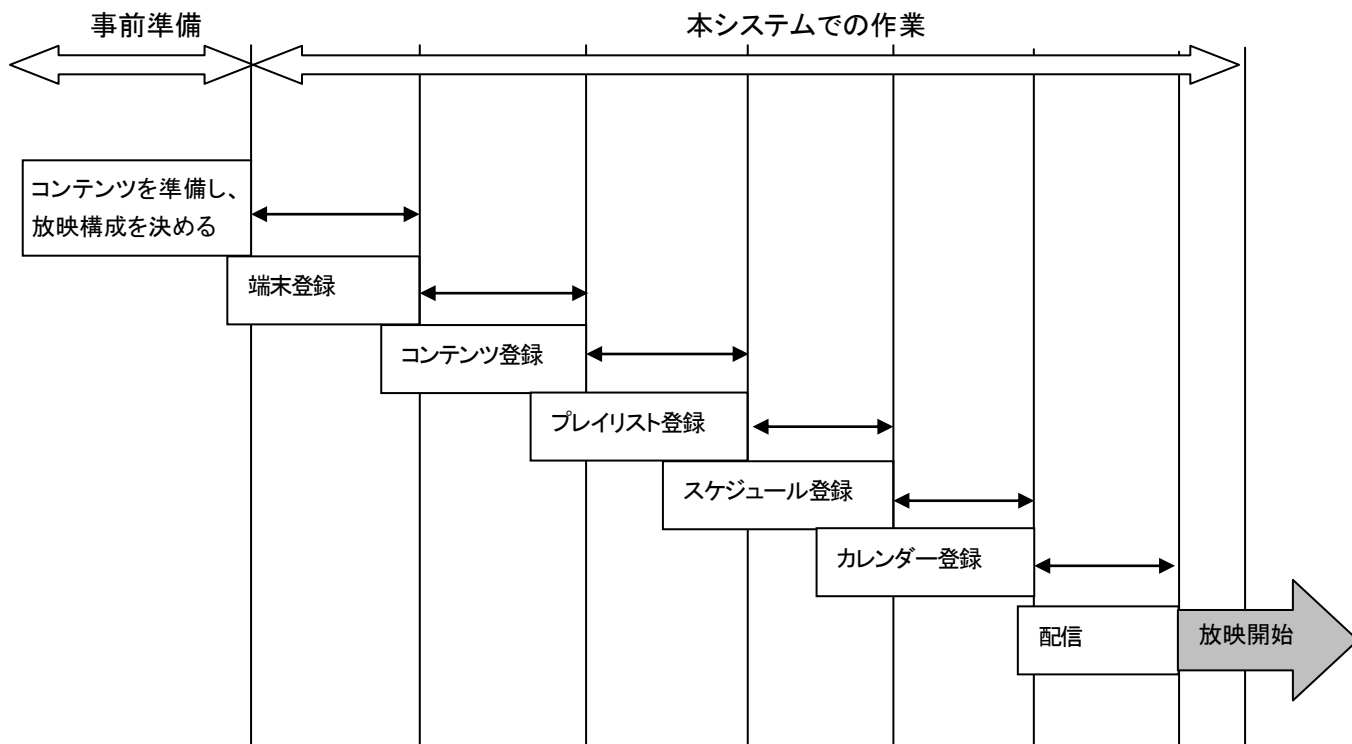
2 ご使用の前に

2.1 作業の流れ

プレーヤー端末でコンテンツを放映するまでには、複数の業務や事前確認が必要となります。以下に放映コンテンツの入手から放映開始日までの主な業務を記述します。

2.1.1 作業フローについて

作業のおおまかなフローは以下の通りです。



2.1.2 各作業について

各作業について説明します。

| 項目 | 説明 |
|------------------|--|
| コンテンツの準備。放映構成の決定 | 放映するコンテンツを制作または入手し、放映構成を検討します。 |
| 端末登録 | 端末を管理サーバーに登録します。すべての端末は管理サーバーに登録することで稼働監視や配信などの運用が可能になります。 |
| コンテンツ登録 | コンテンツを管理サーバーに登録します。すべてのコンテンツは管理サーバーに登録することで本システムにて利用可能になります。 |
| プレイリスト登録 | フレームパターンと各フレームで表示するコンテンツを指定し、プレイリストとして登録します。 |
| スケジュール登録 | プレイリストを1日の時系列に指定し、スケジュールとして登録します。 |
| カレンダー登録 | スケジュールに任意の登録期間を指定し、カレンダーとして登録します。 |
| 配信 | 登録したコンテンツやカレンダー等の情報をプレーヤー端末へ配信します。 |
| 表示確認 | 配信後に、実際にプレーヤー端末で表示されているかを確認します。本運用の前に、必ず意図通りに表示されているかをご確認ください。 |

2.2 事前の準備

本システムをご使用になる前の事前準備について説明します。まず、放映構成を策定します。具体的には、コンテンツの画面上の表示場所(フレームパターン)、放映時刻や期間を計画します。

2.2.1 放映の構成について

プレーヤー端末上の画面をあらかじめ定義されたフレームパターンで分割することにより、1画面に複数のコンテンツ内容を表示することが可能です。このフレームパターンとコンテンツの組み合わせをプレイリストと呼びます。その後、作成したプレイリストに実際の放映時刻や期間を指定して放映構成を決定します。フレームサイズはプレーヤー端末で設定した解像度に合わせて選択してください。

●フレームパターン一覧(通常)

| フレームパターン | フレームサイズ 1280 × 768 | フレームサイズ 852 × 480 | フレームサイズ 1366 × 768 | フレームサイズ 1024 × 768 | フレームサイズ 1920 × 1080 |
|----------|--|--|--|--|---|
| | H1: 1280 × 768 | H1: 852 × 480 | H1: 1366 × 768 | H1: 1024 × 768 | H1: 1920 × 1080 |
| | H1: 864 × 648 H2: 416 × 648 S1: 1280 × 120 | H1: 538 × 405 H2: 314 × 405 S1: 852 × 75 | H1: 864 × 648 H2: 502 × 648 S1: 1366 × 120 | H1: 864 × 648 H2: 160 × 648 S1: 1024 × 120 | H1: 1227 × 910 H2: 693 × 910 S1: 1920 × 170 |
| | H1: 864 × 648 H2: 416 × 648 S1: 1280 × 60 S2: 1280 × 60 | H1: 538 × 405 H2: 314 × 405 S1: 852 × 38 S2: 852 × 37 | H1: 864 × 648 H2: 502 × 648 S1: 1366 × 60 S2: 1366 × 60 | H1: 864 × 648 H2: 160 × 648 S1: 1024 × 60 S2: 1024 × 60 | — |
| | H1: 1280 × 648 S1: 1280 × 120 | H1: 852 × 405 S1: 852 × 75 | H1: 1366 × 648 S1: 1366 × 120 | H1: 1024 × 648 S1: 1024 × 120 | H1: 1920 × 910 S1: 1920 × 170 |
| | H1: 1280 × 648 S1: 1280 × 60 S2: 1280 × 60 | H1: 852 × 405 S1: 852 × 38 S2: 852 × 37 | H1: 1366 × 648 S1: 1366 × 60 S2: 1366 × 60 | H1: 1024 × 648 S1: 1024 × 60 S2: 1024 × 60 | — |
| | H1: 1024 × 768 H2: 256 × 768 | H1: 640 × 480 H2: 212 × 480 | H1: 1024 × 768 H2: 342 × 768 | H1: 768 × 768 H2: 256 × 768 | — |
| | — | — | H1: 683 × 384 H2: 683 × 384 H3: 683 × 384 H4: 683 × 384 | — | — |



●フレームパターン一覧(縦)

| フレームパターン | フレームサイズ 1080 × 1920 |
|----------|-----------------------------------|
| | H1: 1080 × 1920 |
| | H1: 1080 × 810 H2: 1080 × 1110 |

注意！！

- 縦のフレームパターンを使用する場合は、テロップコンテンツを使用することはできません。
- 縦のフレームパターンではパワーポイントを表示することができませんので、パワーポイントコンテンツは使用しないでください。

●プレイリスト例

| フレームパターン | H1 | H2 | H3 | H4 | S1 | S2 |
|---|--------------|-----|----|----|-----------|----|
|  | ・館内情報 | | | | | |
|  | ・CM1 ・CM2 | ・ロゴ | | | ・ご挨拶メッセージ | |

2.2.2 コンテンツを制作する

プレーヤー端末で放映できるコンテンツの種別は、静止画、動画、Flash など多岐にわたります。コンテンツを制作するにあたって、表示するフレームサイズや放映時間に留意して制作する必要があります。

| 分類 | 種別 | データ形式 | 参考値・留意事項 |
|---------|----------|---|---|
| 通常 | 動画 | MPEG1 | アスペクト比 : 4:3 エンコードレート : 1.2~1.5 M bps ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます |
| | | MPEG2 | アスペクト比 : 4:3 または 16:9 エンコードレート : CBR 8 M bps オーディオ : 44.1kHz または 48kHz ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます |
| | | MPEG2 HD | アスペクト比 : 16:9 エンコードレート : CBR 25 M bps オーディオ : 48kHz ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます |
| | | Windows Media ファイル(WMV) | アスペクト比 : 4:3 または 16:9 エンコードレート : CBR 3 M bps オーディオ : 44.1kHz または 48kHz ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます ※アドバンスドコーデックには対応していません |
| | | Windows Media ファイル(WMV) HD | アスペクト比 : 16:9 エンコードレート : CBR 10 M bps オーディオ : 48kHz ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます ※アドバンスドコーデックには対応していません |
| | 静止画 | BMP、JPEG | ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます |
| | HTML/URL | HTML | Internet Explorer 6 SP2 にて表示可能なこと 表示サイズをフレームサイズに合わせる |
| アニメーション | Flash | Adobe Flash にて制作したもの ※フレームの表示サイズに応じて自動補正されます ※お使いのプレーヤー端末に搭載されている Flash Player のバージョンに合わせて制作してください。なお、専用コントローラには Flash Player 10 が搭載されています。 | |
| パワーポイント | PPS | スライドショー形式で保存したもの 全画面表示のみ ※縦のフレームパターンには使用できません | |
| テロップ | テロップ | テキスト | 半角 2,000 文字まで |
| | 背景 | BMP、JPEG | フレーム内にオリジナルサイズで繰り返し表示される |



- フレームサイズよりもコンテンツサイズが小さい場合は、拡大表示、大きい場合は縮小表示されます。(専用コントローラ上での「H1」動画再生時のみアスペクト比を保持します。)拡大表示をすると、画質が悪くなる場合があります。高解像度のディスプレイで放映する際、画質が顕著に表れますので、表示するフレームサイズに合わせてコンテンツを制作し、高画質での保存をお勧めします。
- 本システムではコンテンツの音量に関する制御は行っていません。放映時のコンテンツの音量は作成時の音量レベルに依存しますのでコンテンツ制作時に同一の音量レベルで制作する様、ご注意ください。



- 上記の条件で制作されたコンテンツで動作検証を実施しておりますが、コンテンツの制作環境によっては本システムで正常に動作しない可能性があります。必ず、本運用前にお客様の環境にて、意図通りにコンテンツが表示されるかをご確認ください。次の MPEG フォーマットにて動作検証を行っておりますが、エンコーダの仕様により、映像の表示や音がでないことがあります。また、操作端末にて表示可能であってもプレーヤー端末では表示できないことがありますので必ずプレーヤー端末にて確認のうえご使用ください。

Supported Formats

- MPEG-1 System Stream
- MPEG-2 Program Stream
- MPEG-2 Transport Stream

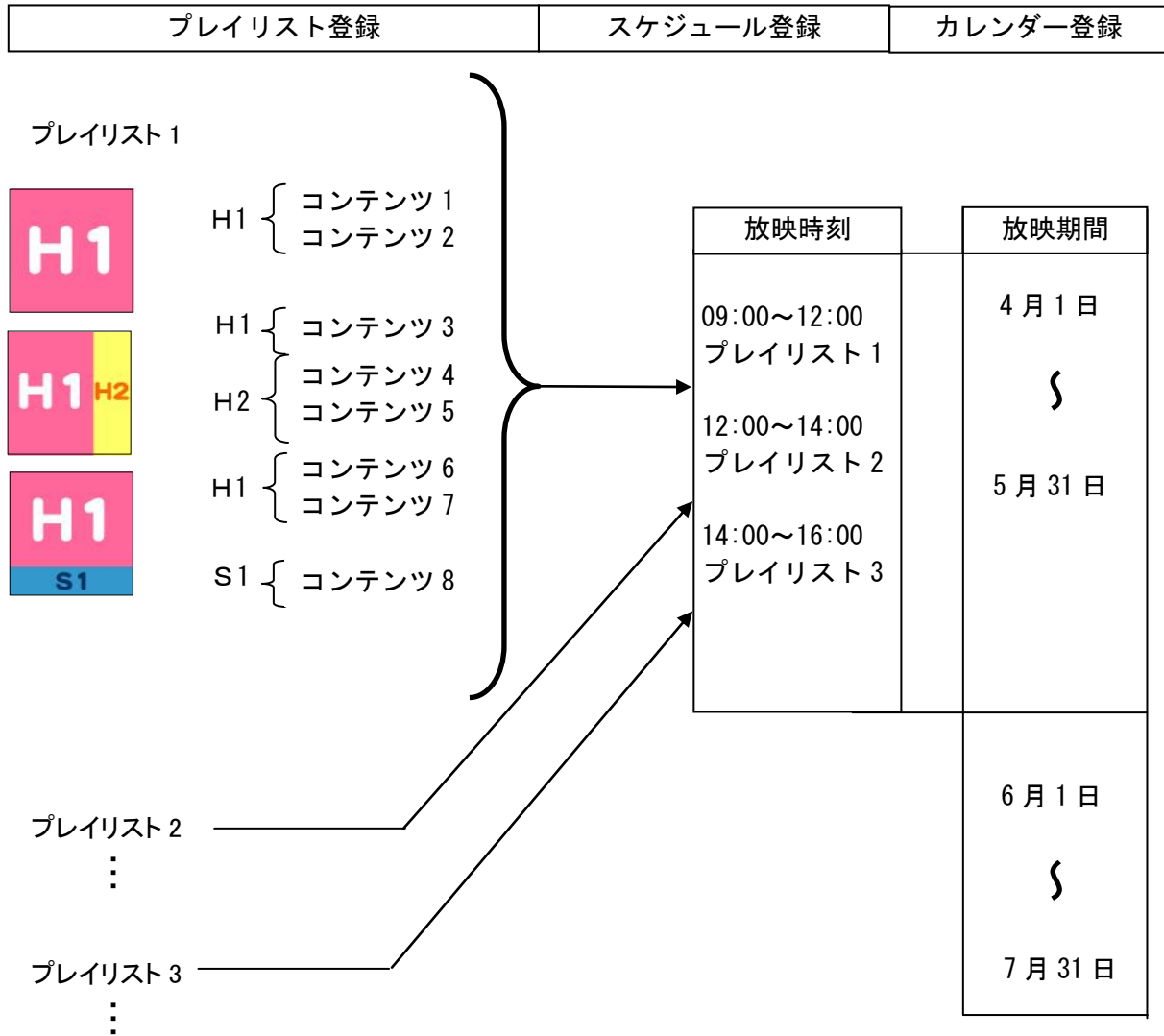
Audio

- MPEG-1 Audio Layer II

- HTML ファイルのサイズ設定と表示する領域サイズによっては、スクロールバーが出る場合があります。
- WMV 形式の動画コンテンツによっては、画面上にノイズが発生することが確認されています。このような場合は、MPEG2形式に変換してご使用ください。
- 登録できるコンテンツのファイル名称は、半角 132 文字までです。なお、HTML コンテンツ(拡張子が“html・htm”)の場合のみ半角 64 文字までとなります。

2.2.3 コンテンツ登録からカレンダー登録

登録したコンテンツは、フレームパターンと組み合わせてプレイリストとして登録します。次にプレイリストに実際の放映に合わせて時刻指定し、スケジュールとして登録します。最後にスケジュールに実際の放映時刻と年・月・日を合わせて指定し、カレンダーとして登録します。

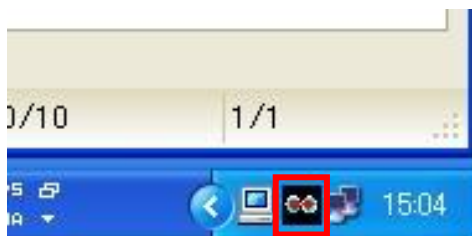


2.3 起動と終了

2.3.1 管理サーバー


2.3.1.1 起動する

管理サーバーの電源を入れて管理サーバー用ユーザでログインすると、自動的に NM-SVR が起動され、以下のようにタスクバーにアイコンが表示されます。



2.3.1.2 終了する

(1) アイコンから終了

タスクバー上の JOBCONTROL アイコン  にマウスカーソルを合わせ、右クリックすると、以下のメニューが表示されます。メニューを選択してください。

- Allend(sysend)
NM-SVR のプロセス群をすべて終了します。
- Shutdown
管理サーバーをシャットダウンします。
- Reboot
管理サーバーを再起動します。



(2) キーボードから終了

Ctrl + **Alt** + **E**、**N**、**D** (**Ctrl** + **Alt** を押しながら、**END**) と押すと、NM-SVR のプロセス群がすべて終了します。



- Windows OS の起動後に、約 497 日以上連続稼働すると、プログラムの一部が動作停止してしまうことがあります。少なくとも、1 年間に 1 回再起動して下さい。この問題は Windows OS に依存します。

2.3.2 操作端末

2.3.2.1 起動する

STEP 1 操作端末の電源を入れ、NM-OPE 用ユーザでログインし、デスクトップの以下のアイコンをダブルクリックします。



- NM-SVR が正常に起動し、操作端末から NM-SVR 上の共有設定されているインストールフォルダが参照可能な状態になっている必要があります。詳細については【取扱説明書(インストール編)管理サーバーソフト V3.0】をご参照ください。



STEP 2 ログイン画面が表示されます。接続先の「管理サーバー」(①)で、接続する管理サーバーを選択します。



- 接続する管理サーバーを選択すると、管理サーバーとの接続を確認します。接続ができない場合は、エラーパネルが表示されますのでネットワークの接続環境や設定内容をご確認ください。

STEP 3 アカウントで、操作端末にログインするための「ログイン ID」(②)、「パスワード」(③)を入力し、『ログイン』をクリックします。正常にログインすると、コンテンツ画面が表示されます。

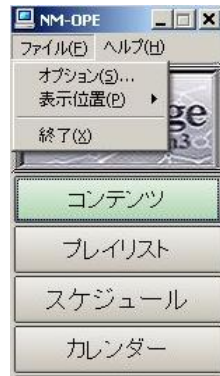


- ログイン ID、パスワードは大文字、小文字の区別に注意して入力してください。
- 間違ったパスワードを4回入力すると、ログイン画面が終了します。その場合は再度ログイン画面を起動して正しいパスワードを入力してください。
- ログイン ID ならびにパスワードは、忘れないようご注意ください。また、適切な場所に保管してください。忘れた場合は、システム管理者にパスワードの再発行を依頼してください。

2.3.2.2 終了する

(1)メニューから終了

ランチャー上のメニューバー→「ファイル」→「終了」をクリックします。確認画面が表示されますので、『はい』をクリックすると、終了します。




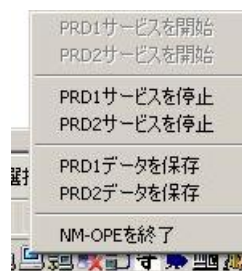
(2)ランチャーの終了ボタンから終了

タイトルバーの「終了」ボタンをクリックします。確認画面が表示されますので、『はい』をクリックすると終了します。



(3)アイコンから終了

タスクバー上の NM-OPE アイコン  にマウスカursorを合わせ、右クリックすると、以下のメニューが表示されます。「NM-OPE を終了」をクリックします。確認画面が表示されますので、『はい』をクリックすると終了します。



- 「NM-OPE を終了」以外のメニューは、通常は操作しません。
- PRD1、2 は、NM-SVR との通信状態を管理するプログラムです。NM-SVR との通信に異常がある場合に、開始、または終了を行います。
 - 「PRD1 (PRD2)サービスを開始」: サービスが停止している場合、サービスを開始します。
 - 「PRD1 (PRD2)サービスを停止」: サービスを停止します。
 - 「PRD1 (PRD2)データを保存」 : データをファイルに保存します。

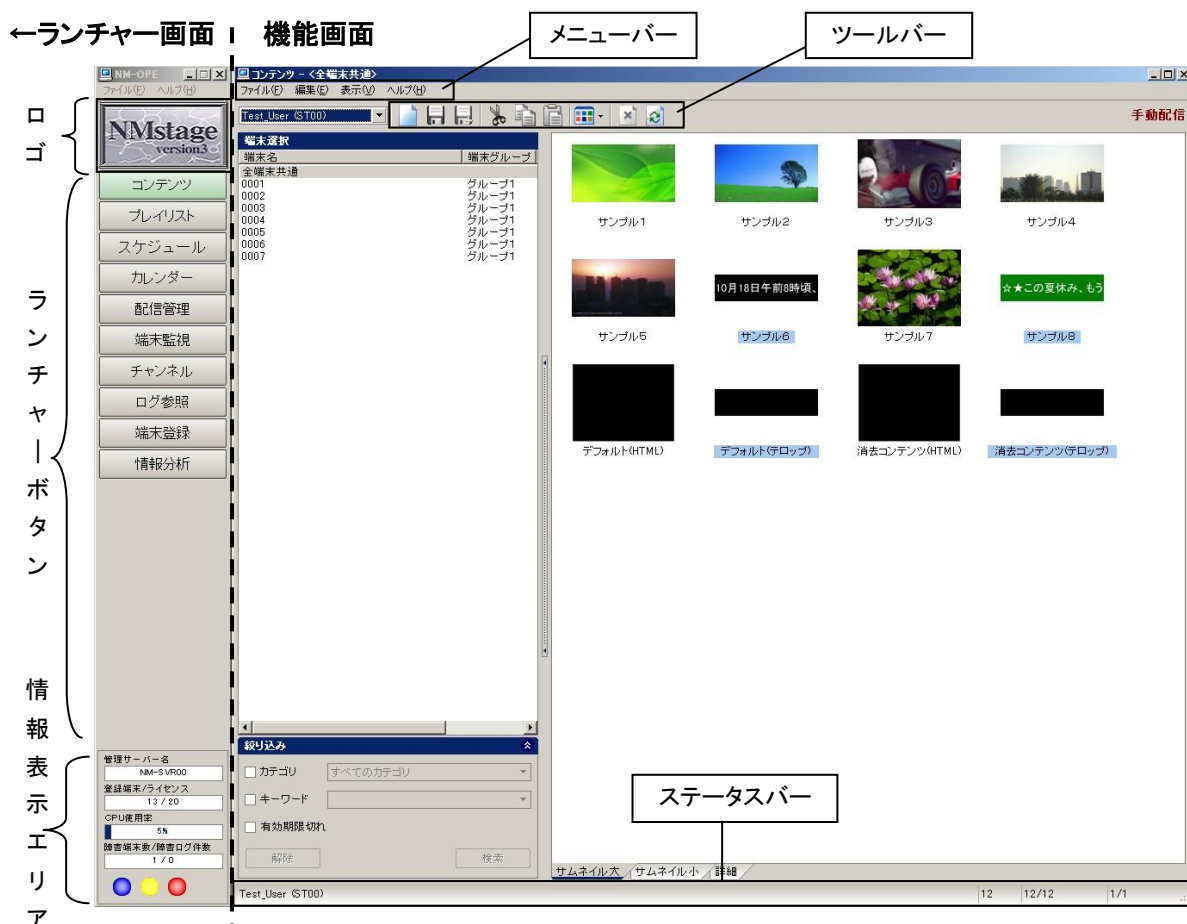
3 操作端末の操作方法

3.1 画面の構成

3.1.1 画面の説明

ランチャー画面と機能画面の2画面で構成され、以下の特徴を持っています。

| 項目 | 表示位置 | 表示サイズ | その他 |
|---------|-----------|---|--------|
| ランチャー画面 | 左側または右側のみ | 幅 : 固定 高さ: 768 ドット(XGA)以上で変更可能 | 最前面に表示 |
| 機能画面 | 自由に配置が可能 | 幅 : 1024 ドット(XGA)以上で変更可能 高さ: 768 ドット(XGA)以上で変更可能 | |



| 項目 | 説明 |
|---------------------|---|
| タイトルバー※1 | 画面名、選択端末名、編集ファイル名などを表示します。最小化、最大化、終了アイコンが配置されています。 |
| メニューバー※1 | 「ファイル」、「編集」、「表示」、「ヘルプ」などのメニュー項目を表示します。 |
| ツールバー (機能画面のみ) | 左端には、ユーザ選択コンボボックス、次にアイコンツールを配置、右端には、配信モードを表示します。ユーザ選択コンボボックスはユーザが複数登録されている場合にのみ表示されます。配信モードは機能画面によっては表示されません。 |
| ステータスバー (機能画面のみ) | 左端にユーザ名(ユーザコード)を表示、左端から各機能画面の状態(ステータス)を表示します。 |
| サイズ | 1024×768ドット(XGA)以上で画面サイズの変更が可能です。変更されたサイズ、位置を記憶し、次回起動時に反映します。 |
| 列幅などの保持 | 列幅や、タブ位置をファイルに記憶し、次回起動時に反映します。 |

※1:ランチャー、各機能画面で表示される内容が異なります。

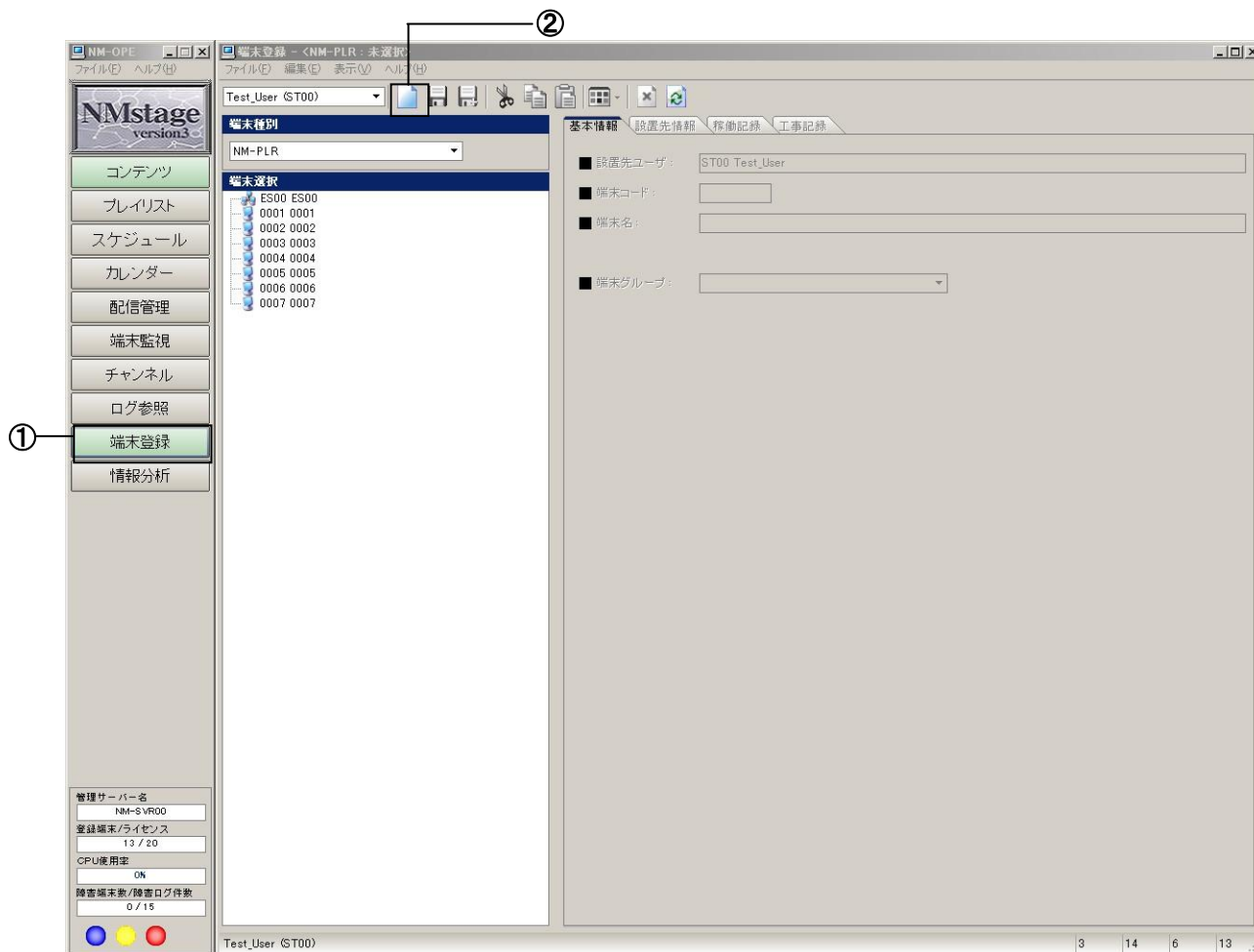
● ツールバー

| アイコン | 内容 |
|---|-----------|
|  | 新規登録 |
|  | 保存 |
|  | 名前を付けて保存 |
|  | 切り取り |
|  | コピー |
|  | 貼り付け |
|  | 表示(リスト表示) |
|  | 編集内容を破棄 |
|  | 最新の情報に更新 |

3.2 端末を登録する

すべての端末は管理サーバーに登録することで稼働監視や配信などの制御を行うことができます。ここでは、プレーヤー端末を登録する手順を説明します。以下の手順説明では同一ユーザを対象とすることを前提とします。(ただし、登録されているユーザが1ユーザのみの場合は、ツールバーにユーザ選択コンボボックスは表示されません)

STEP 1 ランチャー画面から『端末登録』①を選択し、新規登録アイコン②をクリックします。



STEP 2 端末登録画面が新規登録編集モードに変化しますので、「端末コード」を半角英数字 4 文字、「端末名」を半角 32 文字以内 (③) で入力します。「端末グループ」、「FTP サーバー」(④) を選択します。



● 必要に応じて他の端末グループ、FTP サーバーを選択します。

STEP 3 保存アイコン (⑤) をクリックすると、確認画面が表示されます。『OK』をクリックすると、新しい端末が登録されます。

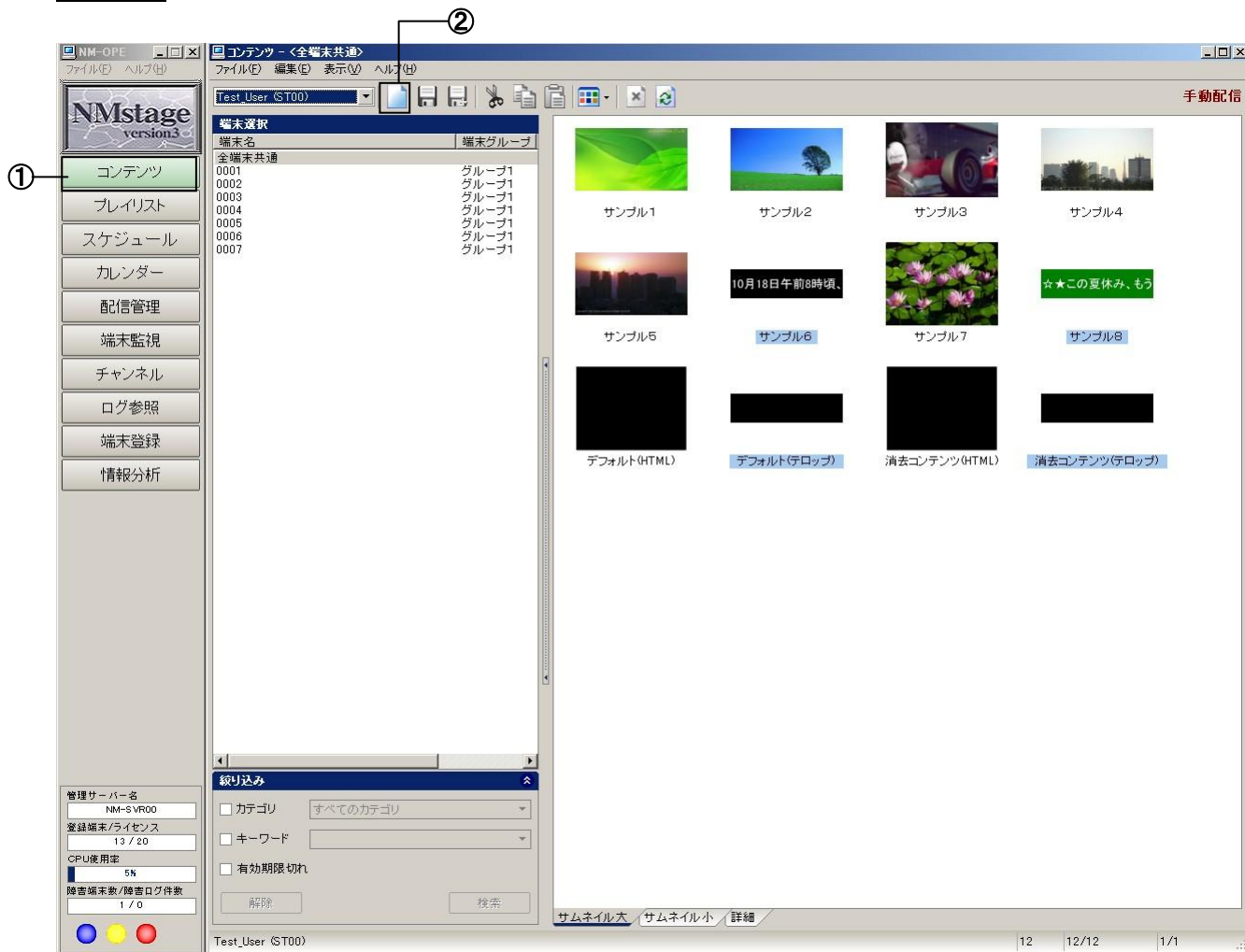
3.3 コンテンツを登録する

コンテンツを管理サーバーに登録します。

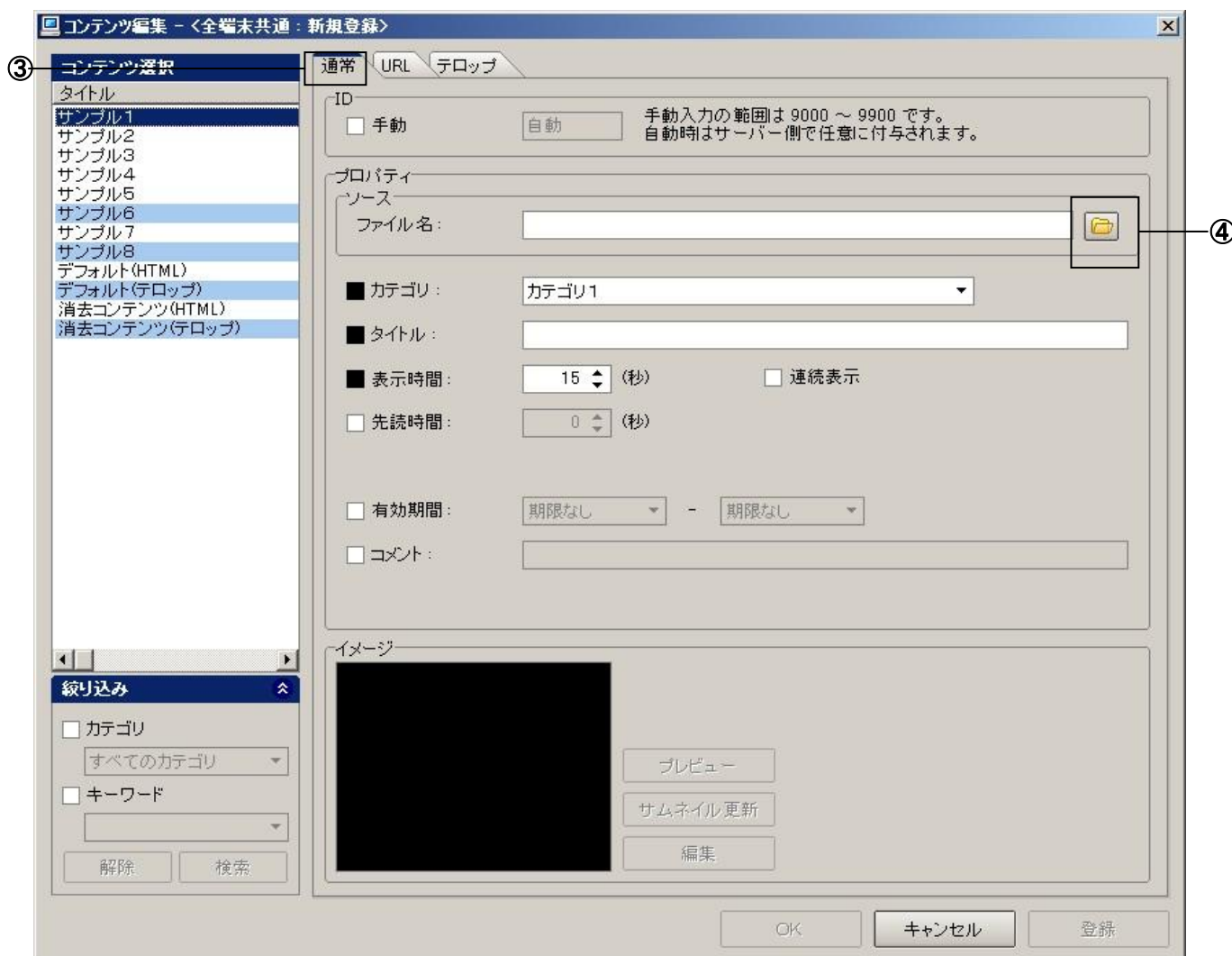
ここでは、すべての端末で使用可能な共通コンテンツを登録する場合について説明します。以下、登録するコンテンツ種別は、静止画(BMP/JPEG)とテロップに限定して説明します。

3.3.1 静止画コンテンツについて

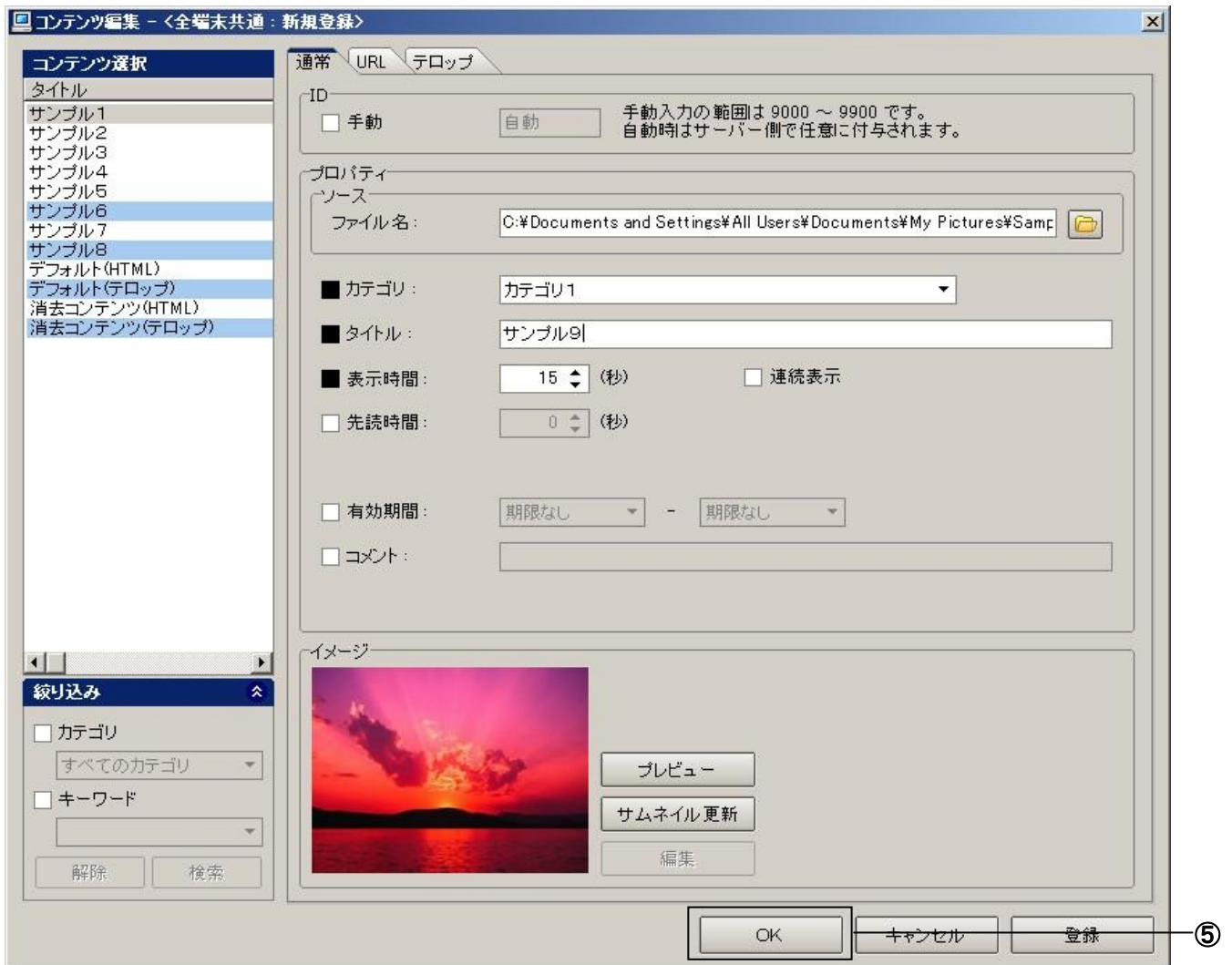
STEP 1 ランチャー画面から『コンテンツ』(①)を選択し、新規登録アイコン(②)をクリックします。



STEP 2 コンテンツ編集-〈全端末共通:新規登録〉画面が表示され、『通常』タブ(③)が選択されています。
「ソース」→ファイル選択ボタン(④)をクリックし、登録するファイルを選択してください。

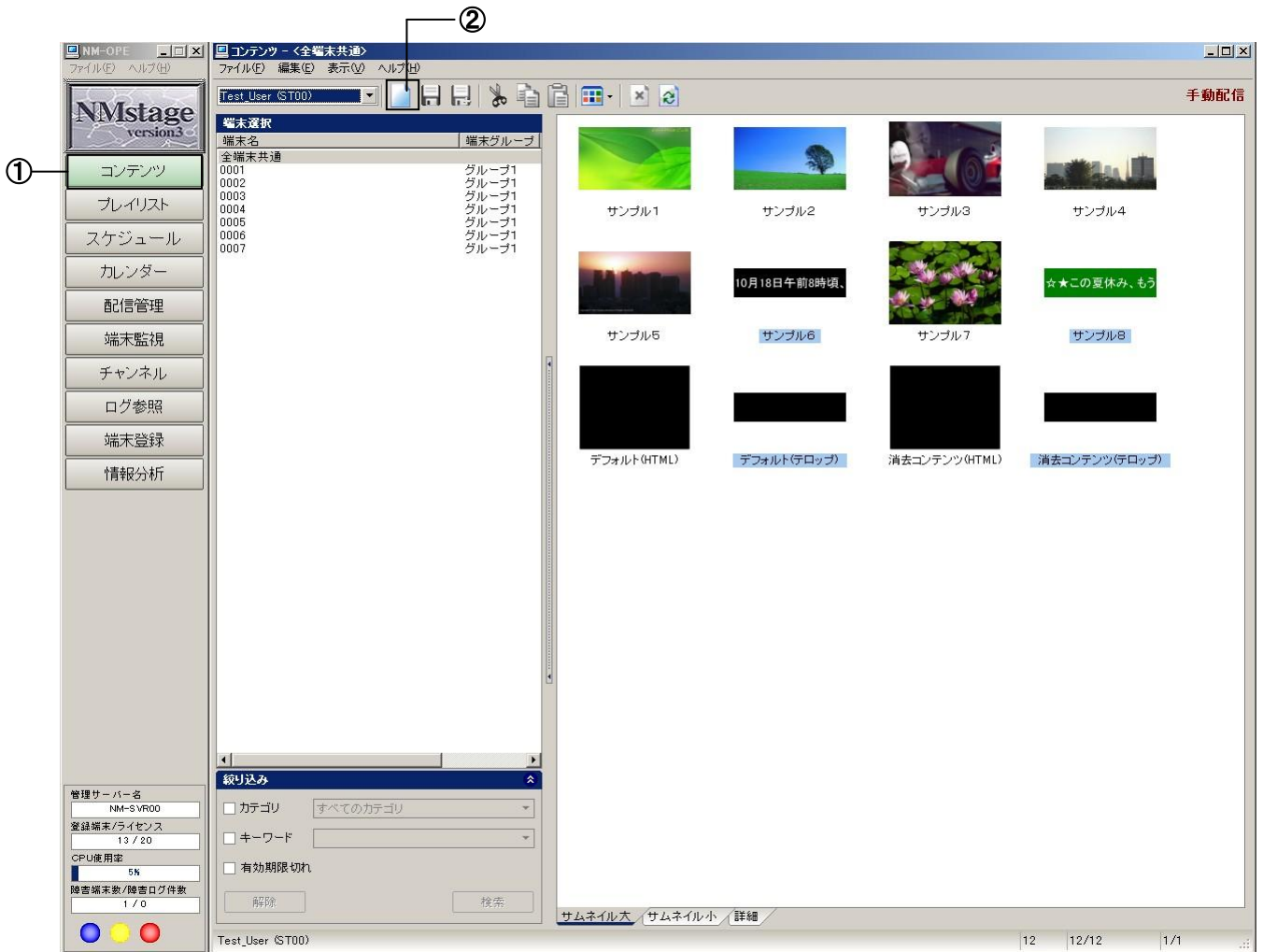


- STEP 3** ファイル名が「タイトル」に表示され、「イメージ」にサムネイルが表示されます。
『OK』(⑤)をクリックすると確認画面が表示され、コンテンツが登録されます。



3.3.2 テロップコンテンツについて

STEP 1 ランチャー画面から『コンテンツ』①を選択して端末選択欄で「全端末共通」が選択状態になっていることを確認してから、新規登録アイコン②をクリックします。



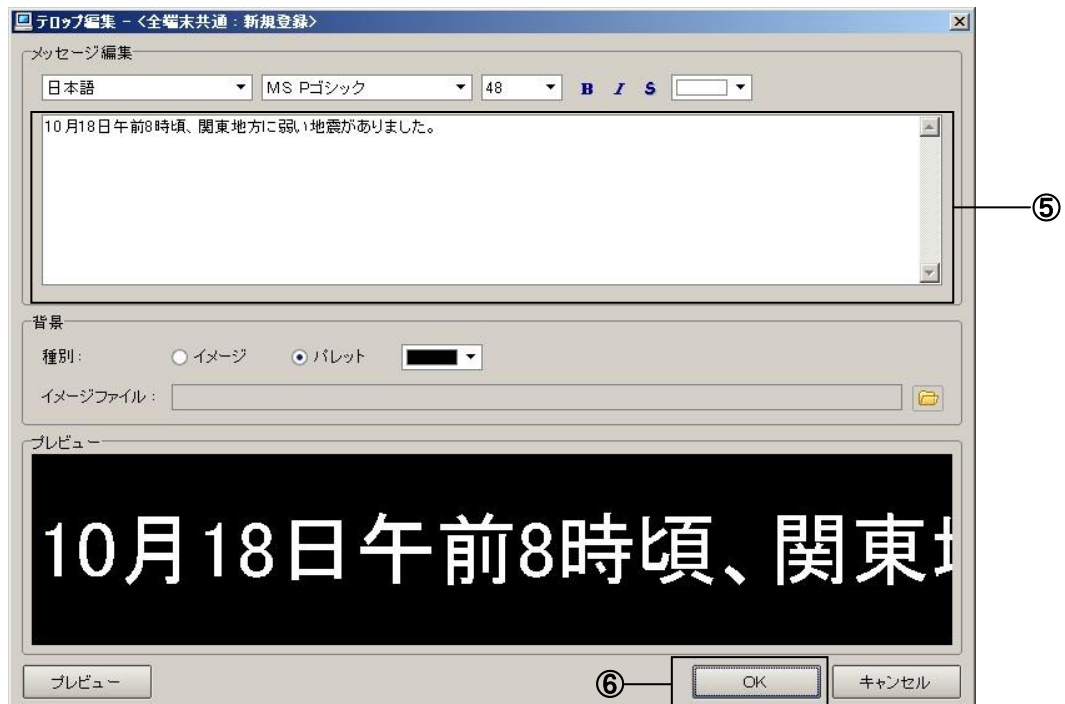
STEP 2 コンテンツ編集-<全端末共通:新規登録>画面が表示されますので、『テロップ』タブ(③)をクリックします。「ソース」->『詳細設定』(④)をクリックします。



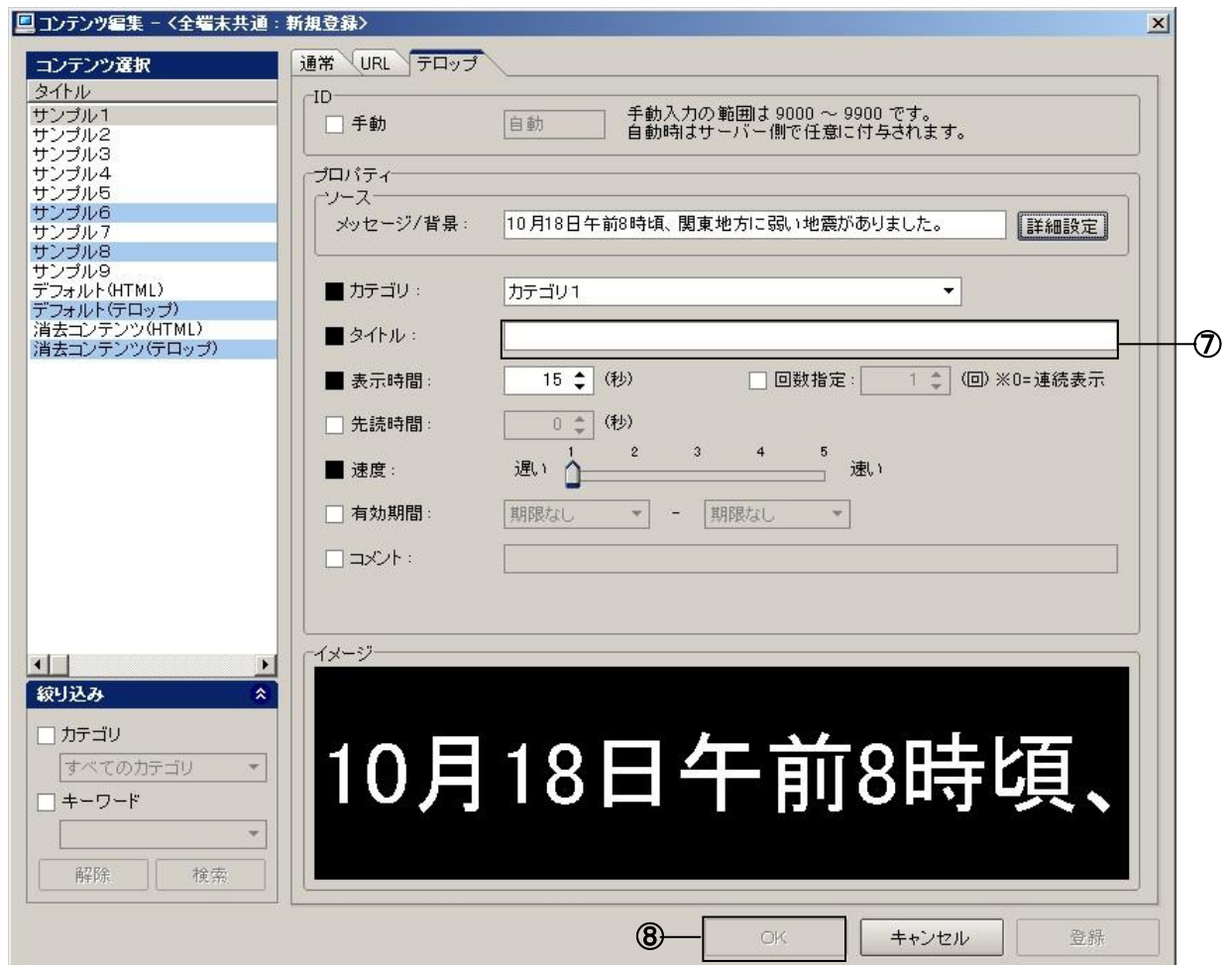
- テロップに表示する文字列の編集は『詳細設定』画面でなく「ソース」欄への直接入力でも編集できます。(ただし、背景は黒色、文字は白色です。背景・文字色等の設定変更はできません)

The screenshot shows the 'コンテンツ編集 - <全端末共通:新規登録>' window. On the left, the 'コンテンツ選択' (Content Selection) list is visible, with 'サンプル1' through 'サンプル9' and 'デフォルト(HTML)', 'デフォルト(テロップ)', '消去コンテンツ(HTML)', and '消去コンテンツ(テロップ)' listed. The 'テロップ' (Teletext) tab is selected, marked with a circled '3'. The 'ソース' (Source) section is expanded, and the '詳細設定' (Detailed Settings) button is highlighted with a circled '4'. The 'ID' section has a checkbox for '手動' (Manual) and a '自動' (Automatic) button. The 'プロパティ' (Properties) section includes a 'メッセージ/背景' (Message/Background) text field, a 'カテゴリ' (Category) dropdown menu set to 'カテゴリ1', a 'タイトル' (Title) text field, a '表示時間' (Display Time) spinner set to 15 seconds, a '回数指定' (Number of Times Specified) checkbox and spinner set to 1, a '先読時間' (Pre-read Time) spinner set to 0, a '速度' (Speed) slider set to '速い' (Fast), and '有効期間' (Validity Period) dropdown menus set to '期限なし' (No Limit). There is also a 'コメント' (Comment) text field. At the bottom, there are 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '登録' (Register) buttons.

STEP 3 入力領域(⑤)にメッセージを入力し、『OK』(⑥)をクリックします。



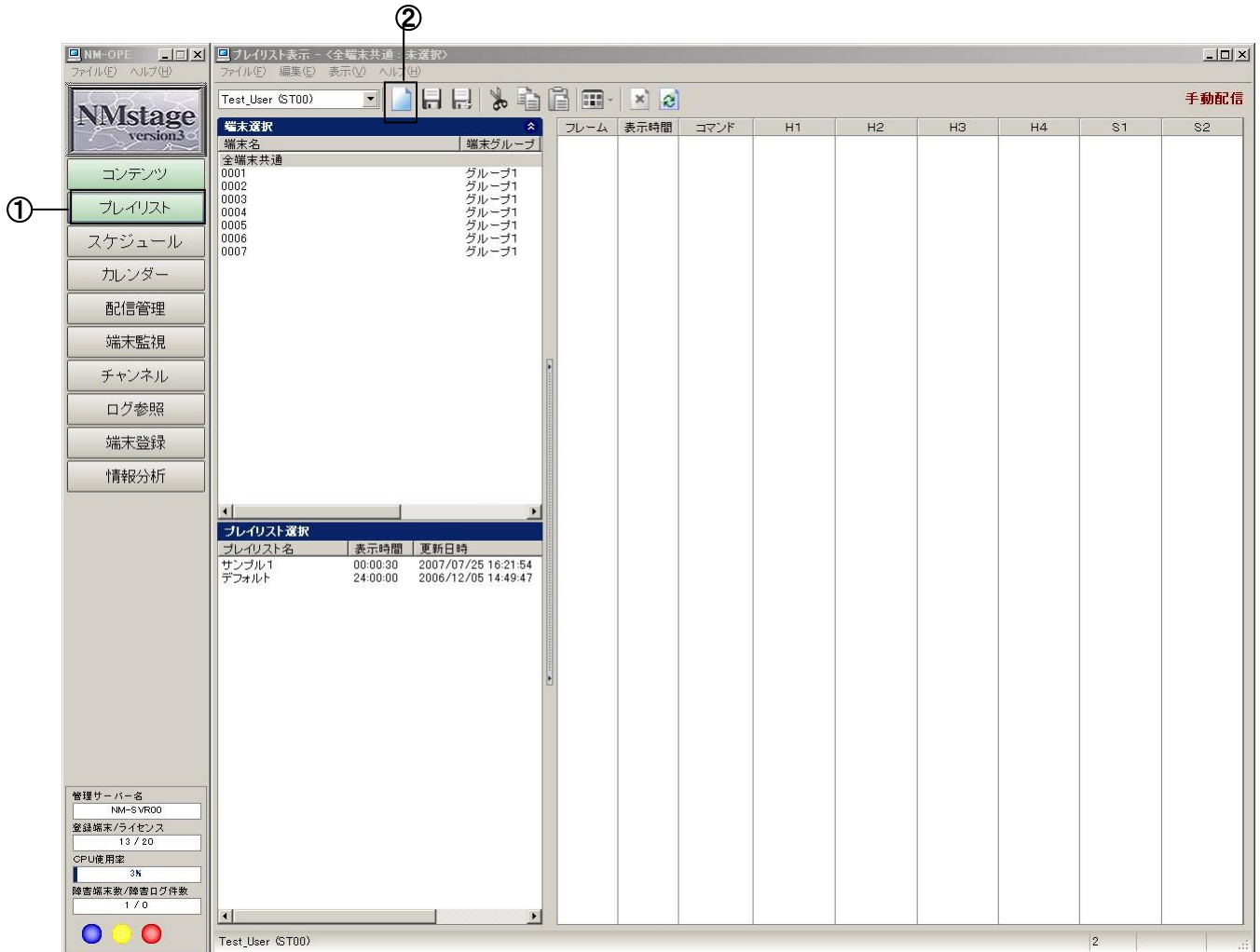
STEP 4 タイトルを入力し(⑦)、『OK』(⑧)をクリックすると確認画面が表示され、テロップが登録されます。



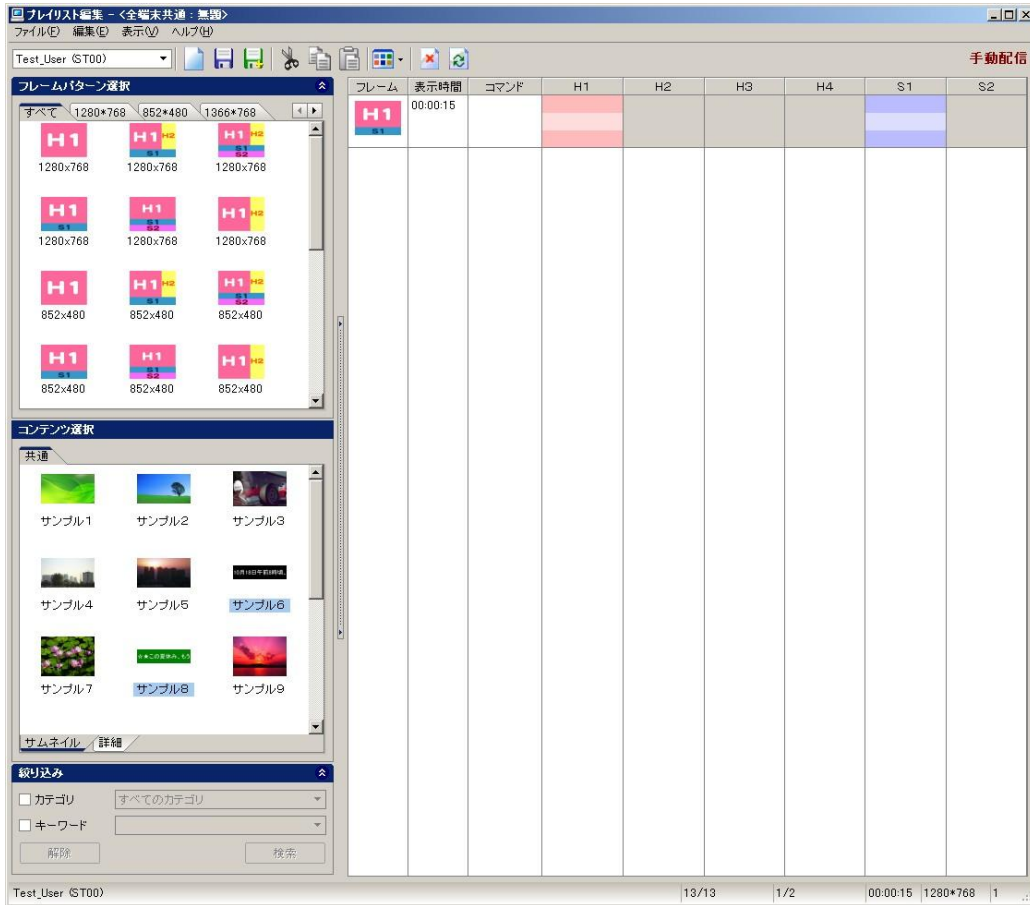
3.4 プレイリストを登録する

コンテンツを表示するフレームパターンに関連付けて、プレイリストを登録します。
ここでは、すべての端末で使用が可能な共通プレイリストを登録する場合に限定して説明します。

- STEP 1** ランチャー画面から『プレイリスト』(①)を選択し、端末選択欄で「全端末共通」が選択状態になっていることを確認してから、新規登録アイコン(②)をクリックすると、プレイリスト編集-<全端末共通>画面が表示されます。



STEP 2 フレームパターン選択領域で、フレームをダブルクリックすると、フレームが追加されます。コンテンツをフレーム領域にドラッグ & ドロップで追加してください。その場合、通常コンテンツは H1～H4 領域に、テロップは S1～S2 領域に追加してください。



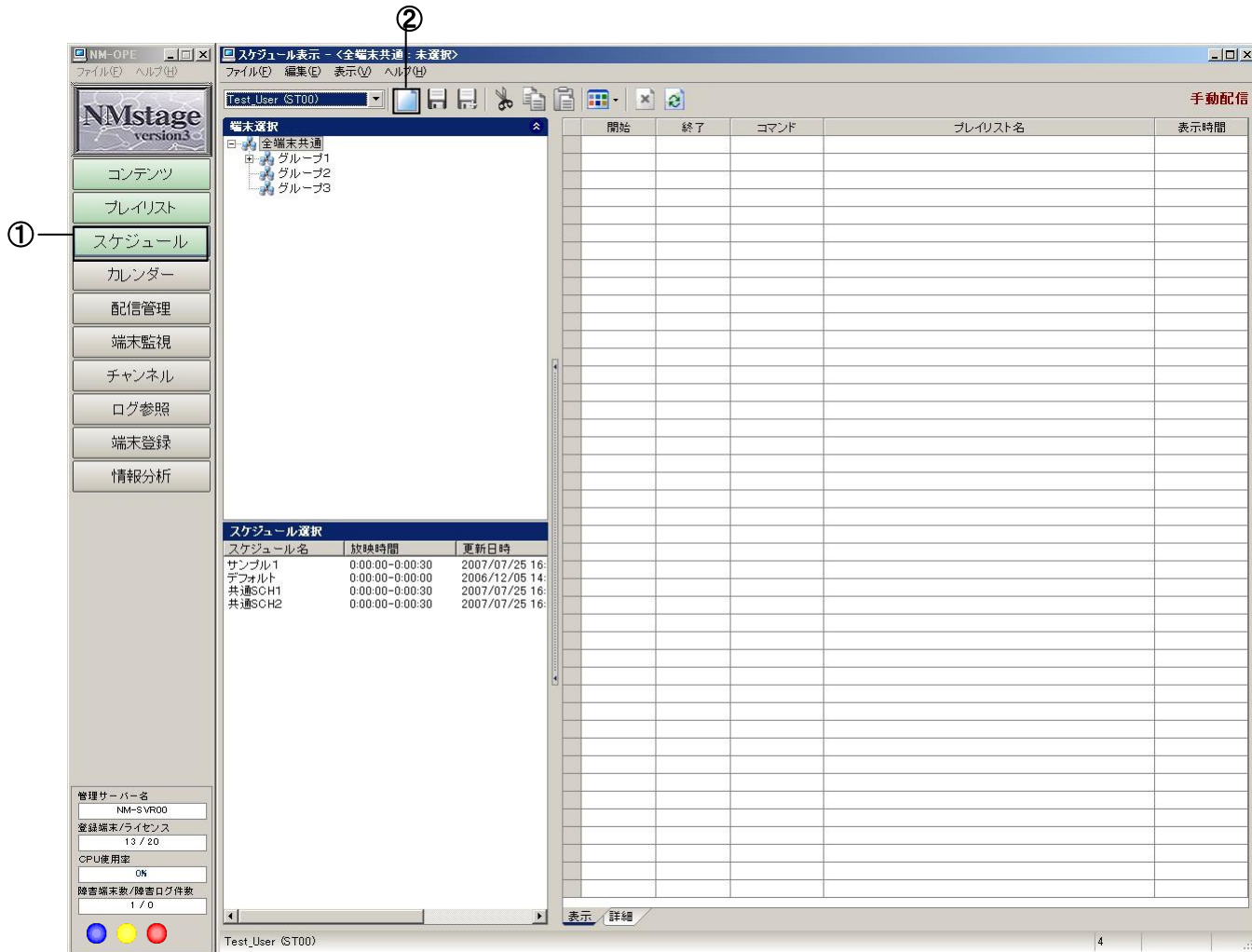
STEP 3 保存アイコンをクリックすると、新規保存-<全端末共通>画面が表示されます。プレイリスト名を入力し、『保存』(③)をクリックすると、確認画面が表示され、プレイリストが登録されます。



3.5 スケジュールを登録する

プレイリストを1日の時刻に関連付けて、スケジュールを登録します。
ここでは、すべての端末で使用が可能な共通スケジュールを登録する場合について説明します。

STEP 1 ランチャー画面から『スケジュール』(①)を選択し、端末選択欄で「全端末共通」が選択状態になっていることを確認してから、新規登録アイコン(②)をクリックします。



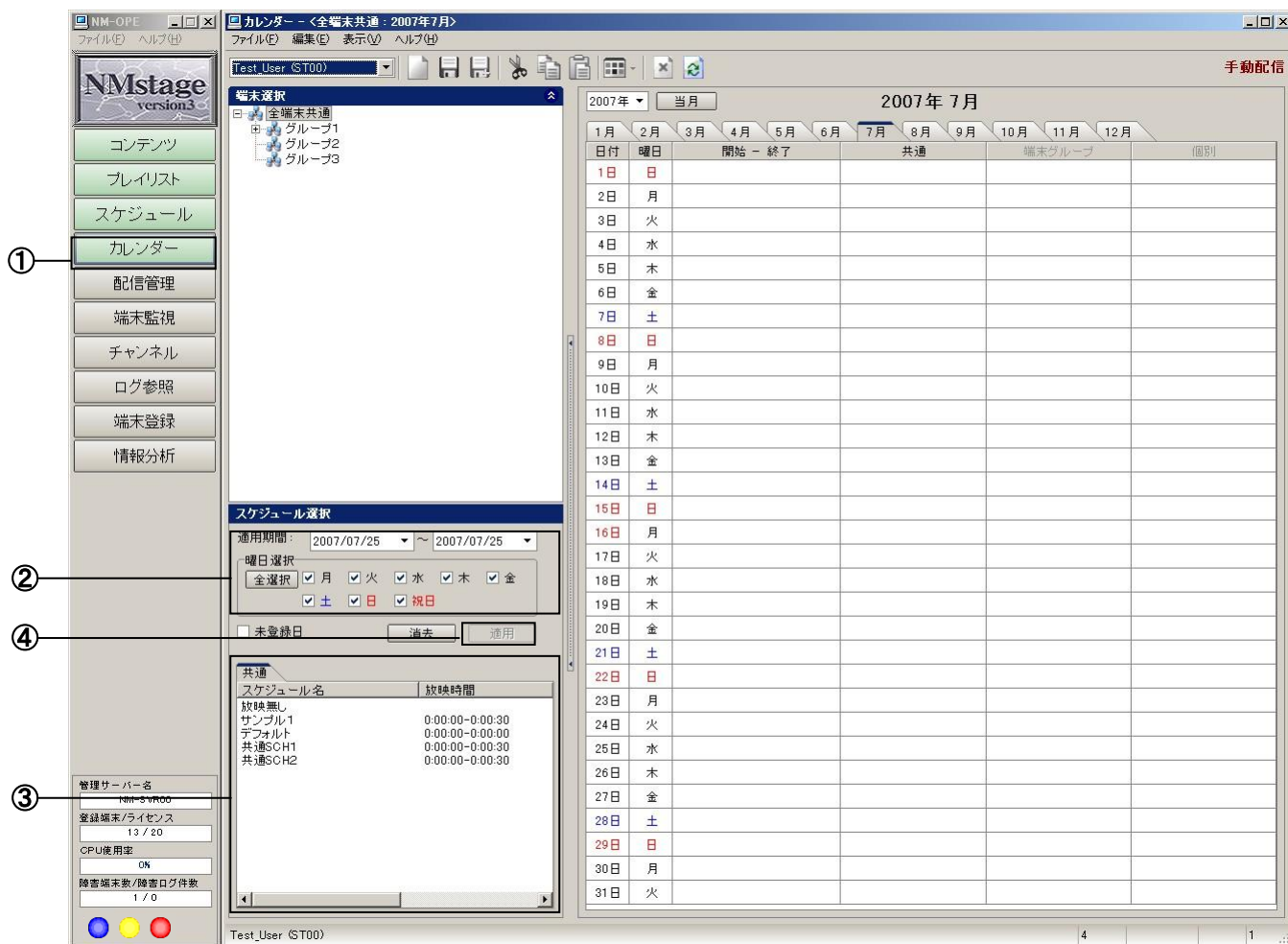
- STEP 4** 保存アイコンをクリックすると、新規保存-<全端末共通>画面が表示されます。
スケジュール名を入力し、『保存』(⑤)をクリックすると、確認画面が表示され、スケジュールが登録されます。



3.6 カレンダーを登録する

スケジュールを表示する年月日に関連付けて、カレンダーを登録します。
ここでは、すべての端末で使用が可能な共通カレンダーを登録する場合について説明します。

STEP 1 ランチャー画面から『カレンダー』(①)を選択し、端末選択欄で「全端末共通」が選択状態になっていることを確認します。



STEP 2 「スケジュール選択」の「適用期間」「曜日選択」(②)を設定します。
スケジュールを選択(③)し、『適用』(④)ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。
『はい』(⑤)をクリックすると、カレンダー内容の「共通」の列に、スケジュールが反映されます。



STEP 3 保存アイコン(⑥)をクリックすると、確認画面が表示され、設定したカレンダーが保存されます。

The screenshot shows a software window titled "カレンダー - <全端末共通: 2007年8月>". The interface includes a menu bar, a toolbar with a circled "6" pointing to the save icon, and a main calendar area. On the left, there are panels for "端末選択" (Terminal Selection) and "スケジュール選択" (Schedule Selection). The main area displays a calendar for August 2007 with a table of dates, days of the week, start/end times, and schedule names.

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|-------------------|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1日 | 水 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 2日 | 木 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 3日 | 金 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 4日 | 土 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 5日 | 日 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 6日 | 月 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 7日 | 火 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 8日 | 水 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 9日 | 木 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 10日 | 金 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 11日 | 土 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 12日 | 日 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 13日 | 月 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 14日 | 火 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 15日 | 水 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 16日 | 木 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 17日 | 金 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 18日 | 土 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 19日 | 日 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 20日 | 月 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 21日 | 火 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 22日 | 水 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 23日 | 木 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 24日 | 金 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 25日 | 土 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 26日 | 日 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 27日 | 月 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 28日 | 火 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 29日 | 水 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 30日 | 木 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |
| 31日 | 金 | 0:00:00 - 0:00:30 | 共通SCH1 | | | | | | | | |

3.7 配信する

登録したコンテンツやスケジュールなどの情報をプレーヤー端末に配信します。
ここでは、自動抽出の場合について説明します。

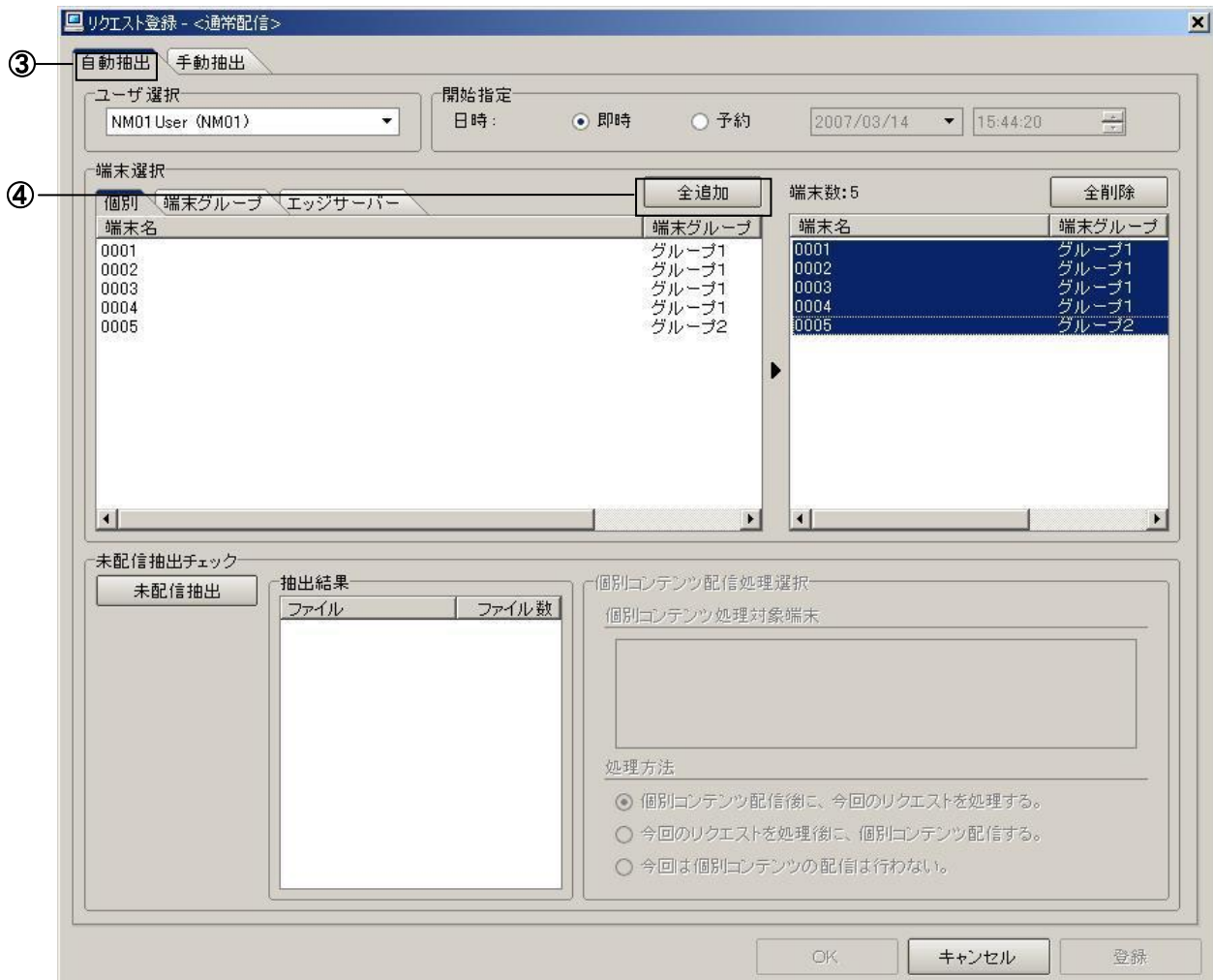
STEP 1 ランチャーボタンから『配信管理』(①)を選択します。リクエスト登録アイコン(②)をクリックすると、リクエスト登録画面が表示されます。



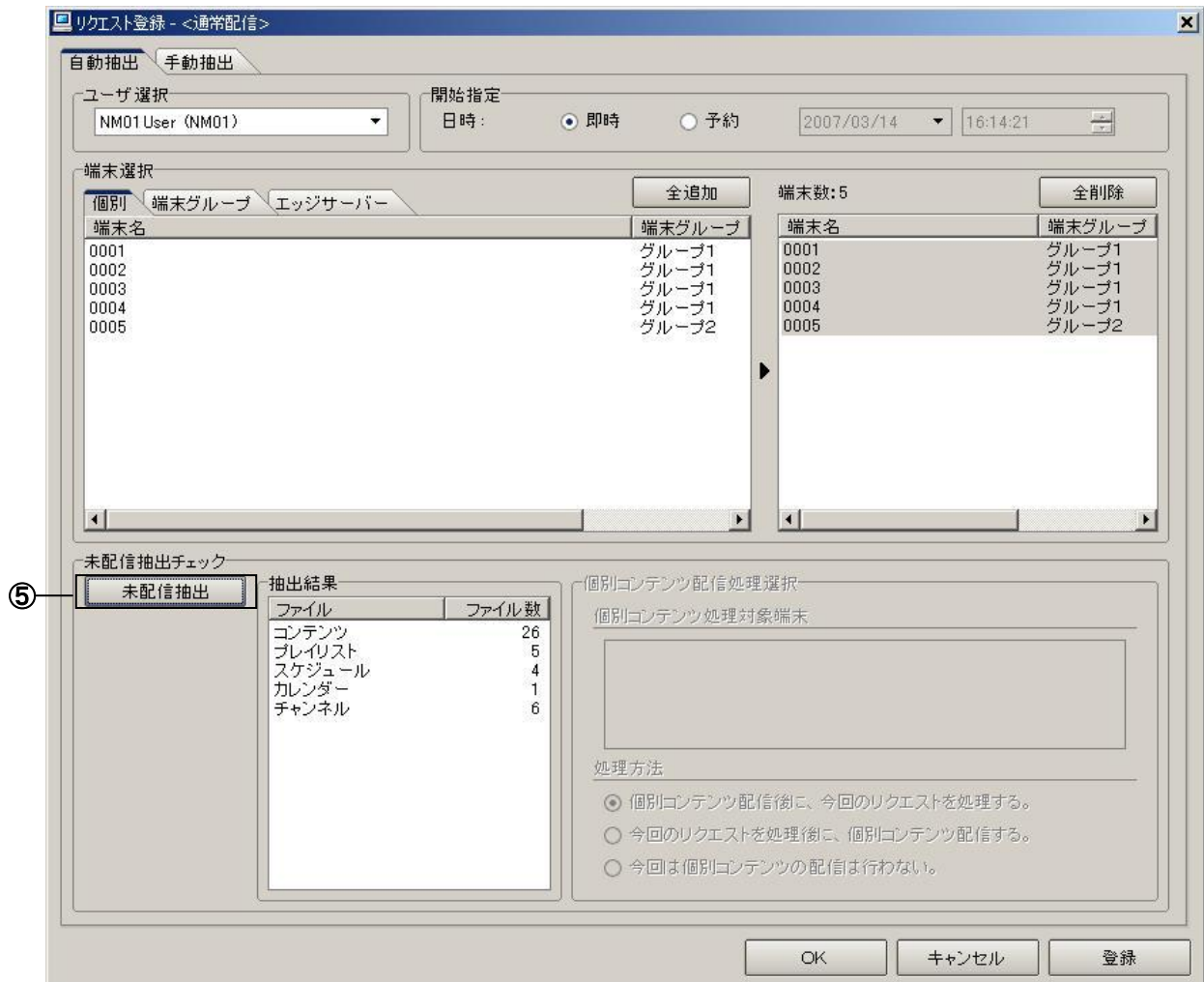
- 通常時の「新規登録」アイコンは、配信管理画面では「リクエスト登録」アイコンになります。

| リクエスト番号 | ユーザ名 | 開始 | 完了 | 処理状態 | 完了予定 | サイズ | 進捗情報 |
|-------------|-----------|---------------------|---------------------|------|------|------|------|
| 07021400002 | NM01 User | 2007/02/14 15:02:28 | 2007/02/14 15:02:31 | 配信完了 | | 1 MB | |
| 07021400001 | NM01 User | 2007/02/14 15:00:34 | 2007/02/14 15:00:43 | 配信完了 | | 1 MB | |

STEP 2 『自動抽出』タブ(③)が選択されています。『全追加』(④)をクリックすることで、プレーヤー端末を配信対象に設定します。



STEP 3 『未配信抽出』(⑤)をクリックします。



STEP 4 未配信のコンテンツやスケジュール等、ファイル数が抽出結果に表示されます。

STEP 5 『OK』(⑥)をクリックすると、確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。

The screenshot shows a software window titled 'リクエスト登録 - <通常配信>'. It has two tabs: '自動抽出' (selected) and '手動抽出'. The '自動抽出' tab contains the following elements:

- ユーザ選択:** A dropdown menu showing 'NM01 User (NM01)'. To its right is a '開始指定' section with '日時:' and radio buttons for '即時' (selected) and '予約'. A date '2007/03/14' and time '16:14:21' are displayed.
- 端末選択:** A section with three sub-tabs: '個別', '端末グループ', and 'エッジサーバー'. The '個別' tab is active, showing two columns: '端末名' and '端末グループ'. The left column lists 0001-0005 with groups 'グループ1' and 'グループ2'. The right column shows a preview of the selected items, with '端末数: 5' and a '全削除' button.
- 未配信抽出チェック:** A section with a '未配信抽出' button and a table titled '抽出結果':

| ファイル | ファイル数 |
|--------|-------|
| コンテンツ | 26 |
| プレイリスト | 5 |
| スケジュール | 4 |
| カレンダー | 1 |
| チャンネル | 6 |
- 個別コンテンツ配信処理選択:** A section with a '個別コンテンツ処理対象端末' list box and a '処理方法' section with three radio buttons:
 - 個別コンテンツ配信後に、今回のリクエストを処理する。
 - 今回のリクエストを処理後に、個別コンテンツ配信する。
 - 今回は個別コンテンツの配信は行わない。

At the bottom, there are three buttons: 'OK', 'キャンセル', and '登録'. The 'OK' button is circled with a 6 in a circle.

STEP 6 配信管理画面で、先ほど配信したリクエストの処理状態を確認します。「配信完了」になれば、配信が完了しています。



- 配信中に、リクエスト登録画面で該当リクエストをダブルクリックすると、配信状況画面が表示されます。配信の進捗状況を確認することができます。

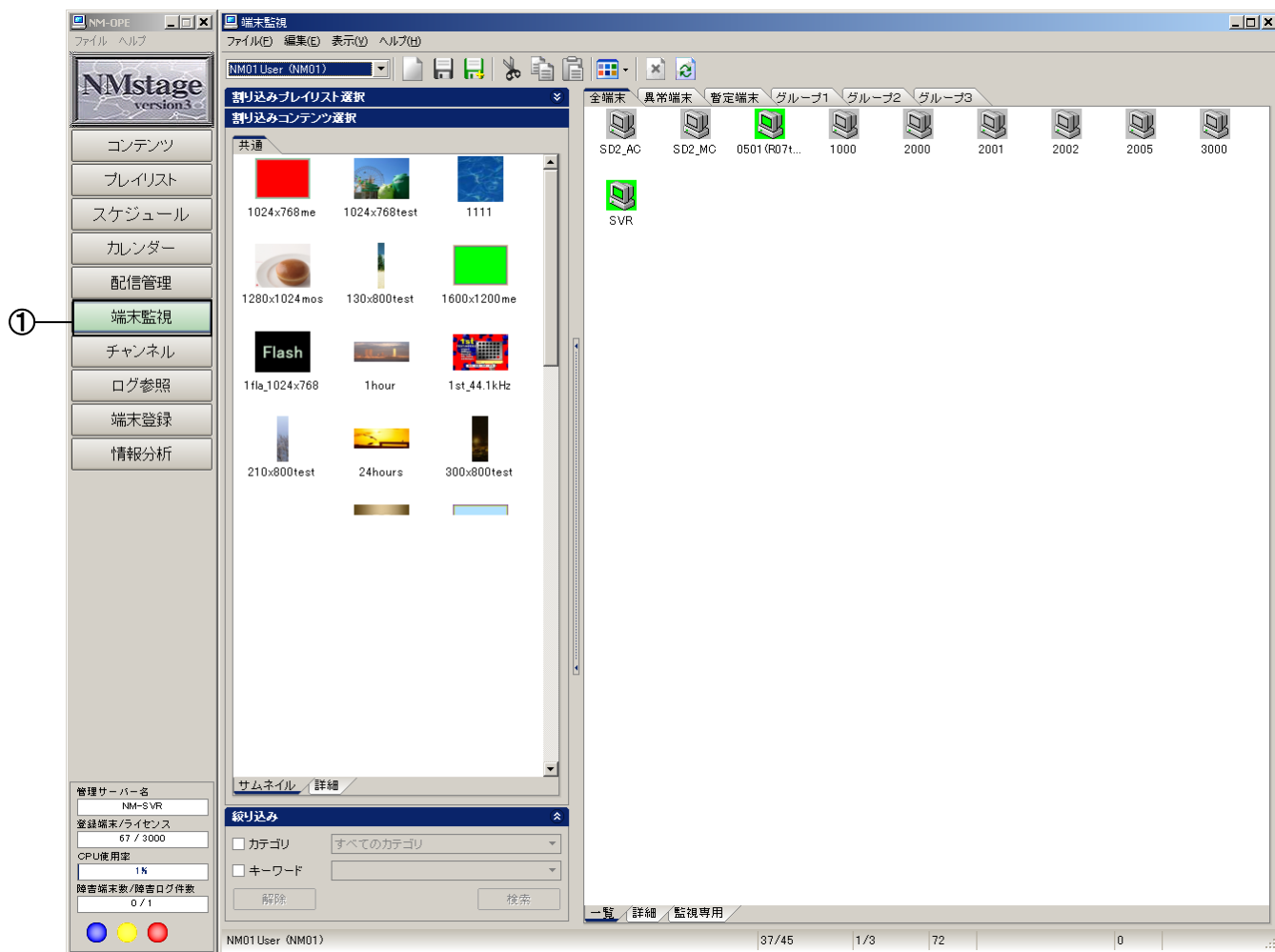
3.8 表示を確認する

登録、配信したスケジュール通りにプレーヤー端末で再生されるかを確認します。

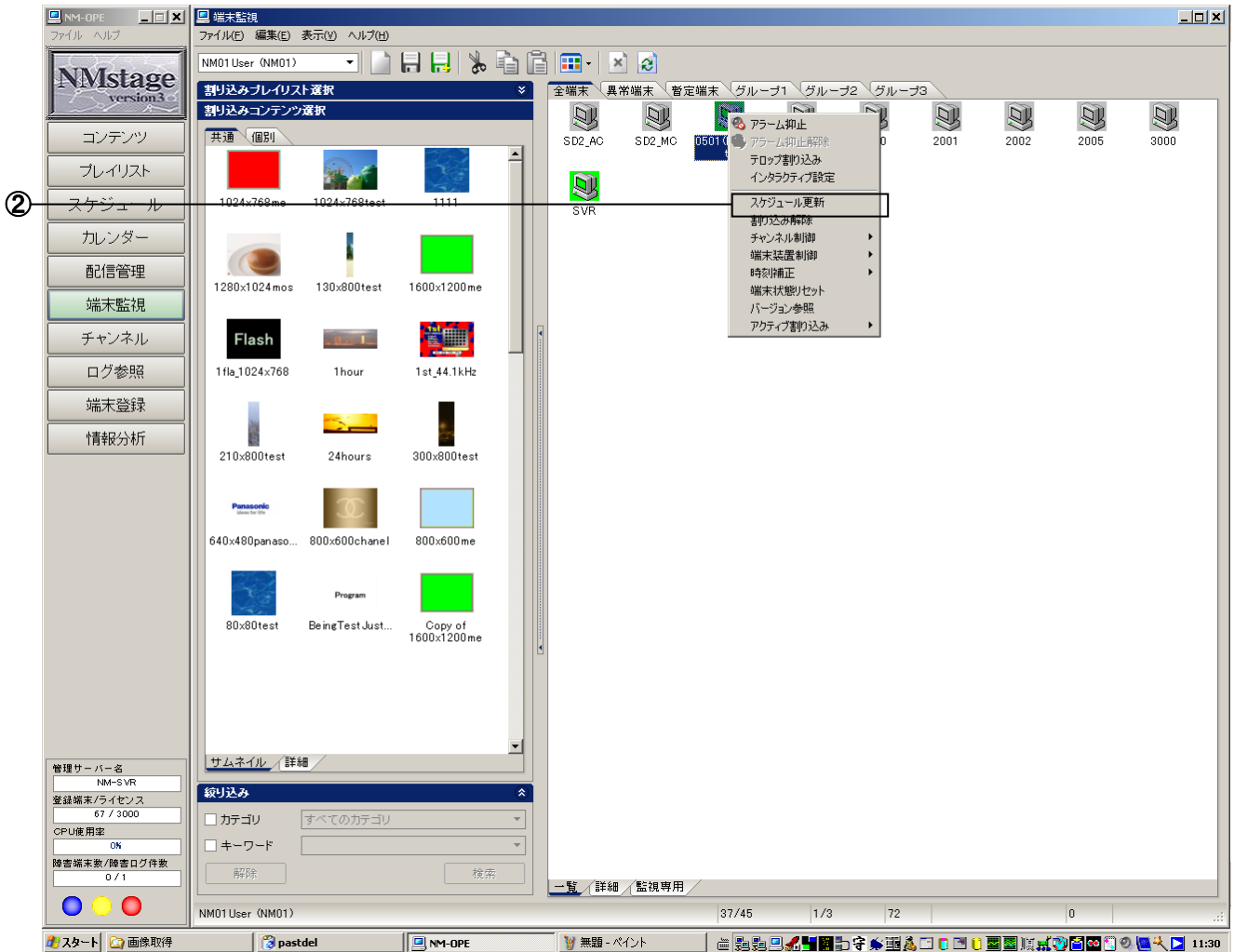
配信したスケジュールは、プレーヤー端末が1日1回再起動時自動的に更新されますが、ここでは、確認のために手動でスケジュールを更新する方法と、遠隔地にプレーヤー端末がある場合に、スクリーンモニタ機能により、プレーヤー端末の画面を確認する方法について説明します。

3.8.1 スケジュールを更新する

STEP 1 ランチャー画面から『端末監視』(①)を選択します。

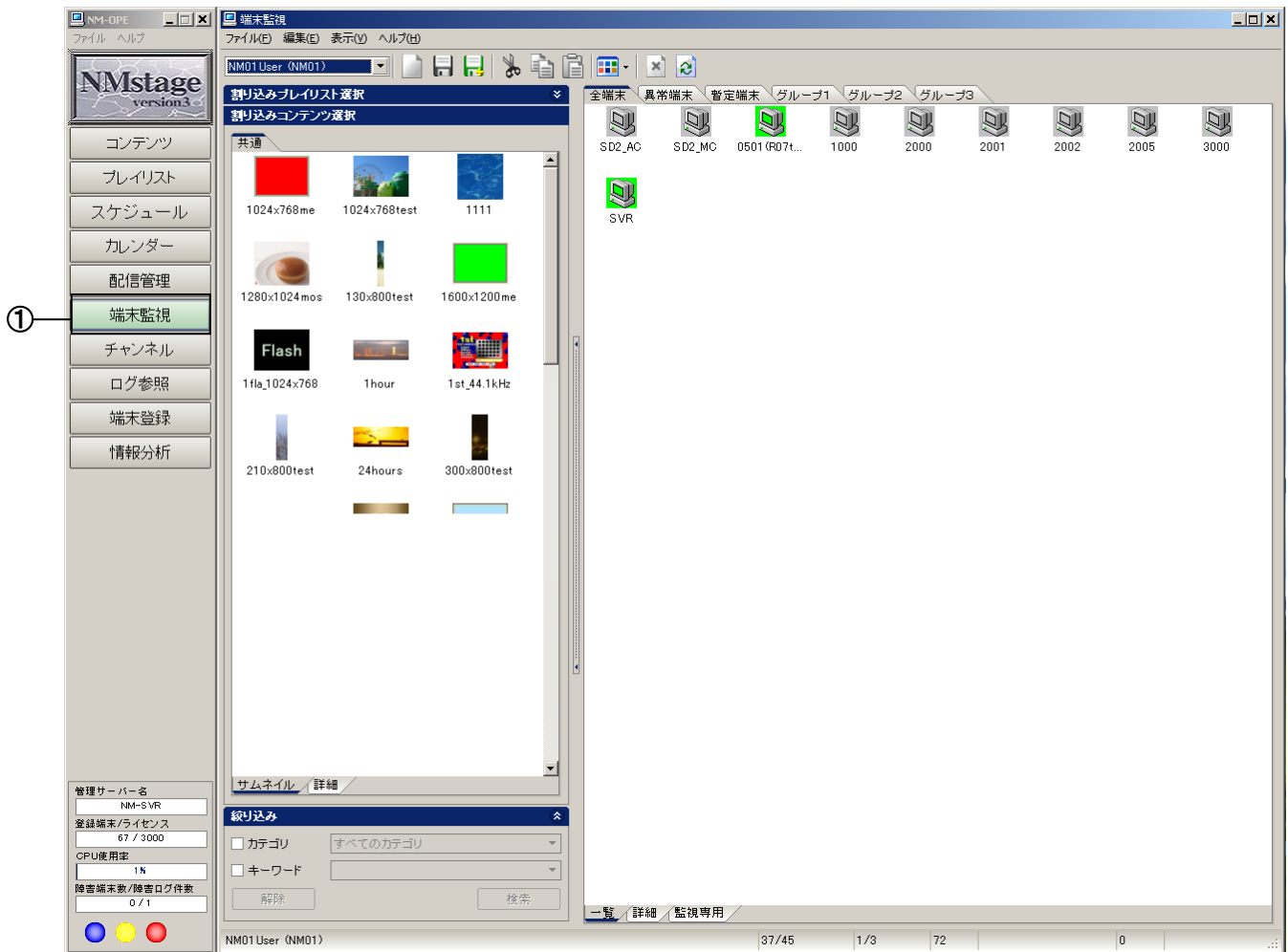


STEP 2 端末アイコンを選択し、右クリックでメニューを表示させます。「スケジュール更新」(②)をクリックすると、確認画面が表示されますので、『はい』をクリックしてください。スケジュールが更新されます。



3.8.2 表示を確認する

STEP 1 ランチャー画面から『端末監視』(①)を選択します。



- STEP 2** 端末アイコンをダブルクリックすると、端末稼働詳細画面が表示されます。
『スクリーンモニタ』(②)をチェックすると、プレーヤー端末での画面キャプチャーが表示され、放映状況を確認できます。

● 表示には時間がかかる場合があります。

端末稼働詳細

| | | |
|--|------|-----------|
| | NM01 | NM01 User |
| | 0001 | 0001 |

稼働状態

| | |
|--------|---------------------|
| 稼働状態 | 運用中 |
| 稼働時間 | 00000:04:27 |
| 稼働開始時刻 | 2007/02/16 21:57:53 |
| 最終受信時刻 | 2007/02/16 22:02:20 |
| 状態変更時刻 | 2007/02/16 21:58:50 |

システムリソース

| | |
|-----------|-----------|
| HD合計サイズ | 15,280 MB |
| HD使用領域 | 7,640 MB |
| HD空き領域 | 7,640 MB |
| 物理メモリ空き容量 | 65 MB |
| CPU負荷率 | 24 % |

再生状態

| 再生スケジュール | | 再生コンテンツ | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 共通 | 共通SCH3 | H1 | サンプル1 |
| グループ | | H2 | |
| 個別 | | H3 | |
| プレイリスト | 共通通常PL3 | H4 | |
| | | S1 | テロップサンプル1 |
| | | S2 | |

② スクリーンモニタ

取込時刻 2007/02/16 22:02:29

PDPステータス

| ステータス | 更新日 | 更新時刻 | PDP No. | ポート名 | 識別番号 | ブランチ番号 |
|-------|-----|------|---------|------|------|--------|
| | | | | | | |

閉じる

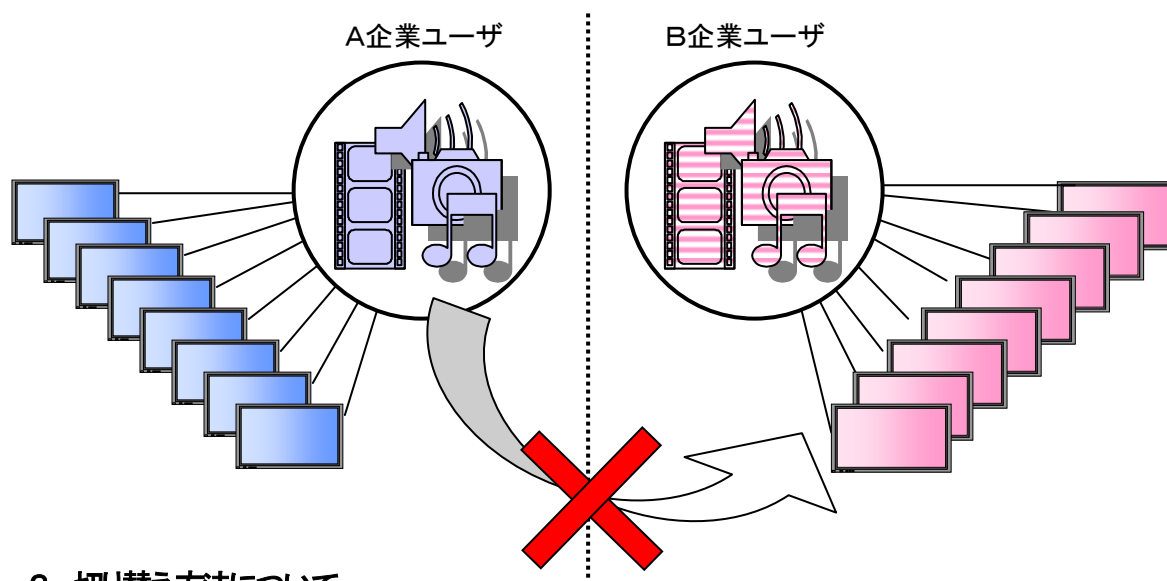
4 機能説明

4.1 マルチユーザ

本システムでは、複数のユーザを登録し、コンテンツやスケジュールなどすべての情報をユーザごとに別管理することが可能です。ASP サービス等の特別な使い方をする場合以外は、複数登録する必要はありません。

4.1.1 ユーザの概要

ユーザを登録することで、コンテンツの個別管理が可能です。例えば、A企業とB企業にデジタルサイネージソリューションを提供するASP 運営サービスを行う場合、A企業とB企業をユーザとして登録します。それぞれ独自のコンテンツやスケジュールで映像・情報配信を行うため、すべての情報を別々に管理することで、操作ミスによる配信事故を抑制します。このように複数ユーザに対して独自に映像・情報配信を行うことが可能です。



4.1.2 切り替え方法について

ユーザの切り替えは、ユーザ切り替えコンボボックスから指定ユーザを選択します。各機能画面のメニューバー→「ファイル」→「ユーザ切り替え」からコンボボックスを選択することも可能です。登録されているユーザ数が1つのみの場合は、コンボボックスは表示しません。

4.1.3 機能画面の表示

複数ユーザが登録された場合の機能画面の表示は以下の通りです。

| 画面 | 説明 |
|--------|--|
| コンテンツ | メニュー項目に「ユーザ切り替え」を追加します。ツールバーにユーザ切り替えコンボボックスを追加します。ステータスバーに選択中ユーザ名を表示します。 |
| プレイリスト | コンテンツと同じです。 |
| スケジュール | コンテンツと同じです。 |
| カレンダー | コンテンツと同じです。 |
| 配信 | コンボボックスの同位置に「全ユーザ表示」を表示します。ユーザ切り替えはできません。リクエスト登録画面では左上部に切り替えコンボボックスを配置します。 |
| チャンネル | コンテンツと同じです。 |
| 端末監視 | コンテンツと同じです。また、登録されているすべての端末に対して同時監視を実施することが可能なため、リストに全ユーザを追加します。 |
| ログ | コンテンツと同じです。 |
| 端末登録 | コンテンツと同じです。 |
| 情報分析 | コンテンツと同じです。 |

4.2 端末を管理する

同一ユーザに登録されている端末については、グループ単位での管理が可能です。端末登録時に端末グループを設定することにより、スケジュールやカレンダー登録、配信をグループごと一括で操作することが可能です。

4.2.1 グループの概要

グループを登録することで、グループ配下の端末について、スケジュール、カレンダーを一括登録することが可能です。例えば、関東地区、関西地区でデジタルサイネージソリューションを提供する場合、それぞれの地区のプレーヤー端末をグループ化し、各グループの情報を一括で操作することで効率よく操作することが可能です。

また、配信時にはグループ単位で配信対象端末を選択したり、端末監視ではグループ単位で監視画面を表示したりすることが可能です。

4.3 登録情報を管理する

コンテンツ、プレイリストには〈共通〉、〈個別〉の分類があります。スケジュール、カレンダーには、〈共通〉、〈個別〉に加えて〈グループ〉の分類があります。

特定のプレーヤー端末やグループごとの表示が必要であれば、すべての情報を〈共通〉で登録して運用してください。特定のプレーヤー端末、または特定のグループで表示したい情報がある場合は、登録時に分類しておく、オペレーションミスの抑止や作業を効率化することができます。

4.3.1 共通、個別、グループの概要

〈共通〉、〈個別〉、〈グループ〉の概念についてご説明します。

すべてのプレーヤー端末が使用できる〈共通〉、特定のプレーヤー端末で使用できる〈個別〉の分類があります。基本的には〈共通〉で登録してください。特定のプレーヤーでのみ使用する場合には、〈個別〉として登録すると、オペレーションミスによる、他のプレーヤー端末での使用を抑止できます。

4.3.1.1 機能ごとの共通、個別、グループについて

(1) コンテンツ

- 共通コンテンツ : すべてのプレーヤー端末で使用可能です。
- 個別コンテンツ : 特定のプレーヤー端末のみで使用したい場合に設定します。他のプレーヤー端末への表示はできません。

(2) プレイリスト

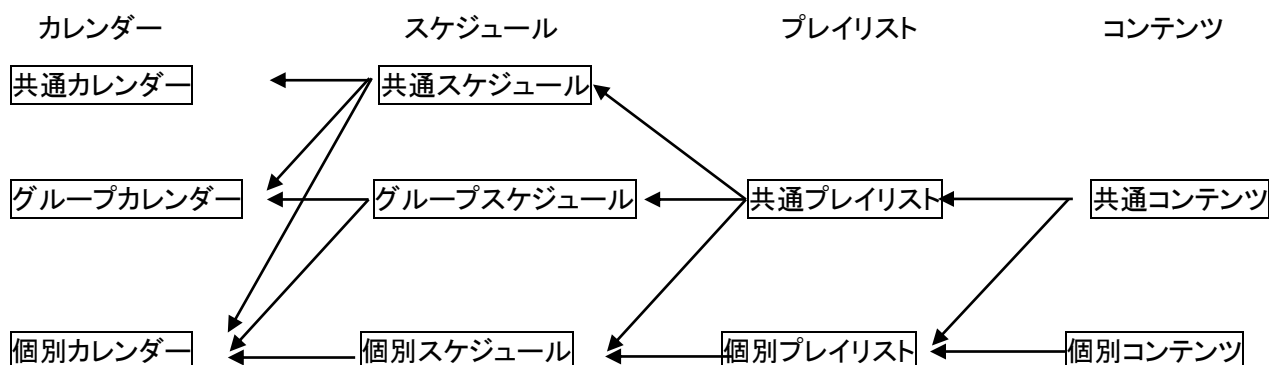
- 共通プレイリスト : 共通コンテンツのみ登録可能です。
- 個別プレイリスト : 特定のプレーヤー端末のみで使用したい場合に設定します。共通、個別コンテンツが使用可能です。

(3) スケジュール

- 共通スケジュール : 共通プレイリストのみ登録可能です。
- グループスケジュール : 端末グループに含まれるプレーヤー端末に対して同じスケジュールを使用したい場合に設定します。共通プレイリストのみ使用可能です。
- 個別スケジュール : 特定のプレーヤー端末のみで使用したい場合に設定します。共通、個別プレイリストが使用可能です。

(4) カレンダー

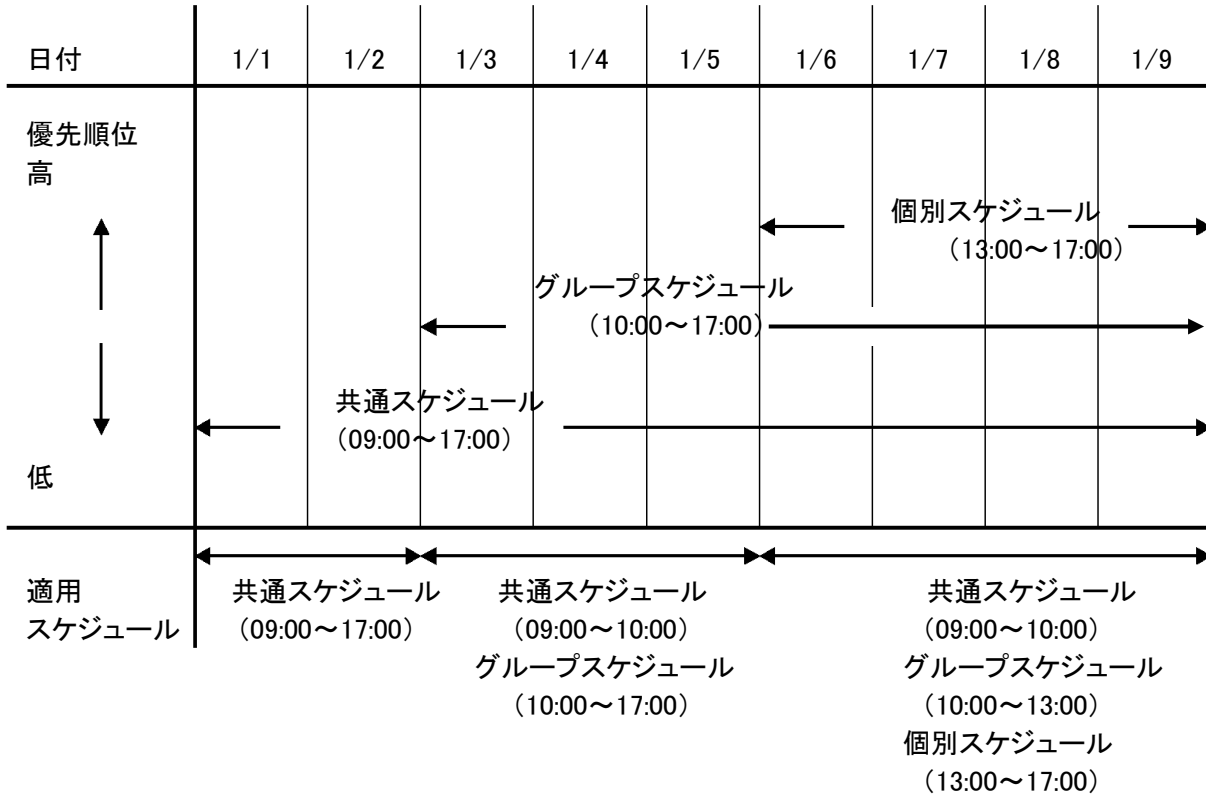
- 共通カレンダー : 共通スケジュールのみ登録可能です。
- グループカレンダー : 端末グループに含まれるプレーヤー端末に対して同じカレンダーを使用したい場合に設定します。共通、グループスケジュールが使用可能です。
- 個別カレンダー : 特定のプレーヤー端末のみで使用したい場合に設定します。共通、グループ、個別スケジュールが使用可能です。



4.3.1.2 複数のスケジュールが登録された場合について

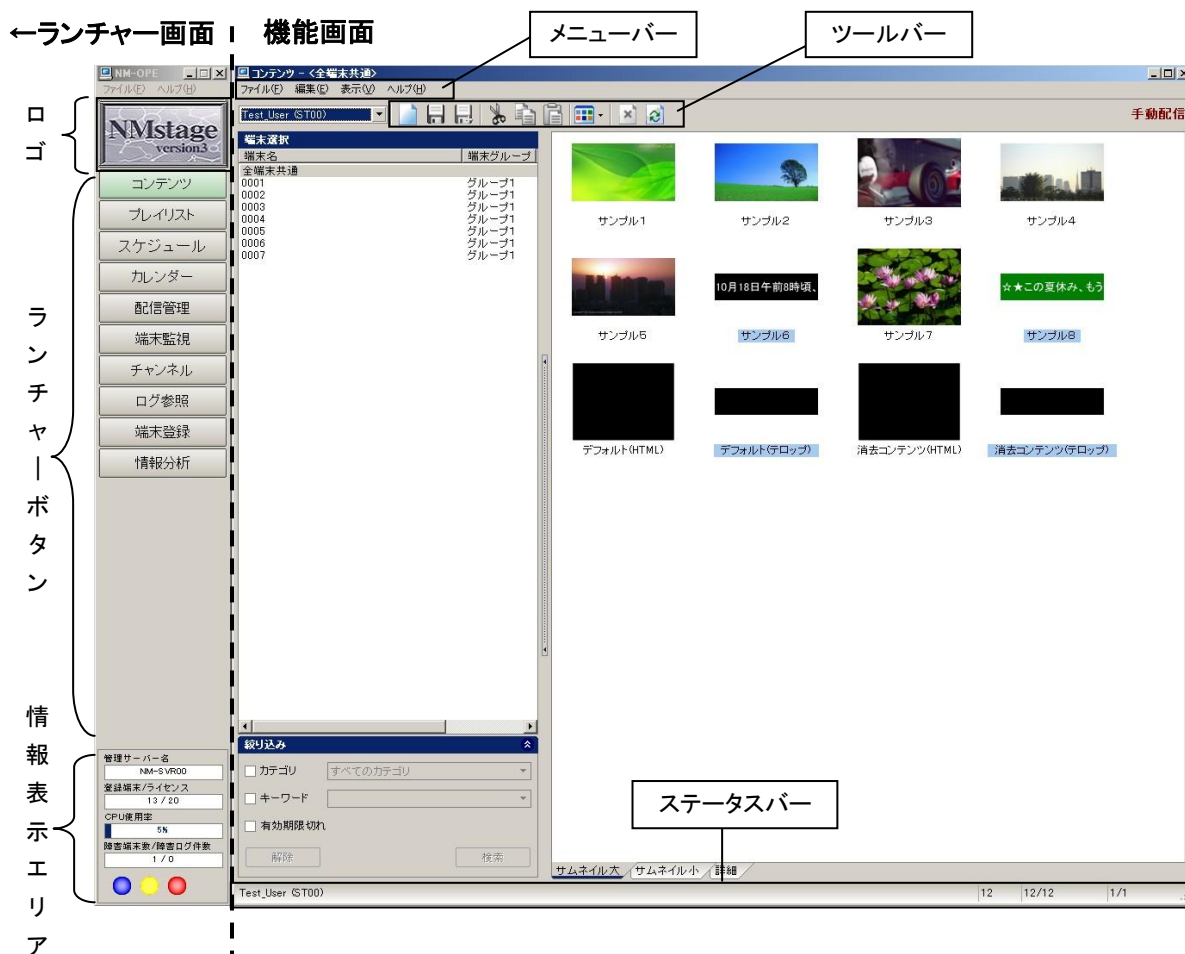
カレンダーで日付ごとにスケジュールを登録する場合、1 台のプレーヤー端末に対して、共通、グループ、個別スケジュールが重複して登録された場合、優先度の高い順に表示されます。

優先度は次の通りです。個別 > グループ > 共通



4.4 画面の構成

操作画面の構成について説明します。
ランチャー画面と機能画面の2画面構成です。



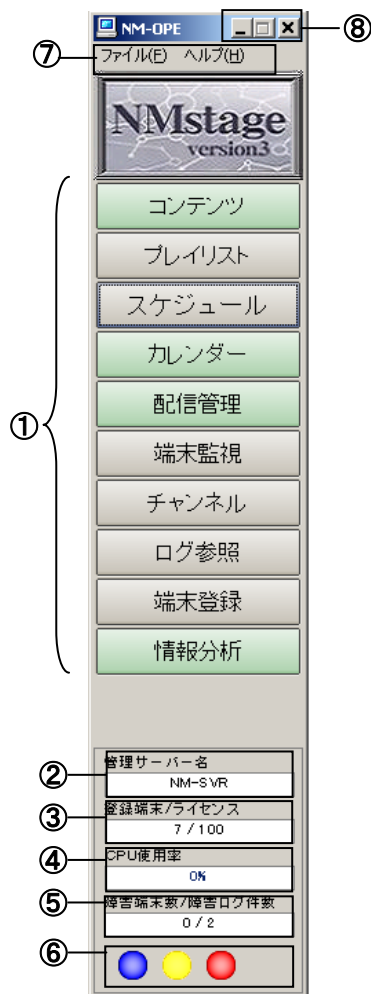
| 項目 | 説明 |
|-----------|---|
| タイトルバー | 画面名、端末名、編集ファイル名などを表示します。最小化、最大化、終了アイコンが配置されています。 |
| メニューバー | 「ファイル」、「編集」、「表示」、「ヘルプ」などのメニュー項目を表示します。 |
| ツールバー※1 | 左端には、ユーザ選択コンボボックス、次にアイコンツールを配置、右端には、配信モードを表示します。ユーザ選択コンボボックスはユーザが複数登録されている場合にのみ表示されます。配信モードは機能画面により表示されません。 |
| ステータスバー※1 | 左端にユーザ名称(コード)を表示、左端から各機能画面の状態(ステータス)を表示します。 |
| サイズ | 1024×768ドット(XGA)以上で画面サイズの変更が可能です。変更されたサイズ、位置を記憶し、次回起動時に反映します。 |
| 列幅などの保持 | 列幅や、タブ位置をファイルに記憶し、次回起動時に反映します。 |

※ 1:機能画面のみ

4.4.1 ランチャー

ランチャー画面について説明します。

4.4.1.1 画面の説明



①ランチャーボタン

ランチャーボタンをクリックすると機能画面が表示されます。機能画面が起動していると色が変わります。

②管理サーバー名

接続している管理サーバー名を表示します。

③登録端末/ライセンス

登録している端末数と、ライセンス数を表示します。

④CPU 使用率

操作端末のCPUの使用率を表示します。

⑤障害端末数/障害ログ件数

障害端末数と、障害ログ件数を表示します。障害ログ件数とは、E、Sレベルのログです。

⑥状態アイコン

状態アイコンについては以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----|-------------------------|
| 青色 | 配信処理中の場合に点滅します。 |
| 黄色 | アラーム抑止設定の端末がある場合に点滅します。 |
| 赤色 | 異常端末がある場合に点滅します。 |

⑦メニューバー

メニューバーについては以下の通りです。

| 項目 | | 説明 |
|---------|------------|---|
| ファイル(S) | オプション(S) | 各ユーザの配信方式、グループ名称などを設定するための画面を表示します。 |
| | 表示位置(P) | 左右選択すると、ランチャーの表示位置を変更します。 |
| | 終了(X) | 「閉じる」ボタンと同じです。NM-OPEを終了します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | NM-OPEのヘルプ画面を表示します。この時、ヘルプはトップページを表示します。 |
| | バージョン情報(A) | NMstageのバージョン情報を表示します。合わせて、全機能画面のバージョンを表示します。 |

⑧タイトルボタン

タイトルボタンについては以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----|----------------|
| 最小化 | ランチャーのみ最小化します。 |
| 終了 | NM-OPEを終了します。 |

⑨コンテキストメニュー

コンテキストメニューについては以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|------------|---|
| 全画面位置調整(A) | 画面の表示位置を変更した場合、機能画面の表示位置をランチャーに合わせて調整します。サイズは調整しません。ただし、機能画面を最大化した場合は、サイズも含めて調整します。 |
| 全画面最小化(M) | ランチャーを含む全画面を最小化します。 |

⑩共通ボタン

その他共通ボタンについては以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-------|----------------------------|
| OK | 設定した内容を適用して画面を終了します。 |
| キャンセル | 設定した内容をキャンセルして、画面を終了します。 |
| 適用 | 設定した内容を適用します。画面は閉じません。 |
| 登録 | 設定した内容をサーバに登録します。画面は閉じません。 |

4.4.1.2 起動と終了について

ランチャー画面は、デスクトップのNM-OPEアイコンから起動し、ログイン認証画面を経て表示されます。ランチャー画面表示と共にコンテンツ画面も併せて起動します。

タイトルバー上のメニューから「ファイル」→「終了」を選択、またはタイトルバーの終了ボタンをクリックすると終了します。ランチャー終了時は、終了を確認するためのメッセージパネルが表示され、『はい』をクリックすると、ランチャー画面から起動されたすべての機能画面も終了します。

4.4.1.3 状態表示について

状態表示機能は、ランチャー画面の情報表示エリアにサーバー情報ならびに操作端末の状態を簡易的に表示する機能です。個々の情報はサーバー上の管理ファイルやサーバーから通知される情報に基づき、表示内容を更新します。

4.4.1.4 情報設定について

ユーザ別情報設定が可能です。

メニューの「ファイル」→「オプション」を選択すると、オプション画面が表示されます。

ユーザの切り替えは、ユーザ切り替えコンボボックスから指定ユーザを選択します。

●配信設定

①モード

初期値は、手動配信が選択されています。各項目の内容は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|------|--|
| 自動配信 | 情報登録時に自動で配信を実行します。ネットワークの接続状況により、配信が失敗する場合がありますので、必ず配信が完了しているかを配信管理画面で確認してください。構内情報通信網(LAN)など、安定したネットワーク環境が整備されている場合以外は設定しないでください。 |
| 手動配信 | 配信管理画面で設定した内容に基づいて配信を実行します。 |
| 個別設定 | 各画面で自動、手動配信を設定します。 |

注意！！

- 自動配信に設定し、コンテンツ・プレイリスト・スケジュールの削除を行った場合、削除情報は自動で配信しません。【4 .9 .4 リクエストを登録する】章を参照し、削除済みの情報を抽出し配信してください。

②配信リトライ回数

配信リトライ回数とは、配信中に何らかの原因で配信が失敗した場合に、再度配信処理を実行する回数です。通常、変更の必要はありませんが、初期値は5回が指定されており、0~100回が指定できます。「配信リトライ回数」で、数値を入力し、『OK』または、『適用』をクリックします。

●情報設定

①端末グループ

端末グループの名称を編集します。変更方法は以下の通りです。

STEP 1 編集するグループを選択します。

右クリックで「編集」を選択、または **F2** を押し、任意のグループ名を入力します。また、削除する場合は右クリックで「削除」を選択、または **Del** を押します。変更した個所は文字が太字になります。複数変更したい場合は、同様の操作を行ってください。

STEP 2 『OK』または、『適用』をクリックします。

②カテゴリ

カテゴリの名称を編集します。変更方法は以下の通りです。

STEP 1 編集するカテゴリを選択します。

右クリックで「編集」を選択、または **F2** を押し、任意のカテゴリ名を入力します。また、削除する場合は右クリックで「削除」を選択、または **Del** を押します。変更した個所は文字が太字になります。複数変更したい場合は、同様の操作を行ってください。

STEP 2 『OK』または、『適用』をクリックします。

本設定での適用範囲は、以下の通りです。

配信設定：設定変更した操作端末のみに適用されます。

情報設定：設定変更された情報は、すべての操作端末で共通的に使用されます。

4.4.1.5 使用の制限について

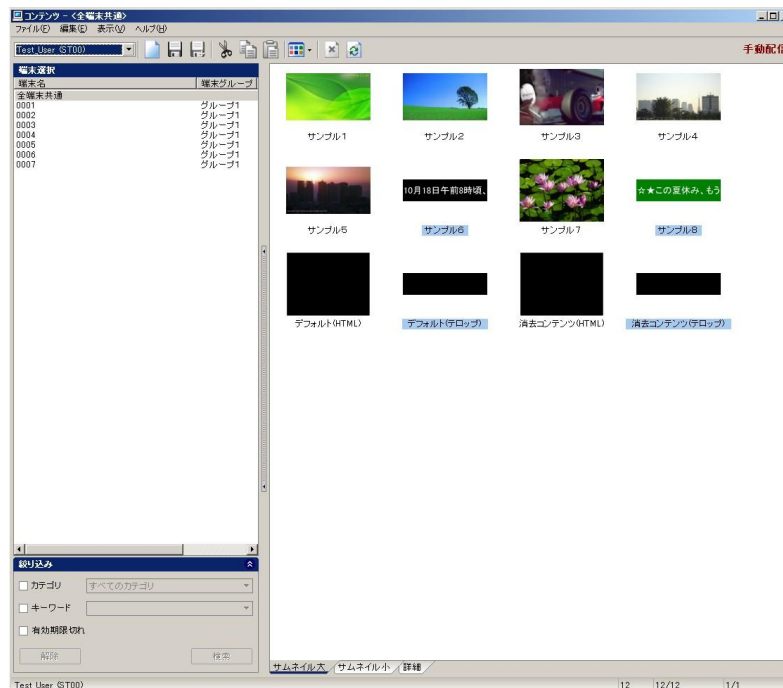
アカウントの権限により、ランチャーボタンの表示内容を変更することで、各機能画面の使用制限を行います。

| 権限 | 表示する画面 |
|-----|---------------------------------------|
| 管理者 | すべての機能画面 |
| 編集者 | コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、配信管理、ログ参照画面 |
| 監視者 | 端末監視画面のみ |

4.4.2 機能画面

機能画面について説明します。

4.4.2.1 画面の説明



| 項目 | 説明 |
|---------|--|
| タイトルバー | 画面機能名、選択端末名、編集ファイル名などを表示します。 「最小化」、「最大化」、「閉じる」ボタンが配置されます。 |
| メニューバー | 「ファイル」、「編集」、「表示」、「ヘルプ」などの TOP メニュー項目を持ちます。 |
| ツールバー | 左端には、ユーザ選択コンボボックス、次にアイコンツールを配置、右端には、配信モードを表示します。 |
| ステータスバー | 左端には、ユーザ名称(コード)を表示、少し間を置き、各機能画面の状態(ステータス)を表示します。 |

4.4.2.2 共通の操作について

| 項目 | 説明 |
|---------|---|
| 画面リサイズ | 画面リサイズを可能とします。ただし、上下限サイズは設けるものとします。 リサイズ位置はファイルに記憶し、次回起動時に反映します。 |
| 列幅などの保持 | 列幅や、フレームパターンタブ位置を記憶し、次回起動時に反映します。 |

4.5 コンテンツ

ここでは、コンテンツの管理サーバーへの登録、編集、削除、プレビューを行います。

4.5.1 概要

コンテンツは、スケジュール表示や割り込み表示で使われます。本システムでは、すべての情報をプレーヤー端末に配信、蓄積し、再生および表示を行います。登録できるコンテンツの最大数は、共通コンテンツ 10,000、個別コンテンツ 10,000 です。以下の種別が登録できます。

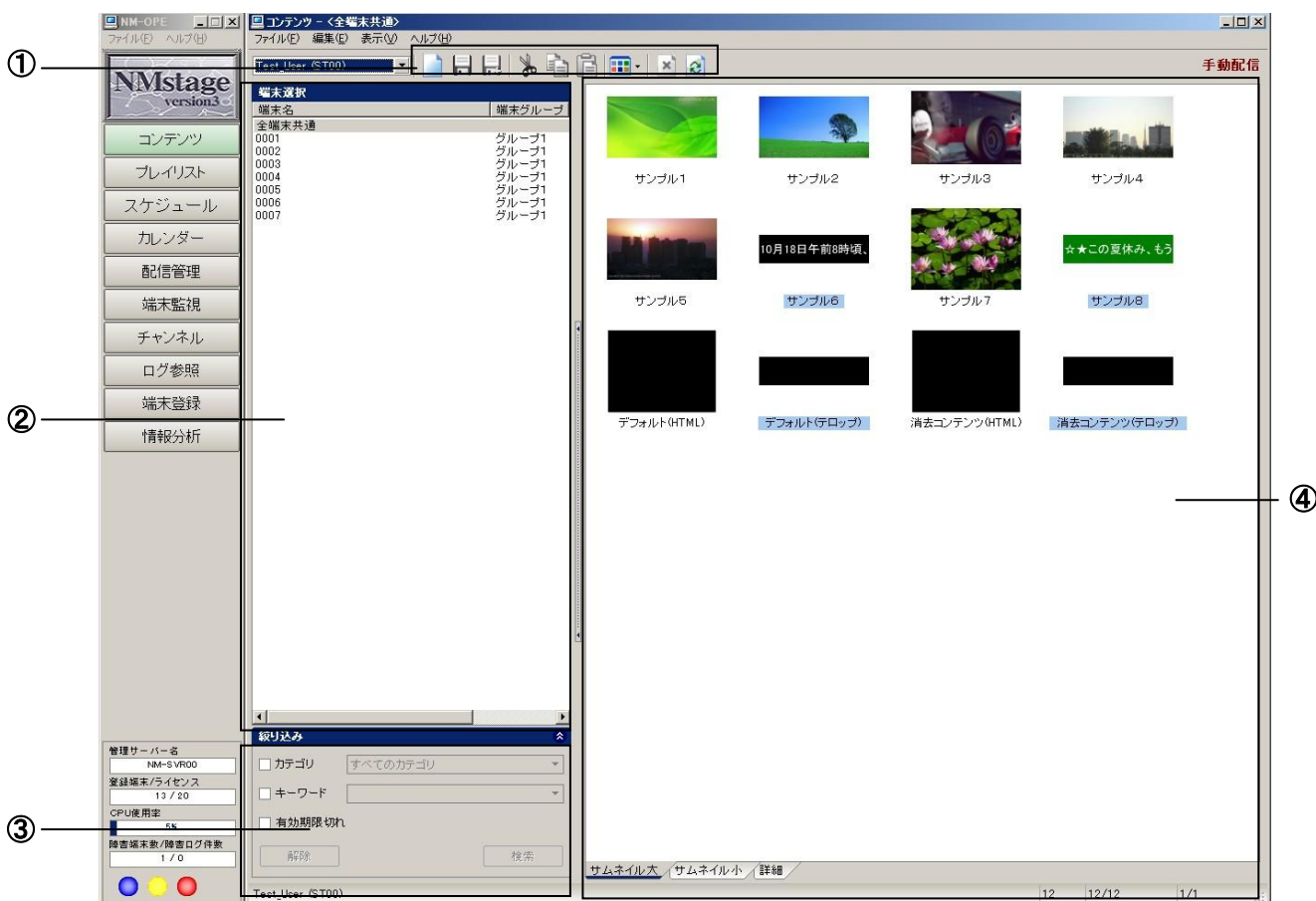
| 分類 | 種別 | データ形式 |
|-----------|----------|-------------------------|
| 通常コンテンツ | 動画 | MPEG1 |
| | | MPEG2 |
| | | Windows Media ファイル(WMV) |
| | 静止画 | BMP、JPEG |
| | アニメーション | Flash |
| | パワーポイント | PPS |
| URL | HTML/URL | HTML |
| テロップコンテンツ | テロップ | テキスト |
| | 背景 | BMP、JPEG |



- 配信モードを「自動配信」に設定している場合、コンテンツの登録と同時に、自動で配信リクエスト登録を行うため、動画など容量の大きいコンテンツを登録した場合は、登録操作終了から配信完了までに時間がかかる場合があります。
- 配信モードを「自動配信」に設定している場合、コンテンツを削除しても削除情報は自動配信されません。【4.9.4 リクエストを登録する】章を参照し、削除済みの情報を抽出し配信してください。
- 登録できるコンテンツのファイル名称は、半角 132 文字までです。なお、HTML コンテンツ(拡張子が“html・htm”)の場合のみ半角 64 文字までとなります。

4.5.2 画面の説明

ランチャーボタンの『コンテンツ』をクリックすることで、コンテンツ機能画面を表示します。



①コンテンツの新規登録などの操作アイコンです。

②コンテンツを登録するプレーヤー端末を選択します。

登録時のプレーヤー端末の選択状態で、共通コンテンツ、または個別コンテンツに分類されます。

全端末共通 : 共通コンテンツを登録する場合に選択します。

個別端末 : 個別コンテンツを登録する場合に選択します。

③コンテンツの絞り込み検索をします。

カテゴリ : チェックすると選択コンボボックスで選択したカテゴリが、絞り込み条件に適用されます。

キーワード : チェックし、キーワード入力欄に入力した文字列が絞り込み条件に適用されます。スペース区切りで AND 条件になります。コンボリスト展開時に、削除したいキーワードにフォーカスを当てた状態で **Delete** をクリックすると、登録キーワードを消去します。

有効期限切れ : チェックすると有効期間が経過したコンテンツが絞り込み条件に適用されます。

検索ボタン : 適用条件で、コンテンツの絞り込み検索を行い、コンテンツ一覧に結果を表示します。

解除ボタン : 適用条件をすべて解除(チェックをはずす)して、絞り込みの検索処理を行います。(設定した絞り込み条件が解除され、すべてのコンテンツが表示されます。)

④登録されているコンテンツを表示します。カテゴリ、絞り込み機能(③)に連動して表示するコンテンツが変化します。

- ・ 「サムネイル大」、「サムネイル小」、「詳細」のタブで表示形式を変更します。
- ・ コンテンツをダブルクリックすると、コンテンツ編集画面を表示します。
- ・ コンテンツの管理種別(通常、テロップ)により、タイトル等の背景色が変わります。
通常コンテンツ : 白
テロップコンテンツ : 青
インタラクティブコンテンツ : 緑

4.5.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| | 項目 | 説明 |
|---------|---------------|---|
| ファイル(F) | 新規登録(N) | コンテンツを新規登録します。コンテンツ編集画面を表示します。 |
| | インタラクティブ登録(I) | インタラクティブコンテンツを新規登録します。コンテンツ編集画面に遷移します。 |
| | エクスポート(X) | 選択中ユーザに登録されている全コンテンツを指定フォルダに出力します。 |
| | ユーザ切り替え(U) | 編集対象ユーザを切り替える。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 |
| | 閉じる(C) | コンテンツ画面を終了します。 |
| 編集(E) | 編集(E) | 選択されたコンテンツの編集処理を開始する。コンテンツ編集画面に遷移します。コンテンツ未選択時、複数選択時は選択できません。 |
| | コンテンツ削除(D) | 選択されたコンテンツを削除します。確認画面を表示します。コンテンツ未選択時は、選択できません。 |
| | すべて選択(A) | コンテンツ一覧に表示されている全コンテンツを選択状態にします。 |
| | 完全削除(C) | 削除されたコンテンツを管理サーバー上から完全に削除します。 |
| | 検索(F) | 絞り込み検索、「キーワード」テキストボックスにフォーカスを当てます。 |
| 表示(V) | プレビュー(P) | 選択されたコンテンツをプレビュー表示します。プレビュー画面を表示します。コンテンツ未選択時は、選択できません。 |
| | サムネイル大(G) | コンテンツ一覧を大きいサムネイル表示に変更します。 |
| | サムネイル小(M) | コンテンツ一覧を小さいサムネイル表示に変更します。 |
| | 詳細(D) | コンテンツ一覧を詳細表示に変更します。 |
| | 最新の情報に更新(R) | コンテンツ画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示します。コンテンツ機能についての先頭ページを表示します。 |

4.5.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----------|----------------------------|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 登録コンテンツ総数 | 選択ユーザに登録されている総コンテンツ数です。 |
| 表示コンテンツ数 | 絞り込み結果数/選択した端末内の総コンテンツ数です。 |
| ページ | 現在表示中のページ番号/総ページ数です。 |

4.5.2.3 コンテキストメニュー

コンテンツを右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----------|---------------------------|
| 編集(E) | メニューバーの「編集(E)」と同じです。 |
| 削除(D) | メニューバーの「コンテンツ削除(D)」と同じです。 |
| プレビュー(P) | メニューバーの「プレビュー(P)」と同じです。 |

4.5.3 登録する

コンテンツの登録手順について説明します。

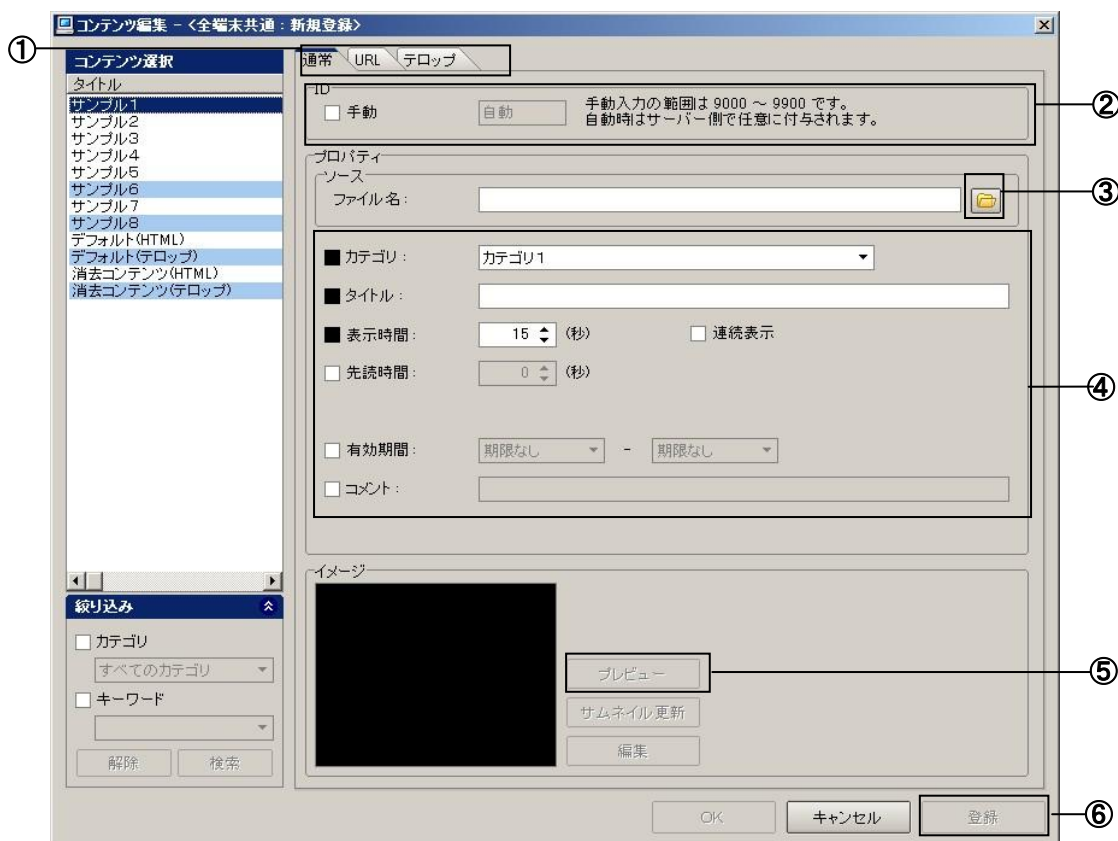
STEP 1 端末選択にて、登録する端末を選択します。
(共通コンテンツの登録の場合、「全端末共通」を選択します。)

STEP 2 コンテンツ編集画面を表示します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「新規登録」を選択します。

アイコン : 新規登録アイコンをクリックします。

ショートカット : Ctrl + N を押します。



STEP 3 動画、静止画、HTML、Flash などの通常コンテンツを登録したい場合は『通常』(①)を選択します。初期値で『通常』が選択されています。URL コンテンツの場合は、『URL』、テロップコンテンツの場合は『テロップ』を選択します。

STEP 4 初期設定では ID を自動付与しますので、操作の必要はありません。特定の ID を付与したい場合は、「手動」チェックボックスを選択し、半角数字 4 桁を入力してください。(②)



- ID を手動付与できる範囲は 9000～9900 です。



- 登録できるコンテンツ数は全部で 10,000 ですが、ID を自動付与できる範囲は 0000～8999 です。それ以上のコンテンツを自動付与で登録しようとすると、エラーメッセージが表示されますので、不要なコンテンツを削除、または手動で ID を付与してください。

STEP 5 プロパティを設定します。『通常』『URL』『テロップ』で操作方法が異なります。

(1)通常

ソースのファイル名から『📁』(③)をクリックします。ファイル検索画面が表示されますので、登録するデータを選択します。



- 動画ファイルをデータとして指定した場合、MPEG2 の HD 対応コンテンツ登録時にサムネイル画像の取得に失敗する場合があります。その場合は『プレビュー』機能の『サムネイル作成』をクリックしてサムネイル画像の再取得を実行して下さい。
- HTML ファイルをデータとして指定した場合、該当ファイルが格納されているフォルダ内のサブフォルダを含むすべてのファイルが登録対象となります。HTML コンテンツはコンテンツごとに1つのフォルダにまとめ、本操作を行ってください。

(2)URL

ソースの URL にアドレスを指定します。http://などの URL アドレスを直接入力してください。コピー&ペーストも可能です。



- URL アドレス以外は設定しないでください。

(3)テロップ

【4.5.3.1テロップのソースを設定】をご参照ください。

STEP 6 プロパティを設定します。(④)

■は必須項目です。□は必要に応じてチェックし、設定してください。

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| ■カテゴリ | コンテンツ分類上のカテゴリを選択します。設定内容は絞り込み表示のカテゴリに反映されません。 |
| ■タイトル | 「ソース」でデータファイルを指定した場合は、ファイル名が自動で表示されます。任意のタイトルを入力することも可能です。タイトルは絞り込みキーワードの検索対象になりますので、コンテンツ画面でキーワードによる選択表示ができます。 既に登録されているタイトル名を使用することはできません。同一ユーザ内での共通コンテンツならびに個別コンテンツのタイトル名は、重複しないように設定してください。 注意！！ ● 既に削除したコンテンツと同じタイトルで登録しようとしてエラーダイアログが表示される場合は、【7 トラブルシューティング】をご参照ください。 |
| ■表示時間(秒) | 初期値は、15秒で表示されます。任意のコンテンツ表示時間を秒単位で入力することも可能です。設定が可能な最小値は10秒です。 注意！！ ● 動画は表示時間を自動取得しますので、表示時間を変更しないでください。MPEG2の表示時間取得には、MPEG2デコーダが操作端末にインストールされている必要があります。 |
| □連続表示 | コンテンツを連続して放映します。チェックすると、表示時間が入力不可となります。テロップでは、回数「0」入力で、連続表示の意味となります。動画では、設定することができません。 |
| □回数指定 ※1 | コンテンツの表示回数を指定します。回数「0」入力で、連続表示の意味となります。 |
| □先読設定(秒) | 表示するコンテンツを、表示開始タイミングの前にあらかじめ表示準備させておくリード時間を設定します。URLコンテンツなど、表示に時間がかかる場合に設定します。先読時間を指定することで、バックグラウンドで表示処理を行い、スムーズに表示します。1～9秒の範囲で秒数を入力します。動画コンテンツの場合、自動的に3秒が設定されますので、先読み設定を変更しないでください。 |
| ■速度 ※1 | テロップの流れる速度を5段階で設定します。 |
| □有効期間設定 | 初期値では無期限で表示されます。有効期間を設定する場合は、コンテンツの表示可能期間を開始日、終了日で指定します。 注意！！ ● スケジュールに登録されていても、有効期間外のコンテンツは放映されません。自動的に削除はされませんので、必要ないコンテンツは削除してください。 |
| □コメント | コンテンツについての説明を入力します。コメントは絞り込みキーワードの検索対象になりますので、コンテンツ画面でキーワードによる選択表示ができます。 NM-WebOperatorで登録されたコンテンツには、コメント欄にグループ情報が設定されています。コメント欄に設定されたグループ情報は削除しないでください。 |

※1 テロップのみ



- コンテンツ切り替わり時のワイプ設定はできません。
- テロップコンテンツの場合、入力した文字列が表示されるのに必要な時間は、フォントサイズや速度等の設定によって異なります。実際に放映して、表示を確認後、表示時間を設定してください。
- テロップコンテンツの設定で「回数指定」に設定しても、そのコンテンツが設定されているフレームの放映時間が、テロップが表示される時間よりも短い場合には途中で切れてしまいます。

STEP 7 「イメージ」にサムネイルが表示されます。種別により表示されない場合もあります。詳細は以下の通りです。

| 分類 | 種別 | サムネイル |
|------|---------|---|
| 通常 | 動画 | サムネイルが表示されます。ただし、MPEG2 のサムネイル表示には、MPEG2 デコーダが操作端末にインストールされている必要があります。 |
| | 静止画 | サムネイルが生成されます。 |
| | Flash | 「FLASH」の文字が表示されます。『プレビュー』にて任意のタイミングで生成が可能ですので、必要に応じて設定してください。 |
| | パワーポイント | 「Program」の文字が表示されます。サムネイルは生成することができません。 |
| URL | URL | 表示されません。『プレビュー』にて生成が可能ですので、必要に応じて設定してください。 |
| テロップ | テロップ | サムネイルが表示されます。 |



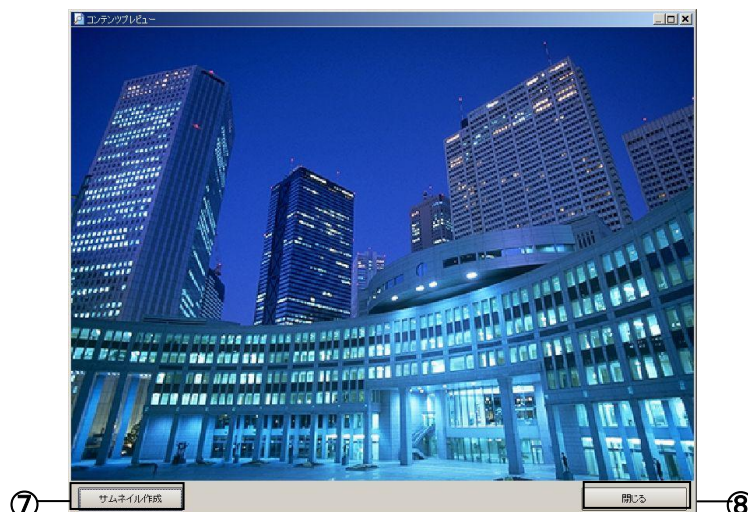
- 1920×1080 よりも大きなサイズのコンテンツを登録すると、サムネイル取得に失敗する場合があります。解像度を下げて登録してください。

また、以下の操作を行うことができます。ボタンをクリックするか、サムネイル上で右クリックし、メニューを選択してください。『テロップ』ではボタンは表示されません。

| 項目 | 説明 |
|-----------|--|
| プレビュー | 別ウインドウでプレビュー表示されます。『サムネイル生成』(⑦)をクリックすると、サムネイルが作成されます。動画、Flash では、任意のタイミングでサムネイルの作成が可能です。ウインドウを閉じる場合は、『閉じる』(⑧)をクリックします。 注意！！ ● コンテンツによって、Flash Player や MPEG2 デコーダ等が操作端末にインストールされている必要があります。 |
| サムネイル更新※1 | 管理サーバーに登録されているコンテンツファイル情報から、サムネイルを更新します。コンテンツのデータを管理サーバー上で直接変更した場合に使用しますが、通常は使用しません。 |
| 編集 ※2 | コンテンツ編集画面でアクティブになります。登録コンテンツを直接編集する場合に使用します。選択したコンテンツによって以下のアプリケーションが実行されます。 動画 : 禁止(ボタンを操作できません) 静止画 : ペイントツール (¥WINDOWS¥system32¥mspaint.exe) フラッシュ : 禁止(ボタンを操作できません) パワーポイント: 禁止(ボタンを操作できません) HTML : メモ帳 (¥WINDOWS¥notepad.exe) URL : 禁止(ボタンを操作できません) |

※1 『通常』『URL』のみ

2 『通常』のみ



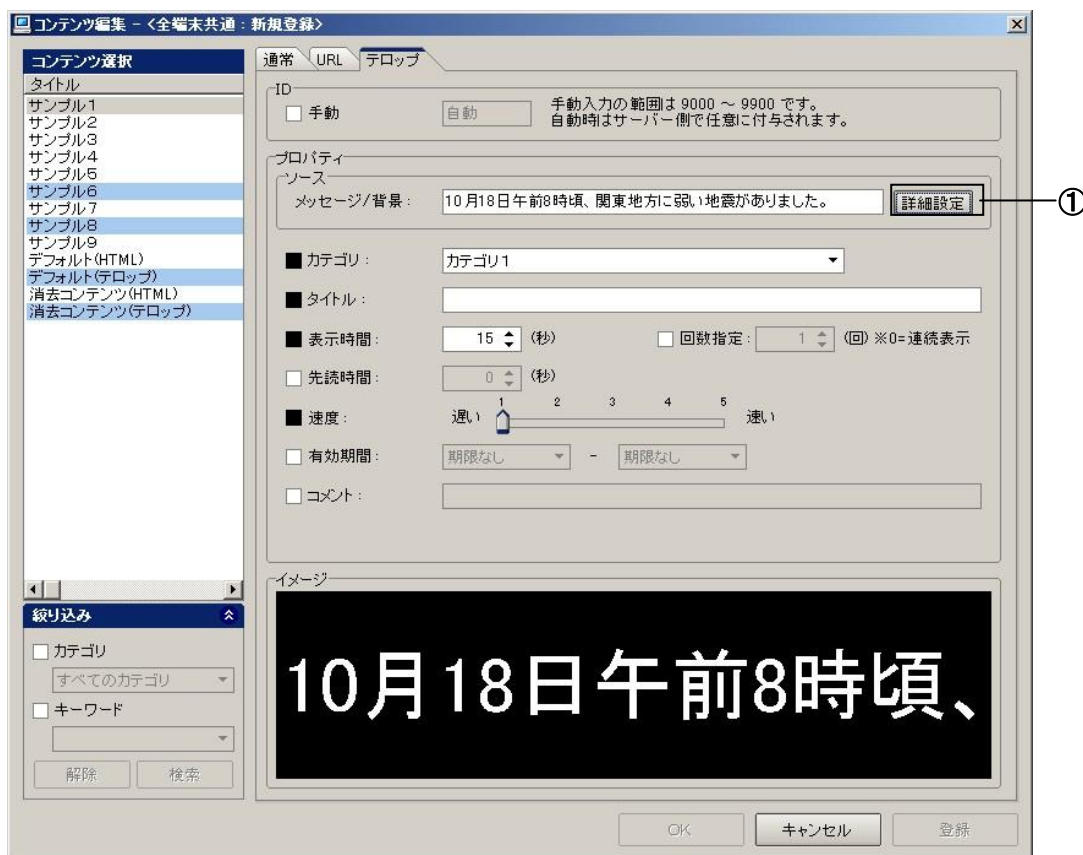
STEP 8 『登録』または『OK』(⑥)をクリックします。管理サーバーにコンテンツが登録され、確認画面が表示されますので『OK』をクリックします。



- 同じデータ形式のコンテンツを続けて登録する場合、<登録内容>の以下の情報を保持します。同じ設定を繰り返し行う手を省きます。
保持する情報：表示時間(動画コンテンツは自動設定)、先読み時間、カテゴリ、有効期間、コメント

4.5.3.1 テロップのソースを設定する

STEP 1 ソースの設定をします。『詳細設定』(①)をクリックすると、テロップ編集画面が表示されます。

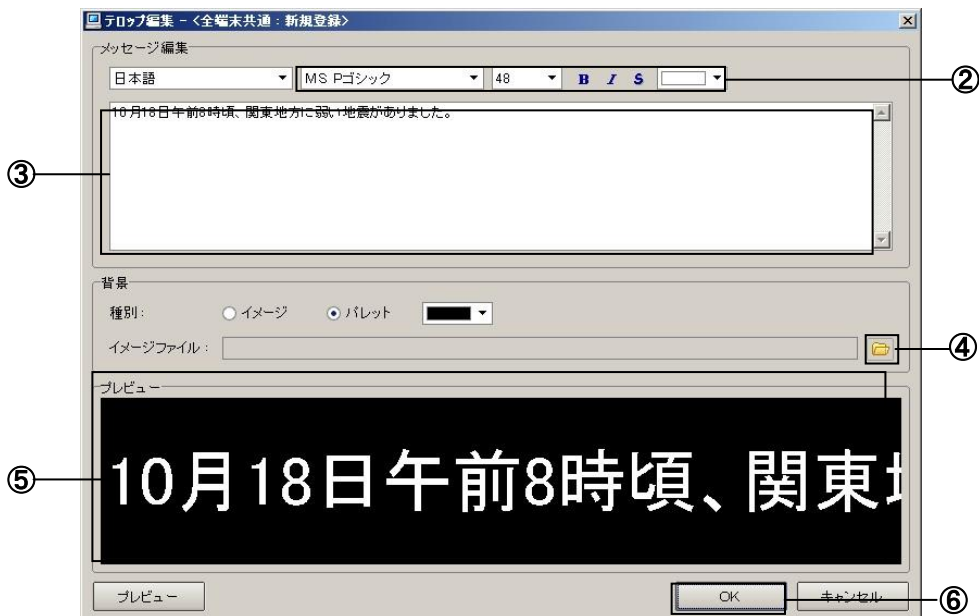


STEP 2 テロップのフォントスタイル、サイズ、色を指定し(②)、テロップの表示内容をテキストで入力します(③)。メッセージは最大半角 2,000 文字まで入力が可能です。




- テキストファイルからメッセージを読み込むことができます。
テキスト入力領域(③)で、右クリック→『インポート』を選択すると、ファイル選択画面が表示されます。テキストファイルを指定し、『開く』をクリックしてください。
- インポートによるテキストファイルからの読み込みにおいては、改行コードは削除されます。
- テキスト入力領域(③)で右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----------|---------------------------|
| 元に戻す(U) | 編集した最後の操作を取り消します。 |
| 切り取り(T) | 選択されたテキストを切り取ります。 |
| コピー(C) | 選択されたテキストをクリップボードにコピーします。 |
| 貼り付け(P) | クリップボード内容を貼り付けします。 |
| すべて選択(A) | 全テキストを選択状態にします。 |
| インポート(I) | 指定されたテキストファイルの内容を読み込みます。 |



STEP 3 「背景」で、背景を設定します。背景は初期値では黒色が設定されています。

- イメージ : イメージファイルを設定します。設定できるのは BMP または JPEG 形式です
イメージファイルから『  』(④)をクリックし、ファイルを指定します。
- パレット : 単色の背景を設定します。色を選択してください。

STEP 4 プレビュー領域(⑤)に背景ファイルと入力したテキストが表示されます。右クリック→『プレビュー』を選択すると画面が別画面で表示されます。ウィンドウの大きさが変更できますので、表示するサイズに合わせてプレビューが可能です。プレビューウィンドウを閉じる場合は、タイトルバーの終了ボタン(⑦)をクリックします。

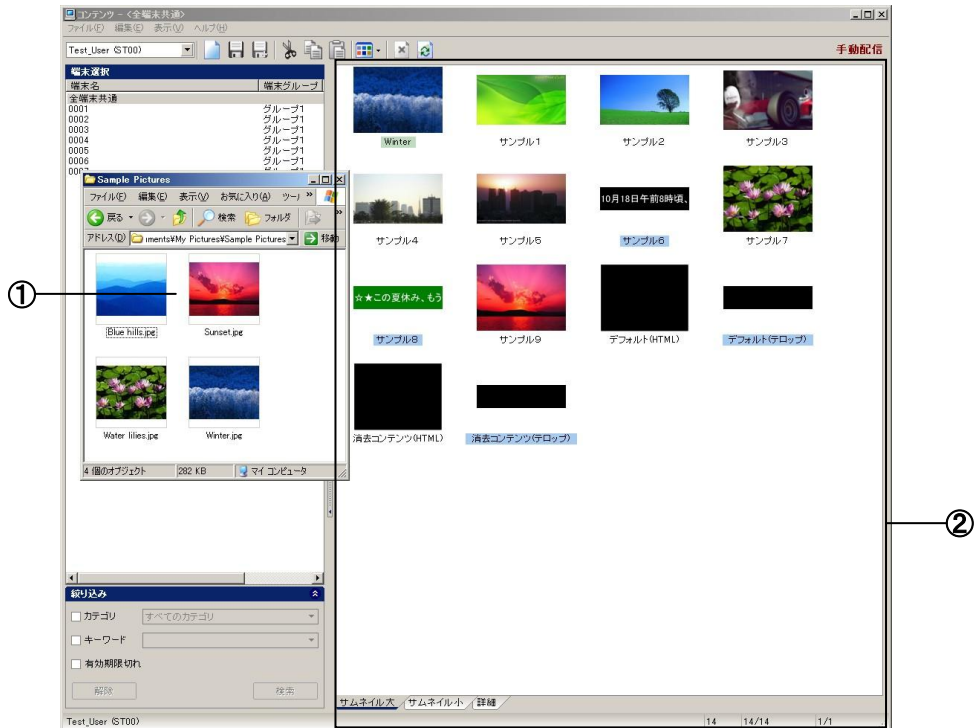


STEP 5 入力した項目を確認後、『OK』(⑥)をクリックします。

4.5.4 通常コンテンツを連続して登録する

エクスプローラから、コンテンツ画面にドラッグ&ドロップで、コンテンツ登録が可能です。
ファイルを複数選択することにより連続登録が可能です。

STEP 1 コンテンツを登録する端末(全端末共通、または個別端末)を選択(①)します。
エクスプローラから登録するファイルを複数選び、右枠内にドラッグ&ドロップ(②)します。



STEP 2 コンテンツ編集画面が開きます。その後の操作は、登録時と同様です。
1つ目のコンテンツ登録が終了すると、続いて、次のコンテンツのコンテンツ編集画面が表示され、連続して登録することが可能です。選択したすべてのコンテンツ登録が完了する前に、『キャンセル』をクリックした場合、以降の登録処理はキャンセルされます。

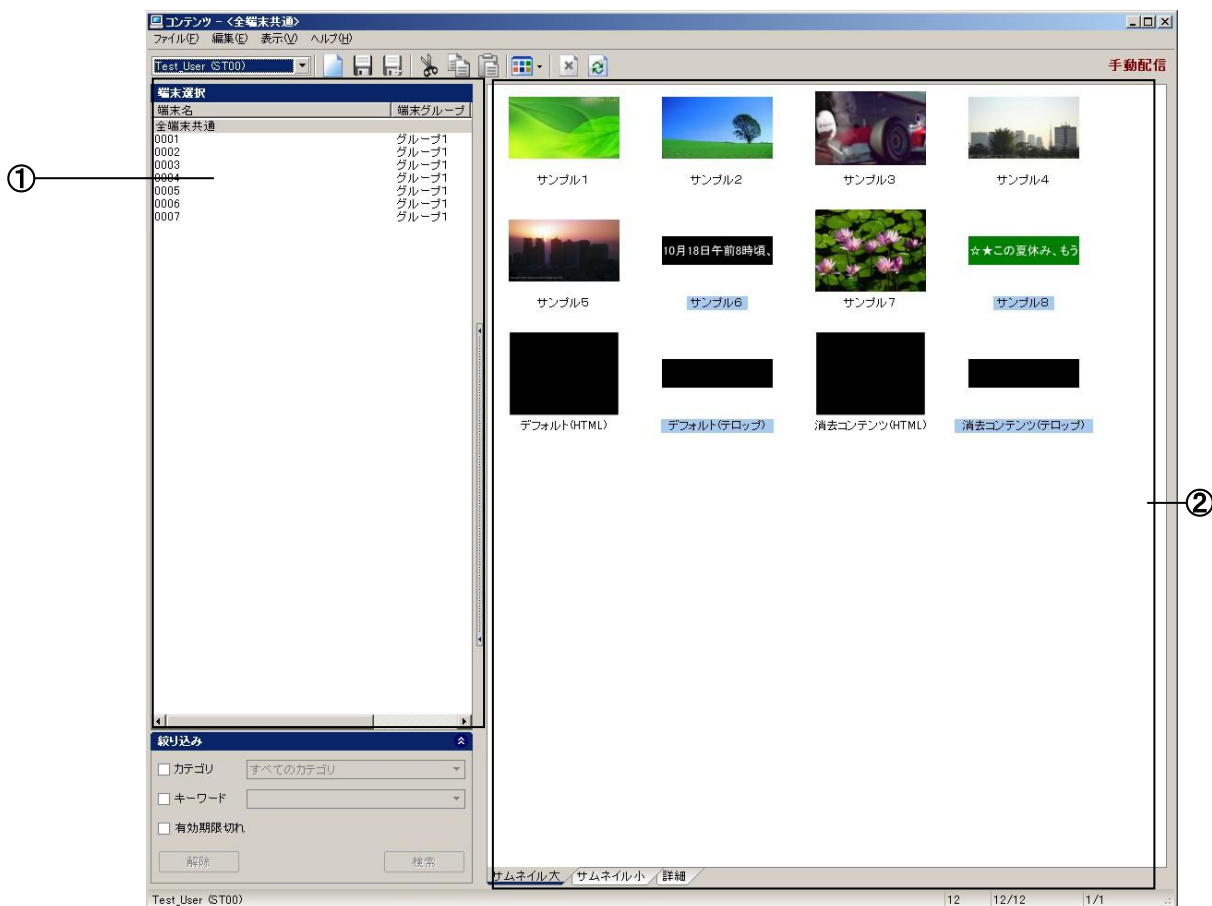
4.5.5 編集する

登録済みコンテンツの編集方法について説明します。

4.5.5.1 編集する

タイトルや表示時間などの登録内容を編集します。

- STEP 1** 「全端末共通」、または「個別端末」を選択すると①、該当するコンテンツが表示されます。編集したいコンテンツ②をダブルクリックすると、コンテンツ編集画面が表示されます。



- STEP 2** 登録内容の必要箇所を編集します。通常コンテンツの場合、登録コンテンツの実体は変更できません。

- STEP 3** コンテンツ編集画面の『OK』をクリックします。管理サーバーにコンテンツが登録され、確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。



- 既にプレイリストやスケジュールに登録されているコンテンツの表示時間を編集しても、登録済みのプレイリストやスケジュールの表示時間には反映されません。該当のプレイリストやスケジュールが存在する場合は再度編集・登録を実施してください。

4.5.5.2 名前を付けて保存する

「コンテンツ選択」(①)からコンテンツを選択、タイトルを編集し、登録することで、別名を付けて保存することができます。

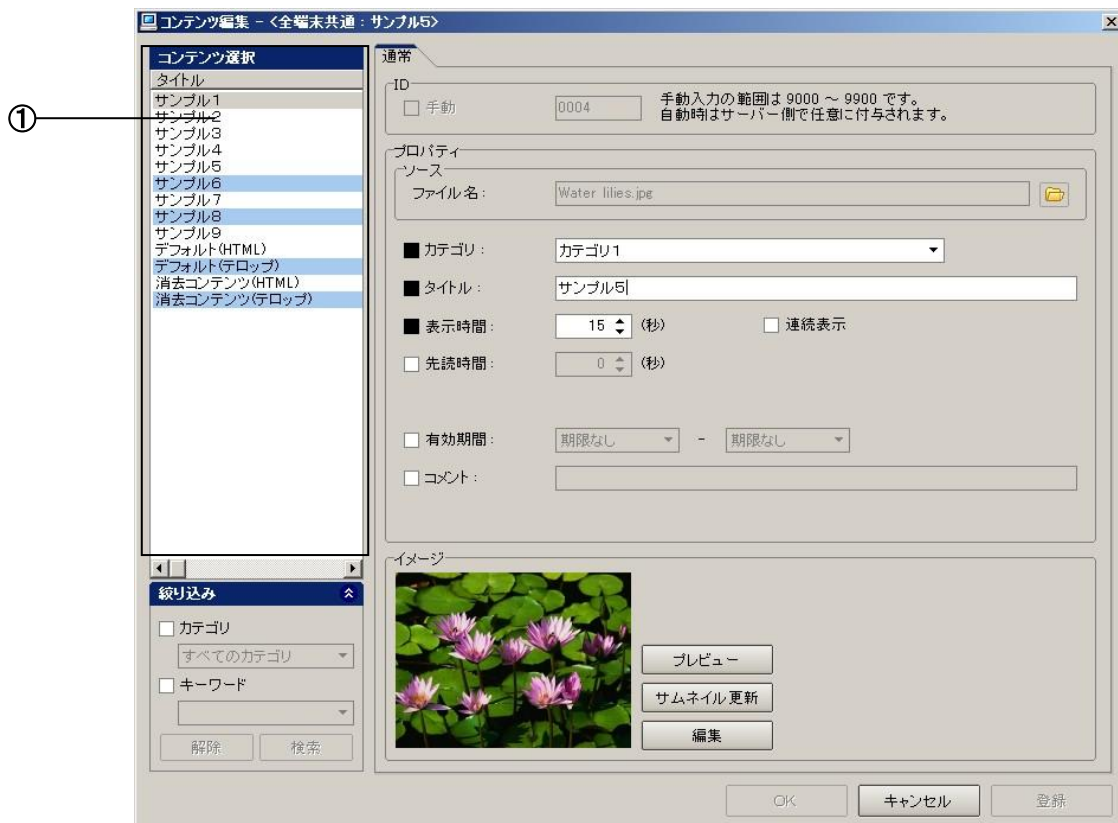
STEP 1 コンテンツ編集画面を開きます。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「新規登録」を選択します。

アイコン : 新規登録アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

STEP 2 コンテンツ選択(①)からコピーしたいコンテンツをダブルクリックします。タイトルを編集します。また、必要があれば、プロパティを編集します。



STEP 3 『登録』、または『OK』をクリックすると、管理サーバーにコンテンツが登録されます。確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。

4.5.5.3 削除する

登録コンテンツを削除します。削除したいコンテンツを選択して以下の操作を行ってください。確認画面が表示されますので、内容を確認し、『はい』をクリックすると、管理サーバーの情報が削除されます。

メニューバー : メニューバー→「編集」→「コンテンツ削除」を選択します。

コンテキスト : 右クリック→「削除」を選択します。

ショートカット : Delete を押します。



- 削除したコンテンツデータは復元することができません。確認してから削除してください。
- 配信モードを「自動配信」に設定している場合、コンテンツを削除しても削除情報は自動配信されません。【4 .9 .4



- 端末に配信済みのコンテンツを削除した場合は、コンテンツを削除した情報を配信することで、端末側でデータを削除します。

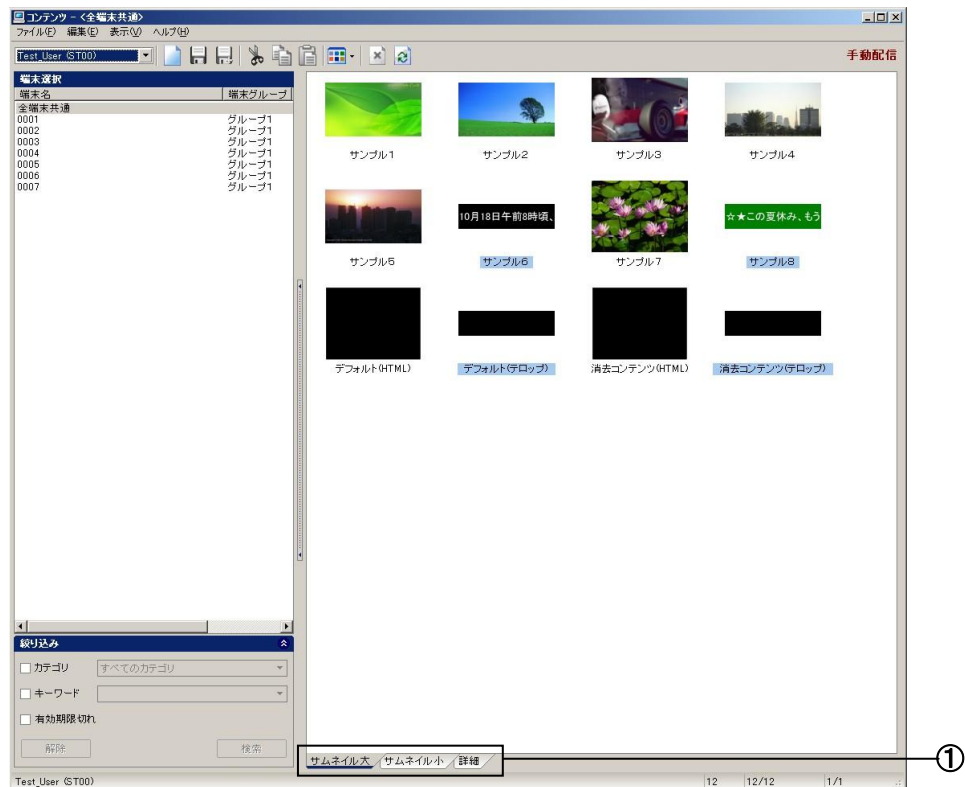
4.5.6 表示する

コンテンツの表示形式を変更することができます。

4.5.6.1 一覧表示について

(1) タブ切り替え

タブ(①)を切り替えることにより、『サムネイル大』『サムネイル小』『詳細』と、表示形式を変えることができます。詳細表示では、項目ごとのソート表示が可能です。



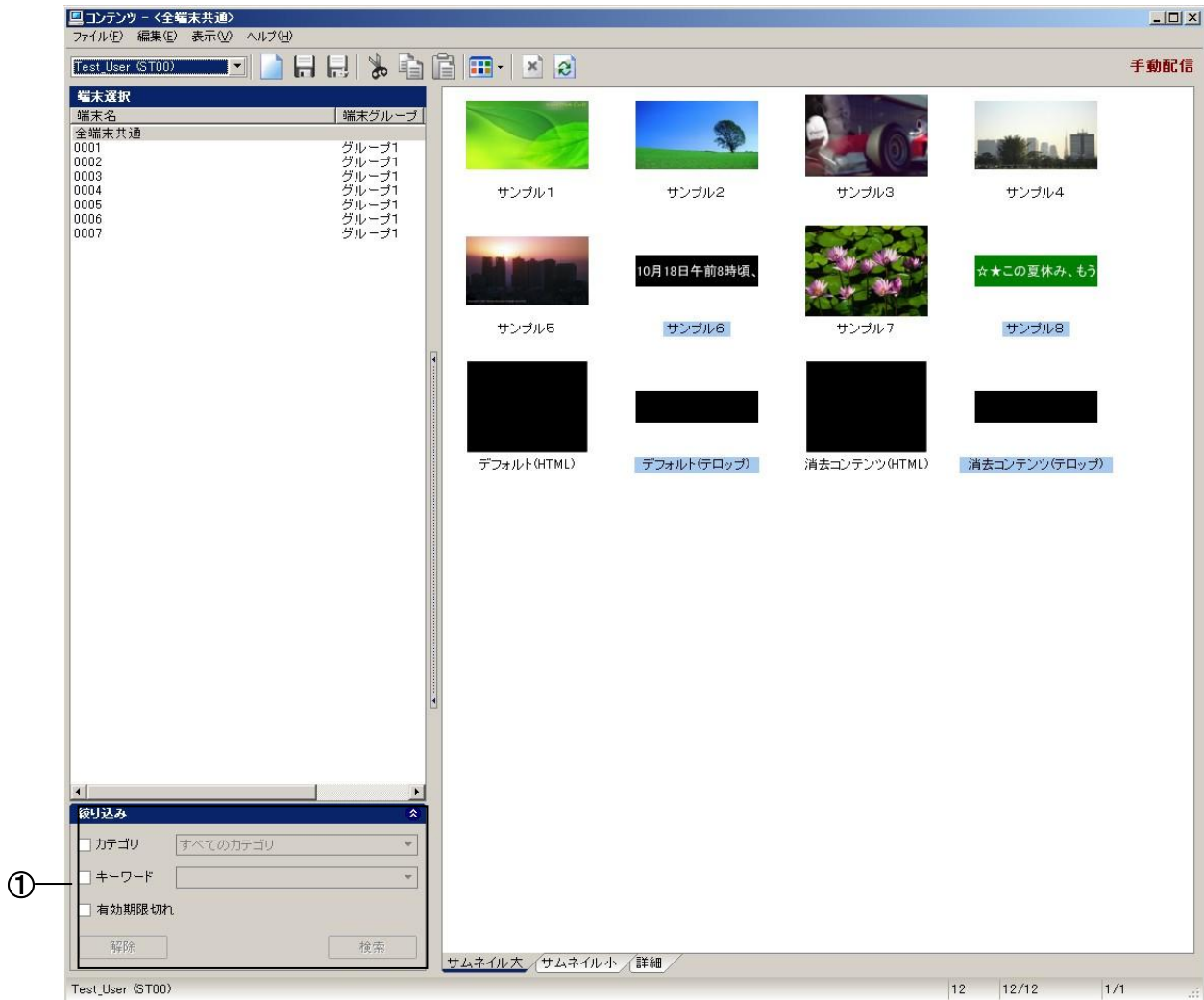
(2) コンテンツ種類

コンテンツの種類により、タイトル等の背景色が変わります。

| | |
|---------------|-----|
| 通常コンテンツ | : 白 |
| テロップコンテンツ | : 青 |
| URL コンテンツ | : 白 |
| インタラクティブコンテンツ | : 緑 |

4.5.6.2 絞り込み表示する

絞り込み(①)では「カテゴリ」「キーワード」「有効期限切れ」をチェックし条件を指定することで、コンテンツを絞り込むことができます。



- カテゴリ : 選択コンボボックスで選択したカテゴリが、絞り込み条件に適用されます。
- キーワード : 入力した文字列が、絞り込み条件に適用されます。スペース区切りで AND 条件になります。検索対象は、タイトル、コメント、ファイル名です。
また、コンボリスト展開時に、削除したいキーワードにフォーカスを当てた状態で **Delete** を押すと、登録キーワードを消去します。
- 有効期限切れ : 有効期間が経過したコンテンツが絞り込み条件に適用されます。
- 検索ボタン : 上記の適用条件で、コンテンツの絞り込み検索を行い、コンテンツ一覧に結果を表示します。検索の実行後、無効状態になり、上記条件に変更が加えられた場合、有効状態になります。
- 解除ボタン : 上記の条件をすべて解除して、絞り込みの検索処理を行います。
(設定した絞り込み条件が解除され、すべてのコンテンツが表示されます。)




- 「有効期限切れ」(①)をチェックすると、該当コンテンツを表示します。有効期限切れのコンテンツは使用することができませんので、不要であれば削除してください。または、有効期間を変更してください。

4.5.7 エクスポートする

登録済みコンテンツのエクスポート機能です。例えば、エクスポート機能を利用して、サーバー上で登録されたコンテンツを CD 等の外部記憶媒体に出力し、ネットワーク接続されていないプレーヤー端末にコピーすることで最新のコンテンツを利用することが可能です。

STEP 1 メニューの「ファイル」→「エクスポート」を選択します。

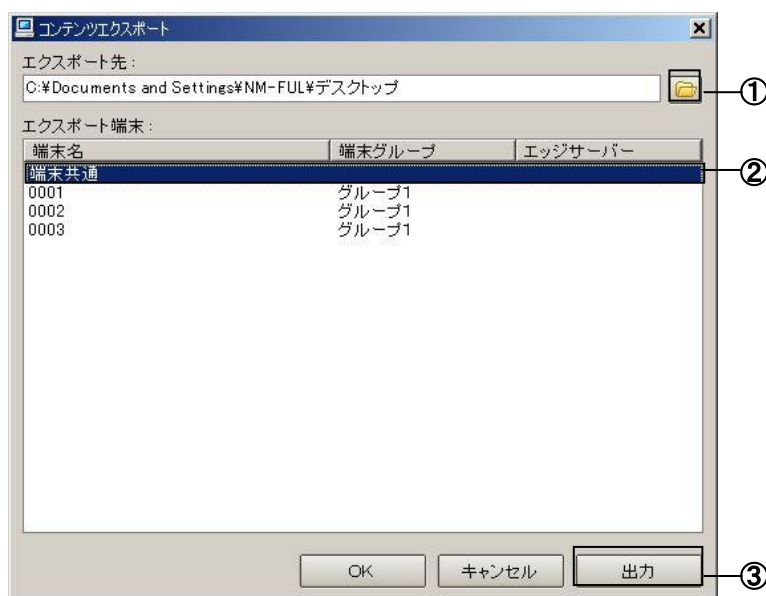
STEP 2 コンテンツエクスポート画面が表示されます。

「エクスポート先」の『  』（①）をクリックし、指定します。



- 「エクスポート先」は直接入力して指定することはできません。必ず、フォルダの参照画面からフォルダを指定してください。また、本システムのコンテンツ管理形式にて、フォルダ名は「NM」でエクスポートされます。

STEP 3 エクスポートする端末を選択し（②）、『OK』または『出力』（③）をクリックすると、エクスポートがスタートします。終了すると、確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。



- 特定端末を選択した場合、選択した端末の個別コンテンツのみがエクスポートされます。共通コンテンツをエクスポートする場合は、全端末共通を選択してください。

4.5.8 削除コンテンツを完全に削除する

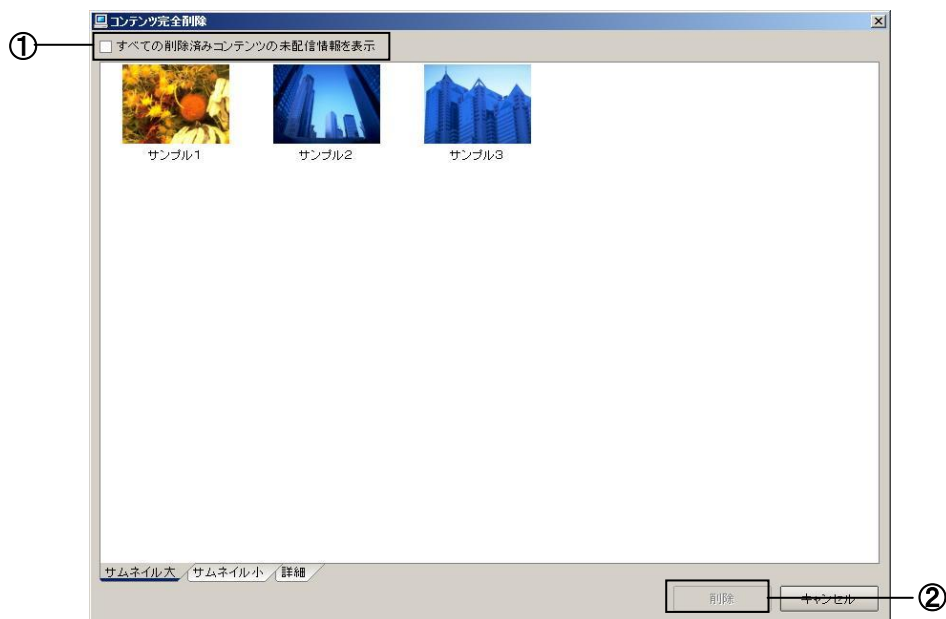
コンテンツを削除した場合、操作端末上では該当コンテンツが表示されなくなりますが、配信されている全てのプレーヤー端末に対して削除配信が完了するまで、管理サーバーのディスク上ではコンテンツの実体が削除されません。プレーヤー端末の削除など登録情報を変更した場合、サーバー上の実体を消すことができないため、ディスクを圧迫します。プレーヤー端末を削除した場合は、削除済みで未配信となっているコンテンツを管理サーバーのディスク上からも強制的に削除するために、「完全削除」を実行してください。

STEP 1 メニューの「ファイル」→「完全削除」を選択します。

STEP 2 完全削除画面が表示されます。削除済みで未配信となっているコンテンツが表示されます。



- 初期表示では、一部の端末に削除配信が実行されていないコンテンツを表示します。「すべての削除済みコンテンツの未配信情報を表示」(①)にチェックすると、登録されているプレーヤー端末すべてに削除配信が実行されていないコンテンツも合わせて表示されます。



STEP 3 削除したいコンテンツを選択し、『削除』(②)をクリックします。確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。



- コンテンツは複数選択することが可能です。

4.6 プレイリスト

ここでは、プレイリストの管理サーバーへの登録、編集、削除、および確認を行います。

4.6.1 概要

プレイリストは、フレームパターンの表示順序と、各フレーム(H1~H4、S1、S2)で表示するコンテンツを定義した放映の最小単位です。登録できるプレイリストの最大数は、共通プレイリストがユーザごとに1,000、個別プレイリストが端末ごとに1,000です。1つのフレームに登録されているコンテンツは、登録順に放映されます。フレーム内の、全コンテンツの表示時間の合計よりも、フレームの表示時間を長く設定した場合は、最後のコンテンツが放映された後、先頭のコンテンツから繰り返し放映されます。フレームの表示時間設定によっては、コンテンツの表示が途中で中断して、次のフレームに移りますので、フレームの表示時間を、コンテンツの表示時間で割り切れる時間に設定してプレイリストを作成することをお勧めします。







●プレイリスト登録と表示例

| フレームパターン | 表示時間※1 | H1 ※2 | H2 | S1 |
|---|----------|--|---|--|
|  | 01:00:00 | コンテンツ A : 15分  | | |
|  | 00:30:00 | コンテンツ B : 10分  | コンテンツ C : 5分  | |
|  | 00:30:00 | コンテンツ D : 10分  | | テロップ E : 5分  |

※1 自動計算の場合は、指定したフレームに登録されているコンテンツ表示時間の合計時間となります。

※2 H1~H4は通常コンテンツ、S1~S2はテロップコンテンツを登録します。異なる領域には登録できません。

表示すると・・・

| フレームパターン | 表示時間 | 表示イメージ |
|---|----------|--|
|  | 01:00:00 | コンテンツ A: 15分 × 4  4回繰り返し |
|  | 00:30:00 | (コンテンツ B: 10分 + コンテンツ C: 5分 × 2) × 3  10分 × 1回 5分 × 2回 3回繰り返し |
|  | 00:30:00 | (コンテンツ D: 10分 + テロップ E: 5分 × 2) × 3  10分 × 1回 5分 × 2回 3回繰り返し |

4.6.2 画面の説明

ランチャーボタンの『プレイリスト』をクリックすることで、プレイリスト機能画面を表示します。画面は表示モードと編集モードがありますので、切り替えて使用します。初回起動時は表示モードとなり、新規登録操作や登録済みプレイリストをダブルクリックすることにより編集モードに切り替わります。

●表示モード

選択したプレイリストの登録内容(②)を、プレイリスト内容(③)に表示します。編集することはできません。

①プレーヤー端末を選択します。

登録時には、プレーヤー端末の選択状態で、共通プレイリスト、または個別プレイリストに分類されます。

全端末共通 : 共通プレイリストを登録する場合に選択します。共通コンテンツが利用可能です。

個別端末 : 個別プレイリストを登録する場合に選択します。共通コンテンツ、該当プレーヤー端末の個別コンテンツが利用可能です。

②プレーヤー端末の選択状態(①)に連動して、登録されているプレイリストを表示します。

③プレイリストの選択状態(②)に連動して、プレイリストの内容を表示します。この領域をプレイリスト内容と呼びます。

The screenshot shows the NMstage software interface. On the left is a sidebar with navigation buttons: コンテンツ, プレイリスト, スケジュール, カレンダー, 配信管理, 端末監視, チャンネル, ログ参照, 端末登録, 情報分析. The main window is titled 'プレイリスト表示 - <全端末共通: 未選択>'. It features a '端末選択' (Terminal Selection) table and a 'プレイリスト選択' (Playlist Selection) table. The 'プレイリスト選択' table is highlighted with a circled '2'. The main area shows a table with columns for 'プレイリスト名', '表示時間', and '更新日時'. A circled '1' points to the 'ログ参照' button in the sidebar, and a circled '3' points to the main playlist table area.

| 端末名 | 端末グループ |
|-------|--------|
| 全端末共通 | |
| 0001 | グループ1 |
| 0002 | グループ1 |
| 0003 | グループ1 |
| 0004 | グループ1 |
| 0005 | グループ1 |
| 0006 | グループ1 |
| 0007 | グループ1 |

| プレイリスト名 | 表示時間 | 更新日時 |
|---------|----------|---------------------|
| サンプル1 | 00:00:30 | 2007/07/25 16:21:54 |
| デフォルト | 24:00:00 | 2006/12/05 14:49:47 |

| プレイリスト名 | 表示時間 | 更新日時 | コマンド | H1 | H2 | H3 | H4 | S1 | S2 |
|---------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|
|---------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|



- 表示/編集モードでは、表示中のプレイリストに登録されているコンテンツに有効期限が切れたコンテンツまたは削除されたコンテンツが含まれる場合、詳細表示欄のコンテンツ名称が赤字で表示されます。

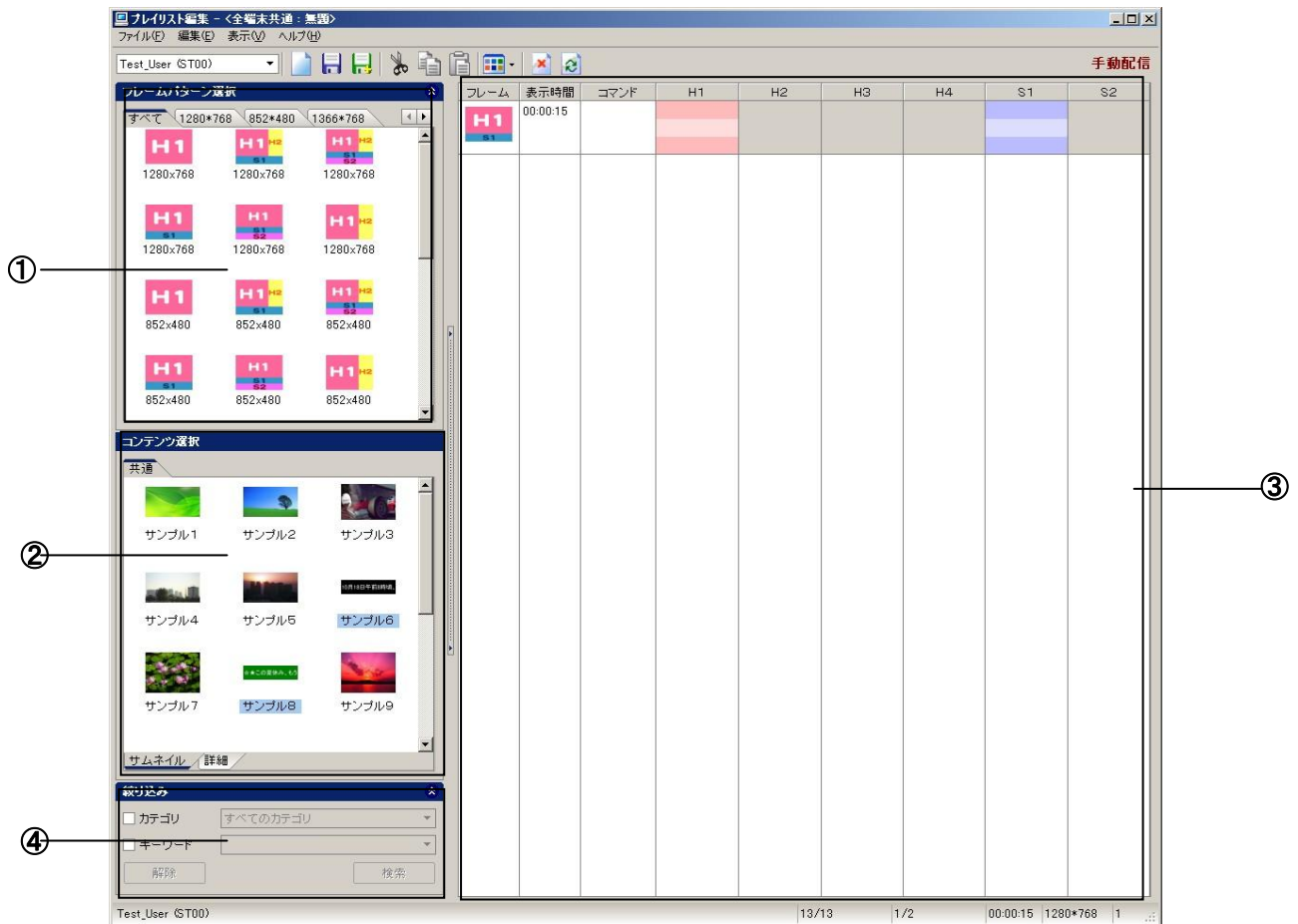
●編集モード

プレイリストの登録、編集を行います。

- ①フレームパターンを選択します。フレームパターンにマウスカーソルを当てると以下の情報が表示されます。フレームパターン、フレームサイズの詳細は【2.2.1 放映の構成について】をご参照ください。

| 表示項目 | 内容 |
|------|--|
| NAME | フレーム全体のサイズ |
| ID | フレーム情報と全体のサイズ 表示形式:ID(ファイル名)横幅、高さ |
| H* | 通常コンテンツのフレームサイズ 表示形式 :H*(横位置、縦位置)-(横幅、高さ) |
| S* | テロップコンテンツのフレームサイズ 表示形式 :S*(横位置、縦位置)-(横幅、高さ) |

- ②表示モードのプレーヤー端末の選択状態に連動して、登録されているコンテンツを表示します。個別端末の場合、「個別」タブをクリックすると、登録されている個別コンテンツが表示されます。
- ③プレイリストの内容を表示し、編集操作を行います。
- ④コンテンツの絞り込み検索をします。操作方法はコンテンツ画面と同じです。



4.6.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | モード | | 説明 | |
|------------|-------------|----|--|--|
| | 表示 | 編集 | | |
| ファイル(F) | 新規登録(N) | ○ | ○ | プレイリストを新規登録します。 編集モード:プレイリストに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| | 保存(S) | | ○ | 編集されたプレイリストをサーバーに登録します。 新規登録による編集時は、選択できません。 |
| | 名前を付けて保存(A) | | ○ | 編集中のプレイリスト情報に名前を付けて保存します。名称入力用の画面を表示します。 |
| | ユーザ切り替え(U) | ○ | ○ | 編集対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 編集モード:プレイリストに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| | 閉じる(C) | ○ | ○ | プレイリスト画面を終了します。 編集モード:プレイリストに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| 編集(E) | 編集(E) | ○ | | 編集モードに遷移します。 プレイリスト未選択時は、選択できません。 |
| | 切り取り(T) | | ○ | プレイリスト内容領域で選択されたコンテンツを切り取ります。 |
| | コピー(C) | | ○ | プレイリスト内容領域で選択されたコンテンツをクリップボードにコピーします。(クリップボードとは情報を一時的に保存する領域です。以降同様です。) |
| | 貼り付け(P) | | ○ | プレイリスト内容領域の選択フィールドにクリップボード内容を貼り付けします。 |
| | 消去(A) | | ○ | プレイリスト内容領域の選択項目を削除します。 |
| | 置換(R) | | ○ | プレイリスト内容領域で選択されたコンテンツをコンテンツ選択領域で選択されたコンテンツに置換します。 |
| | プレイリスト削除(D) | ○ | | プレイリストを削除します。 プレイリスト未選択時は、選択できません。 |
| 編集内容の破棄(D) | | ○ | 編集モード:プレイリストに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 | |
| 表示(V) | プレビュー(P) | ○ | ○ | 選択されたコンテンツをプレビュー表示します。 または、フレームを選択した場合は、フレームプレビューを行います。 注意！！ ● フレームプレビュー画面を縮小した場合、テロップのフォントサイズは縮小しますが、テロップ速度は変わりません。また、URL は縮小されませんので、実際の表示と異なる場合があります。 |
| | サムネイル(T) | | ○ | コンテンツ一覧をサムネイル表示に変更します。 |
| | 詳細(D) | | ○ | コンテンツ一覧を詳細表示に変更します。 |
| | 最新の情報に更新(R) | ○ | ○ | プレイリスト画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ○ | ○ | ヘルプ画面を表示します。 |

○ : 常に選択することが可能、または、条件により選択が可能です。

「無印」 : 選択することができません。



- 配信モードを「自動配信」に設定している場合、プレイリストを削除しても削除情報は自動配信されません。【4.9.4 リクエストを登録する】章を参照し、削除済みの情報を抽出し配信してください。

4.6.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

●表示モード

| 項目 | 説明 |
|-----------|---|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 登録プレイリスト数 | 選択されている端末種別に登録されているプレイリスト数です。 「共通」選択時:全端末共通のプレイリスト数です。 「端末」選択時:選択された端末個別のプレイリスト数です。 |
| 画面サイズ | プレイリストに登録されている画面サイズです。(選択時) |
| 登録フレーム数 | プレイリストに登録されている登録フレーム数です。(選択時) |

●編集モード

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| コンテンツ数 | 絞り込み結果数/選択したプレーヤー端末に登録されているコンテンツ総数を表示します。 |
| ページ数 | コンテンツ選択領域について、現在表示中のページ番号/総ページ数を表示します。 |
| プレイリスト時間 | 編集中のプレイリストに登録されているフレームの総表示時間を表示します。 |
| 画面サイズ | プレイリストに登録されている画面サイズです。(選択時) |
| 登録フレーム数 | プレイリストに登録されている登録フレーム数です。(選択時) |

4.6.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

●表示モード(プレイリスト選択)

| 項目 | 説明 |
|-------|---------------------------|
| 編集(E) | メニューバー「編集(E)」と同じです。 |
| 削除(D) | メニューバー「プレイリスト削除(D)」と同じです。 |

●編集モード(プレイリスト内容)

| 項目 | 説明 |
|----------|--|
| 切り取り(T) | メニューバー「切り取り」と同じです。 |
| コピー(C) | メニューバー「コピー」と同じです。 |
| 貼り付け(P) | メニューバー「貼り付け」と同じです。 |
| 消去(A) | メニューバー「消去」と同じです。 |
| 置換(R) | メニューバー「置換」と同じです。 |
| プレビュー(P) | コンテンツが選択されている場合は、コンテンツのプレビュー画面を表示します。 フレーム全体が選択されている場合は、フレームパターンのプレビュー画面を表示します。 表示、編集モードのどちらでも使用することが可能です。 |



- 編集モードのメニューバーの「編集」およびコンテキストメニューは、プレイリスト内容の編集メニューです。フレームパターンや、選択したコンテンツ自体を直接編集することはできません。

4.6.3 登録、編集する

プレイリストの登録、編集手順について説明します。

STEP 1 端末選択にて、「全端末共通」または登録する端末を選択します。

STEP 2 プレイリスト編集画面を開きます。

●新規登録

- メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「新規登録」を選択します。
- アイコン : 新規登録アイコンをクリックします。
- ショートカット : Ctrl + N を押します。

●編集

- プレイリスト選択 : プレイリスト選択から、プレイリストをダブルクリックします。
または、右クリック→「編集」を選択します。

STEP 3 プレイリスト編集画面が表示されますので、「フレームパターン選択」から、フレームパターンを選択します。

- ダブルクリック : フレームパターンをダブルクリックします。
- ドラッグ&ドロップ : フレームパターンをフレーム内容にドラッグ&ドロップします。

不要なフレーム情報を削除する場合は、該当フレーム行を選択した状態で以下の操作を行ってください。

- メニューバー : メニューバー→「編集」→「消去」を選択します。
- コンテキスト : 右クリック→「消去」を選択します。
- ショートカット : Delete を押します。



- フレームパターンにマウスカーソルを合わせると、フレームの情報が表示されます。

STEP 4 「コンテンツ選択」からプレイリスト内容のフレーム領域へコンテンツを設定してください。
通常コンテンツは H1～H4、テロップコンテンツは S1～S21 のフレームへ設定します。
1 フレームに登録できるコンテンツ数は 80 です。

ダブルクリック : 該当フレームを選択した状態で、コンテンツをダブルクリックします。
ドラッグ&ドロップ : コンテンツをフレーム内容にドラッグ&ドロップします。

必要に応じて、プレイリスト内容のフレーム内コンテンツの移動や順序の変更が可能です。
該当コンテンツを選択した状態でメニューの「編集」から選択、または右クリックしてコンテキストメニューから選択してください。



- パワーポイントを、テロップを含むフレームパターンに誤って設定した場合、全画面表示されているパワーポイント上に、テロップが最前面で表示されます。パワーポイントは全画面以外のフレームパターンでは使用しないでください。



- プレイリスト内容の登録できる領域では、マウスカursorが変化します。
- プレイリスト内容のフレーム内の情報をドラッグ&ドロップで別フレームへ移動、順番の変更が可能です。

STEP 5 設定が終了したら、以下の方法でプレイリストを保存します。確認画面が表示されるので『OK』をクリックしてください。

- 保存
新規保存、または上書き保存します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「保存」を選択します。
アイコン : 保存アイコンをクリックします。
ショートカット : Ctrl + S を押します。

●名前を付けて保存

名前を付けて保存します。以下の操作を行うと、プレイリスト名を入力する画面が表示されますので(新規登録の場合は新規保存画面、編集の場合は名前を付けて保存画面)、プレイリスト名①を入力し『保存』をクリックします。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。

アイコン : 名前を付けて保存アイコンをクリックします。

ショートカット : **Ctrl** + **R** を押します。



4.6.4 登録、編集を中断する

プレイリストの登録、編集を中断する手順について説明します。

以下のいずれかの操作を行ってください。

メニューバー : メニューバー→「編集」→「編集内容の破棄」を選択します。

アイコン : 編集内容の破棄アイコンをクリックします。

ショートカット : **Esc** を押します。



- 編集の場合、保存の有無を確認するメッセージを表示し、「はい」をクリックすると表示モードに移ります。また、編集モードにて、編集操作を行っていない場合は、メッセージを表示せず表示モードに移ります。

4.6.5 表示時間について

フレームパターンの表示時間について説明します。初期設定では、H1 に登録されたコンテンツ表示時間の合計を自動計算し、表示時間とします。コンテンツ表示時間に基づき、フレーム内のコンテンツをすべて表示した後、次のフレームを順次表示します。



- H1 に、連続表示が設定されたコンテンツ(以後、連続コンテンツ)が含まれる場合、自動計算はされません。また、連続コンテンツ以降に設定されたコンテンツは表示されません。



- フレームパターン設定直後は最小値の 15 秒で表示されます。

4.6.5.1 手動で設定する

表示時間を手動で指定することが可能です。指定時間分、フレーム内のコンテンツを繰り返し表示します。



- 手動設定した後はコンテンツを追加、削除しても自動計算されません。H1 の自動計算設定に戻すには次の操作を行う必要があります。
「自動計算フレーム設定」にて H1 を指定→『表示時間算出』→『OK』をクリック

STEP 1 表示時間領域をダブルクリックすると、表示時間設定画面が表示されます。

STEP 2 「表示時間」に表示させる時間を入力し、『OK』をクリックします。



- 1 つのフレームを 24 時間繰り返し表示、さらに表示時間を明示的に 24 時間にしたい場合に、『24時間指定』をチェックし、『OK』をクリックしてください。この場合、以降のフレームは表示されませんので、通常は使用しないでください。

4.6.5.2 自動計算について

表示時間設定画面では、選択状態のフレーム情報の表示時間に H1 以外のフレーム、または全フレームで最も合計時間の長いものを自動計算対象とすることが可能です。

STEP 1 表示時間をダブルクリックすると、表示時間設定画面が表示されます。

STEP 2 「自動計算フレーム設定」からフレームを選択し、『表示時間算出』をクリックすると、「表示時間」に計算結果が表示されます。

STEP 3 『OK』をクリックするとプレイリスト内容の表示時間に適用されます。



- H1 以外のフレームを指定し、表示時間を適用した後はコンテンツを追加、削除しても自動計算されません。H1 の自動計算の設定に戻すには以下の操作を行う必要があります。
「自動計算フレーム設定」にて H1 を指定→『表示時間算出』→『OK』をクリック



- 1 つのフレームを 24 時間繰り返し表示、さらに表示時間を明示的に 24 時間にしたい場合に、『24時間指定』をチェックし、『OK』をクリックしてください。この場合、以降のフレームは表示されませんので、通常は使用しないでください。

4.6.6 コマンドについて

コマンドの登録、編集手順について説明します。

必要があれば、コマンドを設定することができます。1つのフレームパターンに対して、登録できるコマンドは 5 つまで、複数のコマンドを登録した場合は順次実行されます。コマンドの内容は以下の通りです。

| 表示項目 | 説明 |
|------------|---------------------------|
| PDP 電源 OFF | PDP の電源を切ります。 |
| PDP 電源 ON | PDP の電源を入れます。 |
| 音声 OFF | 音声をミュートに設定し、音声無しで放映します。 |
| 音声 ON | 音声のミュート設定を解除し、音声ありで放映します。 |



- プレイリストとスケジュールにコマンドが登録されている場合、スケジュール→プレイリストの順に実行されます。
- 「PDP 電源 ON」または「PDP 電源 OFF」に続けて PDP 制御コマンドを送る場合、PDP が受信できない場合があります。PDP 電源制御コマンドに続けてコマンド登録する場合はフレームを分けて設定してください。
- プレーヤー端末の制御により、音声 ON、OFF を実現しています。別系統で音声を再生している場合は、制御できません。
- 割り込み表示が終了または解除された時、再開する時刻のフレームパターンにコマンドが設定されている場合には割り込み表示が終了または解除されたタイミングでコマンドが発行されます。

STEP 1 フレーム内容のコマンド領域をダブルクリックすると、コマンド設定画面が表示されます。コマンドを選択し、『OK』をクリックします。必要に応じて、移動や順序の変更が可能です。削除する場合は、「コマンド無し」を選択することで削除することが可能です。

4.6.7 登録済みプレイリストを編集する

登録済みプレイリストの編集について説明します。

4.6.7.1 削除コンテンツがある場合について

プレイリストに登録されているコンテンツが管理サーバーから削除された場合、該当コンテンツが登録されていた領域に「???'が表示されます。このため、削除されたコンテンツを含むプレイリストを保存する場合、「保存できません」という警告ダイアログが表示されます。



- 他の機能画面でも登録していた情報が削除された領域には「???'が表示されますので、内容をご確認の上、「???'を削除、必要があればその他編集し、再度登録してください。

4.6.8 プレビューする

プレイリスト内容のコンテンツ、またはフレーム全体をプレビューすることが可能です。



- コンテンツによって、Flash Player や MPEG2 デコーダ、PowerPoint Viewer 等が操作端末にインストールされている必要があります。

4.6.8.1 コンテンツをプレビューする

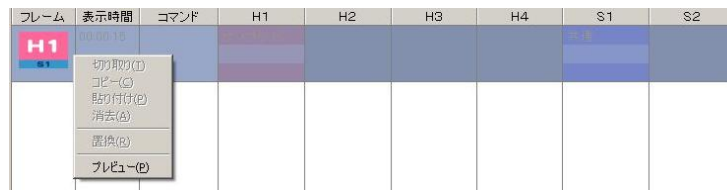
STEP 1 フレーム内容のコンテンツを選択した状態で、「プレビュー」を選択します。



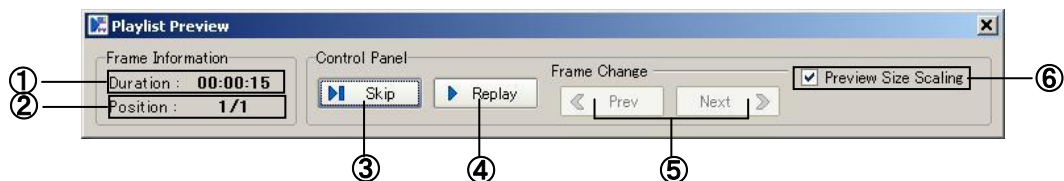
STEP 2 コンテンツプレビュー画面が表示されます。閉じる場合はタイトルボタンの終了をクリックします。

4.6.8.2 フレーム全体をプレビューする

STEP 1 フレーム内容のフレームを選択した状態で、「プレビュー」を選択します。



STEP 2 フレーム全体の画面(プレーヤー端末で表示される画面)が縮小して表示されます。また、操作画面が表示されます。表示内容、操作手順を以下に説明します。



| 項目 | 説明 |
|-----------------------|---|
| ①Duration | フレームの表示時間です。 |
| ②Position | 現在選択されているフレーム項番/登録フレーム数 |
| ③Skip | 次のコンテンツ切り替えタイミングまでスキップします。 |
| ④Replay | 最初のコンテンツから再生します。 |
| ⑤Prev/Next | 次のフレームまたは、前のフレームを表示します。 |
| ⑥Preview Size Scaling | チェックしていると、プレビュー画面が縮小して表示されます。チェックをはずすと、フレームのオリジナルサイズで表示します。ディスプレイのサイズがフレームサイズよりも小さい場合、全画面を表示することはできません。 |

STEP 3 ウィンドウを閉じる場合はタイトルボタンの終了をクリックします。



- プレビューはフレーム単位で表示されます。自動的に次のフレームには移動しません。
- フレームプレビューは複数起動することはできません。また、最前面に表示されるため、確認後に必ずフレームプレビューを終了してください。
- 縮小サイズで表示する場合、テロップ速度は実際の表示速度と異なる場合があります。

4.7 スケジュール

ここでは、スケジュールの管理サーバーへの登録、編集、削除、および、プレビューを行います。

4.7.1 概要

スケジュールは、放映する時刻とプレイリストの組み合わせです。24 時間に対して、プレイリストの放映予定を設定します。登録できるスケジュールの最大数は、共通スケジュール 1,000、グループスケジュール 1,000、個別スケジュール 1,000 です。

4.7.2 画面の説明

ランチャーボタンの『スケジュール』をクリックすることで、スケジュール機能画面を表示します。スケジュールは、画面を表示モードと編集モードに切り替えて使用します。初期起動時は、表示モードとなり、新規登録操作や登録済みスケジュールの再編集を操作することにより編集モードに切り替わります。

●表示モード

選択したスケジュール(②)の登録内容をスケジュール内容(③)に表示します。編集することはできません。

| スケジュール名 | 放映時間 | 更新日時 |
|---------|-------------------|---------------|
| aa | 16:00:00-18:00:15 | 2007/02/14 16 |
| デフォルト | 0:00:00-0:00:00 | 2006/12/05 14 |
| 共通2 | 16:15:00-17:01:15 | 2007/02/14 16 |
| 共通SCH4 | 15:50:00-15:55:15 | 2007/02/14 15 |



- 詳細モードでは、表示中のスケジュールに登録されているプレイリストに有効期限が切れたコンテンツまたは削除された情報が含まれる場合、詳細表示欄の名称が赤字で表示されます。

①プレイヤー端末を選択します。登録時には、プレイヤー端末の選択状態で、共通、グループ、個別スケジュールに分類されます。

- 全端末共通 : すべてのプレイヤー端末で利用可能なスケジュールが作成されます。共通プレイリストのみが使用できます。
- グループ : グループに登録されているプレイヤー端末で共通のスケジュールが作成されます。共通プレイリストのみが使用できます。
- 個別 : 特定のプレイヤー端末のみで利用可能なスケジュールが作成されます。共通プレイリスト、該当プレイヤー端末の個別プレイリストがともに使用できます。

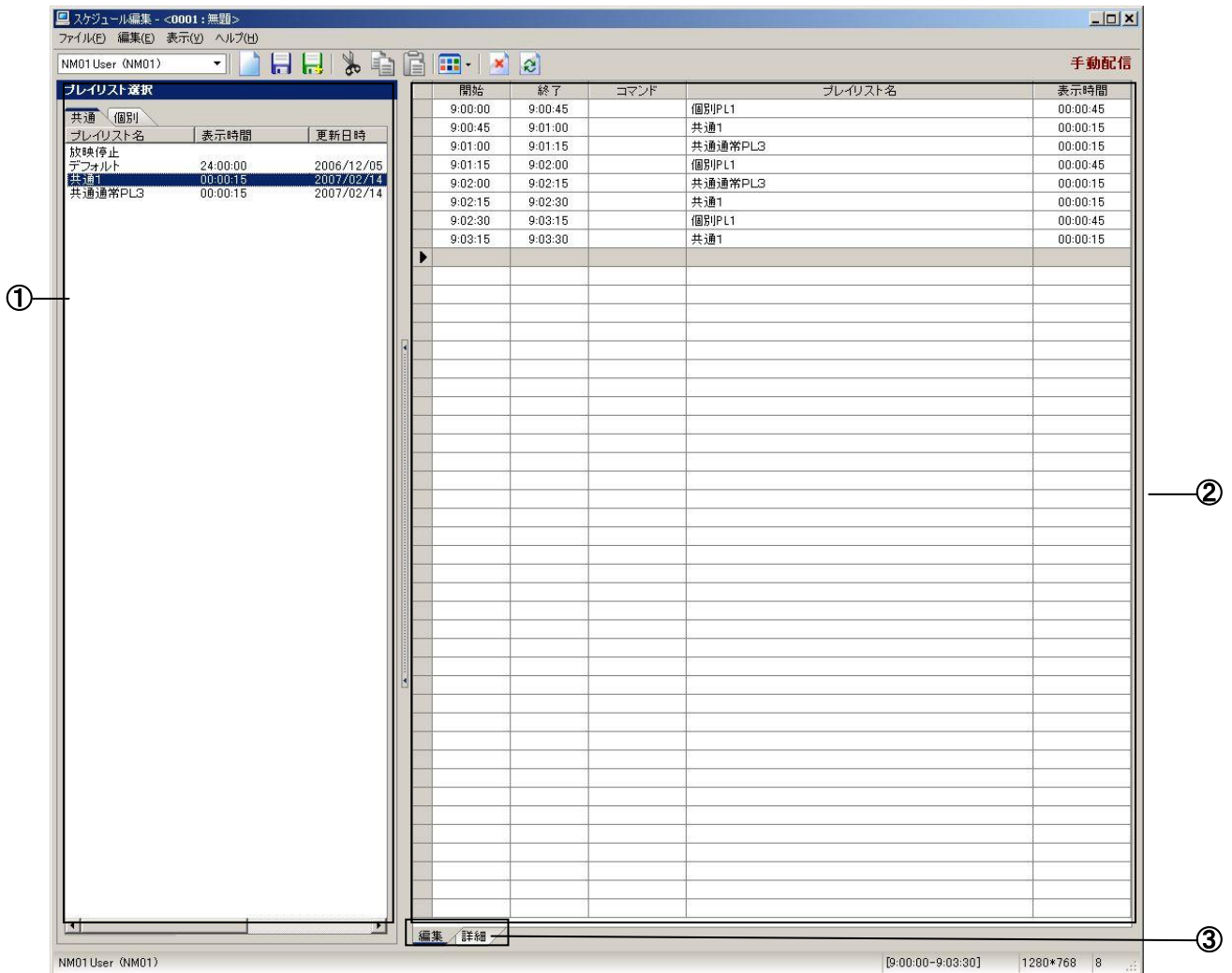
②プレイヤー端末の選択状態(①)に連動して、登録されているスケジュールを表示します。

③スケジュールの選択状態(②)に連動して、スケジュールの内容を表示します。この領域を「スケジュール内容」と呼びます。

④スケジュール内容を『編集』と『詳細』表示に切り替えます。詳細表示では、開始時刻、フレーム、コマンド、それぞれのフレームで表示するコンテンツを表示します。

●編集モード

スケジュールの登録、編集を行います。



- ①プレーヤー端末の選択状態に連動して、登録されているスケジュールを表示します。
- ②スケジュールの内容を表示し、編集操作を行います。
- ③スケジュール内容を『編集』と『詳細』表示に切り替えます。
 詳細表示では、開始時刻、フレーム、コマンド、それぞれのフレームで表示するコンテンツを表示します。
 編集を行うことはできません。

4.7.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | モード | | 説明 | |
|---------|-------------|----|----|--|
| | 表示 | 編集 | | |
| ファイル(F) | 新規登録(N) | ○ | ○ | スケジュールを新規登録します。 編集モード: スケジュールに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| | 保存(S) | | ○ | 編集されたスケジュール情報をサーバーに登録します。 新規登録による編集時は、選択できません。 |
| | 名前を付けて保存(A) | | ○ | 編集中のスケジュール情報に名前を付けて保存します。スケジュール名入力ボックスを表示します。 |
| | ユーザ切り替え(U) | ○ | ○ | 編集対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 編集モード: スケジュールに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| | 閉じる(C) | ○ | ○ | スケジュール画面を終了します。 編集モード: スケジュールに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| 編集(E) | 編集(E) | ○ | | 編集モードに遷移します。 スケジュール未選択時は、選択できません。 |
| | 切り取り(T) | | ○ | スケジュール内容で選択されたプレイリストを切り取ります。 |
| | コピー(C) | | ○ | スケジュール内容で選択されたプレイリストをクリップボードにコピーします。 |
| | 貼り付け(P) | | ○ | スケジュール内容の選択行にクリップボード内容を貼り付けます。 |
| | 消去(A) | | ○ | スケジュール内容で選択されたプレイリストを削除します。 |
| | 置換(R) | | ○ | スケジュール内容で選択されたプレイリストをプレイリスト選択で選択されたプレイリストに置換します。 |
| | スケジュール削除(D) | ○ | | スケジュールを削除します。 スケジュール未選択時は、選択できません。 |
| | 編集内容の破棄(D) | | ○ | 編集モード: スケジュールに変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 |
| 表示(V) | プレビュー(P) | ○ | ○ | 詳細表示時以外では、選択できません。 |
| | 表示(V) | ○ | — | スケジュール内容領域を表示形式「表示」に切り替えます。 |
| | 編集(E) | — | ○ | スケジュール内容領域を表示形式「編集」に切り替えます。 |
| | 詳細(D) | ○ | ○ | スケジュール内容領域を表示形式「詳細」に切り替えます。 |
| | 最新の情報に更新(R) | ○ | ○ | スケジュール画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ○ | ○ | ヘルプ画面を表示します。スケジュール機能についての先頭ページを表示します。 |

○ : 常に選択することが可能、または条件により選択することが可能です。

— : 表示されません。

「無印」: 選択することができません。



- 配信モードを「自動配信」に設定している場合、スケジュールを削除しても削除情報は自動配信されません。【4 .9 .4 リクエストを登録する】章を参照し、削除済みの情報を抽出し配信してください。

4.7.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

●表示モード

| 項目 | 説明 |
|-----------|---|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 登録スケジュール数 | 選択されている端末種別に登録されているスケジュール数です。 「共通」:全端末共通のスケジュール数 「グループ」:選択されたグループのスケジュール数 「端末」:選択された端末個別のスケジュール数 |
| 画面サイズ | スケジュールの画面サイズです。(選択時) サイズ混在のスケジュールの時は「混在」と表示します。 |
| 登録プレイリスト数 | スケジュールの登録プレイリスト数です。(選択時) |

●編集モード

| 項目 | 説明 |
|-----------|--|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 放映時間 | 編集中のスケジュール内容の、最初のプレイリストの開始時刻と、最後のプレイリストの終了時刻です。 |
| 画面サイズ | スケジュールの画面サイズです。(選択時) サイズ混在のスケジュールの時は「混在」と表示します。 |
| 登録プレイリスト数 | スケジュールの登録プレイリスト数です。 |

4.7.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

●表示モード スケジュール選択

| 項目 | 説明 |
|-------|------------------------|
| 編集(E) | メニューバー「編集」と同じです。 |
| 削除(D) | メニューバー「スケジュール削除」と同じです。 |

●編集モード スケジュール内容

| 項目 | 説明 |
|---------|--------------------|
| 切り取り(T) | メニューバー「切り取り」と同じです。 |
| コピー(C) | メニューバー「コピー」と同じです。 |
| 貼り付け(P) | メニューバー「貼り付け」と同じです。 |
| 消去(A) | メニューバー「消去」と同じです。 |
| 置換(R) | メニューバー「置換」と同じです。 |

●編集モード 詳細タブ

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| プレビュー(P) | コンテンツが選択されている場合は、コンテンツのプレビュー画面を表示します。 フレーム全体が選択されている場合は、フレームパターンのプレビュー画面を表示します。 表示、編集モードのどちらでも使用することが可能です。 操作方法は【4.6.8 プレビューする】をご参照ください。 |

4.7.3 登録、編集する

スケジュールの登録、編集手順について説明します。

STEP 1 端末選択にて、「全端末共通」または登録する端末グループ、端末を選択します。

STEP 2 スケジュール編集画面を開きます。


●新規登録

- メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「新規登録」を選択します。
- アイコン : 新規登録アイコンをクリックします。
- ショートカット : + を押します。

●編集

- スケジュール選択 : スケジュール選択から、スケジュールをダブルクリックします。
または、右クリック→「編集」を選択します。

STEP 3 スケジュール編集画面が表示されますので、「プレイリスト選択」から以下の操作でプレイリストを選択します。スケジュール内容の三角カーソルが表示されているプレイリストの上に反映されません。

- ダブルクリック : スケジュール内容で選択マーク  の表示されている行の上に追加されます。
- ドラッグ&ドロップ : スケジュール内容のドラッグ&ドロップしたところに追加されます。



- スケジュール内容に設定したプレイリストをドラッグ&ドロップすることで、スケジュール内容の表示順序の入れ替えが行えます。

STEP 4 スケジュール内容の、不要なプレイリストを削除する場合は、該当プレイリストを選択した状態で以下の操作を行ってください。

- メニューバー : メニューバー→「編集」→「消去」を選択します。
- コンテキスト : 右クリック→「消去」を選択します。
- ショートカット : を押します。

STEP 5 開始時刻と終了時刻を確認します。開始、終了時刻は、放映が必要な時間帯を設定してください。設定方法は【4.7.4 開始、終了時刻を変更する】をご参照ください。



- 放映を停止したい時間帯がある場合は、「放映停止」を登録し、開始、終了時刻を設定してください。

STEP 6 設定が終了したら、以下の方法でスケジュールを保存します。確認画面が表示されるので『OK』をクリックしてください。

●保存

新規保存、または上書き保存します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「保存」を選択します。

アイコン : 保存アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

●名前を付けて保存

名前を付けて保存します。以下の操作を行うと、スケジュール名を入力する画面が表示されますので(新規登録の場合は新規保存画面、編集の場合は名前を付けて保存画面)、スケジュール名を入力し(①)、『保存』をクリックします。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。

アイコン : 名前を付けて保存アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。



4.7.4 開始、終了時刻を変更する

プレイリストの開始時刻、終了時刻について説明します。

初期設定では、最初に登録されたプレイリストの開始時刻を 5 時(05:00:00)として、プレイリスト表示時間の合計を自動計算し、終了時刻とします。その後、設定されたプレイリスト表示時間に基づき、順次、開始時刻と終了時刻を計算します。


4.7.4.1 手動で設定する

指定した時刻でプレイリストを繰り返し表示したいような場合は、開始、終了時刻を手動で変更してください。



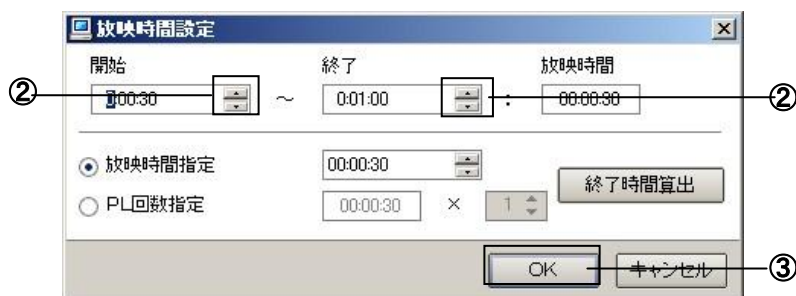
- 設定後、スケジュール全体の時刻をご確認ください。
- 24 時間以上のスケジュールを登録することはできません。

STEP 1 開始、終了時刻領域をダブルクリックすると、放映時間設定画面が表示されます。

STEP 2 「開始」「終了」の時刻を以下の操作で設定します。  (②) で設定、または数値を直接入力します。以下の操作でも時刻設定が可能です。

放映時間指定 : プレイリストの放映時間から設定します。ラジオボタンをチェックし、放映時間を指定し、『終了時間算出』をクリックすると、上部の「終了」時刻、「放映時間」に反映します。

PL回数指定 : プレイリストの繰り返し回数から設定します。ラジオボタンをチェックし、回数を指定します。『終了時間算出』をクリックすると、上部の「終了」時刻、「放映時間」に反映します。



STEP 3 設定が終了したら『OK』(③)をクリックします。スケジュール内容に変更が反映されます。



- 変更により、スケジュール時刻に不整合が生じた場合、以下のように文字色が変わります。ご確認の上、必要があれば修正してください。

青色 : 直前のプレイリストの終了時間と空き時間があります。そのまま保存することは可能ですが、空き時間の間は何も放映されません。

赤色 : 終了時刻がスケジュール開始時から24時間を超えています。24時間を越えてスケジュールを登録することはできません。終了時刻を変更してください。

4.7.5 コマンドについて

コマンドの登録、編集手順について説明します。

必要があれば、コマンドを設定することができます。1つのプレイリストに対して、登録できるコマンドは1つだけです。コマンドの内容は以下の通りです。(プレイリストのコマンドと同様)

| 表示項目 | 説明 |
|------------|---------------------------|
| PDP 電源 OFF | PDP の電源を切ります。 |
| PDP 電源 ON | PDP の電源を入れます。 |
| 音声 OFF | 音声をミュートに設定し、音声無しで放映します。 |
| 音声 ON | 音声のミュート設定を解除し、音声ありで放映します。 |



- プレイリストとスケジュールにコマンドが登録されている場合、スケジュール→プレイリストの順に実行されます。
- 「PDP 電源 ON」または「PDP 電源 OFF」に続けて PDP 制御コマンドを送る場合、PDP が受信できない場合があります。PDP 電源制御コマンドに続けてコマンド登録する場合はフレームを分けて設定してください。
- プレーヤー端末の制御により、音声 ON、OFF を実現しています。別システムで音声を再生している場合は、制御できません。
- プレーヤー端末が起動した時刻よりも前に設定されているコマンドは実行されません。
- 割り込み表示が終了または解除された時、再開する時刻のフレームパターンにコマンドが設定されている場合には割り込み表示が終了または解除されたタイミングでコマンドが発行されます。

STEP 1 コマンド領域をダブルクリックすると、コマンド設定画面が表示されます。コマンドを選択し、『OK』をクリックします。編集する場合は、コマンド領域をダブルクリックし、再度コマンドを選択してください。削除する場合は、「コマンド無し」を選択してください。



4.7.6 登録済みスケジュールを編集する

登録済みスケジュールの編集について説明します。



- スケジュールに登録されているプレイリストを編集し、プレイリストの表示時間を変更した場合、スケジュールに登録されている該当プレイリストのフレーム表示時間は変更されませんが、プレイリストの開始、終了時刻は変更されません。

4.7.6.1 削除したプレイリストがある場合について

スケジュールに登録しているプレイリストを管理サーバーから削除した場合、情報が登録されていた領域に「??」が表示されます。削除された情報がある場合は保存することができません。内容ご確認の上、「??」を削除、必要があればその他編集し、再度登録してください。

4.7.6.2 削除したコンテンツがある場合について

プレイリストに含まれるコンテンツを管理サーバーから削除した場合、スケジュール上のプレイリストにおいてもコンテンツの削除が反映されます。ただし、プレイリストの表示時間は削除に連動して再計算されません。プレイリスト機能画面から削除コンテンツ「??」を削除、編集した上で再登録し、スケジュール内容を確認してください。

4.8 カレンダー

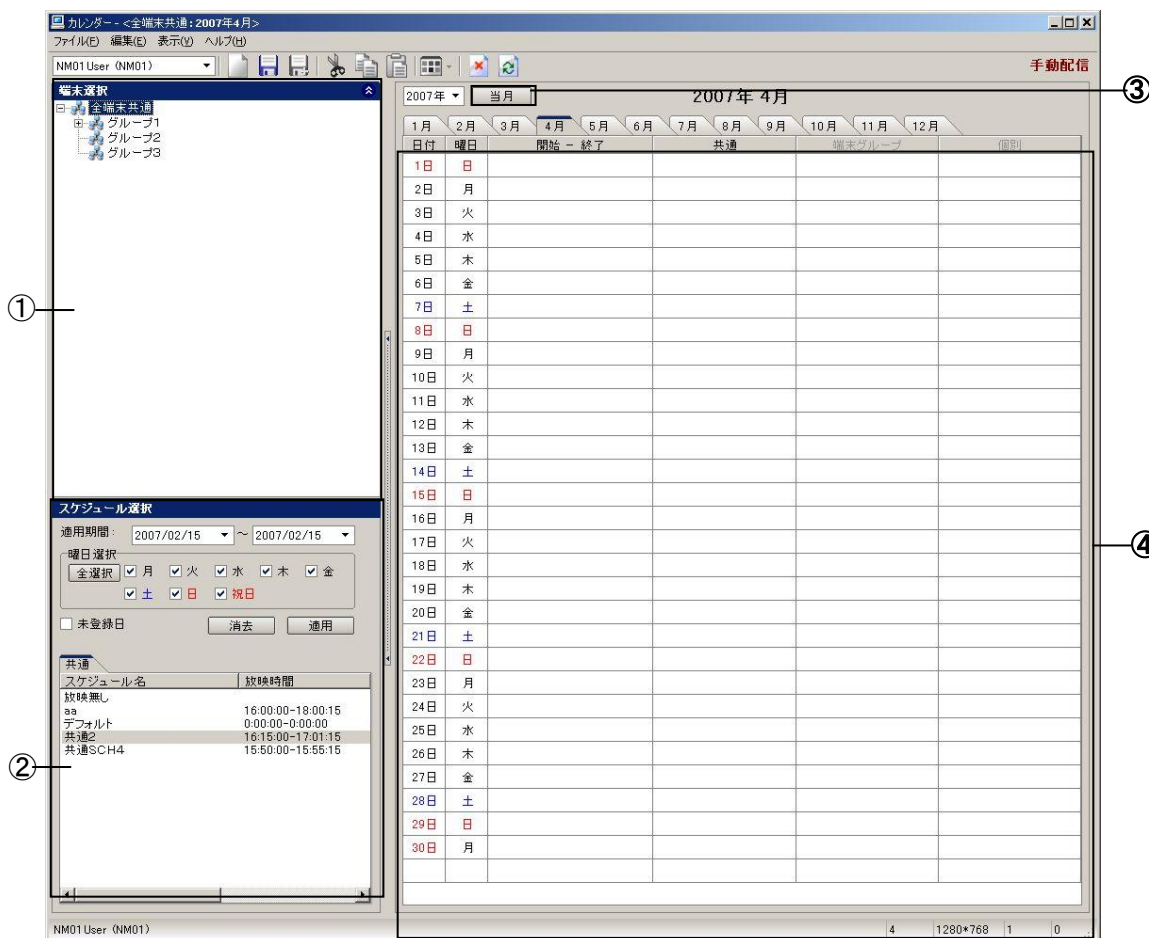
ここでは、カレンダーの管理サーバーへの登録、編集、削除を行います。

4.8.1 概要

カレンダーは、スケジュールに任意の登録期間に関連付けた情報です。5年先まで登録が可能です。同じプレイヤー端末に対して、カレンダーが重複して登録された場合、個別 > グループ > 共通の優先順に放映する内容を決定します。

4.8.2 画面の説明

ランチャーボタンの『カレンダー』をクリックすることで、カレンダー機能画面を表示します。スケジュールの適用を行い、カレンダーを設定します。



①プレイヤー端末を選択します。

全端末共通 : すべてのプレイヤー端末で共通のカレンダーが作成されます。共通スケジュールのみ登録できます。

グループ : グループ共通のカレンダーを作成します。共通スケジュールとグループスケジュールが登録できます。

個別 : 特定のプレイヤー端末のみで利用可能なカレンダーが作成されます。共通、該当プレイヤー端末のグループ、個別スケジュールがともに登録できます。

②プレイヤー端末の選択状態(①)に連動して、登録されているスケジュールを表示します。カレンダーに登録するスケジュールや適用条件を選択します。

③現在の月のタブを表示します。

④スケジュールの内容を表示します。

4.8.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | | 説明 |
|---------|-------------|---|
| ファイル(F) | 保存(S) | 編集されたカレンダー情報をサーバーに登録します。 |
| | 月別エクスポート(E) | 月別にカレンダー情報をエクスポートします。 |
| | ユーザ切り替え(U) | 登録対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 |
| | 閉じる(C) | カレンダー画面を終了します。 |
| 編集(E) | 切り取り(T) | カレンダー内容で選択されたスケジュールを切り取ります。 |
| | コピー(C) | カレンダー内容で選択されたスケジュールをクリップボードにコピーします。 |
| | 貼り付け(P) | カレンダー内容の選択行にクリップボード内容を貼り付けます。 |
| | 消去(A) | カレンダー編集上で選択されたスケジュールを、その日から消去します。 |
| | 編集内容の破棄(D) | カレンダー画面では、下記、「最新の情報に更新(R)」と同じ動作となります。 |
| 表示(V) | 最新の情報に更新(R) | カレンダー画面を最新情報に更新する。変更があった場合は、確認パネルを表示します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示します。 |

4.8.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----------|--|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| スケジュール数 | 選択されている端末種別に登録されているスケジュール数です。 |
| 画面サイズ | スケジュールの画面サイズです。サイズ混在のスケジュールの時「混在」を表示します。 |
| 登録プレイリスト数 | スケジュールの登録プレイリスト数です。(選択時) |
| 未登録日 | スケジュールが登録されていない日です。スケジュール選択の適用期間内でスケジュールが設定されていない日数を表示します。 |

4.8.2.3 コンテキストメニュー

カレンダーで右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

●カレンダー内容

| 項目 | 説明 |
|-------------|-----------------------|
| 切り取り(T) | メニューバー「切り取り」と同じです。 |
| コピー(C) | メニューバー「コピー」と同じです。 |
| 貼り付け(P) | メニューバー「貼り付け」と同じです。 |
| 消去(A) | メニューバー「消去」と同じです。 |
| 日別エクスポート(E) | 日別にカレンダー情報をエクスポートします。 |

●カレンダー内容表示(詳細表示)

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| プレビュー(P) | コンテンツが選択されている場合は、コンテンツのプレビュー画面を表示します。 フレーム全体が選択されている場合は、フレームパターンのプレビュー画面を表示します。 表示、編集モードのどちらでも使用することが可能です。 操作方法は【4.6.8 プレビューする】をご参照ください。 |

4.8.3 登録、編集する

カレンダーの登録、編集手順について説明します。

STEP 1 端末選択にて、「全端末共通」または登録する端末グループ、端末を選択します。

STEP 2 「適用期間」で期間を設定します。年月日入力ボックスで、適用期間の範囲を指定します。または ▾ (①) をクリックしてカレンダーを表示させ、◀ ▶ をクリックし月を表示し、指定する日をクリックします。



● 初期値では当日の年月日が表示されています。

| 共通 | スケジュール名 | 放映時間 |
|----|---------|-------------------|
| | 放映無し | |
| | aa | 16:00:00-18:00:15 |
| | デフォルト | 0:00:00-0:00:00 |
| | 共通2 | 16:15:00-17:01:15 |
| | 共通SCH4 | 15:50:00-15:55:15 |

STEP 3 登録するスケジュールを選択します。

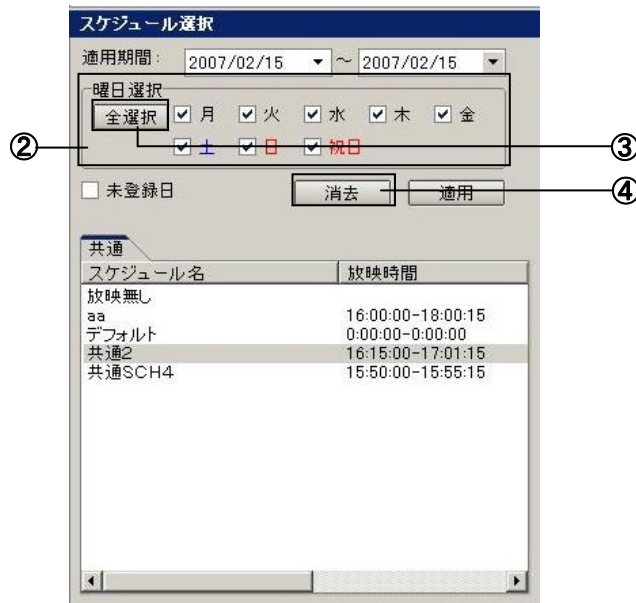
STEP 4 指定された適用期間内で、曜日や、スケジュールの登録されていない日すべてを選択することができます。

曜日選択 : 特定曜日だけに指定したスケジュールを適用したい場合には、「曜日選択」(②)でスケジュールを登録する曜日にのみチェックします。

参考

- 初期値ではすべての曜日が選択されています。変更後、すべての曜日を選択したい場合は、『全選択』(③)をクリックしてください。

未登録日 : チェックすると、適用期間内で、未登録日を抽出し、スケジュールを適用します。



STEP 5 スケジュール選択の条件設定が完了したら、『適用』をクリックします。カレンダー内容にスケジュールが適用されます。



- 『消去』(④)は適用期間、曜日選択の条件に合う日付に、現在適用されているスケジュールを消去(画面上クリアして未適用状態に)します。

STEP 6 設定が終了したら、以下の方法でスケジュールを保存します。確認画面が表示されるので『OK』をクリックしてください。



- 当日より前の日付には登録できません。
- 該当日に既にスケジュールが登録されている場合、新しく登録されたスケジュールが上書きされます。

●保存

新規保存、または上書き保存します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「保存」を選択します。

アイコン : 保存アイコンをクリックします。

ショートカット : Ctrl + S を押します。

4.8.4 登録、編集を中断する

登録、編集を中断する手順について説明します。以下のいずれかの操作を行ってください。

- メニューバー : メニューバー→「編集」→「編集内容の破棄」を選択します。
- アイコン : 編集内容の破棄アイコンをクリックします。
- ショートカット : Esc を押します。

4.8.5 詳細表示について

カレンダーに登録されているスケジュールの表示内容を確認することができます。スケジュールを解析し、何らかの問題が生じた場合、「カレンダー解析ログ」に内容が表示されます。



- 1日ごとに、放映する内容を表示します。共通、グループ、個別に登録されているスケジュールを、優先順位に従ってまとめて表示することができ、非常に便利です。

STEP 1 日付部分(①)をダブルクリックします。

| 日付 | 曜日 | 開始 - 終了 | 共通 | 端末グループ | 個別 |
|-----|----|---------------------|--------|--------|----|
| 1日 | 木 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 2日 | 金 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 3日 | 土 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 4日 | 日 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 5日 | 月 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 6日 | 火 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 7日 | 水 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 8日 | 木 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 9日 | 金 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 10日 | 土 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 11日 | 日 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 12日 | 月 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 13日 | 火 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 14日 | 水 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 15日 | 木 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 16日 | 金 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 17日 | 土 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 18日 | 日 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 19日 | 月 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 20日 | 火 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 21日 | 水 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 22日 | 木 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 23日 | 金 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 24日 | 土 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 25日 | 日 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 26日 | 月 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 27日 | 火 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 28日 | 水 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 29日 | 木 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 30日 | 金 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |
| 31日 | 土 | 15:50:00 - 15:55:15 | 共通SCH4 | | |

STEP 2 「カレンダー内容表示」画面が別画面で表示されますので、内容を確認してください。画面を閉じる場合は『OK』(②)をクリックします。



スケジュールの種類により、開始-終了時間列の背景色が変わります。

共通スケジュール : 青
 グループスケジュール : 緑
 個別スケジュール : 黄



● カレンダー内容表示では、表示中のカレンダーに登録されているコンテンツに有効期限が切れたコンテンツまたは削除された情報が含まれる場合、内容表示欄の名称が赤字で表示されます。

4.8.6 エクスポートする

月別、または日別に、カレンダー内容を、csv ファイル形式でエクスポートします。カレンダーの内容をテキストファイルで確認することができます。

STEP 1 エクスポートしたい情報により、以下の操作を行います。

月別 : メニューバー→「ファイル」→「月別エクスポート」を選択します。

日別 : カレンダー内容の「日付」を右クリック→「日別エクスポート」を選択します。

STEP 2 名前を付けて保存画面が表示されますので、ファイル名を付け、任意の場所に『保存』をします。

4.9 配信する

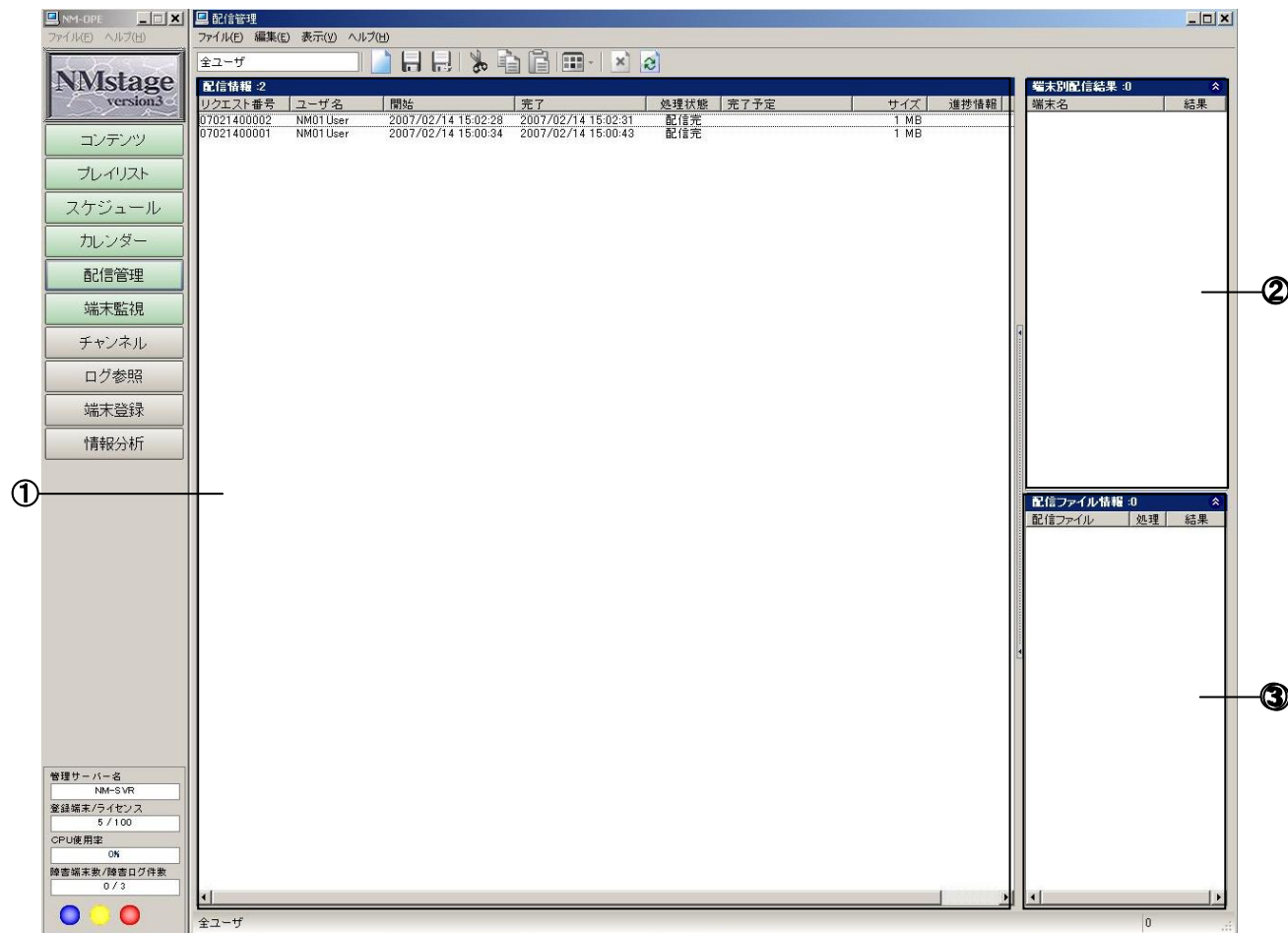
ここでは、配信条件を設定したり、配信リクエストを登録したり、配信結果の確認を行います。

4.9.1 概要

配信は、管理サーバーに登録した情報(コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、チャンネル)を端末へ送信する機能です。

4.9.2 画面の説明

ランチャーボタンの『配信管理』をクリックすることで、配信管理機能画面を表示します。



① 配信リクエストの一覧が表示されます。

② 配信リクエストの選択状態(①)に連動して、配信対象となる端末が表示されます。

③ 配信リクエストの選択状態(①)と、端末リストの選択状態(②)に連動して、配信対象となるファイルが表示されます。

4.9.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| | 項目 | 説明 |
|---------|---------------|-------------------------------------|
| ファイル(F) | リクエスト登録(N) | 配信リクエストを新規に登録します。配信リクエスト登録画面に遷移します。 |
| | 緊急配信登録(E) | 緊急配信リクエストを新規に登録します。 |
| | ファイルに保存(F) | 配信リクエストをファイルに保存します。 |
| | 閉じる(C) | 配信管理画面を終了します。 |
| 編集(E) | リクエストキャンセル(C) | 登録済み配信リクエストをキャンセルします。 |
| | リクエスト再登録(E) | 配信リクエストを利用し、再度配信リクエストを登録します。 |
| | 未配信ファイル再配信(R) | 配信失敗した端末への未配信ファイルを再配信します。 |
| 表示(V) | 最新の情報に更新(R) | 配信制御画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ | ヘルプ画面を表示します。 |

4.9.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----------|------------------|
| - | 「全ユーザ表示」を表示します。 |
| 配信リクエスト数 | 配信待ち状態のリクエスト数です。 |


4.9.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---------------|------------------------------|
| リクエストキャンセル(C) | 登録済み配信リクエストをキャンセルします。 |
| リクエスト再登録(E) | 配信リクエストを利用し、再度配信リクエストを登録します。 |
| 未配信ファイル再配信(R) | 配信失敗した端末への未配信ファイルを再配信します。 |

4.9.2.4 ツールバー

特別な使い方をするアイコンは以下の通りです。

| アイコン | 内容 |
|---|---------|
|  | リクエスト登録 |

4.9.3 配信情報について

配信情報に、配信結果や配信リクエストの情報を表示します。状態により表示色が変わります。

黒 : 予約、完了済み
緑 : 準備中
青 : 配信中
赤 : 失敗

また、配信情報の表示項目は以下です。

| 項目 | 説明 | |
|---------|--------------------------------|---------------------------------------|
| リクエスト番号 | リクエスト登録した際に付けられる、11桁の番号です。 | |
| ユーザ名 | 登録されているユーザ名です。 | |
| 開始 | 配信が開始する時間が表示されます。 | |
| 完了 | 配信が完了した時間が表示されます。 | |
| 処理状態 | 配信完了は「配信完」、配信処理中は「配信中」と表示されます。 | |
| | 予約中 | 予約配信の実行待ちです。 |
| | 配信失敗 | 配信が失敗しました。 |
| | 配信完 | 配信が完了しました。 |
| | 配信取消 | 配信予約を削除、またはキャンセルしました。 配信処理を中断しました。 |
| | 準備中 | 配信準備中です。 |
| 登録失敗 | 配信リクエストのサーバへの登録処理に失敗しました。 | |
| 完了予定 | 配信が完了する予定時間を表示します。 | |
| サイズ | 配信コンテンツのサイズを表示します。(単位MB) | |
| 進捗情報 | 配信中の全体進捗状況を表示します。(単位%) | |
| 実効速度※ | 配信対象端末の、配信速度の平均を表示します。(単位Mbps) | |

※実効速度は、一定時間に端末が取得したデータ量を元に管理サーバ側で算出した参考値です。実際の速度とは異なる場合があります。なお、配信量が少ない場合、測定不能として「---」を表示します。

4.9.4 リクエストを登録する

4.9.4.1 リクエスト登録の種類について

(1) 自動配信と手動配信

端末への配信は、登録と同時に自動で行う自動配信と、手動で行う手動配信を設定できます。初期設定では、手動配信が選択されています。設定した場合の動作は以下の通りです。設定方法は【4.4.1.4情報設定について】をご参照ください。

| 項目 | 説明 |
|------|--|
| 自動配信 | コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、チャンネルの登録操作が行われると、登録と同時に配信を実行します。ネットワークの接続状況により、配信が失敗する場合がありますので、必ず配信が完了しているかを配信管理画面で確認してください。構内情報通信網(LAN)など、安定したネットワーク環境が整備されている場合以外は設定しないでください。 |
| 手動配信 | 配信管理画面で設定した内容に基づいて配信を実行します。 |

(2) 自動抽出と手動抽出

手動配信が設定されている場合、さらに2種類の設定が可能です。

● 自動抽出

配信対象端末の未配信ファイルを自動で抽出します。複数の端末を配信対象とした場合、1 端末でも未配信のファイルがあれば、配信対象ファイルとしてリストアップします。また、未配信の個別コンテンツがあれば、その端末名をリストアップします。

● 手動抽出

配信対象端末のファイルを手動で抽出します。配信ファイルにプレイリスト、スケジュール、カレンダー、チャンネルのいずれかがリストアップされた場合のみ、『紐付抽出』が有効表示となり、関連ファイル内に登録されているファイルすべてを、配信有無は問わずすべて抽出します。関連ファイルの送信を行いたい場合は、手動抽出で紐付抽出を実行してください。



- 操作途中で自動抽出と手動抽出を切り替えると、それまで選択していた端末やファイルはクリアされます。

4.9.4.2 自動で抽出する

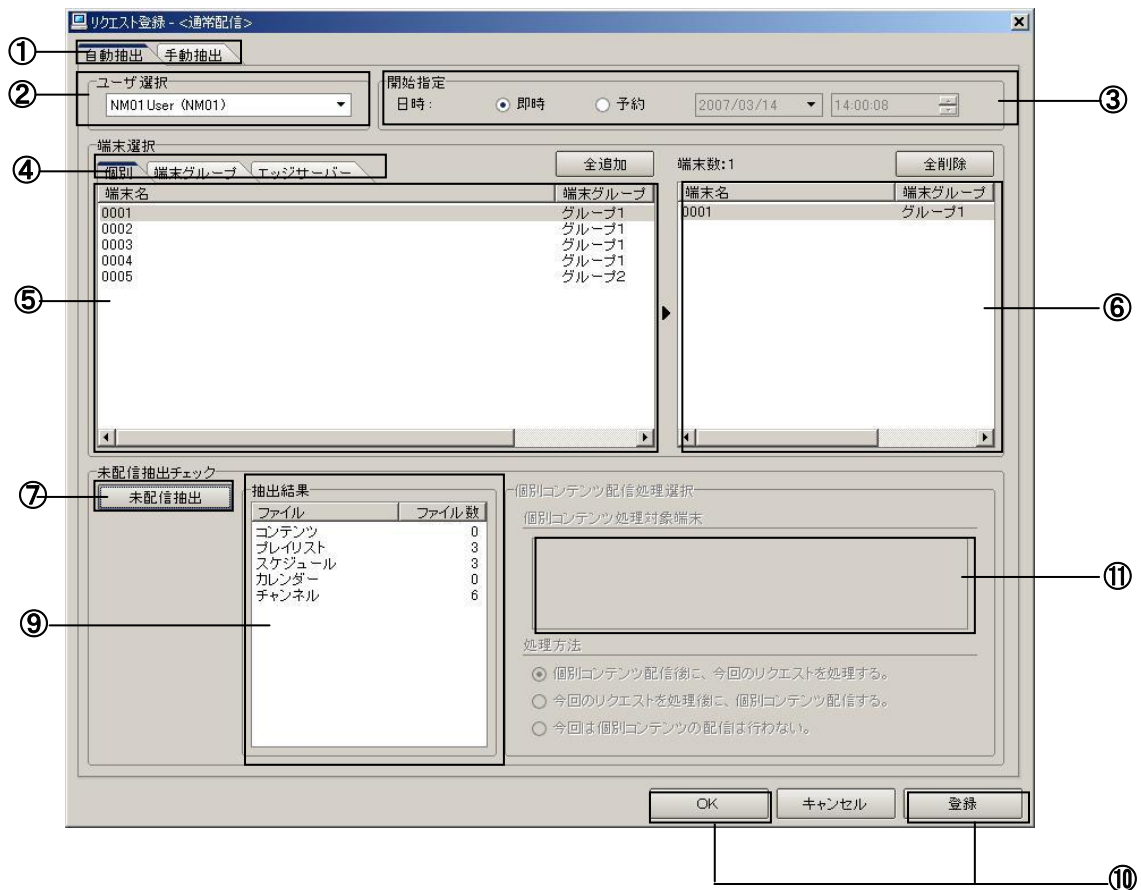
ここでは、自動抽出の操作方法について説明します。

STEP 1 リクエスト登録画面を開きます。「自動抽出」タブが選択されています。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「リクエスト登録」を選択します。

アイコン : リクエスト登録アイコンをクリックします。

ショートカット : **Ctrl** + **N** を押します。



STEP 2 「ユーザ選択」(②)よりユーザを選択します。

STEP 3 「開始指定」で、配信日時を設定します(③)。即時配信、または日付と時刻を指定する配信予約があります。初期設定では「即時」がチェックされています。予約配信の場合は、「予約」にチェックし、日付と時刻を指定してください。

STEP 4 「端末選択」で、配信する端末をリストアップします。『個別』、『端末グループ』、『エッジサーバー』のいずれかを選択してください。(④)

個別 : 全端末、または個別端末を選択します。

端末グループ : 各グループに登録された端末を一括で選択します。

エッジサーバー : 選択されたエッジサーバーに属するプレーヤー端末を一括で選択します。



● 『エッジサーバー』はエッジサーバーが登録された場合に表示されます。

STEP 5 配信する端末を選択(⑤)してダブルクリックすると、「配信先リスト」(⑥)に追加されます。すべての配信先がリストアップされるまで操作を繰り返してください。



- 停止している端末が配信対象として選択されている場合、配信が失敗します。端末が稼働していることをご確認の上、端末を選択してください。



- 全端末を追加したい場合は『全追加』をクリックすると、登録されている端末すべてが「配信先リスト」に追加されます。
- 配信先リストに追加された端末を個別に削除する場合は、右クリック→「削除」を選択してください。

STEP 6 『未配信抽出』(⑦)をクリックします。コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、チャンネルの未配信ファイル数が表示されます。『OK』(⑧)をクリックします。右欄(⑩)に個別コンテンツがある端末一覧が表示されます。複数端末を設定し、個別コンテンツが含まれる場合、個別コンテンツの処理方法を選択します。

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 個別コンテンツの配信後に、今回のリクエストを処理する | : | 個別コンテンツの配信が完了した後に、共通コンテンツとスケジュールを配信します。 |
| 今回のリクエストを処理後に、個別コンテンツを配信する | : | 共通コンテンツとスケジュールの配信が完了した後に、個別コンテンツの配信を自動的に行います。 |
| 今回は個別コンテンツの配信は行わない | : | 共通コンテンツとスケジュールの配信のみを行います。 |



- 配信対象が複数端末の場合、未配信抽出によって抽出されるファイルは、1端末でも配信されていないファイルが抽出されます。

STEP 7 『OK』または『登録』(⑩)をクリックします。設定した内容(即時、または指定した時刻)で配信します。

STEP 8 配信情報一覧から「配信中」のリクエストをダブルクリックすることで、配信状態確認画面が表示されます。配信情報一覧に配信リクエストの情報が表示されますので、必ず配信結果をご確認ください。また、配信失敗時は配信リクエストを選択すると端末別配信結果、配信ファイル情報が表示されます。

4.9.4.3 手動で抽出する

ここでは、手動抽出の操作方法について説明します。

STEP 1 リクエスト登録画面を開きます。「手動抽出」タブが選択します。

STEP 2 ~ **STEP 5**
自動抽出の場合と同様です。

STEP 6 「ファイル選択」(②)で配信するファイルをリストアップします。配信するデータの種別を選び、ダブルクリックで順次開くと右欄(③)にファイルが一覧表示されます。配信するファイルを選択し、ダブルクリックで「配信ファイルリスト」(④)に追加します。すべての配信対象ファイルを一覧表示するまで操作を繰り返し行ってください。

STEP 7 関連ファイルを設定したい場合は、紐付抽出を行う対象を選択して『紐付抽出』をクリックしてください。配信ファイルリストにプレイリスト、スケジュール、カレンダー、チャンネルのいずれかがリストアップされた場合のみ、押下可能となり、選択された項目に登録されているファイルをすべて抽出します。この際、配信済み、未配信の区別は行いません。配信先に複数の端末が選択されている場合、個別コンテンツは抽出対象になりません。



- 配信が完了したコンテンツを再配信する場合は、属性情報のみを配信します。メンテナンス等で、配信済みのコンテンツを再度送信したい場合は、『強制配信』にチェックし、配信してください。

STEP 8 『OK』または『登録』をクリックします。設定した内容(即時、または指定した時刻)で配信します。

STEP 9 配信状態確認画面が表示されます。配信情報に配信リクエストの情報が表示されますので、配信結果をご確認ください。また、配信リクエストを選択すると端末別配信結果、配信ファイル情報が表示されます。

| ファイル | 処理 | 更新日時 |
|-----------|----|---------------------|
| 共通 | 更新 | 2007/02/14 16:10:00 |
| テロップサンプル3 | 更新 | 2007/02/13 12:06:00 |
| テロップサンプル1 | 更新 | 2007/02/13 12:03:00 |
| テロップサンプル2 | 更新 | 2007/02/13 12:03:00 |
| サンプル18 | 更新 | 2007/02/13 11:52:00 |
| サンプル17 | 更新 | 2007/02/13 11:52:00 |
| サンプル16 | 更新 | 2007/02/13 11:52:00 |
| サンプル15 | 更新 | 2007/02/13 11:52:00 |
| サンプル14 | 更新 | 2007/02/13 11:52:00 |
| サンプル13 | 更新 | 2007/02/13 11:51:00 |
| サンプル12 | 更新 | 2007/02/13 11:51:00 |
| サンプル11 | 更新 | 2007/02/13 11:51:00 |
| サンプル10 | 更新 | 2007/02/13 11:51:00 |

| ファイル | 処理 |
|-----------|----|
| 共通 | 更新 |
| テロップサンプル1 | 更新 |
| テロップサンプル2 | 更新 |

4.9.5 リクエスト登録を変更する

4.9.5.1 変更処理と実行可能条件について

リクエスト情報の一覧表示から、登録のあるリクエストに対し、以下の操作が可能です。処理の種類は以下の通りです。

- リクエスト再登録 : 配信リクエストを利用し、再度は配信リクエストを登録します。
- リクエストキャンセル : リクエストをキャンセルします。
- 未配信ファイル再配信 : 配信失敗した端末への未配信ファイルを再配信します。

処理状況により編集できる内容が異なりますので、下の表を参考にしてください。

| 処理状況 | 説明 | 実行可能な処理 |
|------|----------------------|------------------------------|
| 予約中 | 配信予約を登録 | 「リクエストキャンセル」 「リクエスト再登録」 |
| 配信失敗 | 配信が失敗 | 「配信リクエスト再登録」 「未配信ファイル再配信」 |
| 配信完 | 配信が完了 | 「配信リクエスト再登録」 |
| 配信取消 | 配信リクエストをキャンセル、または中断 | 「配信リクエスト再登録」 |
| 配信中 | 配信を実行 | 「リクエストキャンセル」 |
| 登録失敗 | 配信リクエストのサーバへの登録処理に失敗 | なし |

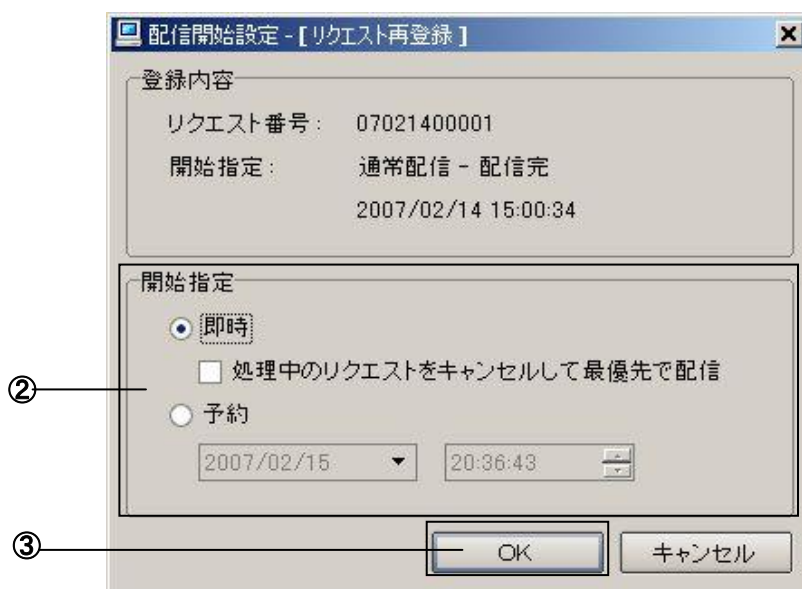
4.9.5.2 リクエストを再登録する

変更処理は以下の操作で実行します。

STEP 1 対象となるリクエストを選び、以下のいずれかの操作を行います。

- メニューバー : メニューバー→「編集」→「リクエスト再登録」を選択します。
- コンテキストメニュー : 右クリック→「リクエスト再登録」を選択します。

STEP 2 配信開始設定画面が表示されますので、開始指定にて開始時刻、処理を設定します。設定が終了したら『OK』(③)をクリックします。



STEP 3 確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。それぞれ指定した処理が実行されます。



- リクエストの再登録では、対象のリクエストに「強制配信」の設定が行われていてもその設定情報は継承されません。「強制配信」を行う場合は、リクエストの再登録ではなく、新規にリクエストを登録してください。

4.9.6 削除した情報の配信について

登録済みコンテンツなどの不要となった情報を削除登録した場合、管理サーバーの情報は削除されますが、プレイヤー端末では削除されません。削除配信を行うことで、プレイヤー端末の情報が削除されますので、削除登録した場合は合わせて削除配信を実行してください。



- スケジュール表示中のコンテンツを削除配信した場合、削除されたコンテンツは表示できなくなり、アラートが発生します。削除配信を行う前に、情報分析を実施し、スケジュールに影響がないことをご確認ください。



- 自動配信に設定している場合は、削除登録後、自動的に削除配信が行われます。手動配信に設定している場合は手動で設定し、送信する必要があります。

STEP 1 操作方法は、リクエスト登録と同様です。リクエスト登録画面の「ファイル選択」→「処理」に「削除」と表示されているファイルは削除ファイルです。

4.9.6.1 緊急配信について

配信実行中に、緊急に別ファイルの配信を行う必要が生じた場合に使用します。実行中の配信はそのまま継続して実行され、別途、緊急配信が実行されます。操作方法は以下の通りです。

STEP 1 メニューバー→「ファイル」→「緊急配信登録」を選択し、緊急配信リクエストを新規に登録します。

STEP 2 配信リクエスト画面が開きます。以降の手順はリクエスト登録の手動抽出と同様です。



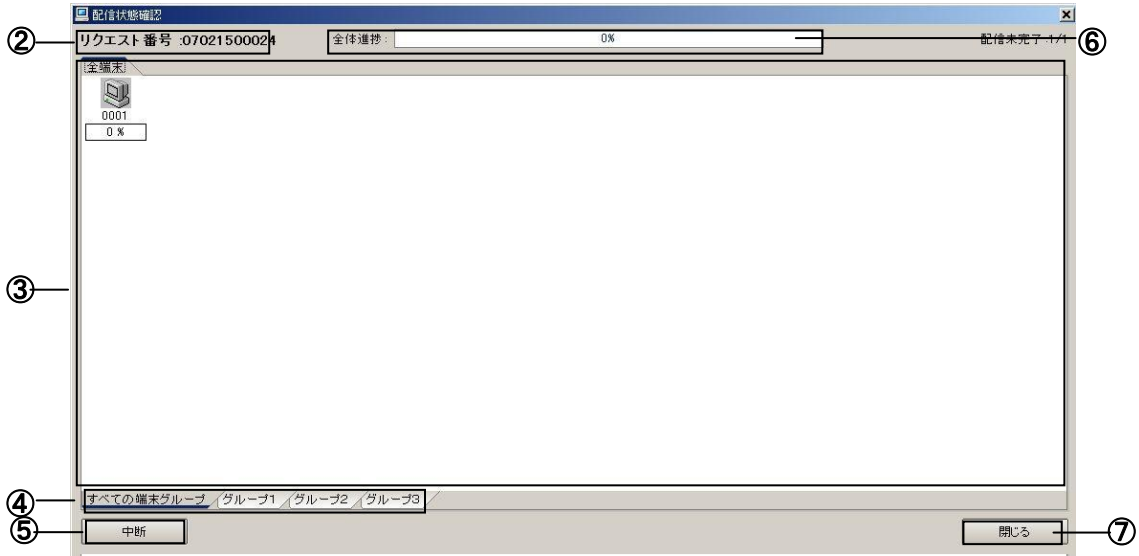
- 緊急配信は、現在配信が行われていない端末のみ実行可能です。

4.9.7 配信状況を確認する

STEP 1 配信情報に表示されている、処理状態が「配信中」の配信リクエスト①をダブルクリックします。配信状況確認画面は、処理状態が「準備中」「予約中」「配信中」の場合のみ表示することができます。

| リクエスト番号 | ユーザ名 | 開始 | 完了 | 処理状態 | 完了予定 | サイズ | 進捗情報 |
|-------------|-----------|---------------------|---------------------|------|------|-------|------|
| 07021400016 | NM01 User | 2007/02/14 17:00:07 | 2007/02/14 17:00:03 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400015 | NM01 User | 2007/02/14 16:53:44 | 2007/02/14 16:53:46 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400014 | NM01 User | 2007/02/14 16:53:14 | 2007/02/14 16:53:19 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400013 | NM01 User | 2007/02/14 16:31:33 | 2007/02/14 16:31:03 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400012 | NM01 User | 2007/02/14 16:27:21 | 2007/02/14 16:27:02 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400011 | NM01 User | 2007/02/14 16:25:04 | 2007/02/14 16:25:06 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400010 | NM01 User | 2007/02/14 16:20:32 | 2007/02/14 16:20:02 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400009 | NM01 User | 2007/02/14 16:17:49 | 2007/02/14 16:17:51 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400008 | NM01 User | 2007/02/14 16:14:21 | 2007/02/14 16:14:24 | 配信失敗 | | 1 MB | |
| 07021400007 | NM01 User | 2007/02/14 15:49:14 | 2007/02/14 15:49:33 | 配信失敗 | | 12 MB | |
| 07021400006 | NM01 User | 2007/02/14 15:43:05 | 2007/02/14 15:43:22 | 配信失敗 | | 12 MB | |
| 07021400005 | NM01 User | 2007/02/14 15:40:10 | 2007/02/14 15:40:27 | 配信失敗 | | 12 MB | |
| 07021400004 | NM01 User | 2007/02/14 15:39:30 | 2007/02/14 15:39:46 | 配信失敗 | | 12 MB | |
| 07021400003 | NM01 User | 2007/02/14 15:38:35 | 2007/02/14 15:38:49 | 配信失敗 | | 12 MB | |
| 07021400002 | NM01 User | 2007/02/14 15:02:29 | 2007/02/14 15:02:31 | 配信完了 | | 1 MB | |
| 07021400001 | NM01 User | 2007/02/14 15:00:34 | 2007/02/14 15:00:43 | 配信完了 | | 1 MB | |

STEP 2 配信状況確認画面が表示されます。



②リクエスト番号を表示します。

③端末を一覧表示します。

各端末の配信状態により、アイコンの背景色が変わります。

| 表示色 | 説明 |
|-----|-----------------------|
| 灰色 | 配信待機中です。配信の準備を行っています。 |
| 緑色 | 配送中です。 |
| 水色 | 配信完了です。 |
| 黄色 | 通信回線が異常です。配信を実行できません。 |

④タブを切り替えることでそれぞれ登録されている端末を、(③)に一覧表示します。

⑤クリックすると配信リクエストがキャンセルされます。

⑥配信中の全体進捗状況を表示します。(単位%)

各リクエストの配信状態により、プログレスバーの表示色が変わります。

| 表示色 | 説明 |
|-----|---|
| 青色 | 配送中は、進捗状況にあわせて変化します。配信が完了すると100%になります。 |
| 黄色 | 一部の端末で配信が失敗し、配信処理を終了すると100%になります。配信が正常に完了していない端末アイコンの背景色が黄色で表示されますので、通信回線等をご確認の上、再度配信を実行してください。 |

⑦配信状況確認画面を閉じます。

4.9.8 配信の詳細仕様について

配信に関連する詳細な仕様について説明します。

(1) リクエストの分割について

ファイル数が 1,000 以上かまたはコンテンツ数が 100 を超えた場合に、配信リクエストが自動で分割されます。配信を中断したい場合、分割されたすべてのリクエストを中止する必要があります。

(2) コンテンツの配信について

既に配信が完了しているコンテンツを再度配信する場合は、属性情報のみを配信します。メンテナンス等で、配信済みのコンテンツの実体を再度送信したい場合は、強制配信を行ってください。

4.10 端末を監視、制御する

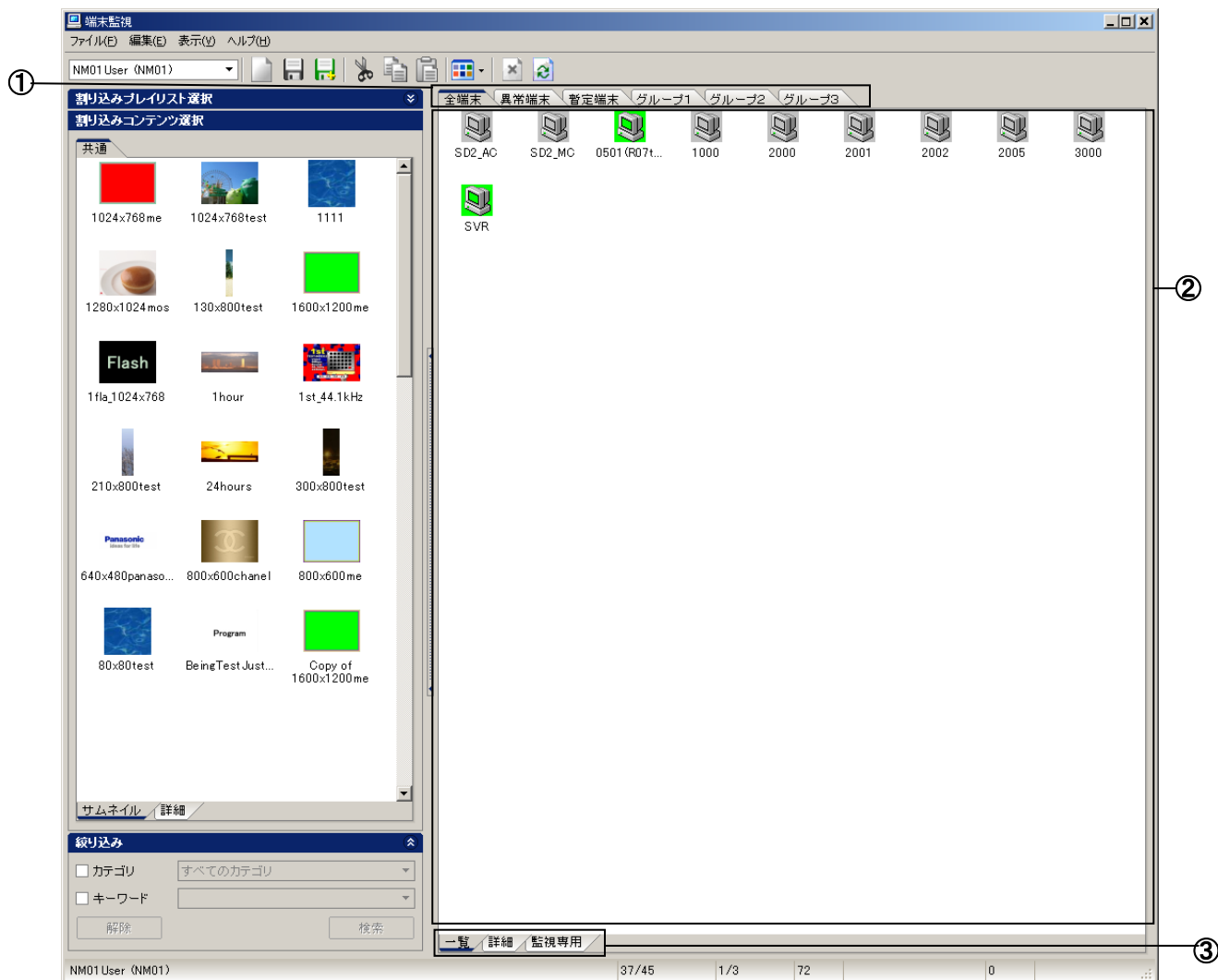
ここでは、端末の稼働状況の監視や制御を行います

4.10.1 概要

端末監視は、端末の稼働監視や、プレーヤー端末への割り込み表示、PDP の電源制御、チャンネル切り替え表示など、コマンドを配信することによる端末のリモート制御などを行います。

4.10.2 画面の説明

ランチャーボタンの『端末監視』をクリックすることで、端末監視機能画面を表示します。



- ①タブによって、該当する端末のみを一覧表示することができます。
- ②端末の稼働状態を表示します。端末の状態によって、端末アイコンの背景色が変わります。
- ③表示モードを変更することができます。

4.10.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | | 説明 | |
|---------|--------------|--|---|
| ファイル(F) | ユーザ切り替え(U) | 端末監視対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。サーバー上に登録されている全ユーザのユーザコードならびにユーザ名と全ユーザを端末監視対象とする全ユーザがリストアップされます。 | |
| | 閉じる(C) | 端末監視画面を終了します。 | |
| 編集(E) | 検索(F) | キーワード検索にフォーカスを当てます。 | |
| | 全端末アラーム抑止(O) | 全端末のアラームを抑止します。「すべて選択」+コンテキストメニュー「アラーム抑止」と同等の処理となります。 | |
| | 全端末抑止解除(N) | 全端末のアラーム抑止を解除します。 | |
| | すべて選択(A) | コンテンツ領域にフォーカスが当たっている場合は、すべてのコンテンツを選択状態にします。端末一覧領域にフォーカスが当たっている場合は、全端末を選択状態にします。 | |
| 表示(V) | プレビュー(P) | 選択されたコンテンツをプレビュー表示します。 | |
| | コンテンツ(C) | サムネイル(T) | コンテンツ一覧画面の表示をサムネイル表示に切り替えます。(全ユーザ表示および、監視専用時は、無効となります) |
| | | 詳細(D) | コンテンツ一覧画面の表示を詳細表示に切り替えます。(全ユーザ表示および、監視専用時は、無効となります) |
| | 監視(M) | 端末グループ(G) | 監視端末の一覧表示を端末グループでフィルタリング可能にします。エッジサーバーが登録されていない場合は、同表示モードのみとなります。 |
| | | エッジサーバー(E) | 監視端末の一覧表示をエッジサーバーごとのフィルタリング表示に切り替えます。エッジサーバーが登録されていない場合は、本項目は表示されません。 |
| | | 一覧(L) | 監視端末の一覧をアイコン表示形式に変更します。 |
| | | 詳細(D) | 監視端末の一覧を詳細表示形式に変更します。同形式では、PDP 監視機能が有効な場合は、PDP 状態も追加表示します。 |
| | | 監視専用(M) | 監視端末の一覧表示を監視専用の形式で表示します。 |
| | 最新の情報に更新(R) | 端末監視画面を最新情報に更新します。 | |
| | 凡例(L) | 凡例を表示します。 | |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示します。 | |

4.10.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|--------|----------------------|
| ユーザ名 | ユーザ名です。 |
| コンテンツ数 | 絞り込み結果数/総コンテンツ数です。 |
| ページ数 | 現在表示中のページ番号/総ページ数です。 |
| 端末数 | 登録されている端末数です。 |
| 異常端末数 | 異常がみられる端末数です。 |

4.10.2.3 コンテキストメニュー

端末アイコンを右クリックした場合にステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|------------|--|
| アラーム抑止 | アラームを抑止します。 |
| アラーム抑止解除 | アラーム抑止を解除します。 |
| インタラクティブ設定 | インタラクティブコンテンツ選択画面を表示し、インタラクティブコンテンツの選択を行います。 |
| スケジュール更新 | 新しくスケジュールを登録した場合、即時にスケジュールを反映します。通常はプレーヤー端末再起動時に反映されます。 |
| 割り込み解除 | 割り込み表示を解除します。 |
| チャンネル制御 | チャンネルを制御します。任意のチャンネルの選択が可能です。 |
| 端末装置制御 | 端末装置の制御をします。音声の制御や、再起動などが可能です。 |
| 時刻補正 | 端末時刻の参照や、管理サーバーの時刻に端末の時刻を補正します。 |
| 端末状態リセット | 端末の実態と、管理サーバー側の情報が一致していない場合に、管理サーバー上の端末情報をリセットします。 Ex. 端末が撤去されたが、画面の端末表示では異常停止になっている。 |
| バージョン参照 | バージョンを参照して表示します。 |

4.10.2.4 端末状態

各端末の稼働状態が色別に表示されます。

| 表示色 | 運用状態 | 説明 |
|-----|----------|--|
| 灰色 | 運用停止(正常) | 端末装置が起動されていない状態を意味します。 |
| 青色 | 運用開始 | 端末装置が起動途中であることを意味します。本状態では、実行できるコマンドが制限されます。 |
| 緑色 | 運用中 | 端末装置が起動され、正常運用に移行したことを意味します。 |
| 薄緑色 | 割り込み表示中 | プレーヤー端末が割り込み表示中であることを意味します。 |
| 赤色 | 運用停止(異常) | 端末装置に異常が発生していることを意味します。 |
| 黄色 | アラーム抑止中 | アラーム抑止の設定が行われていることを意味します。 |

4.10.2.5 表示形式を変更する

表示形式を変更することができます。(①) 監視の用途に合わせて表示形式を変更してください。



● 一覧形式

端末アイコンと端末名称が表示されます。



● 詳細形式

端末の詳細情報が一覧表示されます。端末アイコンの状態と共に詳細情報も合わせて確認したい場合に選択してください。

| 全端末 | 異常端末 | 暫定端末 | グループ |
|------|------|------|------|
| 端末名 | 稼働 | | |
| 0001 | 運用 | | |
| 0002 | 停止 | | |
| 0003 | 停止 | | |

● 監視専用形式

小さな端末アイコンのみが全画面に表示され、背景色で稼働状態を確認できます。端末の稼働状況の監視のみを行いたい場合に選択してください。



● 監視専用モードでは、端末操作を行うことができません。一覧、または詳細モードで行ってください。

4.10.2.6 端末表示について

端末監視画面のタブ①をクリックすることで、それぞれ該当する端末を一覧表示することができます。



- 全端末 : すべての端末を表示します。
- 異常端末 : エラーが発生している端末を検索表示します。
- 暫定端末 : 自動コンフィグレーションで使用する一時的な端末のみを表示します。
- グループ : 該当する端末グループに登録されている端末を表示します。
- エッジサーバー : エッジサーバーが登録されている場合に表示することができます。選択されたエッジサーバーに登録されている配下のプレーヤー端末のみを表示します。端末グループタブ表示かエッジサーバータブ表示のどちらか一方のみ表示可能です。

4.10.3 端末稼働の詳細情報を確認する



端末アイコンをダブルクリックすると、端末稼働詳細画面がポップアップ表示されます。端末の詳細な稼働情報を確認する場合に使用します。また、プレーヤー端末で現在表示している画面キャプチャーを確認(スクリーンモニタ)することも可能です。

①稼働状態

- 稼働状態 : 稼働状態を表示します。
- 稼働時間 : 端末が起動してからの経過時間を表示します。再起動をすると、0 に戻ります。
- 稼働開始時刻 : 稼働を開始した時刻を表示します。
- 最終受信時刻 : 端末から自動通知される稼働通知の最終受信時刻を表示します。
- 状態変更時刻 : 端末の状態が変化した時刻を表示します。

②システムリソース

- HD 合計サイズ : ハードディスクの容量を表示します。
- HD 使用領域 : ハードディスクの使用容量を表示します。
- HD 空き領域 : ハードディスクの空き容量を表示します。
- 物理メモリー空き容量 : 利用可能な残メモリー量を表示します。
- CPU 使用率 : CPU の使用率を表示します。

③再生状態

H1～H4、S1、S2 それぞれで再生中のスケジュール名とプレイリスト、コンテンツ名を表示します。

④スクリーンモニタ

スクリーンモニタをチェックすると(④)、放映されている情報をキャプチャーし、スクリーンモニタに表示、キャプチャーした時刻を取得時刻に表示します。表示に時間がかかる場合があります。表示されたスクリーンモニタ領域をダブルクリックすると、拡大表示します。戻る時は、タイトルバーの終了ボタンをクリックします。



- 動画コンテンツの場合、放映されている情報はキャプチャーされず、黒画面が表示される場合があります。

⑤PDPステータス

PDP 制御アプリケーションが出力したステータスファイルを読み込み、結果を PDP ステータス表示画面(⑤)に表示します。



- 初めて PDP ステータスを確認する場合、設定が必要となります。設定方法は【4 .17 .1 標準設定を行う】をご参照ください。
- PDP のステータスは一定の間隔(デフォルト 1 分間隔)で表示更新されます。それ以外の情報は稼働監視詳細画面を表示した以降は更新されませんので、最新の情報を表示するためには、一度稼働監視詳細画面を閉じて再度開いてください

●ステータスのアイコン表示

| 表示色 | 運用状態 | 説明 |
|-----|----------|---|
| 水色 | 抑止中 | PDP ステータス監視設定を一時的に抑止している(非監視日)、または監視時間外であることを意味します。 |
| 灰色 | チェック対象外 | PDP ステータスチェックを行わない状態を意味します。 |
| 緑色 | 正常稼働中 | 正常稼働中であることを意味します。 |
| 赤色 | タイムアウト | タイムアウトが発生(PDPがスタンバイ状態、主電源OFF状態、もしくはRS232Cケーブルの接続異常)したことを意味します。 |
| 黄色 | Vsyncエラー | PDPに映像信号が入力されていない、または異なる映像信号(アナログテレビまたはビデオ映像の直接表示など)が入力されていることを意味します。 |
| 黒 | 電源OFF | PDPの電源ONの状態、操作端末上からプレイリスト/スケジュールのコマンド指定または端末監視機能のコマンド実行による「PDP電源OFF」コマンドが実行されて電源OFFになったことを意味します。(PDP本体は「スタンバイ」状態になります) ※PDP本体を操作した場合、本ステータスには移行しません。 |

●表示項目一覧

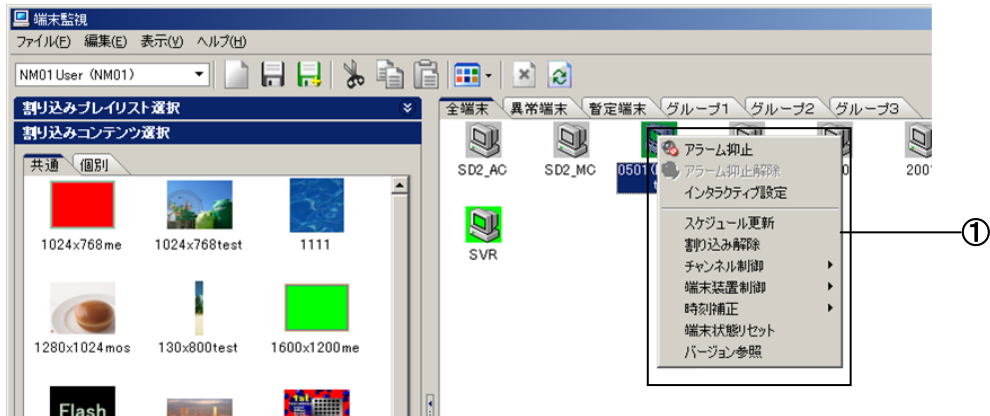
| 項目名 | 説明 |
|---------|--|
| ステータス | PDP ステータスチェックの結果を色で表示します。 |
| 更新日 | 当該ポートに対してステータスチェックを最後に実行した日付です。 |
| 更新時刻 | 当該ポートに対してステータスチェックを最後に実行した時刻です。 |
| 識別番号 | PDP を識別するための番号です。 COM ポート接続の場合は、当該ポートが接続される COM ポート番号です。01~08 の数字で表します。 LAN 接続の場合は PDP に設定されている識別番号です。01~99 で表します。 |
| ブランチ | アクティブスルーカードによるマルチドロップを採用した場合には、ブランチ番号 001~999 が設定されます。 LAN 接続の場合は空欄となります。 |
| PDP No. | PDP 通信ポート定義ファイルに記述される登録 No.です。001~999 の数字で表します。 |
| ポート名 | 各 PDP ポートに対して任意に設定する名称文字列です。 LAN 接続の場合は「LAN」と表示します。 |
| 周波数 | 現在、表示中の画面の水平垂直周波数です。 |
| 音声情報 | PDP の設定音量です。0~63 の数字で表します。 |
| 入力情報 | メイン画面の映像入力種別です。SL1、SL2、SL3、PC1 で表します。 |
| SOS 履歴 | ハードウェアの障害履歴です。 |

4.10.4 端末監視

端末アイコン上でマウスを右クリック①すると、コマンド配信により、端末再起動などの制御を行うことができます。必要に応じて実行してください。



- 実行する制御内容によって、放映が停止、中断するなど異常な状態になることがあります。実行の際は十分ご注意ください。
- 利用できるコマンドの範囲は、端末種別および端末の状態によって変わります。



| 項目 | | 説明 |
|------------|----------|--|
| アラーム抑止 | | 監視する必要がない端末に対してアラームを抑止します。本設定を行うことにより端末装置から通知されたアラートメッセージが表示されなくなります。アラーム抑止を設定した端末アイコンの背景色は黄色に変化します。 |
| アラーム抑止解除 | | アラーム抑止を解除します。アラーム抑止が解除され、端末アイコンの色は元に戻ります。 |
| インタラクティブ設定 | | インタラクティブコンテンツ選択画面を表示し、インタラクティブコンテンツの選択を行います。 |
| スケジュール更新 | | 新しくスケジュールを登録した場合、即時にスケジュールを反映します。通常はプレイヤー端末再起動時に反映されます。 |
| 割り込み解除 | | 割り込み表示を解除します。 |
| チャンネル制御 | チャンネル解除 | チャンネル表示を制御します。チャンネルの表示を解除し、通常の放映に戻ります。 |
| | チャンネル1～6 | チャンネル表示(1～6)に切り替えます。 |
| 端末装置制御 | 音声OFF | プレイヤー端末からの音声出力を停止します。 |
| | 音声ON | プレイヤー端末からの音声出力を開始します。 |
| | PDP電源OFF | PDPの電源を切ります。 |
| | PDP電源ON | PDPの電源を入れます。 |
| | 端末再起動 | 端末を再起動します。 |
| 時刻補正 | 端末補正時刻参照 | 端末の、前回補正した時刻を参照します。 |
| | 時刻補正 | 管理サーバーに合わせて、端末の時刻を補正します。 注意！！ ● 放映中に時刻補正を実行すると、稼働監視タイムアウトの発生や、映像にみだれが出る場合があります。 |
| 端末状態リセット | | 端末の実態と、管理サーバー側の情報が一致していない場合に、端末情報をリセットします。 Ex. 端末が撤去されたが、画面の端末表示では異常停止になっている。 |
| バージョン参照 | | バージョンを参照して表示します。 |



- NM コントローラに対し音声 OFF を実行しても、端末が再起動すると音声 ON になります。

4.10.5 コンテンツ割り込み表示を行う

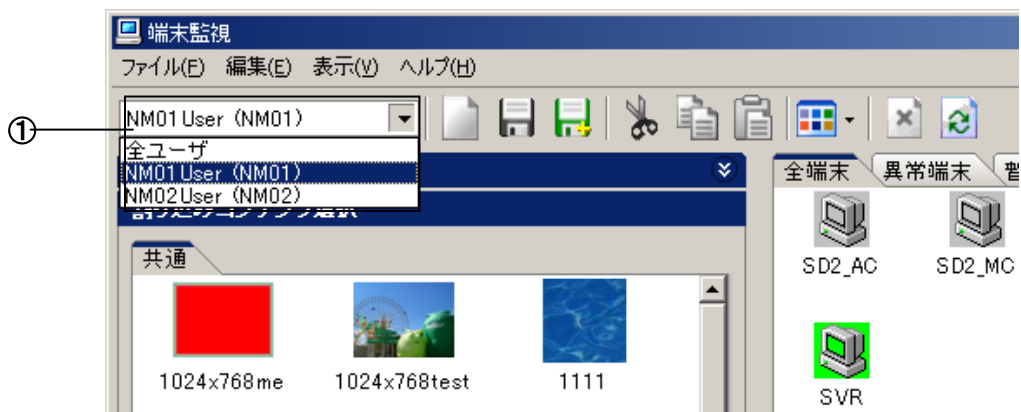
割り込み表示とは、通常放映を一時的に中断し、指定したコンテンツを割り込んで表示させる機能です。例えば、災害情報や事故情報など、緊急度が高く、急遽放映する必要がある情報などを表示させる場合に使用してください。



- 割り込み表示に使用するコンテンツはプレーヤー端末に事前に配信されている必要があります。配信が完了していないコンテンツはプレーヤー端末で表示することはできません。
- 割り込み表示中は端末アイコンの背景色が変わりますが、稼働監視間隔の設定と、割り込み表示のタイミングにより、すぐに変化しない場合があります。
- 割り込みコンテンツの中に、表示時間が『連続表示』で登録されているコンテンツが含まれている場合、該当コンテンツが連続で表示され、以降のコンテンツは表示されませんので、通常は指定しないでください。
- 割り込み表示中は、プレイリストまたスケジュールに設定したコマンドを実行しません。割り込み表示が終了し、表示を再開するプレイリストまたフレームパターンにコマンドが設定されている場合に実行します。
- 割り込み表示が終了すると、通常放映に戻ります。割り込み時に、表示していたフレームパターンの終了時間前に、割り込みが終了した場合は、再開する時刻のフレームパターンの先頭コンテンツから表示を再開します。ただし、フレームパターンの終了時間は、該当フレームパターンの終了時間であり、表示時間に合わせて終了時間が延長されることはないため、コンテンツを最後まで表示できない場合があります。

STEP 1 プルダウンメニュー(①)からユーザを選択すると、コンテンツ選択領域が表示されます。

割り込み表示を行う端末を選択します。 や を併用し、複数選択も可能です。



STEP 2 割り込み表示するコンテンツを、端末アイコン上にドラッグ&ドロップ(②)します。

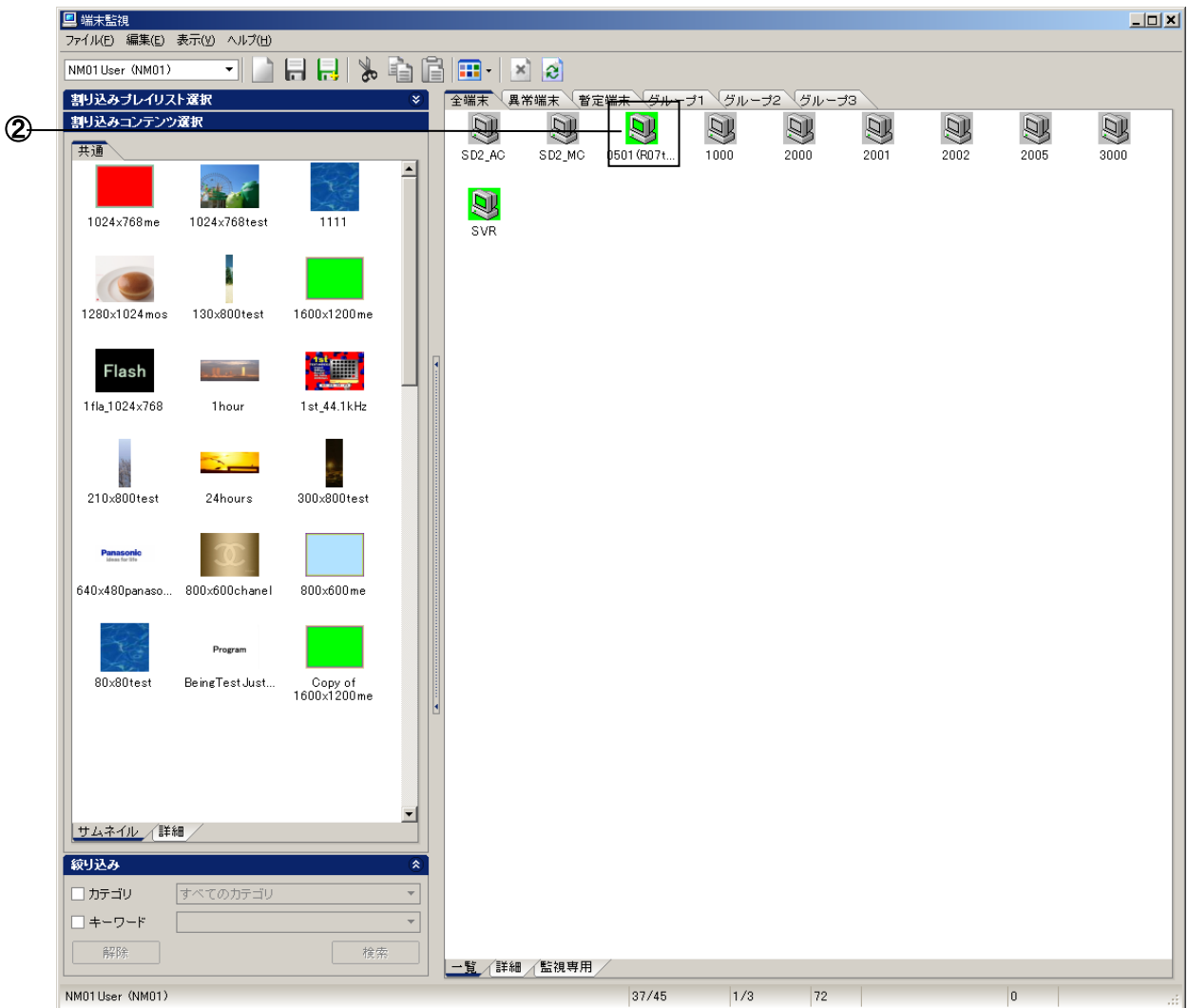
Shift や Ctrl を併用し複数選択も可能です。



- 複数の端末に対して、割り込み表示を行う場合、共通コンテンツの通常コンテンツのみ、割り込み表示が可能です。また、共通、個別コンテンツを混在して割り込み表示を行うことはできません。



- テロップコンテンツならびに有効期間外の通常コンテンツは、割り込み表示することはできませんので、コンテンツ一覧上にも表示されません。



- ドラッグ&ドロップをする際、選択された端末アイコン上でマウスカーソルが変化します。

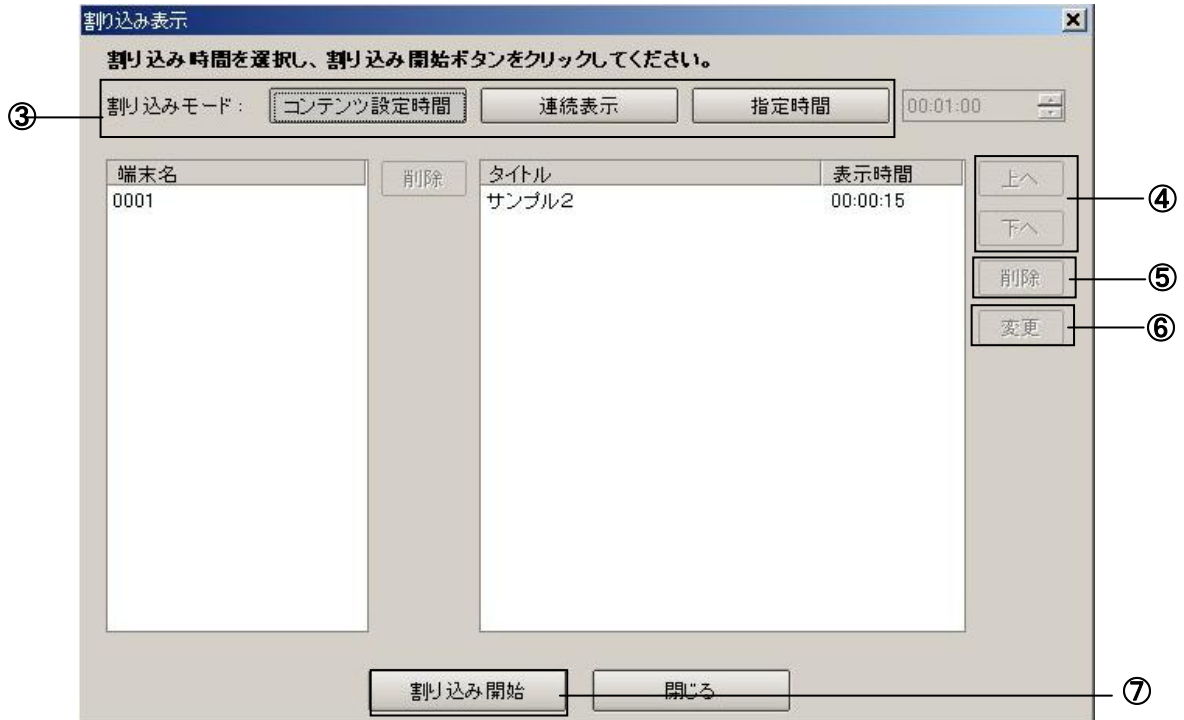
STEP 3 コンテンツの割り込み表示時間(割り込みモード)を設定します。(③)

割り込みコンテンツの表示が終了すると、通常放映に戻ります。

コンテンツ設定時間 : 初期設定で選択されています。コンテンツ表示時間で割り込みます。

連続表示 : 割り込みを解除するまで、指定したコンテンツが繰り返し表示されます。

指定時間 : 右欄で指定した時間で割り込みます。時間内で、指定したコンテンツが繰り返し表示されます。



STEP 4 割り込み表示画面で設定した順序で割り込みを実行します。設定内容を以下の操作で変更することができます。

●順序変更

『上へ』『下へ』をクリックし、コンテンツ表示順序を変更することができます。(④)

●削除

該当コンテンツを選択した状態で、『削除』(⑤)をクリック、または を押します。

●コンテンツ表示時間の変更

コンテンツ表示時間を変更することができます。

『変更』(⑥)をクリックすると、コンテンツ表示時間変更画面を表示します。表示時間を入力し、『変更』(⑧)をクリックすると一時的に表示時間が変更されます。

注意！！

- 連続表示にチェックした場合、該当コンテンツが連続で表示されます。以降のコンテンツは表示されませんので、通常は指定しないでください。
- コンテンツ表示時間変更で行った設定内容は、直後の割り込み時のみ有効です。



STEP 5 『割り込み開始』(⑦)をクリックすると、割り込み表示を開始します。



- 割り込み表示画面で、『割り込み開始』をクリックせずに『閉じる』をクリックすると、割り込み表示されません。
- 割り込み中は端末アイコンの背景色が薄緑色に変化しますが、割り込み実行後、表示色はすぐに変化しない場合があります。

STEP 6 割り込み表示を解除するには、該当プレーヤー端末を選択した状態で、右クリック→「割り込み解除」を選択します。

4.10.6 プレイリスト割り込み表示を行う

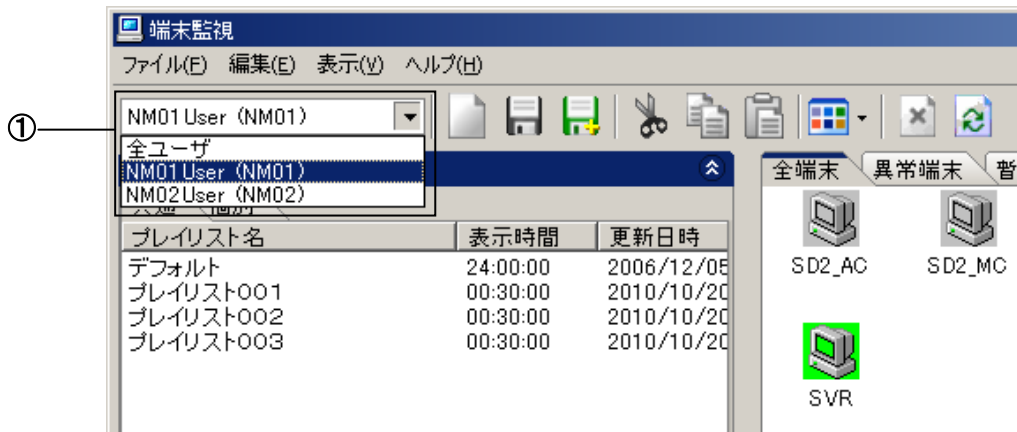
割り込み表示とは、通常放映を一時的に中断し、指定したプレイリストを割り込んで表示させる機能です。例えば、災害情報や事故情報など、緊急度が高く、急遽放映する必要がある情報などを表示させる場合に使用してください。



- 割り込み表示に使用するプレイリストおよび、プレイリストで使用しているコンテンツはプレーヤー端末に事前に配信されている必要があります。配信が完了していないプレイリスト、コンテンツはプレーヤー端末で表示することはできません。
- 割り込み表示中は端末アイコンの背景色が変化しますが、稼働監視間隔の設定と、割り込み表示のタイミングにより、すぐに変化しない場合があります。
- プレイリスト割り込み表示中は、割り込みプレイリストに設定したコマンドが実行されます。割り込み時に、放映していたプレイリストまたスケジュールに設定したコマンドは実行されません。割り込み表示が終了し、表示を再開するプレイリストまたフレームパターンにコマンドが設定されている場合に実行します。
- 割り込み表示が終了すると、通常放映に戻ります。割り込み時に、表示していたフレームパターンの終了時間前に、割り込みが終了した場合は、再開する時刻のフレームパターンの先頭コンテンツから表示を再開します。ただし、フレームパターンの終了時間は、該当フレームパターンの終了時間であり、表示時間に合わせて終了時間が延長されることはないので、コンテンツを最後まで表示できない場合があります

STEP 1 プルダウンメニュー①からユーザを選択すると、プレイリスト選択領域が表示されます。

割り込み表示を行う端末を選択します。 Shift や Ctrl を併用し、複数選択も可能です。



STEP 2 割り込み表示するプレイリストを、端末アイコン上にドラッグ & ドロップ (②) します。

Shift や Ctrl を併用し複数選択も可能です。



- 複数の端末に対して、割り込み表示を行う場合、共通プレイリストのみ、割り込み表示が可能です。また、共通、個別プレイリストを混在して割り込み表示を行うことはできません。

②

| プレイリスト名 | 表示時間 | 更新日時 |
|-----------|----------|------------|
| デフォルト | 24:00:00 | 2006/12/05 |
| プレイリスト001 | 00:30:00 | 2010/10/20 |
| プレイリスト002 | 00:30:00 | 2010/10/20 |
| プレイリスト003 | 00:30:00 | 2010/10/20 |

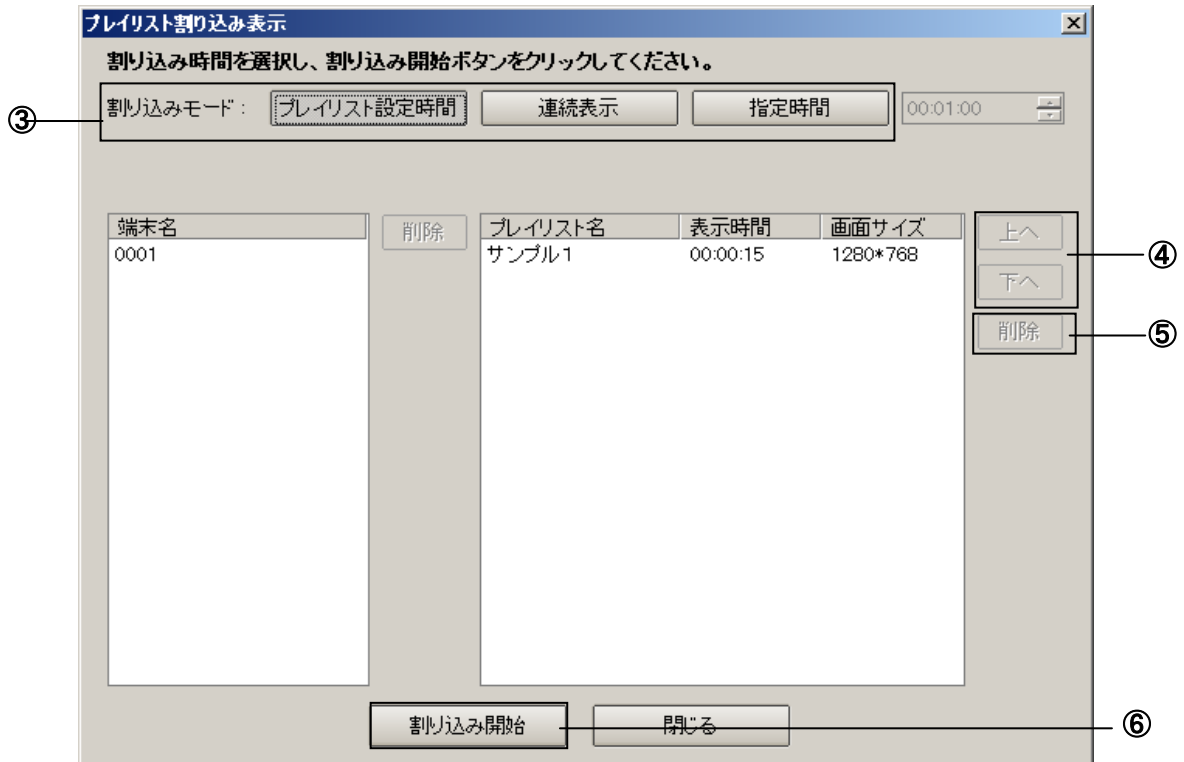


- ドラッグ & ドロップをする際、選択された端末アイコン上でマウスカーソルが変化します。

STEP 3 プレイリストの割り込み表示時間(割り込みモード)を設定します。(③)

割り込みプレイリストの表示が終了すると、通常放映に戻ります。

- プレイリスト設定時間 : 初期設定で選択されています。プレイリスト表示時間で割り込みます。
連続表示 : 割り込みを解除するまで、指定したプレイリストが繰り返し表示されます。
指定時間 : 右欄で指定した時間で割り込みます。時間内で、指定したプレイリストが繰り返し表示されます。



STEP 4 割り込み表示画面で設定した順序で割り込みを実行します。設定内容を以下の操作で変更することができます。

●順序変更

『上へ』『下へ』をクリックし、プレイリスト表示順序を変更することができます。(④)

●削除

該当プレイリストを選択した状態で、『削除』(⑤)をクリック、または を押します。

STEP 5 『割り込み開始』(⑥)をクリックすると、割り込み表示を開始します。



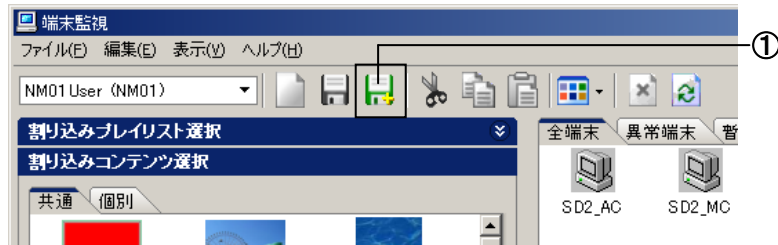
- 割り込み表示画面で、『割り込み開始』をクリックせずに『閉じる』をクリックすると、割り込み表示されません。
- 割り込み中は端末アイコンの背景色が薄緑色に変化しますが、割り込み実行後、表示色はすぐに変化しない場合があります。

STEP 6 割り込み表示を解除するには、該当プレーヤー端末を選択した状態で、右クリック→「割り込み解除」を選択します。

4.10.7 端末稼働ログ集計を確認する

管理サーバー内に保存されている端末稼働ログ情報を集計表示し、結果を指定フォルダに保存することができます。管理サーバーの端末稼働ログから集計しますので、プレーヤー端末上の実態と一致しない場合があります。参考値としてご利用ください。

STEP 1 保存アイコン(①)を選択します。



STEP 2 集計結果が表示されますので、内容をご確認の上『閉じる』をクリックします。表示され、ファイルに保存される集計結果のフォーマットは以下の通りです。

| 表示例 | 説明 |
|--|---|
| I 2007/01/22 16:44:02 SVR10001 :ログ集計を開始します。 | I :インフォメーションログの記号です。 日時:ログ集計を開始した日時です。 記号:サーバーのユーザ ID、端末 ID です。 |
| SVR-NAME:SVR10001 | サーバー名です。 |
| DATE:2006/12/25-2007/01/22 | ログ集計を行った期間です。 |
| NM010001,PLR01,00011:42.15,S:0,E:2,W:0 | NM-PLR のユーザ ID、端末 ID と、S、E、W レベルそれぞれのログ件数です。 |
| I 2007/01/22 16:44:05 SV550021 :LOGLECT-0001 ログ集計が完了しました。 | I :インフォメーションログの記号です。 日時:ログ集計を完了した日時です。 記号:サーバーのユーザ ID、端末 ID です。 |



STEP 3 保存の確認画面が表示されますので、保存する場合は『はい』をクリックし、保存場所を指定してください。指定場所に結果が保存されます。必要がなければ、『いいえ』をクリックしてください。



- 端末稼働ログは、管理サーバーに保存されているログファイルを集計します。保存されているログ情報により、保有期間が変化します。

4.11 チャンネル

ここでは、チャンネルの管理サーバーへの登録、編集、削除、および確認を行います。

4.11.1 概要

チャンネルは、あらかじめ登録した複数コンテンツを、通常放映と切り替えて放映する機能です。実行すると、チャンネル解除の操作を行うまでサイクリックに放映されます。チャンネルの表示は、すべて全画面で表示されます。1つのチャンネルに登録できるコンテンツの最大数は30までです。

4.11.2 画面の説明

ランチャーボタンの『チャンネル』をクリックすることで、チャンネル機能画面を表示します。

- ①コンテンツを選択します。チャンネルで登録可能なコンテンツは共通コンテンツの通常コンテンツのみです。
- ②チャンネル内容に登録したコンテンツを表示します。
- ③コンテンツの絞り込み検索をします。操作方法はコンテンツ画面と同じです。



- チャンネルに登録されているコンテンツに有効期限が切れたコンテンツまたは削除されたコンテンツが含まれる場合、詳細表示欄のコンテンツ名称が赤字で表示されます。

4.11.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | | 説明 |
|------------|-------------------------------------|---|
| ファイル(F) | 保存(S) | チャンネル編集された情報に基づき、サーバーに登録します。チャンネル編集領域の情報に変更された場合のみ選択できます。 |
| | ユーザ切り替え(U) | 編集対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 |
| | 閉じる(C) | チャンネル設定画面を終了します。 |
| 編集(E) | 切り取り(T) | チャンネル編集領域で選択されたコンテンツを切り取ります。 |
| | コピー(C) | チャンネル編集領域で選択されたコンテンツをクリップボードにコピーします。 |
| | 貼り付け(P) | チャンネル編集領域の選択フィールドにクリップボード内容を貼り付けます。 |
| | 消去(A) | チャンネル編集領域の選択項目を削除します。 |
| | 置換(R) | チャンネル編集領域で選択されたコンテンツをコンテンツ一覧領域で選択されたコンテンツに置換します。 |
| 編集内容の破棄(D) | 変更があった場合は、保存の有無を確認するメッセージパネルを表示します。 | |
| 表示(V) | プレビュー(P) | 選択されたコンテンツをプレビュー表示します。 コンテンツ未選択時は、選択できません。 |
| | サムネイル(T) | コンテンツ一覧をサムネイル表示に変更します。 |
| | 詳細(D) | コンテンツ一覧を詳細表示に変更します。 |
| | 最新の情報に更新(R) | コンテンツ画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示します。 |

4.11.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----------|----------------------|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 表示コンテンツ数 | 絞り込み結果数/総コンテンツ数です。 |
| ページ | 現在表示中のページ番号/総ページ数です。 |

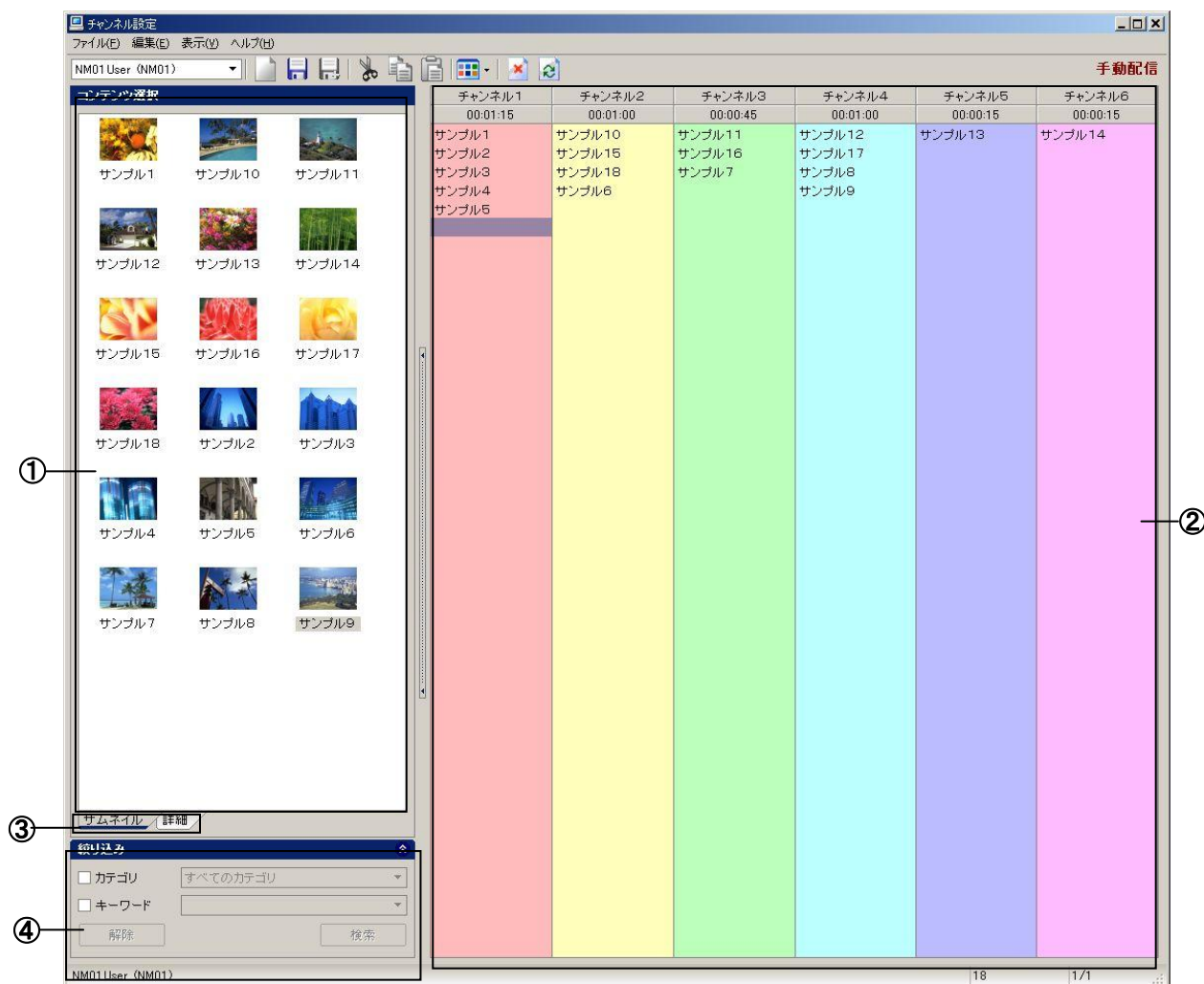
4.11.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|----------|-----------------------|
| 切り取り(T) | メニューバー「切り取り(T)」と同じです。 |
| コピー(C) | メニューバー「コピー(C)」と同じです。 |
| 貼り付け(P) | メニューバー「貼り付け(P)」と同じです。 |
| 消去(A) | メニューバー「消去(A)」と同じです。 |
| 置換(R) | メニューバー「置換(R)」と同じです。 |
| プレビュー(P) | メニューバー「プレビュー」と同じです。 |

4.11.3 登録、編集する

チャンネルの登録、編集手順について説明します。



STEP 1 「コンテンツ選択」(①)から、チャンネル内容(②)に追加します。

ドラッグ & ドロップ : コンテンツをチャンネル領域にドラッグ & ドロップします。

ダブルクリック : チャンネル領域を選択した状態で、コンテンツをダブルクリックします。



- 登録コンテンツはカテゴリ、キーワードで絞り込み検索(④)をすることにより、該当のコンテンツのみを「コンテンツ選択」(①)に出力することが可能です。
- ドラッグ & ドロップで、チャンネル内容の表示順序の入れ替えや、他のチャンネルへの移動ができます

STEP 2 チャンネル内容の、不要なコンテンツを削除する場合は、該当コンテンツを選択した状態で以下の操作を行ってください。

メニューバー : メニューバー→「編集」→「消去」を選択します。

コンテキスト : 右クリック→「消去」を選択します。

ショートカット : **Delete** を押します。

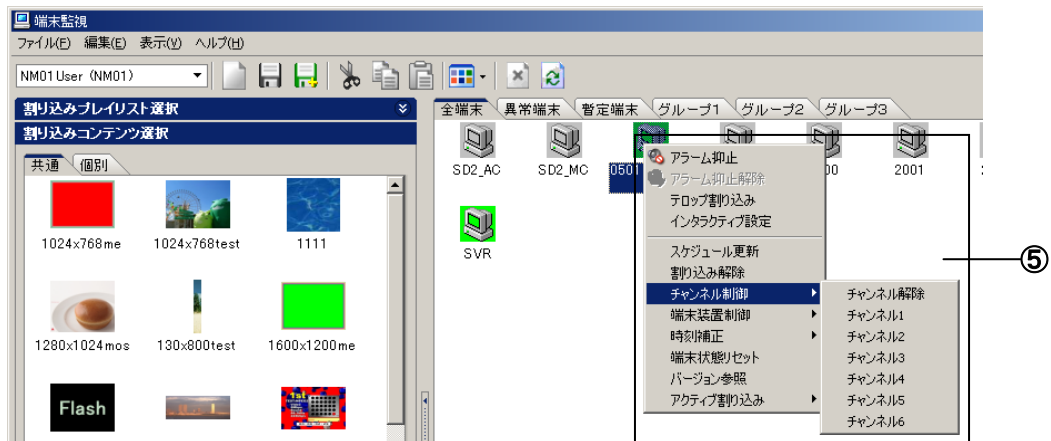
STEP 3 設定が終了したら、管理サーバーに内容を登録します。

- メニューバー : メニューの「ファイル」→「保存」を選択します。
アイコン : 保存アイコンをクリックします。
ショートカット : Ctrl + S を押します。

STEP 4 端末にチャンネルで登録したコンテンツを放映します。

● 操作端末から実行

端末監視機能画面から、該当する端末アイコンを右クリック→『チャンネル制御』→チャンネルを選択(⑤)します。チャンネル表示中に他のチャンネルを選択すると、切り替えることが可能です。チャンネルを解除し、通常放映に戻る場合は、『チャンネル解除』を選択します。



● プレーヤー端末から実行

プレーヤー端末のキーボードで、それぞれのチャンネルに対応しているショートカットキーを押します。キーの割り当ては以下の通りです。

| | | | | | | |
|---------|---|-------------------|---|--------------------|---|----------------|
| チャンネル解除 | : | Ctrl | + | Shift | + | 0 |
| チャンネル 1 | : | Ctrl | + | Shift | + | 1 |
| チャンネル 2 | : | Ctrl | + | Shift | + | 2 |
| チャンネル 3 | : | Ctrl | + | Shift | + | 3 |
| チャンネル 4 | : | Ctrl | + | Shift | + | 4 |
| チャンネル 5 | : | Ctrl | + | Shift | + | 5 |
| チャンネル 6 | : | Ctrl | + | Shift | + | 6 |



- チャンネルを解除すると、通常放映に戻ります。チャンネル表示時に、表示していたフレームパターンの終了時間前に、チャンネルを解除した場合は、中断したコンテンツから表示を再開します。ただし、動画などの時間を持つコンテンツは、先頭からの再生になるため、最後まで表示されない場合があります。それ以外の場合、直近のフレームパターンの先頭から放映が開始されます。ただし、フレームパターンの終了時間は、該当フレームパターンの終了時間であり、表示時間に合わせて終了時間が延長されることはないため、コンテンツを最後まで表示できない場合があります。

4.12 インタラクティブ

ここでは、インタラクティブ機能の概要、インタラクティブコンテンツの登録方法を説明します。

4.12.1 概要

インタラクティブとは、表示されているコンテンツを利用者の操作によって切り替える機能です。ディスプレイにタッチパネルを設置し、利用者が画面に触れるとインタラクティブコンテンツとして登録されたコンテンツを表示します。インタラクティブ機能の動作中に、利用者の操作が 180 秒(初期設定値)間行われないと、通常放映に戻ります。



- インタラクティブコンテンツは、全画面表示となります。フレーム分割での使用はできません。
- スケジュールに設定している時間帯数、登録コンテンツ数が多くなると、インタラクティブコンテンツ終了から通常放映への切り替えが遅くなることがあります。
- 割り込み表示とインタラクティブでは、割り込みが優先されますので、割り込み表示中に利用者がタッチパネルを操作しても、インタラクティブコンテンツは表示されません。

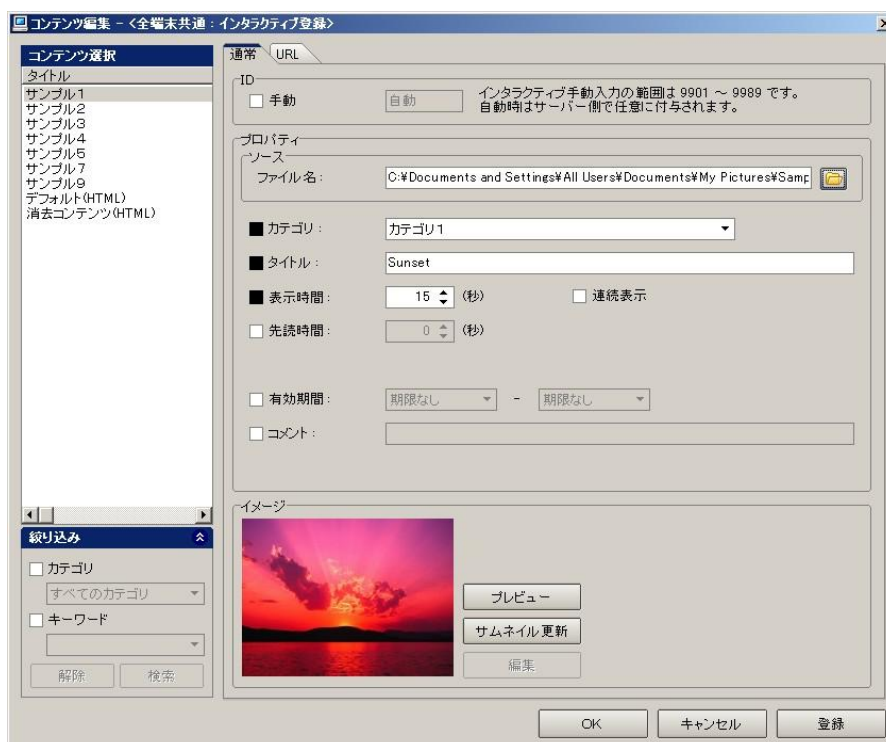
4.12.2 登録する

コンテンツの登録時に、インタラクティブコンテンツとして登録します。その他の手順は通常コンテンツと同様です。

- STEP 1** ランチャーボタンの『コンテンツ』をクリック→コンテンツ登録画面を表示→「ファイル」→「インタラクティブ登録」を選択することで、インタラクティブコンテンツ登録画面が表示されます。以降の手順は通常コンテンツと同様です。登録後、対象プレーヤー端末への配信を行ってください。

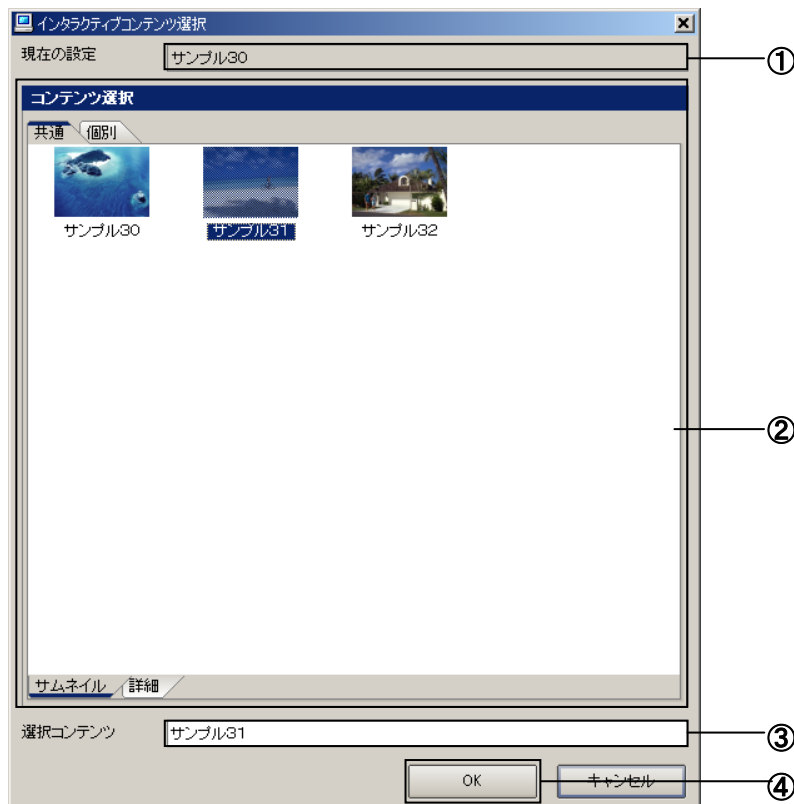


- インタラクティブコンテンツは、表示時間の設定で「連続表示」をチェック状態にして登録してください。



STEP 2 インタラクティブコンテンツは複数登録が可能です。放映するインタラクティブコンテンツの選択を行います。
ランチャーボタンの『端末監視』をクリック→端末監視画面を表示→該当端末アイコン上で右クリック→「インタラクティブコンテンツ設定」を選択することで、インタラクティブコンテンツ選択画面が表示されます。

「現在の設定」に、現在選択されているコンテンツが表示されます。コンテンツ選択領域(②)でコンテンツを選択すると、「選択コンテンツ」(③)に表示されます。
設定が完了したら、『OK』(④)をクリックしてください。



4.13 ログ参照

ここでは、管理サーバー、端末のログデータを確認します。なお、ログメッセージは、お問い合わせや異常発生などのサポート時に必要となる情報であり、お客様自身がメッセージ内容をご理解いただく必要はありません。

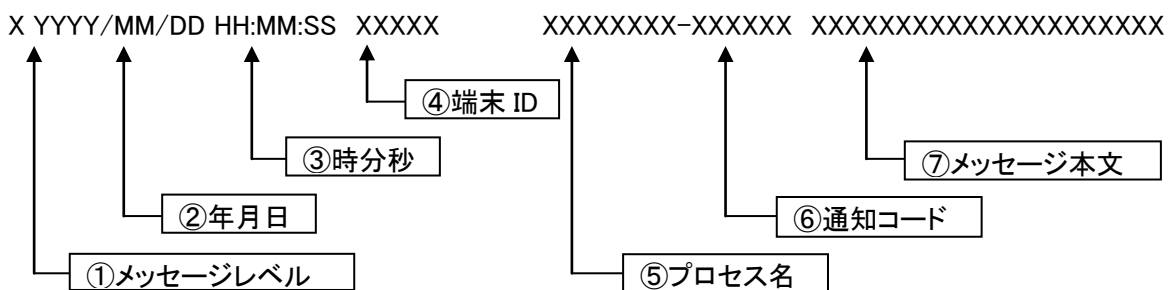
4.13.1 概要

ログ参照は、ログ参照と検索機能で大きく以下のように機能分けされます。

| 機能 | 動作概要 |
|------------|---|
| サーバーログ | 管理サーバー自身のログと、管理サーバーに通知される端末ログをリアルタイムで表示します。 |
| 管理サーバーログ検索 | 管理サーバー自身のログと、管理サーバーに通知されるすべての端末ログを表示、検索します。 |
| 端末ログ検索 | 端末ログを表示、検索します。 |

4.13.2 ログのフォーマットについて

ログ参照画面で確認できるログのフォーマットは以下の通りです。



① メッセージレベル

●インフォメーションログ

- I : 運用状態の変化などのインフォメーションを示します。
- U : 端末運用状態の変化などのイベント発生を示します。
- N : 定期稼働状態通知を示します。

●障害ログ

- W : 運用には影響しない障害が発生したことを示します。
- E : 運用に影響する障害が発生したが、障害部分を切り離して運用が可能なことを示します。
- S : 運用の継続が不可能な障害が発生したことを示します。

② 年月日

メッセージが発行された日付を、西暦年号 4 桁、月 2 桁、日 2 桁で表示します。

③ 時分秒

メッセージが発行された時刻を、24 時間制の時 2 桁、分 2 桁、秒 2 桁で表示します。

④ 端末 ID

ログ出力した端末の端末 ID。操作端末に関しては、ホスト名を表示します。

⑤ プロセス名

メッセージの発行元プロセス名を表示します。

⑥ 通知コード

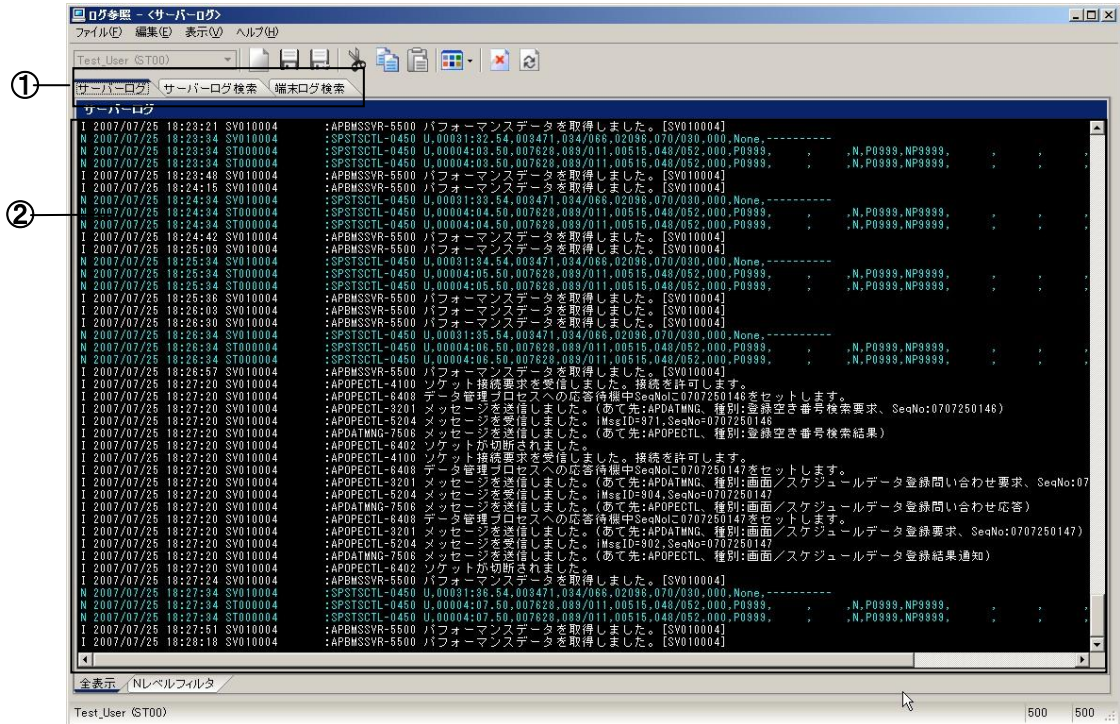
各プロセスでメッセージに付加するエラー番号を表示します。

⑦ メッセージ本文

エラーメッセージの本文を表示します。

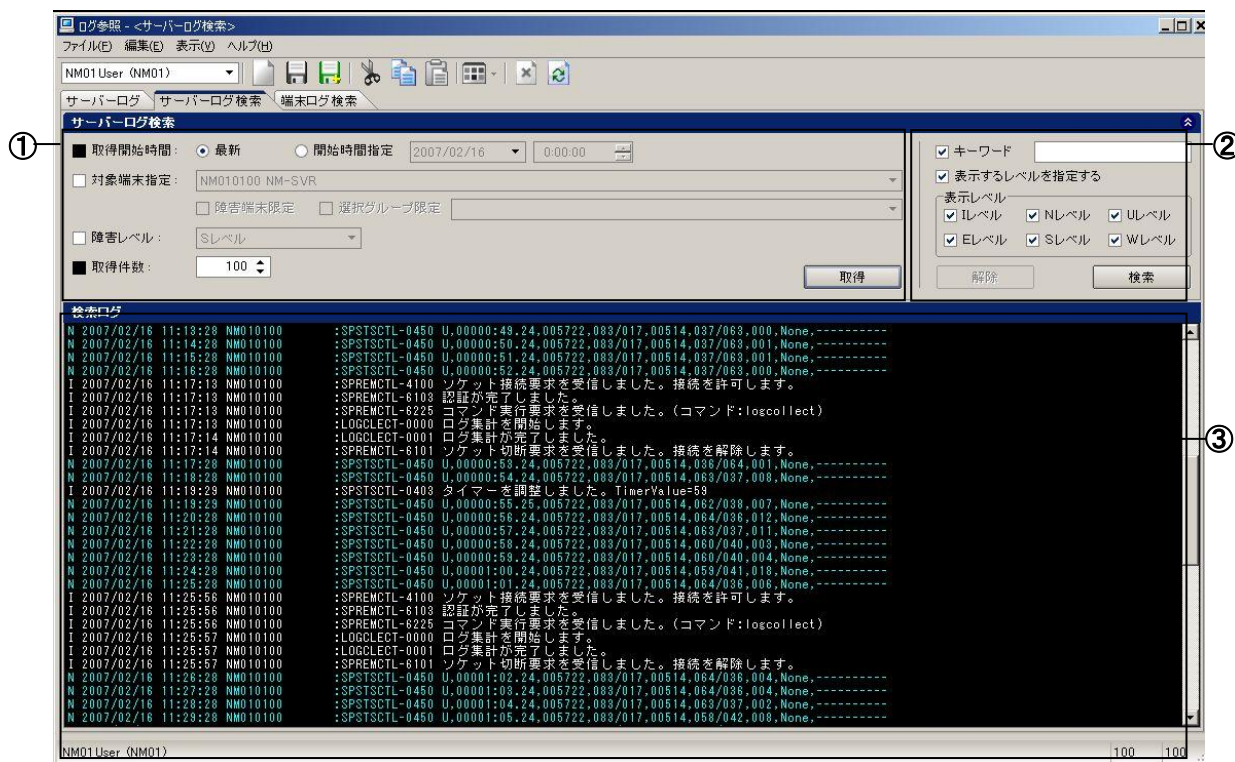
4.13.3 画面の説明

●サーバーログ



- ①機能名のタブ選択により、表示を切り替えます。
- ②現在のログをリアルタイムで表示します。

●サーバーログ検索 ・ 端末ログ検索



- ① 取得するログの検索条件を設定します。
- ② 取得済みのログに対して、条件を指定して絞り込みます。
- ③ ログを表示します。

4.13.3.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|--------------|--|
| ファイル(F) | |
| ログ一時停止(L) | ログメッセージの取得を一時的に停止します。ログ取得中に選択すると、メニュー項目の先頭にチェックマークが表示されます。解除する場合は、再度選択することでチェックマークが消去され、ログ取得が継続されます。 |
| ファイルに保存(S) | 検索結果を指定ファイルに出力します。 |
| ユーザ切り替え(U) | ログ検索対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 |
| 閉じる(C) | ログ参照画面を終了します。 |
| 編集(E) | |
| コピー(C) | 取得した全ログメッセージをクリップボードにコピーします。 |
| 検索(F) | キーワード部にフォーカスを当てます。この時、検索エリアが格納状態なら先に展開します。 |
| 表示(V) | |
| 全表示(A) | すべてのログを表示します。 |
| Nレベルフィルター(N) | Nレベルのログを非表示とし、それ以外のログを表示します。 |
| 最新の情報に更新(R) | ログ参照画面を最新情報に更新します。 |
| ヘルプ(H) | |
| ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示します。 |

4.13.3.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|--------|----------------------------|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| ログ取得件数 | 取得したログの件数を表示します。 |
| ログ表示件数 | フィルタリングされて、実際に表示されている件数です。 |


4.13.3.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----------|--------------------------|
| ログ一時停止(L) | トップメニュー「ログ一時停止(L)」と同じです。 |
| コピー(C) | トップメニュー「コピー(C)」と同じです。 |

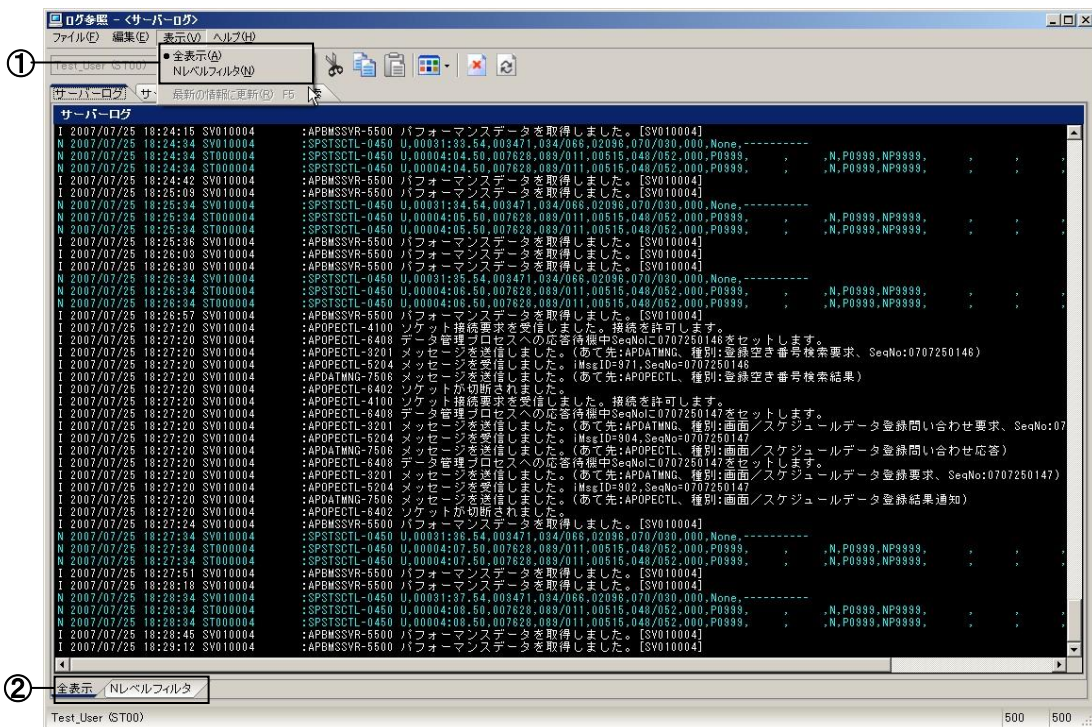
4.13.3.4 ツールバー

特別な使い方をするアイコンは以下の通りです。

| アイコン | 内容 |
|---|--------|
|  | ログ一時停止 |

4.13.4 サーバログを参照する

サーバログの操作について説明します。



4.13.4.1 フィルタ機能について

表示形式を変更することができます。

- 全表示 : 運用状態の変化などのインフォメーションを示します。
- Nレベルフィルタ : Nレベル(定期稼働状態通知)のログは表示せず、その他のログのみを表示したい場合に使用します。

●全表示

- メニューバー : メニューバー→「表示」→「全表示」を選択します。(①)
- タブ : 『全表示』を選択します。初期設定で選択されています。(②)

●Nレベルフィルタ

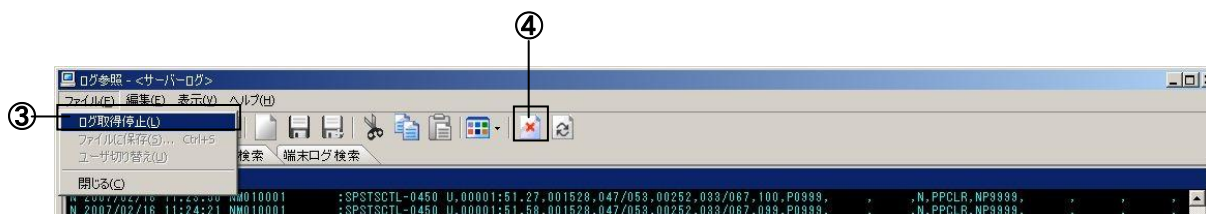
- メニューバー : メニューバー→「表示」→「Nレベルフィルタ」を選択します。(①)
- タブ : 『Nレベルフィルタ』を選択します。(②)

4.13.4.2 ログ取得を一時的に停止する

サーバーログのリアルタイム取得を一時停止することができます。



- ログを参照する際、更新頻度が高いと参照しにくいいため、ログの取得を一時的に中断することが可能です。



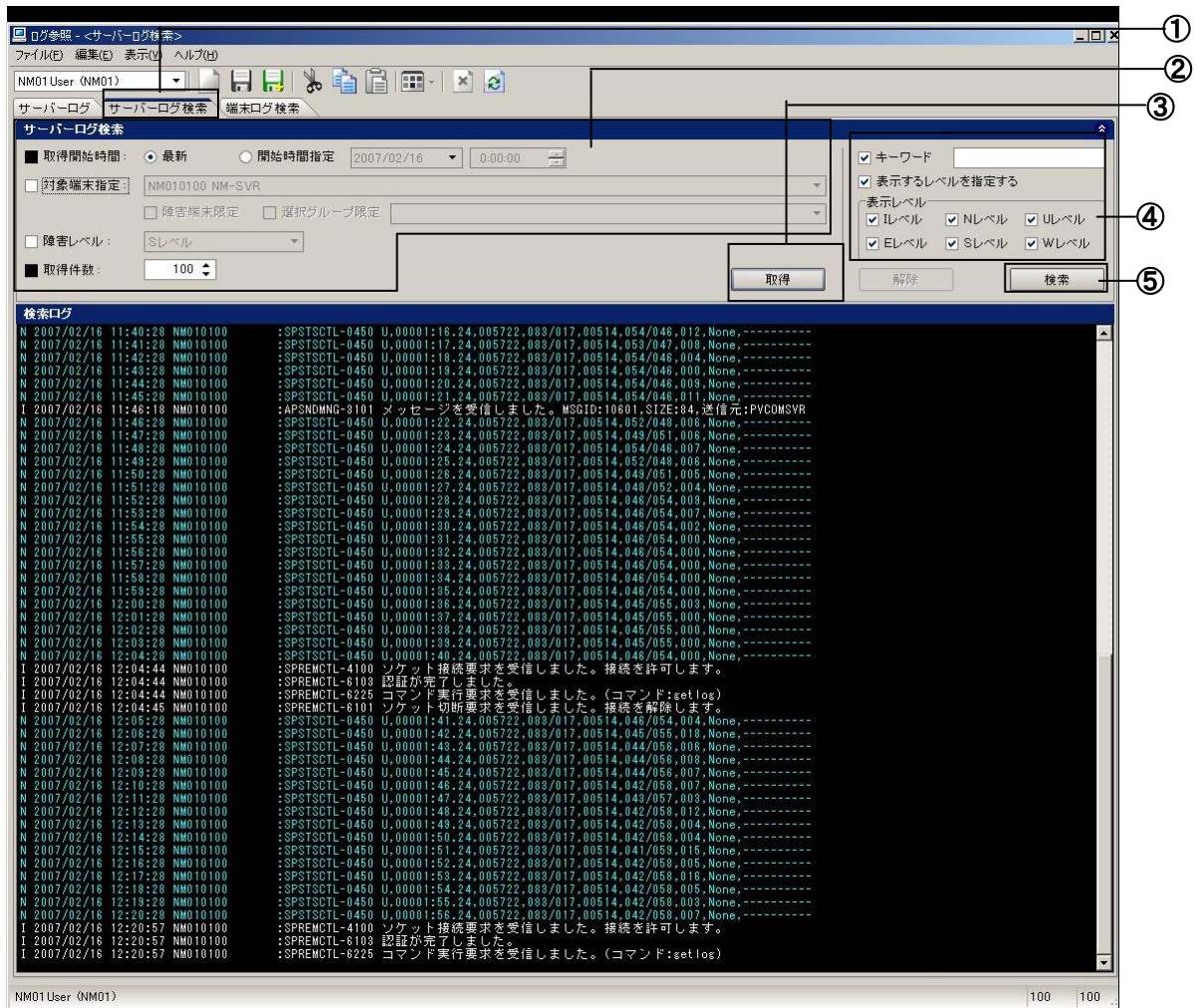
- メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「ローガー時停止」(③)を選択します。再度、選択するとログ取得を再開します。
- アイコン : ローガー時停止アイコン(④)をクリックします。再度、クリックするとログ取得を再開します。



- 通常時の「編集内容の破棄」アイコンは、ログ参照画面では「ローガー時停止」アイコンになります。

4.13.5 サーバーログを検索する

サーバーログ検索の操作について説明します。『サーバーログ検索』のタブをクリックします。



4.13.5.1 ログを取得する

ログを取得する条件を設定し、該当するログを取得します。目的に合わせて、対象端末や、日時を設定することが可能です。



● 検索条件によって、ログ取得に時間がかかる場合があります。

STEP 1 条件(2)を指定します。■は必須項目です。□は必要に応じてチェックし、設定してください。

| 項目 | 説明 | |
|----------|--|--------------------------------|
| ■ 取得開始時間 | 最新 | 『取得』実行時の最新のログを取得します。 |
| | 開始時間指定 | 指定日時以降のログを取得します。 |
| □ 対象端末指定 | 端末選択 | 指定した端末のみを対象とします。 |
| | 障害端末限定 | 端末リストに障害端末のみを表示します。 |
| | 選択グループ限定 | 端末リストに選択した端末グループ配下の端末のみを表示します。 |
| □ 障害レベル | 指定したレベルのログを取得します。 | |
| ■ 取得件数 | 指定した件数を最大数として取得します。最大件数 5,000 まで指定可能です。初期値は件数 100 で表示されます。 | |

STEP 2 条件指定が終了したら、『取得』(3)をクリックします。条件に該当したログを表示します。

4.13.5.2 絞り込み表示する

取得したログから、さらに絞り込みを行いたい場合に、検索を実行します。検索する条件を設定し、該当するログを表示します。目的に合わせて、キーワードや、レベルを設定することが可能です。

STEP 1 検索条件(④)を指定します。□を必要に応じてチェックし、設定してください。

| 項目 | 説明 |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> キーワード | 入力されたキーワードを含むメッセージだけを表示します。また、キーワードをスペースで区切ることにより、AND 条件検索も可能です。 |
| <input type="checkbox"/> 表示するレベルを指定する | 選択したレベルのログのみを検索します。 |

STEP 2 条件指定が終了したら、『検索』(⑤)をクリックします。条件に該当したログのみを表示します。

4.13.5.3 保存

ログをテキストデータとしてファイルに保存します。

STEP 1 以下のいずれかの操作を行います。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「ファイルに保存」を選択します。

アイコン : 名前を付けて保存アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

STEP 2 保存場所、ファイル名を指定し、『保存』をクリックします。
保存場所は、初期値では NM-OPE インストールフォルダ配下の TEMP フォルダが指定されます。



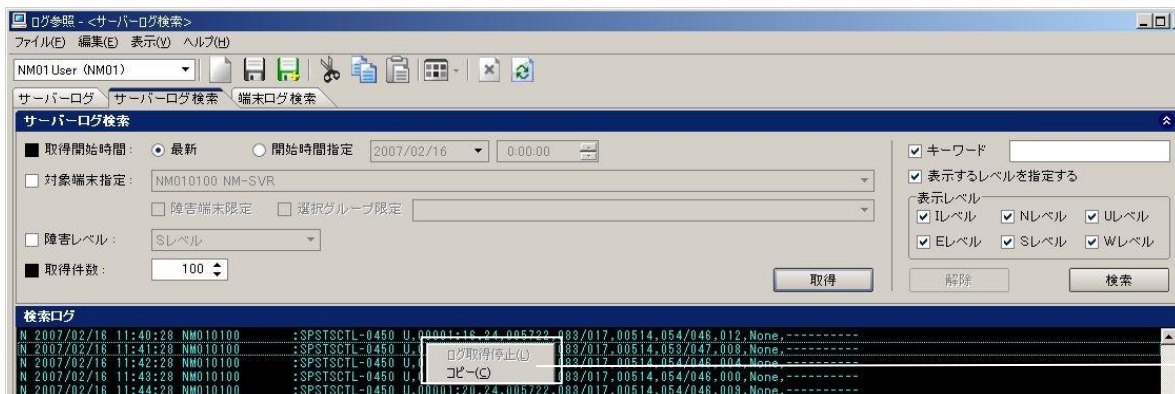
- クリップボードにログ情報をコピーした状態で、テキストファイルに貼り付け、テキストファイルとして保存することも可能です。

メニューバー : メニューバー→「編集」→「コピー」を選択します。

アイコン : コピーアイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

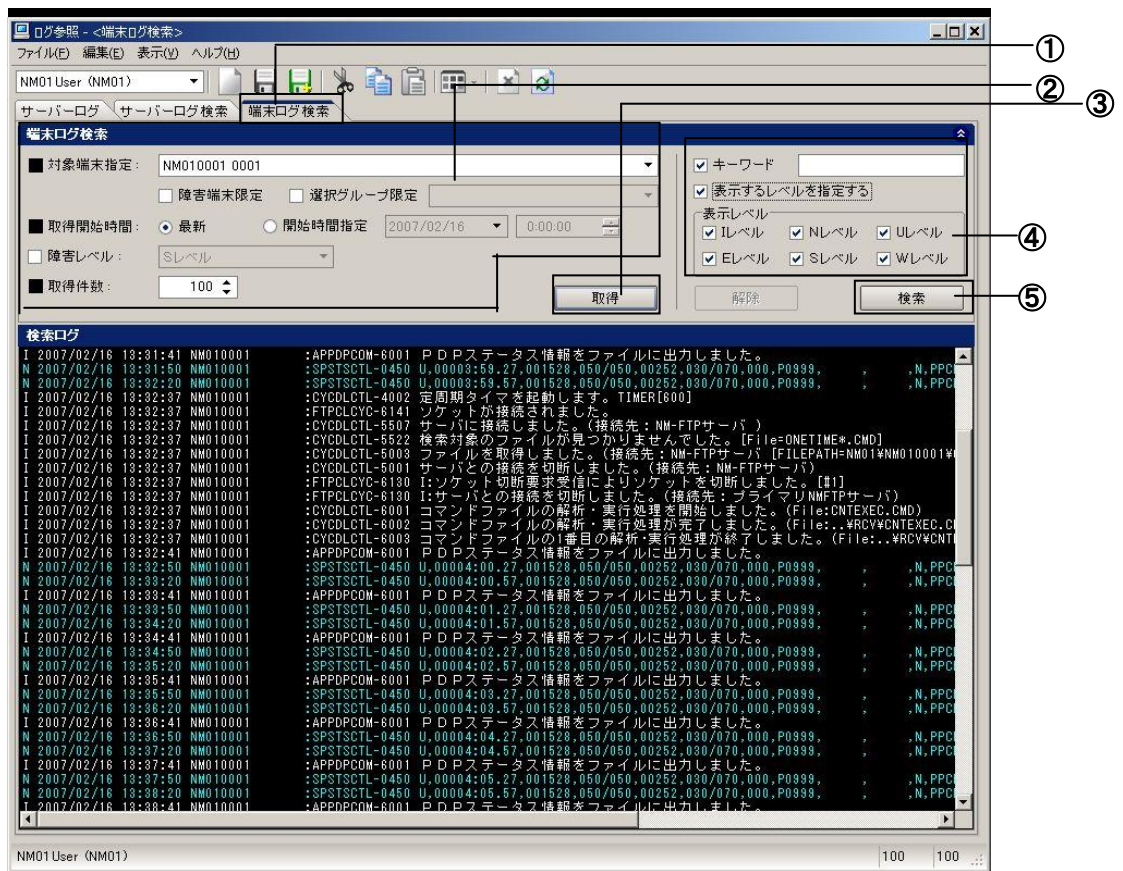
コンテキスト : 右クリック→「コピー」を選択します。



⑧

4.13.6 端末ログを検索する

端末ログ検索の操作について説明します。『端末ログ検索』のタブをクリックします。操作方法はサーバーログ検索と同様です。



4.13.6.1 ログを取得する

ログを取得する条件を設定し、該当するログを取得します。目的に合わせて、対象端末や、日時を設定することが可能です。



- 検索条件によって、ログ取得に時間がかかる場合があります。

STEP 1 条件(2)を指定します。■は必須項目です。□は必要に応じてチェックし、設定してください。

| 項目 | 説明 | |
|---------|--|--------------------------------|
| ■対象端末指定 | 端末選択 | 指定した端末のみを対象とします。 |
| | 障害端末限定 | 端末リストに障害端末のみを表示します。 |
| | 選択グループ限定 | 端末リストに選択した端末グループ配下の端末のみを表示します。 |
| ■取得開始時間 | 最新 | 『取得』実行時の最新のログを取得します。 |
| | 開始時間指定 | 指定日時以降のログを取得します。 |
| □障害レベル | 指定したレベルのログを取得します。 | |
| ■取得件数 | 指定した件数を最大数として取得します。最大件数 5,000 まで指定可能です。初期値は件数 100 で表示されます。 | |

STEP 2 条件指定が終了したら、『取得』(3)をクリックします。条件に該当したログを表示します。以降、その他の機能については、サーバーログ検索の操作手順と同様です。

4.14 端末登録

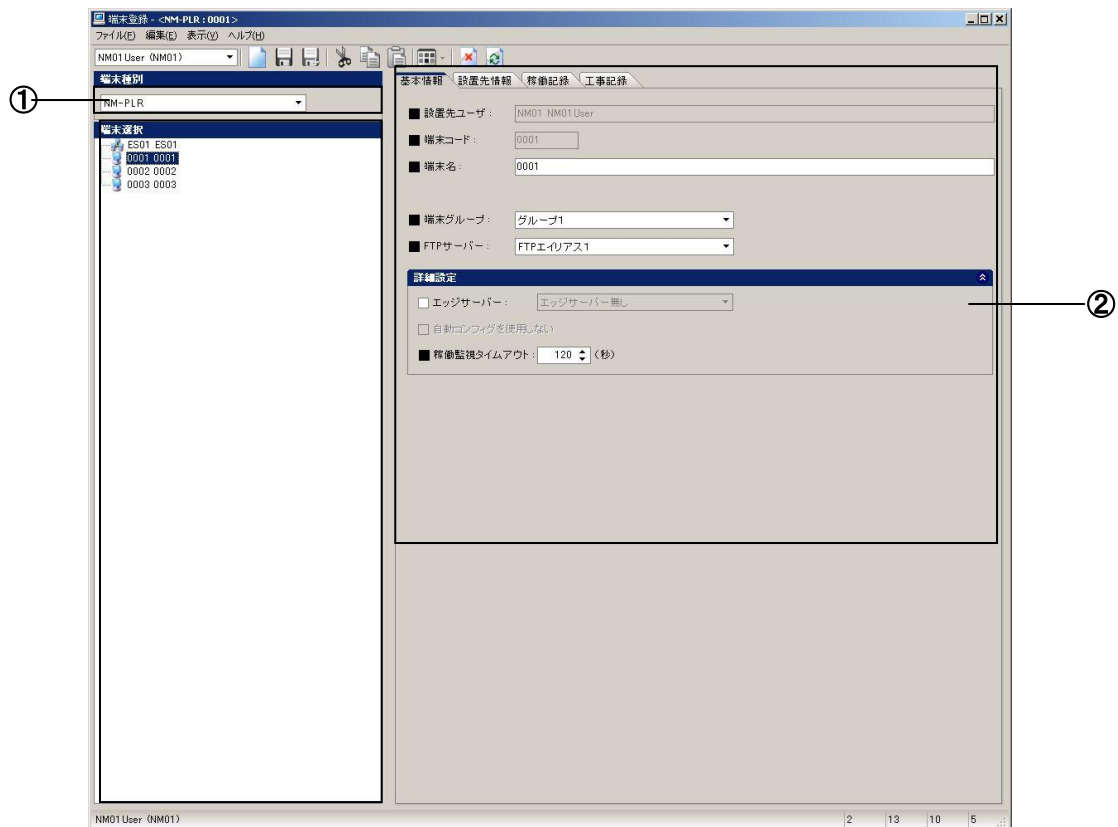
ここでは、管理サーバーで管理するために端末の各種情報を設定します。

4.14.1 概要

端末登録は、端末を新規に設置、増設する場合、必ず必要です。

4.14.2 画面の説明

ランチャーボタンの『端末登録』をクリックすることで、端末登録機能画面を表示します。



① 端末種別を表示します。

② 登録した内容を表示します。タブで表示を切り替えて使用します。

基本情報 : 端末の登録情報を表示します。新規登録する場合、本画面を使います。

設置先情報 : 端末選択で端末を選択すると表示可能になります。入力必須ではありません。以下のタブも同様です。設置先の情報を入力することができます。

稼働記録 : 運用のメモを入力することができます。

工事記録 : 工事記録を入力することができます。

4.14.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | | 説明 | |
|---------|-----------------|---|--|
| ファイル(F) | 新規登録(N) | 端末情報を新規登録します。 | |
| | 保存(S) | 編集された端末情報をサーバーに登録します。 | |
| | 暫定端末数登録(T) | 暫定端末として利用する端末数を登録します。設定パネルを表示します。 | |
| | 自動コンフィグレーション(A) | 自動コンフィグレーション(A) | 正規IDへの切り替えを行います。自動コンフィグレーション設定画面を表示します。 |
| | | 正規端末初期化(Z) | 正規IDを持つNM-PLRに対してインストール直後の状態に戻します。正規端末情報初期化設定画面を表示します。 |
| | インポート(I) | 外部ファイルをインポートし、一括登録します。 | |
| | ユーザ切り替え(U) | 対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 | |
| 閉じる(C) | 端末登録画面を終了します。 | | |
| 編集(E) | 編集(E) | 選択端末を編集可能状態にします。 | |
| | 端末削除(D) | 端末情報の削除を行います。 | |
| | 編集内容の破棄(D) | 編集モード: 端末情報に変更があった場合は、変更内容の保存を行うかを確認する画面を表示します。 | |
| 表示(V) | 最新の情報に更新(R) | 端末登録画面を最新情報に更新します。 | |
| ヘルプ(H) | ヘルプ | ヘルプ画面を表示します。 | |

4.14.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|--------|-------------------------|
| ユーザ名 | 対象「ユーザ名(ユーザコード)」を表示します。 |
| 登録ユーザ数 | 登録済みユーザ数です。 |
| 登録端末数 | 登録されているプレーヤー端末数です。 |
| 暫定端末数 | 登録されている暫定端末数です。 |
| 端末総数 | サーバー、エッジなどを含めた全端末数です。 |

4.14.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---------|-----------------------|
| 編集(E) | メニューバー「編集(E)」と同じです。 |
| 削除 | メニューバー「削除」と同じです。 |
| 切り取り(T) | メニューバー「切り取り(T)」と同じです。 |
| コピー(C) | メニューバー「コピー(C)」と同じです。 |
| 貼り付け(P) | メニューバー「貼り付け(P)」と同じです。 |

●表示モード

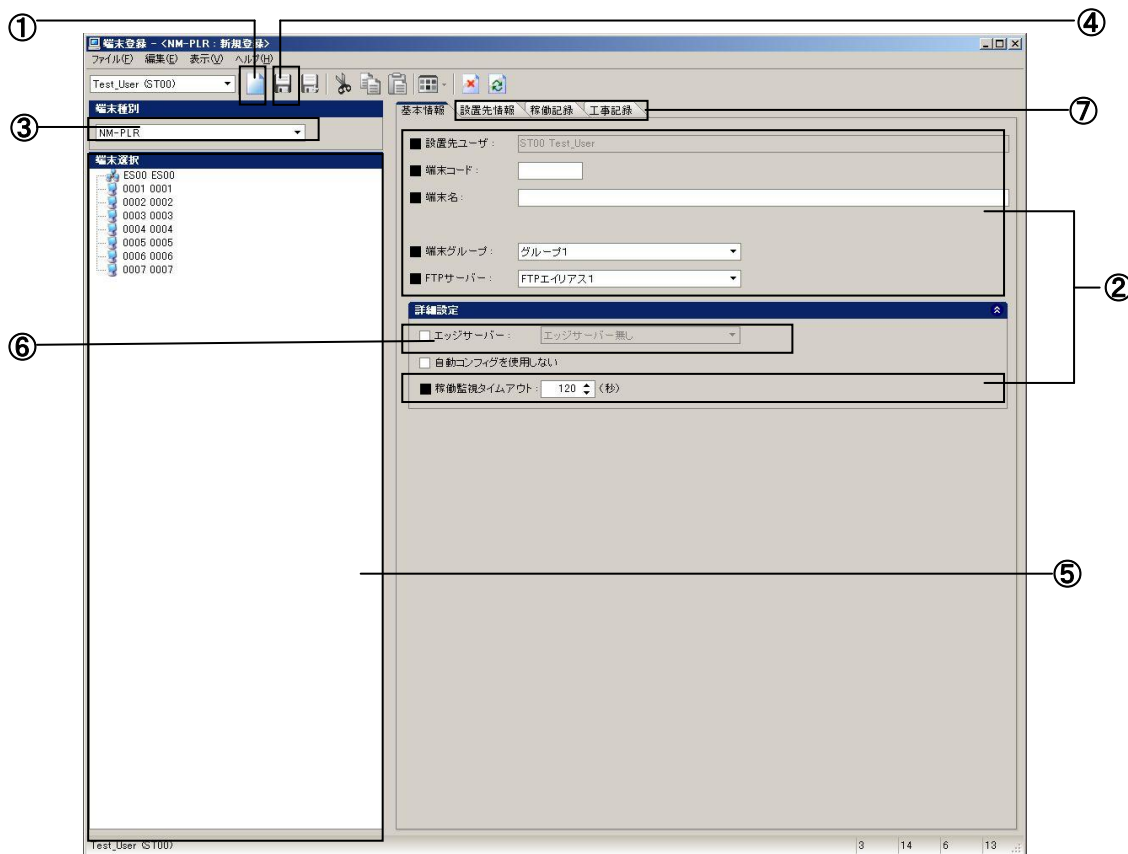
| 項目 | 説明 |
|-------|--------------|
| 編集(E) | 編集モードに遷移します。 |
| 削除 | 対象の端末を削除します。 |

●編集モード

| 項目 | 説明 |
|---------|-----------------------|
| 切り取り(T) | 入力項目を切り取ります。 |
| コピー(C) | 入力項目をクリップボードにコピーします。 |
| 貼り付け(P) | クリップボードある項目内容を貼り付けます。 |

4.14.3 登録、編集する

端末の登録、編集手順について説明します。『基本情報』の内容は入力必須です。



STEP 1 編集の対象となる端末を「端末種別」(③)から選択します。初期設定では NM-PLR が選択されています。

- 管理サーバー : NM-SVR
 - プレーヤー端末 : NM-PLR
 - FTP サーバー : NM-FTP※
 - エッジサーバー : NM-ES※
 - ファイルサーバー : NM-FSV※
 - WEB サーバー : NM-WEB※
- ※オプションで設置する端末です。通常は使用しません。

STEP 2 新規に登録する場合は、以下のいずれかの操作を実行すると、右欄の『基本情報』(②)が入力可能になります。編集する場合は、端末選択で編集する端末をダブルクリックするか、

右クリック→「編集」を選択、または を押します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「新規登録」を選択します。

アイコン : 新規登録アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

STEP 3 入力必須項目の入力、または編集作業を行います。

■は必須項目です。□は必要に応じてチェックし、設定してください。以下は、プレーヤー端末を設定した場合の登録情報です。他の種類の登録情報は次項をご参照ください。

●登録情報

| 構成 | 項目 | 説明 |
|------------|----------------|--|
| 基本情報 | ■設置先ユーザ | 登録端末のユーザ名とコード(英数字 4 文字)で表示します。 |
| | ■端末コード | 端末コードを英数字 4 文字で指定します。 (編集の場合は入力できません) |
| | ■端末名 | 端末名称を指定します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 操作端末上で端末を表示させる時の通称名として使用します。適宜、分かりやすい名称を入力してください。なお、同一名称での複数登録も可能ですが分かりにくいいため別名で登録してください。 |
| | ■端末グループ | 端末グループを指定します。 |
| | ■FTP サーバー | FTP サーバーのエイリアスを指定します。 |
| 詳細設定 ※1 | □エッジサーバー | プレーヤー端末をエッジサーバー配下に登録する場合、エッジサーバーを指定します。プレーヤー端末設定時のみ入力可能になります。 |
| | □自動コンフィグを使用しない | 自動コンフィグを使用しない場合、チェックします。 |
| | ■稼働監視タイムアウト | 稼働監視タイムアウト時間を秒単位で指定します。初期値は 120 秒です。 注意！！ <ul style="list-style-type: none"> 「稼働監視タイムアウト」の推奨値は 120 秒です。小さな値を入力するとエラーが多発する場合があります。ネットワーク回線の品質が悪い場合、この値を大きくすることでエラーの表示を抑制することができます。 |

※1 詳細設定のオープンボタンをクリックすると表示されます。

※2 FTP サーバー登録で複数のアドレスを登録した際に、どのアドレスを使用するか指定します。通常は FTP エイリアス1を選択します。

●撤去

撤去の場合は端末選択で撤去する端末を選択し、以下のいずれかの操作を実行します。確認画面が表示されますので『OK』をクリックします。

メニューバー : メニューバー→「編集」→「端末削除」を選択します。

コンテキスト : 右クリック→「削除」を選択します。

STEP 4 設定が終了したら、以下の方法で端末情報を保存します。確認画面が表示されますので『OK』をクリックしてください。

●保存

新規保存、または上書き保存します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「保存」を選択します。

アイコン : 保存アイコンをクリックします。

ショートカット : Ctrl + S を押します。

4.14.3.1 端末種別ごとの登録情報について

端末種別ごとに登録する情報が異なります。NM-PLR 以外の情報について説明します。(NM-PLR は前述)

●NM-FTP、NM-SVR

| 構成 | 項目 | 説明 |
|------------|---|--|
| 基本情報 | ■設置先ユーザ | 登録端末のユーザ名とコード(英数字 4 文字)で表示します。 |
| | ■端末コード | 端末コードを英数字 4 文字で指定します。(編集の場合は入力できません) |
| | ■端末名 | 端末名称を指定します。 参考 ● 操作端末上で端末を表示させる時の通称名として使用します。適宜、分かりやすい名称を入力してください。なお、同一名称での複数登録も可能ですが分かりにくいため別名で登録してください。 |
| | ■端末グループ | 端末グループを指定します。 |
| 詳細設定 ※1 | <input type="checkbox"/> NM-SVR を FTP サーバーとして兼用する※2 | NM-SVR を NM-FTP として兼用する場合はチェックします。NM-SVR では兼用する場合のみ、FTP エリアスの設定が入力可能となります。 |
| | <input type="checkbox"/> FTP エリアス 1※3 | FTP エリアスのアドレスを指定します。 |
| | <input type="checkbox"/> FTP エリアス 2※3 | FTP エリアスのアドレスを指定します。 |
| | <input type="checkbox"/> FTP エリアス 3※3 | FTP エリアスのアドレスを指定します。 |
| | <input type="checkbox"/> ポート番号 | ポート番号を指定します。初期値は 30437 です。 |
| | ■稼働監視タイムアウト | 稼働監視タイムアウト時間を秒単位で指定します。初期値は 120 秒です。 注意！！ ● 「稼働監視タイムアウト」の推奨値は 120 秒です。小さな値を入力するとエラーが多発する場合があります。ネットワーク回線の品質が悪い場合、この値を大きくすることでエラーの表示を抑制することができます。 |

※1 詳細設定のオープンボタンをクリックすると表示されます。

※2 NM-SVR のみ

※3 端末から FTP サーバーに接続する際のアドレスを指定します。通常は FTP エリアス 1 のみを設定してください。端末によって、サーバーへのアドレスが異なる場合は、エリアス 2、3 に設定を行い、対象の端末登録時にそのエリアスを指定してください。また、複数のサーバーがある場合は同一体系のアドレスは同じエリアス番号に登録してください。

●NM-FSV、NM-WEB、NM-ES

| 構成 | 項目 | 説明 |
|------------|--------------------|--|
| 基本情報 | ■設置先ユーザ | 登録端末のユーザ名とコード(英数字 4 文字)で表示します。 |
| | ■端末コード | 端末コードを英数字 4 文字で指定します。(編集の場合は入力できません) |
| | ■端末名 | 端末名称を指定します。 参考 ● 操作端末上で端末を表示させる時の通称名として使用します。適宜、分かりやすい名称を入力してください。なお、同一名称での複数登録も可能ですが分かりにくいため別名で登録してください。 |
| | ■エッジサーバーIP/ポート番号※2 | エッジサーバーの IP アドレス、ポート番号を入力します。 |
| | ■端末グループ | 端末グループを指定します。 |
| 詳細設定 ※1 | ■FTP サーバー※2 ※3 | FTP サーバーのエリアスを指定します。 |
| | ■稼働監視タイムアウト | 稼働監視タイムアウト時間を秒単位で指定します。初期値は 120 秒です。 注意！！ ● 「稼働監視タイムアウト」の推奨値は 120 秒です。小さな値を入力するとエラーが多発する場合があります。ネットワーク回線の品質が悪い場合、この値を大きくすることでエラーの表示を抑制することができます。 |

※1 詳細設定のオープンボタンをクリックすると表示されます。

※2 NM-ES のみ

※3 FTP サーバー登録で複数のアドレスを登録した際に、どのアドレスを使用するか指定します。通常は FTP エリアス 1 を選択します

4.14.4 インポートする

端末情報を外部ファイルから参照し、複数の端末情報を一括登録することが可能です。外部ファイルのフォーマットは、端末情報登録に必要となる主要項目をカンマ区切りで記述したテキストファイル形式となります。CSV への記述方法は1端末1行で構成されており、複数行を記述することにより複数端末の登録が可能です。インポートデータ項目は、下の表を参考にしてください。

| 項目 | 内容 | 必須 |
|---------------------|--|----|
| 端末種別 | 端末種別を指定します。(1:プレーヤー端末、8:エッジサーバー) | ○ |
| ユーザコード | ユーザコードを英数字 4 バイトで指定します。 | ○ |
| 端末コード | 端末コードを英数字 4 バイトで指定します。 | ○ |
| 端末名称 | 端末名称を 32 バイト以下で指定します。 | ○ |
| エッジサーバーIP アドレス※1 | エッジサーバーの IP アドレスを指定します。 | |
| エッジサーバーポート番号※1 | エッジサーバーのポート番号を指定します。 | |
| グループ番号 | 端末グループ番号を数字 2 桁で指定します。 | ○ |
| エイリアス番号 | FTP のエイリアス番号を指定します。 | ○ |
| エッジサーバーID | エッジサーバー配下の場合、エッジサーバーの端末 ID を指定します。 | |
| 自動コンフィグレーション抑止フラグ※2 | 自動コンフィグレーションの使用・不使用を指定します。(0:使用、1:不使用) | |
| 稼働監視タイムアウト | 稼働監視タイムアウト時間を秒単位で指定します。 | ○ |

※1 エッジサーバーの IP アドレス、ポート番号は、プレーヤー端末の場合は設定不要ですが、エッジサーバーの場合は必須となります。

※2 自動コンフィグレーション抑止フラグは、未設定の場合は、使用が適用されます。



- 1 端末 1 行の情報として、各項目はカンマ区切りで記述します。
設定例) ユーザコード NMV3、端末コード ES01 のエッジサーバーの場合
8,NMV3,ES01,ImportEs_,172.24.196.100,30437,1,1,,,120



- インポートの上限数は 1,000 件です。それ以上の端末をインポートしようとする、エラーメッセージが表示され、処理を実行できません。1,000 件以下に分けて、インポートしてください。
- 現在残っているライセンス数(ライセンスから、登録されている端末数を引いた数)よりも、インポートする端末数が多い場合、エラーメッセージが表示され、処理を実行できません。端末数をライセンス数以内にしてから再度実行してください。追加ライセンスのご購入は購入先へお問い合わせください。
- インポートが可能な端末種別は、プレーヤー端末とエッジサーバーのみです。

インポートの操作手順は以下の通りです。

STEP 1 メニューの「ファイル」→「インポート」を選択します。

STEP 2 「ファイルを開く」画面が表示されますので、読み込む CSV ファイルを指定します。『OK』をクリックすると、対象ファイルから記述情報を読み込みます。異常データの場合は、自動的に登録対象端末から除外されます。

STEP 3 管理サーバーに対して端末登録を実行し、インポート結果を画面上に表示します。『OK』をクリックしてください。

4.14.5 自動コンフィグレーションについて

自動コンフィグレーションは、端末のインストールを簡易に行うための機能です。通常インストール時に設定する内容を初期接続時にサーバーからのダウンロードによって行います。おおまかな流れは以下の通りです。

- ① 操作端末から設置を行う端末の登録を行います。この時、同時に設置する台数を目安に暫定端末数を設定します。
- ② プレーヤーインストールまたは、初期接続時にサーバーに接続するための IP アドレスとポート番号を指定します。
- ③ プレーヤー端末がネットワークに接続すると、サーバーと通信し暫定端末 ID を取得して NM-PLR を起動します。
- ④ その時、プレーヤー端末の画面上に暫定端末 ID が表示されますので、その番号をセンターの担当者に通知します。
- ⑤ センターの担当者は、操作端末から暫定端末を事前に登録しておいた正規 ID に紐付けします。
- ⑥ 正規 ID を与えられたプレーヤー端末は自動的に設定を行い、NM-PLR を再起動します。

4.14.5.1 暫定端末 ID を登録する

暫定端末 ID を登録する手順を説明します。



STEP 1 メニュー→「ファイル」→「暫定端末数の登録」(①)を選択します。「暫定端末数の登録」画面が出力されます。登録数の初期値は、自動コンフィグレーションを使用しない「0」が設定されています。



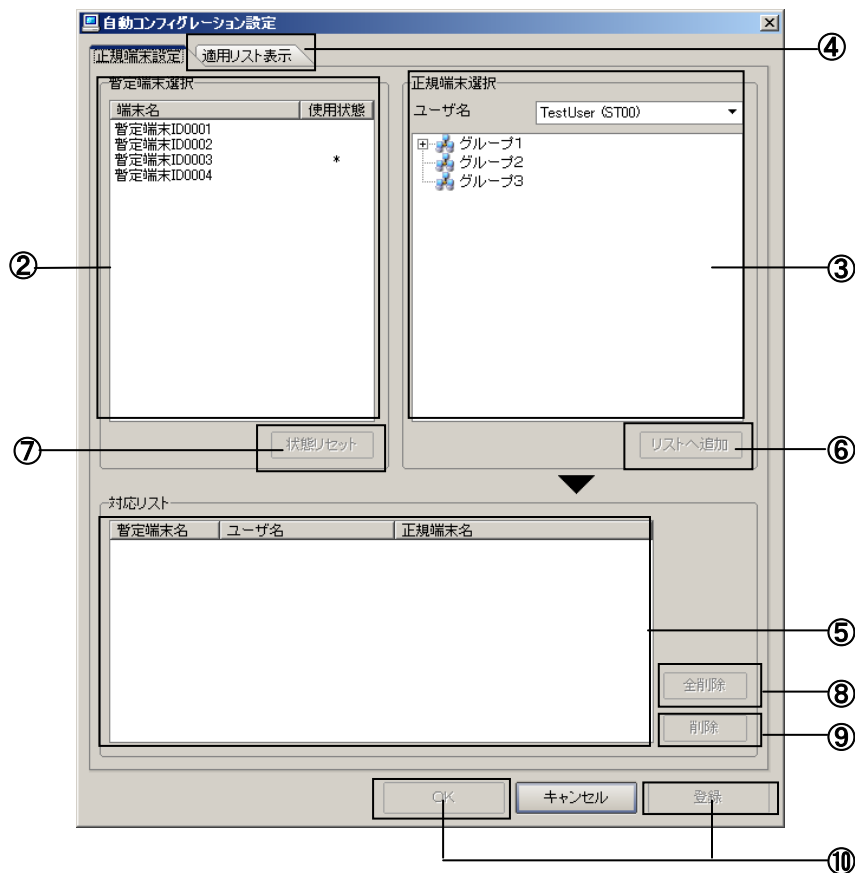
STEP 2 変更する暫定端末登録数(②)を設定し、『OK』(③)をクリックすると、暫定端末登録数が変更されます。

4.1 4.5.2 正規 ID へ切り替える

正規 ID へ切り替える手順を説明します。



STEP 1 メニュー→「ファイル」→「自動コンフィグレーション」→「自動コンフィグレーション」(①)を選択します。「自動コンフィグレーション設定」画面が表示されます。対象となる暫定端末を暫定端末選択(②)から選択します。選択可能な暫定端末は、使用状態に「*」が表示されている端末のみです。



- 『状態リセット』(⑦)ボタンは、暫定端末 ID が端末に付与された状態で端末を交換するなどを行った場合、付与された暫定端末が開放されない事態を防ぐために強制的に解除する保守用途の機能であり、通常運用では使用しない機能です。
- 暫定端末状態のプレーヤが存在する状態で解除を行いますと、その端末は再インストールが必要になりますのでご注意ください。
- 端末登録で”自動コンフィグを使用しない”を設定したプレーヤ端末は、リストアップされません。

STEP 2 正規端末選択から端末を選択し、『リストへ追加』(⑥)ボタンをクリックします。暫定端末と正規端末が関連付けられ、『対応リスト』(⑤)に追加されます。「対応リスト」に表示されている

端末から、個別に関連付けを解除したい場合は端末を選択し、『削除』(⑨)をクリック、すべてを解除したい場合は『全削除』(⑧)をクリックしてください。

STEP 3 設定内容を登録し、設定画面を終了する場合は、『OK』ボタン、登録処理後引き続き設定を行う場合は、『登録』(⑩)ボタンをクリックします。

STEP 4 暫定端末 ID を正規端末へ対応付けた結果は、『適用リスト表示』(④)タブで確認できます。



- 適用リストは、同画面を表示した時点での暫定端末 ID と正規端末の関連付けを一覧表示したものであり、既にプレイヤーに対して正規端末 ID が付与された場合は、当該リストには表示されません。



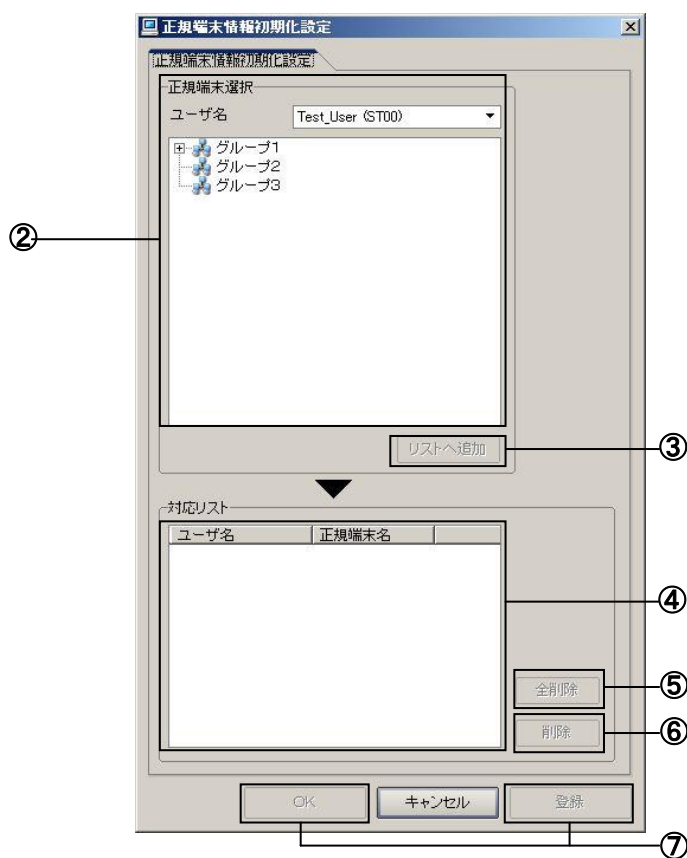
- 関連付けの情報を強制的に解除することができます。適用リスト上の端末を選択し、削除ボタンをクリックすると、削除対象の端末に「*」が表示されます。『OK』または『登録』ボタンをクリックすると、確認画面が表示されるので、『OK』ボタンをクリックします。

4.14.6 正規IDの初期化

正規 ID の初期化手順について説明します。



STEP 1 メニュー→「ファイル」→「自動コンフィグレーション」→「正規端末初期化」(①)を選択します。「正規端末初期化」画面が表示されます。対象となる正規端末を正規端末選択(②)から選択します。表示される正規端末は、自動コンフィグレーションを使用して正規 ID への切り替えを行った端末のみです。



STEP 2 『リストへ追加』(③)ボタンをクリックします。「対応リスト」(④)に追加されます。「対応リスト」に表示されている端末から正規端末の正規 ID の初期化を解除したい場合は端末を選択し、『削除』(⑥)をクリック、すべてを解除したい場合は『全削除』(⑤)をクリックしてください。

STEP 3 設定内容を登録し、設定画面を終了する場合は『OK』(⑦)ボタン、登録処理後引き続き設定を行う場合は、『登録』(⑦)ボタンをクリックします。



- 正規 ID の初期化を行うと、端末はインストール直後の状態に戻ります。したがって再度正規 ID への切り替えが必要になります。

4.14.7 記録を記入する

設置先情報・稼働記録・工事記録の各項目は、必要に応じて入力します。入力しなくてもシステムに影響はありません。設置端末の記録またメモとしてご利用ください。

4.14.7.1 登録、編集する

記録の登録、編集手順について説明します。

STEP 1 登録、編集を行いたいタブを選択し、必要事項を入力、編集します。

STEP 2 入力終了したら、新規保存、または上書き保存します。

メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「保存」を選択します。

アイコン : 保存アイコンをクリックします。

ショートカット : + を押します。

4.15 情報分析

ここでは、情報分析の実行と結果の確認、未配信ファイルの配信を行います。

4.15.1 概要

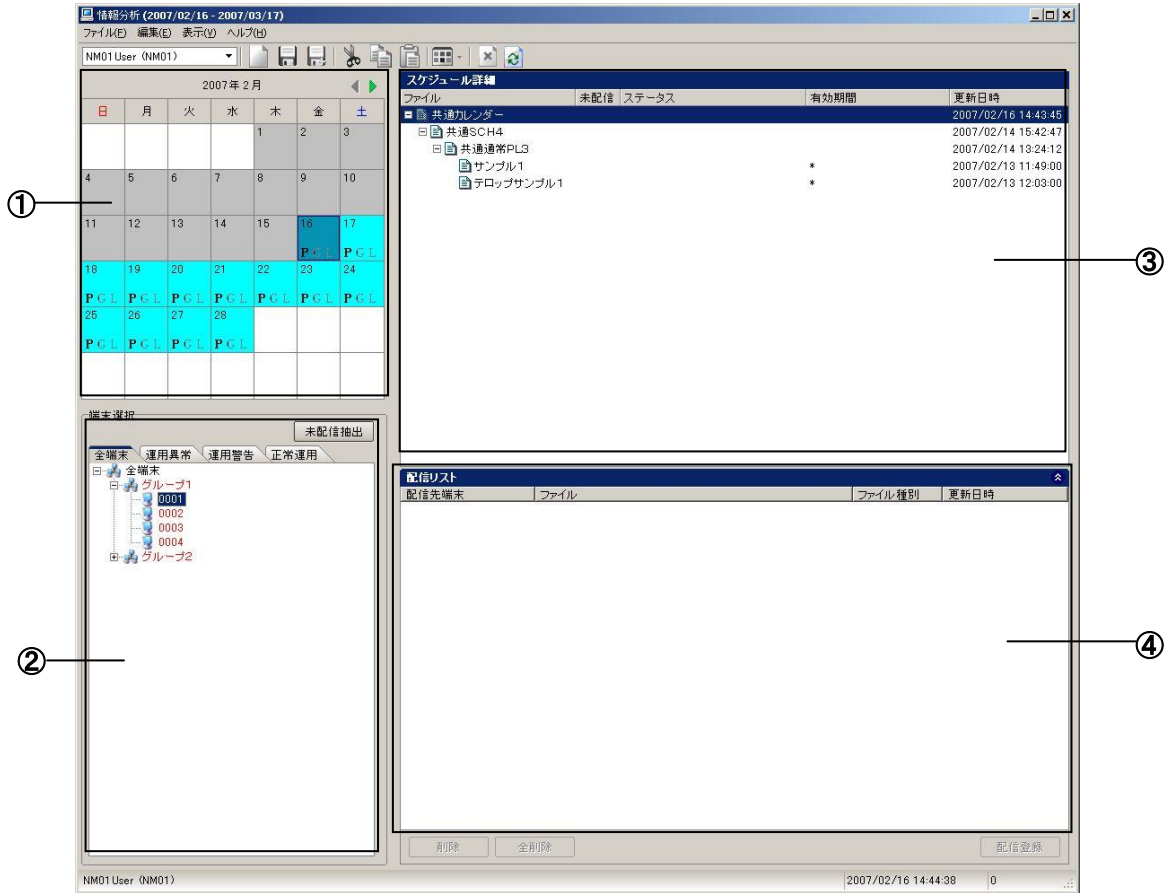
情報分析は、管理サーバーに登録されているプレーヤー端末個々のスケジュールおよび、スケジュールで使用するコンテンツの配信状況を分析し、結果を表示します。共通、グループ、個別のどのスケジュールがプレーヤー端末で適用されるか、カレンダーに登録したスケジュールや、スケジュールに登録されているコンテンツなど放映に必要な情報がプレーヤー端末にすべて配信されているか等を確認します。情報分析は、1日1回、夜間3時(初期値、変更可能です。)に当日から30日間の分析処理が自動で実行されます。また、手動で、任意に実行することができます。



- 接続端末数、スケジュール登録状況により分析に時間がかかる場合があります。

4.15.2 画面の説明

ランチャーボタンの『情報分析』をクリックすることで、情報分析機能画面を表示します。



① 情報分析を行った日からの情報を表示します。プレーヤー端末の情報に合わせ、表示色※1が変化します。

- | | | |
|-----|-----------------------------|--|
| 青色 | ： 正常運用 | スケジュールが存在し、必要な情報はすべて端末に配信されています。 |
| 赤色 | ： 運用異常 | スケジュールが登録されていません。 スケジュールおよびコンテンツで、端末に配信されていない情報があります。 |
| 黄色 | ： 運用警告あり | スケジュールで使用するコンテンツに有効期間外が含まれています。 |
| 灰色 | ： 運用情報無し | 分析期間外です。 |
| P※2 | ： 端末すべてに共通の表示スケジュールがあります。 | |
| G※2 | ： 端末の属するグループの表示スケジュールがあります。 | |
| L※2 | ： 端末個別の表示スケジュールがあります。 | |

※1 分析情報の表示例は「ファイル」→「表示」の「凡例表示」をクリックするとダイアログにて確認可能です。

※2 太文字で表示されたスケジュール情報が、登録されています。



②タブの選択状況に連動し、「全端末」、「運用異常」、「運用警告」、「正常運用」の端末を表示します。



- 情報分析の機能画面に表示されるのは分析結果です。そのため、端末を新規登録後、一度も分析を実行していない状態では、該当端末は表示されません。

③カレンダー(①)、端末選択(②)の選択状況に連動し、登録されている情報を表示します。

- ファイル : スケジュールやコンテンツのファイル名です。
- 未配信 : 端末へ配信していないスケジュールおよびコンテンツの場合「*」が表示され、該当ファイルの文字色が赤色になります。
- ステータス : 有効期間外などのスケジュールおよびコンテンツの状況を表示します。
- 有効期間 : コンテンツの有効期間を表示します。「有効期間無し」の場合、「*」を表示します。
- 更新日時 : 更新日時を表示します。

④未配信データを再配信したい場合、配信リストを作成、表示します。操作方法は【4.15.4 配信を登録する】をご参照ください。

⑤タイトルバーに分析を行った期間を表示します。

4.15.2.1 メニューバー

メニューバーで表示される項目は以下の通りです。

| | 項目 | 説明 |
|---------|---------------|---|
| ファイル(F) | 分析開始(S) | 情報分析の条件設定画面を表示します。 |
| | 配信リスト登録(R) | スケジュール詳細で選択されている情報を配信リストに登録します。 |
| | 未配信抽出(F) | 未配信情報を配信リストに登録します。 |
| | ユーザ切り替え(U) | 分析対象ユーザを切り替えます。ユーザ切り替えコンボボックスにフォーカスを当てます。 |
| | 閉じる(C) | 情報分析画面を終了します。 |
| 編集 | 配信リクエスト削除(D) | 選択されたリクエストを配信リストから削除します。 |
| | 全配信リクエスト削除(A) | すべてのリクエストを配信リストから削除します。 |
| 表示(V) | 最新の情報に更新(R) | 情報分析画面を最新情報に更新します。 |
| | 凡例(L) | 凡例を表示します。 |
| ヘルプ(H) | ヘルプ(H) | ヘルプ画面を表示する。 |

4.15.2.2 ステータスバー

ステータスバーで表示される項目は以下の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---------|-------------------|
| ユーザ名 | 「ユーザ名(ユーザコード)」です。 |
| 分析時刻 | 前回の分析時刻です。 |
| 配信リクエスト | 配信リクエスト数です。 |

4.15.2.3 コンテキストメニュー

右クリックした場合に表示される項目は以下の通りです。

●カレンダー

| 項目 | 説明 |
|---------|---|
| 分析開始(S) | 分析期間を入力するダイアログ画面が表示されます。入力された分析期間で分析を開始します。初期値は 30 日、1 日～90 日が設定可能です。 |

●端末選択

| 項目 | 説明 |
|----------------|-----------------------------------|
| 未配信抽出(F) | 未配信ファイルを抽出し、配信リストに追加します。 |
| スケジュールマージ表示(S) | カレンダーで選択された日のマージスケジュール詳細画面を表示します。 |

●スケジュール詳細

| 項目 | 説明 |
|------------|--------------------------|
| 配信リスト登録(R) | メニューバー「配信リスト登録(R)」と同じです。 |

●配信リスト

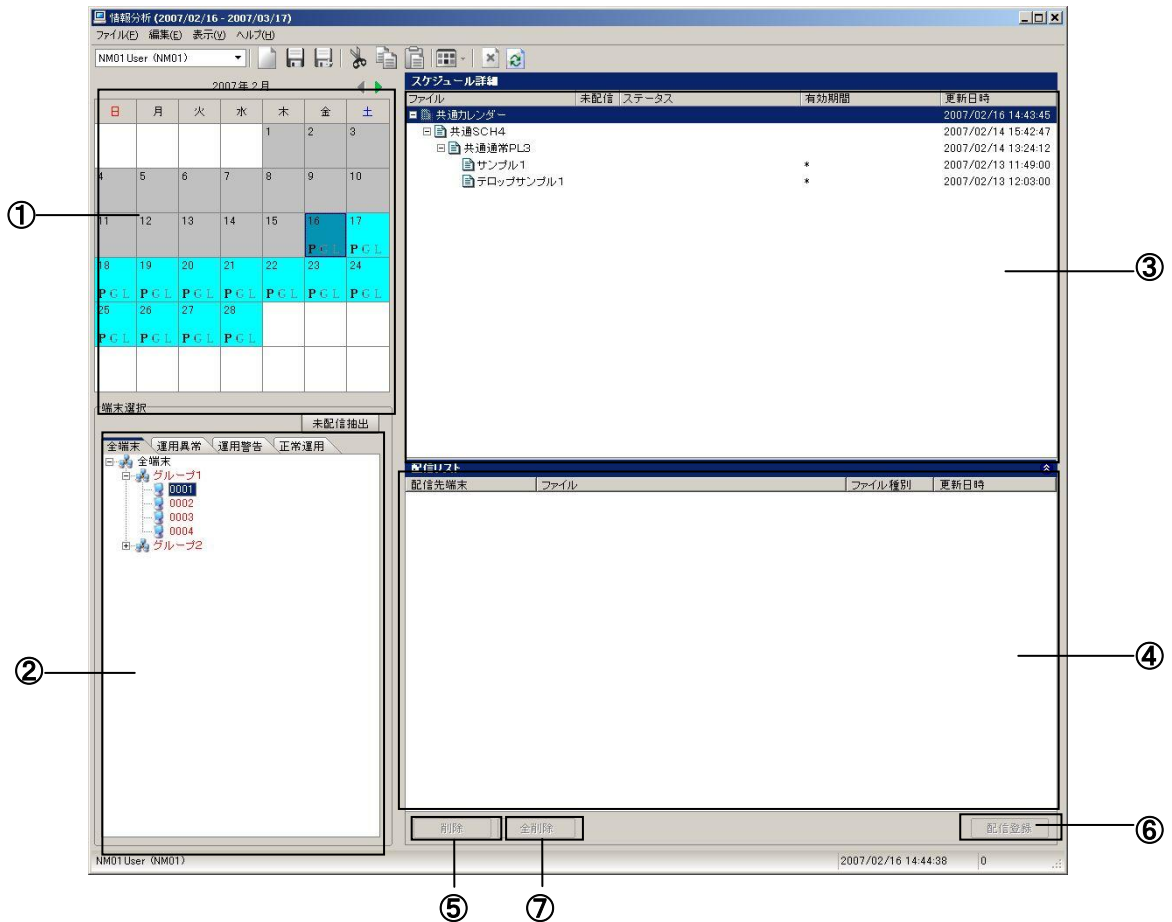
| 項目 | 説明 |
|---------|-----------------------------|
| 削除(D) | メニューバー「配信リクエスト削除(D)」と同じです。 |
| 全削除(A) | メニューバー「全配信リクエスト削除(A)」と同じです。 |
| 配信登録(R) | メニューバー「配信リスト登録(R)」と同じです。 |

●マージスケジュール詳細表示

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| プレビュー(P) | コンテンツが選択されている場合は、コンテンツのプレビュー画面を表示します。 フレーム全体が選択されている場合は、フレームパターンのプレビュー画面を表示します。 操作方法は【4 .6 .8 プレビューする】をご参照ください。 |

4.15.3 情報分析を実行する

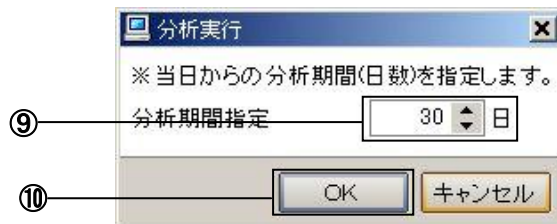
手動で分析を実行する手順を説明します。



STEP 1 以下のいずれかの操作で実行します。

- メニューバー : メニューバー→「ファイル」→「分析開始」を選択します。
- コンテキスト : カレンダーで右クリック→「分析開始」を選択します。

STEP 2 分析実行画面が表示されます。分析する期間を指定し(⑨)、『OK』(⑩)をクリックします。確認画面が表示されますので、『OK』をクリックします。



- 分析期間の指定可能な日数は最短 1 日、最長は90日までです。表示に時間がかかる場合は、分析する期間を短くします。
- 操作当日の 0 時から、「分析期間指定」にて設定した日数が分析期間となります。
- 分析実行後、全ての情報が正常で、未配信コンテンツ等が無い場合、何も表示されません。カレンダー部分が水色になっていれば、異常はありませんので、分析を終了して

STEP 3 分析後、スケジュール詳細が更新されます。分析内容は以下の通りです。

| 項目 | 内容 |
|-----------------|--|
| 有効期間外コンテンツのチェック | スケジュール上に登録されているコンテンツに対して有効期間が設定されている場合、有効期間内外をチェックします。 |
| 未配信コンテンツの有無 | スケジュールに登録されているコンテンツの未配信有無をチェックします。 |
| 未配信スケジュールの有無 | 登録されているスケジュールファイルが適用する端末に配信されているかどうかをチェックします。 |

4.15.4 配信を登録する

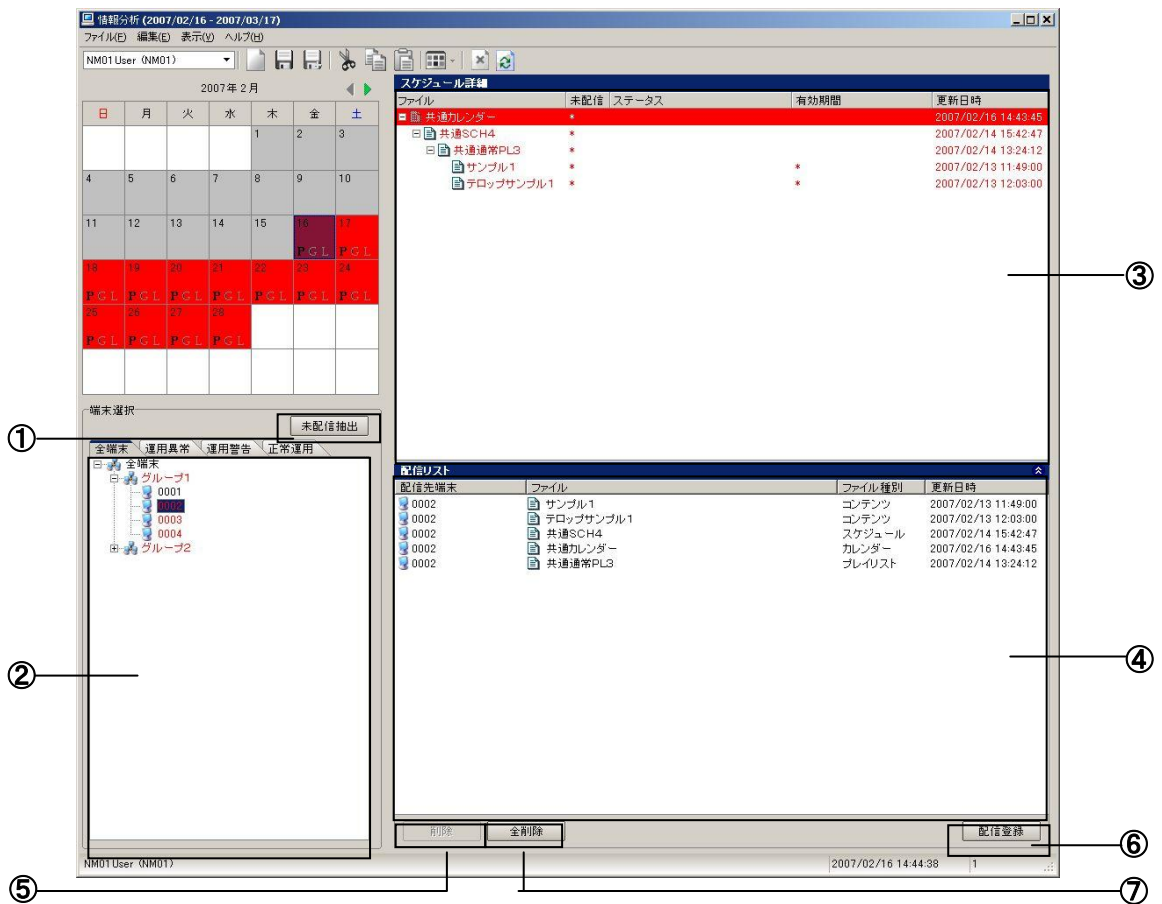
未配信のデータがある場合、配信を実行します。

STEP 1 配信リストに配信対象ファイルを追加します。

- メニューバー : 端末選択から「全端末」「グループ」「端末」のいずれかを選択状態にしてメニューバー→「ファイル」→「未配信抽出」を選択します。
- 端末選択(②) : 端末選択から「全端末」「グループ」「端末」のいずれかを選択状態にして『未配信抽出』(①)をクリック、または「配信リスト」にドラッグ&ドロップします。上記操作により、「配信リスト」に選択した対象配下の未配信データがリストアップされます。
- スケジュール詳細(③) : 表示される情報分析結果の詳細内容の内、未配信データについてのみ右クリック→「配信リスト登録」を選択、またはダブルクリックします。上記操作により、対象データが「配信リスト」にリストアップされます。



- 配信対象ファイルは、同時に複数を追加できません。ひとつずつ追加してください。
- 「配信リスト」(④)の不要な未配信データを削除する場合は、該当データを選択した状態で『削除』(⑤)をクリックするか、ファイルメニューの「編集」→「削除」をクリックするか、右クリックし「削除」をクリックします。『全削除』(⑦)をクリックすると、リストに登録されたすべてのデータを削除することができます。
- 正常な情報は配信リストに追加することができないため、マウスカーソルが変化しません。



STEP 2 以下のいずれかの操作で、配信開始設定画面が表示されます。

ボタン : 『配信登録』をクリックします。

コンテキスト : 配信リスト領域で右クリック→「配信登録」を選択、または **[R]** を押します。

STEP 3 配信開始指定で、処理を選択します。

即時配信 : 即時に配信を実行します。他の配信リクエストを配信中の場合は、配信中リクエストの配信終了後、指定した配信が実行されます。

配信予約 : 日時を指定して配信を実行する場合は、「配信予約」をチェックし、日時を指定します。



STEP 4 設定が完了したら、『OK』(10)をクリックしてください。

『即時配信』(8)を選択した場合、配信が実行されます。

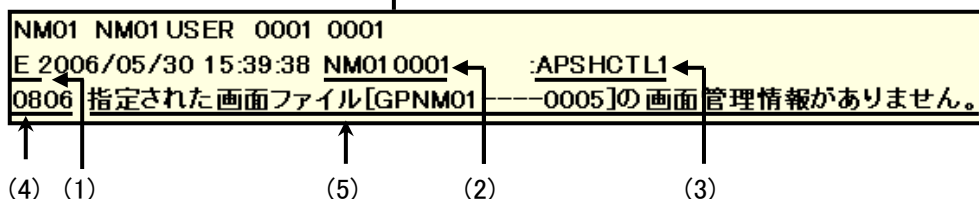
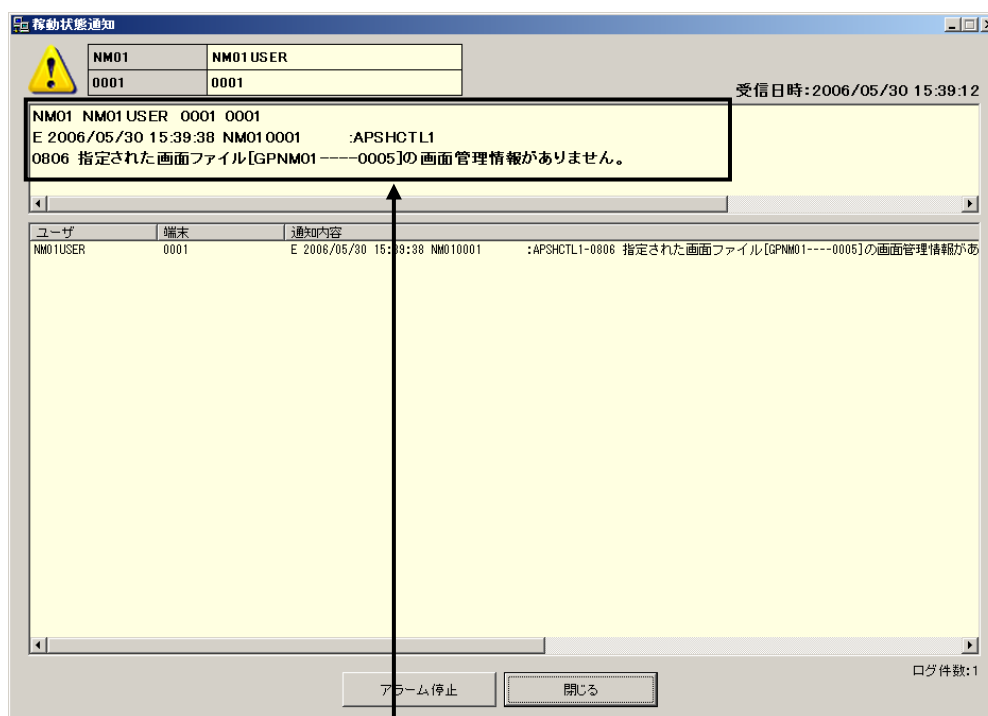
『配信予約』(9)を選択した場合、指定した日時で、配信予約が登録されます。配信結果を配信管理機能画面でご確認ください。

4.16 ポップアップエラーメッセージの見方

操作端末の操作中にポップアップエラーメッセージが表示されることがあります。コンテンツやスケジュールの配信漏れや有効期間外のコンテンツなどの放映に関するエラーなどの他にネットワーク異常等の一時的な現象の場合がありますので、端末からのエラーメッセージの場合、稼動監視画面にて該当端末の状態をご確認ください。同メッセージが繰り返し表示される場合は購入先にお問い合わせください。



- NM-SVR や NM-PLR のエラーメッセージも表示されます。
- 閉じたエラーメッセージは、**Ctrl** + **Alt** + **P** で再表示することが可能です。



| No. | 内容 | 説明 |
|-----|----------|---|
| (1) | エラーレベル | エラー内容のレベルを表示します。 ポップアップするレベル:Sレベル、Eレベル |
| (2) | エラー発生機名※ | エラーを通知した[ユーザコード] + [端末コード] |
| (3) | プロセス名称 | エラーを通知したプロセスの名称が表示されます。 |
| (4) | エラーコード | エラー内容をコード化したものが表示されます。 |
| (5) | メッセージ | エラー内容を表示します。 |

4.17 PDP 監視設定について

プレーヤー端末の各種設定を行うことで、PDP 監視が可能です。
以下の手順で、PDP 監視設定ツールを起動してください。

STEP 1 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NMstage」→「PDP 監視設定」を選択します。

4.17.1 標準設定を行う

STEP 1 PDP 監視設定メイン画面が表示されます。
「対象選択」、「標準設定」の該当部分を選択、または入力します。

! ● 選択した端末に対して初めて PDP 監視の設定を行う場合、またはユーザ/端末グループの先頭の端末に PDP 監視の設定が行われていない場合、以下のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



●対象選択(①)

| 項目 | 表示する画面 |
|--------|---|
| ユーザ | ユーザ名を選択します。 |
| 端末グループ | グループ名を選択します。空白の場合は選択されたユーザに登録された全プレーヤー端末が対象となります。 |

| | |
|-----|--|
| 端末名 | 端末名を選択します。空白の場合は選択されたグループすべて、グループが空白の場合は選択されたユーザに登録されたすべてのプレーヤー端末が対象となります。 |
|-----|--|

●標準設定(②)

| 項目 | 表示する画面 |
|---------|--|
| PDP No. | PDP ポート定義の登録 No.を選択します。 |
| ポート名称 | ポート名称を入力します。 LAN 接続の場合は「LAN」と入力します。 |
| 識別番号 | 当該ポートが接続される COM ポート番号 1~8 を選択します。 LAN 接続の場合は 01~99 を選択します。 |
| ブランチ番号 | PDP 制御でアクティブスルーカードによるマルチドロップ構成を採用した場合には、ブランチ番号 001~を設定します。※1 アクティブスルーカードを使用しない場合は 999(デフォルト)を指定する。 LAN 接続の場合は空欄とします。 |
| PDP 監視 | 監視する場合にはチェックボックスにチェックします。 |
| 監視時間 | 監視時間を 24 時間表記で入力します。 |
| 電源制御 | 監視時間に合わせて、電源を制御する場合はチェックボックスにチェックします。 |
| 曜日設定 | 監視する曜日を設定する場合は該当曜日にチェックします。 『全て選択』で全ての曜日を選択します。『全て解除』で全ての曜日を解除します。 |

※1 アクティブスルーカード、マルチドロップに関する詳細は、PDP のマニュアルをご参照ください。

STEP 2

『↓』(③)で、設定した値をリストに追加します。

削除したい場合は、該当する設定を選択した状態で『削除』(④)をクリックします。

設定が完了したら『登録』(⑤)をする前に設定を行い、対象区分のすべての設定が完了した後に『登録』(⑤)をクリックしてください。設定が終了したら、『終了』(⑨)をクリックしメイン画面を閉じてください。

●表示項目一覧(⑩)

| 項目 | 説明 |
|-------|---|
| No. | 選択した PDP の登録 No.を表示します。 |
| ポート名称 | 入力したポート名称を表示します。 LAN 接続の場合は「LAN」と表示します。 |
| 識別 | 選択した COM ポート番号を表示します。 LAN 接続の場合は 01~99 を表示します。 |
| ブランチ | 入力したブランチ番号を表示します。 LAN 接続の場合は空欄となります。 |
| 監視 | PDP 監視有無を表示します。0:PDP を監視しない 1:PDP を監視する |
| 開始 | 入力した監視開始時間を表示します。 |
| 終了 | 入力した監視開始時間を表示します。 |
| 曜日指定 | 監視をする曜日を表示します。 0: 監視しない曜日 1: 監視する曜日(日曜日から土曜日まで数字 7 桁で表示) |
| 制御 | 電源の制御有無を表示します。0: 電源を制御しない 1: 電源を制御する |



- 登録した設定内容が有効となるのは、プレーヤー端末への設定反映完了後・最初の再起動以降になります。
- PDP 監視の設定を『↓』(③)でリストに追加した後、リストの内容は削除されずに表示されたままとなります。したがって、既に PDP 監視の設定が行われている端末を①から選択すると、以下のダイアログが表示されます。登録済みの設定を読み込む場合は「はい」、現在リストに表示中の設定を保持する場合は「いいえ」をクリックしてください。



設定例) プレーヤーの COM ポート 1 番で制御を行い、月～土で 9:00～20:00 の間で監視を行ない、電源制御を行わない。

PDP監視設定

対象選択
 ユーザ: v3ユーザ(NMV3) 端末グループ: グループ1 端末名: NMV31001:テスト端末1

標準設定
 PDP No.: 1 ポート名称: LAN 識別番号: 1 プランチ番号:
 PDP監視: 監視する 監視時間: 10 : 00 ~ 00 : 00 電源制御: 制御する

曜日設定
 日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日

↓ ↑ 削除

| No. | ポート名称 | 識別 | プランチ | 監視 | 開始 | 終了 | 曜日指定 | 制御 |
|-----|-------|----|------|----|-------|-------|---------|----|
| 1 | LAN | 1 | | 1 | 10:00 | 00:00 | 1111111 | 1 |
| 2 | COM1 | 2 | 999 | 1 | 10:00 | 00:00 | 1111111 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

特殊設定

端末適用確認

⑩

4.17.2 非監視日を設定する

STEP 1

監視しない日を特殊なルールで設定したい場合は、非監視日設定を行います。
『非監視日』をクリックすると非監視日設定画面が表示されます。該当日を設定し、設定が完了したら『登録』(13)をクリックします。メイン画面に戻ります。
実際には、メイン画面で登録を行った時点で、情報は更新されます。

●曜日、祝日選択(11)

| 項目 | 表示する画面 |
|------|---|
| 各曜日 | 該当するチェックボックスにチェックします。 『祝日除外』をチェックすると、該当曜日の祝日が除外されます。(監視対象となります。) |
| 祝日※1 | 祝日が該当する場合は、チェックボックスにチェックします。 |

●指定日選択(12)

| 項目 | 表示する画面 |
|-------|--|
| カレンダー | カレンダーの該当日を選択し、『追加』をクリックします。 入力した日を削除したい場合は、該当日を選択した状態で『削除』をクリックします。 |

※1 別途、サーバー設定変更ツールにて設定されたシステム内の祝日カレンダーに準じます。
祝日カレンダーを修正した際には、再度 PDP 設定を実行してください。



- 非監視日の設定については、プレーヤー端末に設定情報が反映完了時点で有効になります。

4.17.3 特別日を設定する

STEP 1

監視する時刻を曜日、または指定日で設定したい場合は、特別日設定を行います。
『特別日設定』(⑦)をクリックすると特別日設定画面が表示されます。該当日と時刻を設定し
設定が完了したら『登録』(⑯)をクリックします。メイン画面に戻ります。
実際には、メイン画面で登録を行った時点で、情報は更新されます。



●曜日、祝日選択(⑭)

| 項目 | 表示する画面 |
|------|--|
| 各曜日 | 該当するチェックボックスにチェックし、開始時刻、終了時刻を 24 時間表記で入力します。 |
| 祝日※1 | 祝日が該当する場合は、チェックボックスにチェックし、開始時刻、終了時刻を入力します。 |

●指定日選択(⑮)

| 項目 | 表示する画面 |
|-------|---|
| カレンダー | カレンダーの該当日を選択します。開始時刻、終了時刻を 24 時間表記で入力し、『追加』をクリックします。 入力した日を削除したい場合は、該当日を選択した状態で『削除』をクリックします。 |

※1 別途、サーバー設定変更ツールにて設定されたシステム内の祝日カレンダーに準じます。
祝日カレンダーを修正した際には、再度 PDP 設定を実行してください。



- 特別日を設定する場合、PDP 監視に関する各設定は指定対象のプレーヤー端末に設定されている情報を継承して監視設定が実行されます。
設定を実施するプレーヤー端末に対して、PDP 電源制御等の設定を有効にする場合は特別日の設定操作前に該当プレーヤー端末に対して期待する監視設定を適用して下さい。

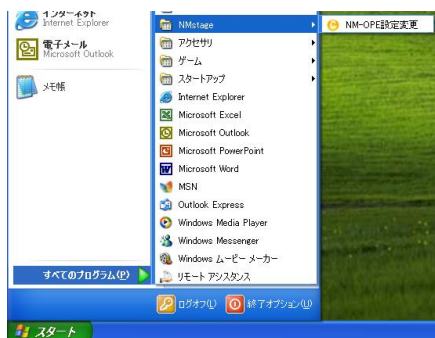
4.18 NM-OPEの設定を変更する

お客様の環境に合わせて、コンテンツ登録時のデフォルト設定やスケジュール編集時のデフォルト値を変更することが可能です。ここでは、設定変更の方法について説明します。

4.18.1 NM-OPE 設定変更ツールを起動する

以下の手順で、NM-OPE 設定変更ツールを起動してください。

STEP 1 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NMstage」→「NM-OPE 設定変更」を選択します。



4.18.1.1 コンテンツに関する情報を変更する

コンテンツ機能画面でコンテンツ登録時の「表示時間(秒)」、「先読時間(秒)」のデフォルト値を変更することができます。また、インタラクティブコンテンツの登録を抑制することができます。設定変更後は、『OK』または『適用』ボタンをクリックしてください。



- インタラクティブコンテンツの登録を許可する : デフォルト設定で登録を許可する設定になっています。インタラクティブコンテンツを使用しない場合は、「インタラクティブコンテンツの登録を許可する」のチェックをはずしてください。
- 表示時間 : コンテンツ登録時のデフォルト表示時間を変更します。最小表示時間は、10 秒です。本設定での変更後もコンテンツ登録時に都度変更することは可能です。
- 先読み時間 : コンテンツ登録時の先読み時間のデフォルト値を変更します。0~9 秒までの設定が可能です。先読み時間をなしにする場合、0 を設定してください。

4.18.1.2 スケジュールに関する情報を変更する

スケジュール機能画面の「スケジュール開始時刻」の初期値を変更することが可能です。スケジュール開始時刻は、スケジュール編集時の先頭プレイリストを貼り込んだ際に表示する開始時刻を意味しており、デフォルトでは 0:00 に設定されています。運用環境に応じて変更してください。登録設定が完了したら『OK』をクリックしてください。

5 管理サーバーの操作方法

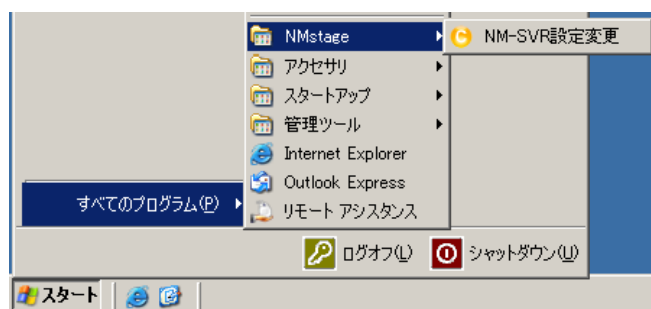
5.1 NM-SVR の設定を変更する

お客様の環境に合わせて、一部の環境設定を変更することが可能です。ここでは、設定変更の方法について説明します。

5.1.1 NM-SVR 設定変更ツールを起動する

NM-SVR の一部の設定をお客様の環境に合わせて変更することが可能です。以下の手順で、NM-SVR 設定変更ツールを起動してください。

STEP 1 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NMstage」→「NM-SVR 設定変更」を選択します。



5.1.1.1 ユーザ情報を変更する

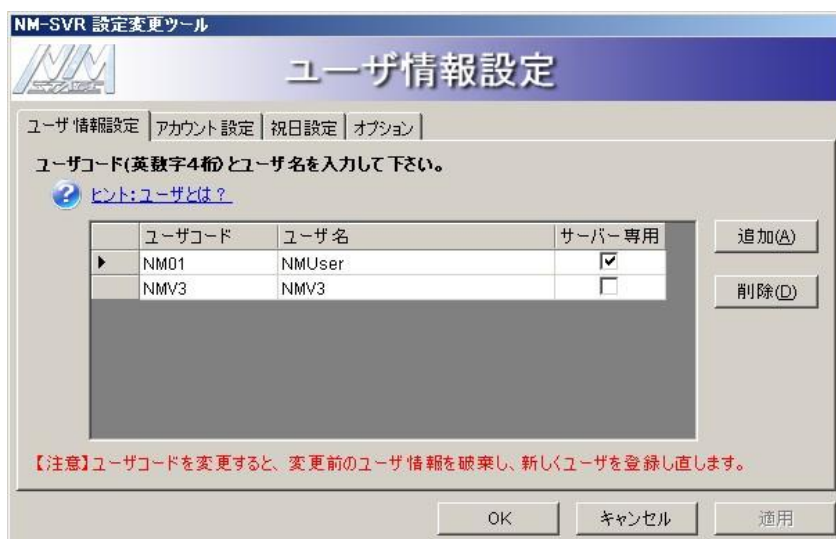
ユーザ情報を変更する場合は、「ユーザ情報設定」タブを選択します。追加する場合は、「追加(A)」をクリックし、ユーザコード、ユーザ名を追加します。サーバー専用のユーザコードを使用する場合は、「サーバー専用」にチェックしてください。設定が完了したら『OK』をクリックしてください。



- インストール時に設定したサーバーユーザについては、ユーザ名は編集が可能ですが、ユーザコードは編集できません。
- 追加登録されたユーザコードを変更するとそのユーザに登録されているコンテンツやスケジュール情報が使用できなくなりますので、ユーザコードを変更する場合は、十分にご注意ください。



- 必要があれば、複数のユーザを登録し、コンテンツやスケジュールなどすべての情報をユーザごとに別管理することが可能です。ASP サービスを行うような場合に使用しますが、通常運用ではユーザを複数登録する必要はありません。
- ユーザコードは半角英数字、大文字の 4 桁で入力してください。ユーザ名は、全角で 10 文字まで入力可能です。



5.1.1.2 アカウント情報を変更する

アカウントを編集する場合は、「アカウント設定」タブを選択します。追加する場合は、『追加(A)』をクリックし、ログイン名ならびにパスワードを半角英数字 4～8 文字で入力し追加します。権限はプルダウンから選択してください。

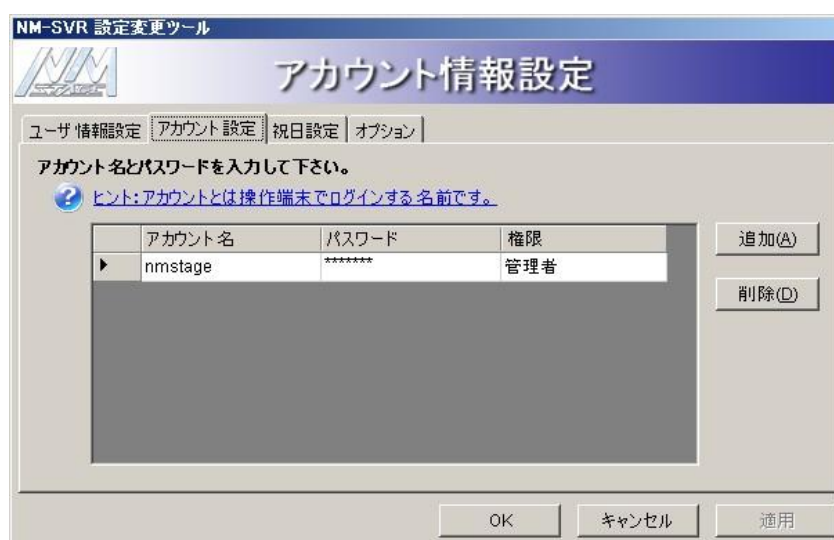
削除する場合は、該当データを選択し、『削除(D)』をクリックします。設定が完了したら『OK』をクリックしてください。



- アカウント情報はお客様の運用に合わせて、システム管理者が安全性を確保し、管理してください。



- アカウントとは、操作端末でログインする名前です。
- 操作端末のアカウントごとに権限を設定することが可能です。それぞれ、以下の画面を操作することが可能です。
 - 管理者：すべての機能画面
 - 編集者：コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、配信管理、ログ参照画面
 - 監視者：端末監視画面のみ



5.1.1.3 祝日設定を変更する

祝日情報は、放映するスケジュールをカレンダーに登録する際の入力補助情報として使用され、祝日設定を行うことで、祝日に適用するスケジュールを簡単に登録することができます。また、本情報は PDP 監視機能の祝日情報としても使用されます。

祝日を編集する場合は、「祝日設定」タブを選択します。追加する場合は、『追加(A)』をクリックし、月日を入力します。毎年繰り返し祝日とする場合は、「毎年」にチェックしてください。削除する場合は、該当データを選択し、『削除(D)』をクリックします。『前年度複写(O)』をクリックすると、前年度の祝日が複写されます。設定が完了したら『OK』をクリックしてください。

| 対象年: | 2007 | 祝日 (M/D) | 毎年 |
|------|------|----------|-------------------------------------|
| | | 1/1 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | 1/8 | <input type="checkbox"/> |
| | | 2/12 | <input type="checkbox"/> |
| | | 3/21 | <input type="checkbox"/> |
| | | 4/30 | <input type="checkbox"/> |
| | | 5/3 | <input type="checkbox"/> |
| | | 5/4 | <input type="checkbox"/> |
| | | 5/5 | <input type="checkbox"/> |
| | | 7/16 | <input type="checkbox"/> |

5.1.1.4 情報分析時刻を変更する

情報分析処理は、1日1回自動的にサーバー上で実行されます。本設定は、情報分析処理の実行時刻を変更する場合に使用します。情報分析時刻を変更する場合は、「オプション設定」タブを選択します。24 時間表記で半角数字を入力、または上下ボタンで設定します。設定が完了したら『OK』をクリックしてください。

情報分析時刻: 3 : 0

6 仕様について

6.1 放映ログ

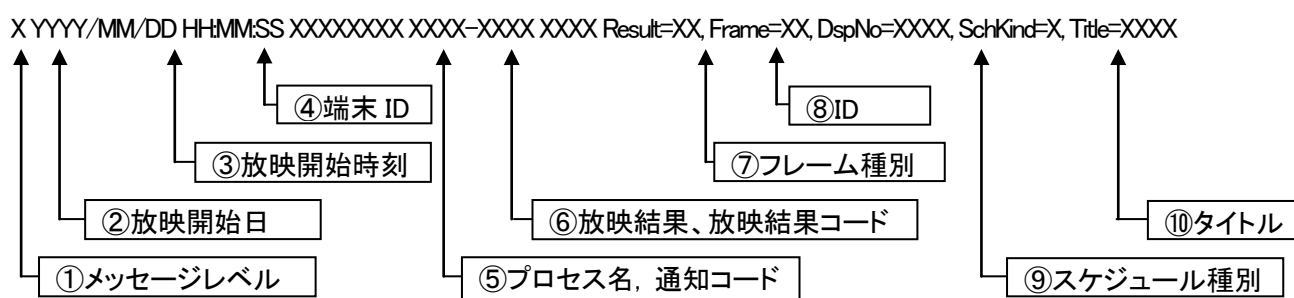
ここでは、放映ログの概要と確認方法について説明します。

6.1.1 概要

放映ログは、プレーヤー端末で放映された放映履歴です。テキストファイルに記述され、放映日時、端末 ID、コンテンツなどの情報が蓄積されます。プレーヤー端末から管理サーバーの特定のフォルダ(インストールフォルダ¥PUT¥DSPLOG¥ユーザコード¥ユーザコード¥端末 ID)に、lha 形式(拡張子 lzh)で定期的に転送され、一元管理されます。

6.1.2 ログのフォーマットについて

放映ログで記述されるログのフォーマットは以下の通りです。



- ① メッセージレベル
インフォメーション情報として、「I」で出力します。
- ② 放映開始日
メッセージが発行された日付を、西暦年号 4 桁、月 2 桁、日 2 桁で表示します。
- ③ 放映開始時刻
メッセージが発行された時刻を、24 時間制の時 2 桁、分 2 桁、秒 2 桁で表示します。
- ④ 端末 ID
ログ出力した端末の端末 ID を表示します。
- ⑤ プロセス名、通知コード
メッセージの発行元プロセス名を表示します。通知コードはメッセージに付加する番号です。
- ⑥ 放映結果、放映結果コード
放映した結果を表示します(Normal LIVE: 正常放映、Abnormal LIVE: 異常放映)。放映結果コードは放映結果を数字 2 桁で表示します(00: 正常放映、01: 異常放映)。
- ⑦ フレーム種別
放映したフレーム種別を表示します。
- ⑧ ID
放映されたコンテンツの ID を表示します。
- ⑨ スケジュール種別
放映されたスケジュール種別を表すコードを表示します。0: 通常放映 1: 割り込み放映

⑩タイトル

放映されたコンテンツタイトルを表示します。

6.2 仕様について

本システムで、登録、または設定する項目の最大数や、システムの仕様は以下の通りです。

| メニュー | 項目 | 最大数、範囲 |
|---------------|-------------------------|---|
| 全般 | ユーザ数 | 1,000 ユーザ |
| | 端末数(ライセンス数) | 3,000 台 |
| | サーバー名 | 半角 12 文字 |
| | フレームパターン | 1 動画、3HTML、2 テロップ |
| コンテンツ | コンテンツ登録数※1 | 共通コンテンツ:10,000 個別コンテンツ:10,000 |
| | ID 付与 | 自動付与:0000~8999 手動付与:9000~9900 |
| | コンテンツタイトル | 半角 30 文字 |
| | キーワード履歴数 | 100 件 |
| | テロップの文字数 | 半角 2,000 文字 |
| | テロップの周回数 | 9999 回 |
| | コンテンツの表示時間 | 10~86399 秒(23 時間 59 分 59 秒) |
| | コンテンツ種別 | HTML,URL,SWF,BMP,JPEG,MPEG1,MPEG2,WMV,PPS ファイル名称 半角 132 バイト,HTML の場合 半角 64 バイト |
| コメント | 半角 150 文字 | |
| プレイリスト | プレイリスト数※1 | 共通プレイリスト:1,000 個別プレイリスト:1,000 |
| | プレイリスト名 | 半角 30 文字 |
| | 1 フレーム内のコンテンツ数 | 80 |
| | 1 フレーム内のコマンド数 | 5 |
| | 1 プレイリストに登録可能なフレームパターン数 | 5,760 フレーム (15 秒フレームを 24 時間分登録可能) |
| 1 フレームの最小表示時間 | 15 秒 | |
| スケジュール | スケジュール数※1 | 共通スケジュール :1,000 グループスケジュール:1,000 個別スケジュール :1,000 |
| | プレイリスト繰り返し回数 | 100 回 |
| | スケジュールの表示時間 | 24 時間 |
| カレンダー | カレンダーの登録期間 | 開始日から 5 年後の 12 月 31 日まで |
| | 参照期間 | 過去 6 ヶ月 |
| チャンネル | 1チャンネルに登録するコンテンツ数 | 30 |
| 配信 | リトライ回数 | 0~100 回 |
| | 配信リクエストが分割される条件 | ファイル数が 1000 以上かまたはコンテンツ数が 100 を超えた場合。 |
| ログ参照 | ログ検索数 | 5,000 件 |
| 端末監視 | 同時割り込みのコンテンツ数 | 30 |
| | 割り込みの時間 | 23 時間 59 分 59 秒 |
| | 端末グループ数 | 99 |
| 端末登録 | 端末名 | 半角 32 文字 |
| | 稼働監視タイムアウト | 60~3600 秒 |
| | 暫定端末数 | 100 台 |
| 情報分析 | 分析日数 | 90 日 |
| 情報設定 | 端末グループ数 | 99 |
| | カテゴリ数 | 99 |

※1 ユーザごと

7 トラブルシューティング

本システムで、運用中にトラブルになりやすい現象とその対処方法です。ハードウェア異常・ハードウェア設定に関しては、ハードウェア購入先もしくはご契約されているハードウェア保守会社にお問い合わせの上、修理・交換を行ってください。ソフトウェア異常・設定に関しては、まず以下の対策を行ってください。それでも解決しない場合は購入先にお問い合わせください。

| 分類 | No. | 現象 | 原因 | 対策 |
|--------|---|--|---|---|
| コンテンツ | 1 | パワーポイントのコンテンツが登録できない。 | 拡張子が異なります。 | スライドショー形式(*.PPS)で登録してください。 |
| | 2 | Flashのコンテンツが登録できない。 | 拡張子が異なります。 | SWF形式(*.swf)で登録してください。 |
| | 3 | ・動画の再生時間が取得されない。 ・動画のプレビューが再生されない。 | 操作端末に動画コンテンツを再生できるソフトウェアがインストールされていません。 | 動画コンテンツがMPEG2の場合は、MPEG2デコーダソフトをインストールしてください。 |
| | 4 | テロップの背景ファイルを設定できない。 | BMP、JPEG形式以外のデータを設定しようとしています。 | BMP形式またはJPEG形式のデータをご使用ください。 |
| | 5 | テロップコンテンツプレビュー画面の大きさを変更している時に、タイトル右に表示される画面サイズがドラッグに連動して変化しない。 | 操作端末のOSが正しく設定されていません。 | 操作端末で次の設定を行ってください。 デスクトップで右クリック→「プロパティ」を選択→「デザイン」を選択→「効果」を選択→「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する(W)」にチェック詳細は管理サーバーソフト取扱説明書の【8 画面の設定】をご参照ください。 |
| | 6 | HTMLの登録に時間がかかる。 | 登録したいHTMLディレクトリ内に不要なファイルが存在しています。 | HTMLが存在するフォルダ内に必要なファイルのみ保存し、登録を行ってください。 |
| | 7 | コンテンツの登録ができない。 | 管理サーバーのハードディスク空き容量が不足しています。 | 不要なデータを削除してください。 |
| | | | コンテンツデータが破損しています。 | 正常に表示が可能なデータを登録してください。 |
| 8 | 「入力されたコンテンツタイトルは既に使用されています」とエラーが表示され、コンテンツの登録ができない。 | 同一タイトル名のコンテンツが既に登録されています。または削除処理が完了していません。 | 登録されていないタイトル名をご使用ください。 また、既に配信済みのコンテンツを削除した場合、削除配信を行わないと削除したコンテンツのタイトル名を使用することはできません。 削除配信手順は【4.9.6 削除した情報の配信について】をご参照ください。 | |
| プレイリスト | 9 | プレイリストのコンテンツ表示領域に、登録したコンテンツが表示されない。 | 端末選択状態とコンテンツ登録内容が異なります。 | コンテンツは端末選択状態に連動して表示します。個別コンテンツを表示する場合は該当端末を選択してください。 |
| | 10 | スケジュールに登録済みのプレイリスト内容を変更したが、スケジュールの開始、終了時刻に反映されない。 | 仕様 | スケジュールに登録されているプレイリストを編集し、表示時間を変更した場合、スケジュールのプレイリスト内の表示時間(フレームパターンの表示時間)は変更内容が反映されますが、スケジュールの開始、終了時刻には反映されません。 |
| スケジュール | 11 | スケジュールが編集できない。 | スケジュール内容が「詳細表示」になっています。 | 「編集」へ切り替えてください。 |

| | | | | |
|-------|----|-----------------------------|--|---|
| | 12 | スケジュールがNM-PLRに反映されず、放映されない | スケジュールを登録、または編集後、配信していません。 | スケジュールを端末に配信してください。 |
| | | | 端末監視にて「スケジュール更新」を実行していません。 | スケジュールを端末に反映させるためには次のいずれかの操作を行ってください。 ・即時に反映させる場合、端末監視にて「スケジュール更新」を実行する。 ・プレーヤー端末を再起動する(通常、プレーヤー端末は1日1回自動再起動し、同時にスケジュールが更新される)。 |
| | | | スケジュールの中にプレーヤー端末に存在しないコンテンツが含まれています。 | スケジュールに含まれているコンテンツをプレーヤー端末に事前に配信してください。 |
| カレンダー | 13 | カレンダーがNM-PLRに反映されず、放映されない。 | カレンダーを登録していません。または登録、編集後、配信していません。 | カレンダーを登録し、端末に配信してください。 |
| 配信 | 14 | 自動配信後、配信状態確認画面で端末が表示されない。 | 配信処理が速く、表示されない場合があります。 | 配信が完了しているか、配信制御の配信結果を確認してください。 |
| | 15 | コンテンツ、スケジュールを配信することができない。 | ネットワーク障害が発生しています。 | ネットワークが疎通されていることを確認の上、再度配信を行ってください。 |
| | | | 端末再起動時刻を越えて配信しています。 | 端末再起動時刻を避けて配信してください。 |
| 端末監視 | 16 | 割り込みを実行してもコンテンツが表示されない。 | 割り込み時に選択したコンテンツの配信が完了していません。 | 配信結果を確認し、配信失敗していたら再度配信してください。 |
| 端末登録 | 17 | 端末の登録ができない。 | 管理サーバーのライセンスが不正、または接続可能な台数が既に登録されています。 | 正規のライセンスを入手してください。また、接続台数が最大の場合には不要な端末を撤去、またはライセンスの追加購入が必要です。 |
| 表示 | 18 | プレーヤー端末で放映が開始されない。 | プレーヤー端末の時刻設定が間違っており、スケジュール登録のない日付になっています。 | 日付を修正してください。 |
| | | | スケジュールが反映されていません。 | 上記「スケジュール」の項目をご参照ください。 |
| | | | 必要な情報が配信されていません。 | 配信管理画面から配信を実行してください。 放映するスケジュールに必要な情報が配信されているかを、情報分析画面でご確認ください。 |
| | 19 | プレーヤー端末から音声がでない。 | 音声のないコンテンツを表示しています。 | 音声のあるコンテンツで確認してください。 |
| | | | プレーヤー端末の音量を0、またはミュートに設定しています。 | ミュートを解除し、音量を聞こえるレベルまで上げてください。 |
| | 20 | 放映されたコンテンツの画面表示位置がずれて表示される。 | 接続されたディスプレイと異なるサイズでフレームスケジュールが作成されています。 | プレーヤー端末の画面サイズに合わせたフレームスケジュールを作成・配信する |
| | 21 | 映像が正しく表示できない。 | コンテンツの制作条件、エンコード条件、プレーヤー端末のハードウェア条件、OS 設定等により正しく放映できない場合があります。 | あらゆる環境での動作保証は致しかねます。コンテンツが意図通りに正しく表示されるかは、ご使用の環境にて放映前の事前確認をお願いします。 |
| | 22 | フレームの境目に白い線が出る。 | プレーヤー端末のOS が正しく設定されていません。 | プレーヤーソフトの取扱説明書【23 パフォーマンスの設定】をご参照ください。 |

| | | | |
|----|------------------------------|---|--|
| 23 | テロップががたつく、または文字のまわりに枠が表示される。 | プレーヤー端末の OS が正しく設定されていません。 | プレーヤーソフトの取扱説明書【23 パフォーマンスの設定】をご参照ください。 |
| 24 | パワーポイントが表示できない。 | プレーヤー端末にパワーポイントを再生できるソフトウェアがインストールされていません。 | プレーヤー端末に Power Point Viewer のインストールが必要です。 |
| | | Power Point Viewer の初回表示には「同意」画面が出ます。 | Power Point Viewer インストール後、事前に動作し、同意画面を表示させないようご注意ください。 |
| 25 | パワーポイントがフレーム分割で表示できない。 | 仕様 | フレーム分割ではご利用頂けません。全画面表示にてご利用ください。 |
| 26 | 動画の繰り返し再生ができない。 | 動画の登録時に「連続再生」にチェックしています。 | 動画の場合、登録時に「連続再生」にチェックすると1回放映され、その後は黒画面になります。連続再生のチェックをはずしてください。 |
| 27 | テロップがすべて表示されずに画面が切り替わる。 | フレームの表示時間がテロップ表示に要する時間よりも短く設定されています。 | フレームの表示時間を長く設定、またはテロップ速度を変更してください。 |
| 28 | テロップの切り替わり時に白画面がちらつく | 右記の設定で軽減する場合があります。 | デスクトップで右クリック→「プロパティ」を選択→「デザイン」を選択→「詳細設定」をクリック→指定する部分で「ウィンドウ」を選択し、色1を黒色、色を白色に設定 ウィンドウ色が黒色、文字色が白色になります。この場合 Internet Explorer の初期値背景色も黒色になりますので、URL、HTML コンテンツのご使用時にはご注意ください。 |
| 29 | 動画再生時、コンテンツが最後まで放映されない。 | 仕様 | フレーム切り替え時にコンテンツが切れる場合があります。動画コンテンツの最後の 300ms 程度は切れても良い内容にしてください。 |
| 30 | 放映時刻がずれている。 | OS の時刻がずれています。 | プレーヤー端末の OS の時刻設定を定期的に合わせてください。 |
| 31 | 放映開始時刻前に放映される。 | NTP サーバーの情報が正しく設定されていません。 | NTP サーバーへの接続環境がある場合は、NTP サーバーの設定をご確認ください。 |
| | | 放映開始時刻が誤って設定されています。 | 放映開始時刻を修正してください。 |
| 32 | 横方向のスクロールバーが出る。 | フレームパターンに対してジャストサイズの HTML ファイルをURL参照すると、横方向のスクロールバーが出る。 | 制限事項です。10 ポイントほど幅を狭くすると、スクロールバーが消えますので、サイズを変更してください。 |

| | | | | |
|-----|----|---------------------------------------|--|---|
| その他 | 33 | アカウント、パスワードを忘れたため、ログインできない。 | — | 正しい手続きに従って、アカウントとパスワードを再登録してください。再登録手順は【5.1.1.2アカウント情報を変更する】をご参照ください。 |
| | 34 | 稼働監視がよく切れる。 | 回線が不安定です。 | 「稼働監視タイムアウト」を長く設定してください。 |
| | 35 | 動作不安定、または不正停止等。 | Windows 起動後に、約 497 日以上連続稼働すると、プログラムの一部が動作停止してしまうことがあります。 | サーバーの定期メンテナンスを半年に 1 回行い、年に 1 回はリポートしてください。 |
| | 36 | 操作管理端末の時刻がずれる。 | OS の時刻がずれています。 | 操作管理端末の OS の時刻設定を定期的に合わせてください。 |
| | 34 | 稼働監視がよく切れる。 | 回線が不安定です。 | 「稼働監視タイムアウト」を長く設定してください。 |
| | 35 | 動作不安定、または不正停止等。 | Windows 起動後に、約 497 日以上連続稼働すると、プログラムの一部が動作停止してしまうことがあります。 | サーバーの定期メンテナンスを半年に 1 回行い、年に 1 回はリポートしてください。 |
| | 36 | NM コントローラに音声 OFF を設定しても再起動後に音声が出力される。 | NM コントローラの仕様です。システム保護のため、OS のある領域への書き込みが禁止されており、再起動にて初期状態に戻ります。 ※NM コントローラ EX に、この機能はありません。 | プレイリスト編集・スケジュール編集にて、音声の OFF/ON ができますので運用に合わせて設定ください。 |

■当社製品のご購入・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリー
ダイヤル



0120-878-410

受付時間：9時～17時30分(土曜・日曜・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

V3.20R00